資料編第１　松江市の現状　等

１．自然的条件

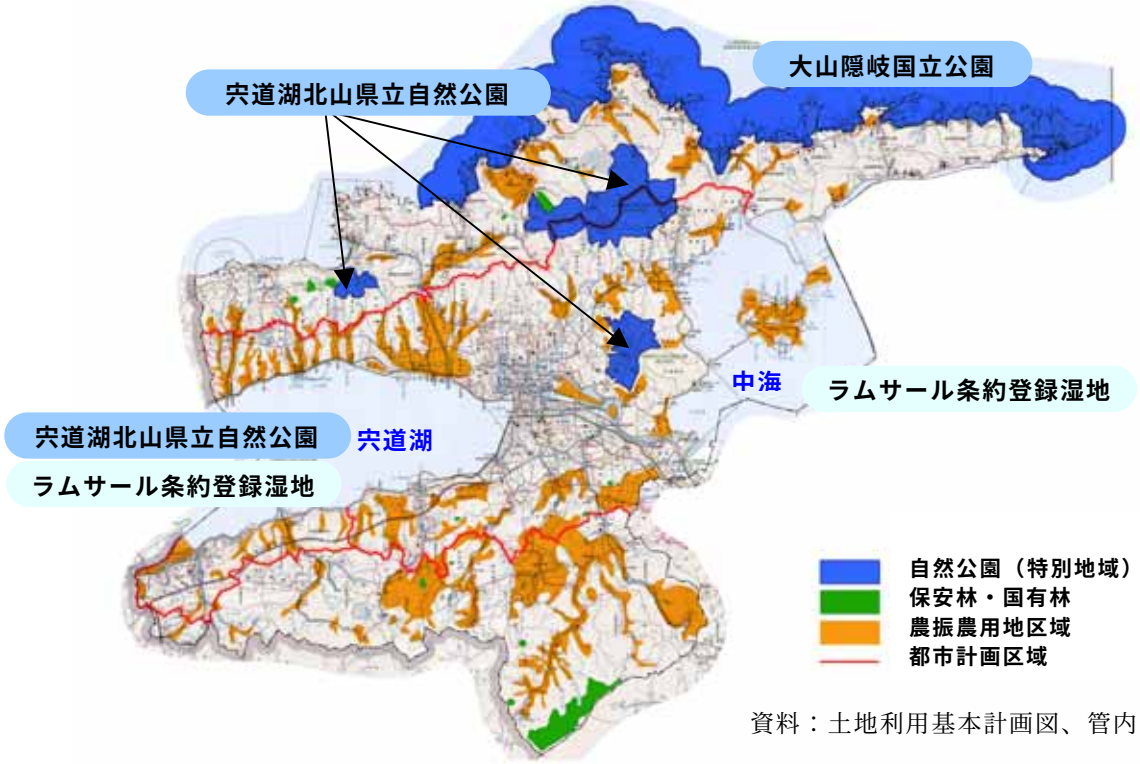
(1)地　形

日本海、宍道湖、中海の三種の水域に囲まれており、宍道湖、中海を結ぶ大橋川により、南北に市域が分断されています。北部の北山山系と南部の南部丘陵地に挟まれた市域の中央部には、平野部が広がっており、市街地が形成されています。

資料：松江市環境基本計画

(2)自然環境に関する法制度

宍道湖･中海はラムサール条約登録湿地に認定され、日本海沿岸部は大山隠岐国立公園、北部の山頂付近は宍道湖北山県立自然公園に指定されており、市街地周辺部の平地部は農振農用地区域に指定されています。



資料：土地利用基本計画図、管内図

２．歴史･文化的条件

(1)沿革

明治 4 年（1871 年）、廃藩置県によって県庁が置かれ、同 22 年 4 月（1889 年）全国の 38 市とともに市政を施行し、その後、昭和 9 年から 35 年にかけて 8 回にわたる合併を経て、平成 17 年 3 月 31 日には 8 市町村の合併により、現在の市域となっています。

明治22年４月１日市制施行
　当時の面積は4.78ｋ㎡
　人口は約35,500人
合併後は、
　面積は当時の 111 倍
　人口は 5.5 倍に増加

(2)歴史・文化資源

本市は戦災にあわなかったこともあり、まちの中心部（旧松江市）には松江城や堀川など城下町のまちなみが多く残っています。また、鼓行列やホーランエンヤなどの伝統行事、めのう細工や八雲塗り等の伝統工芸、茶の湯文化など歴史・文化資源が残っています。

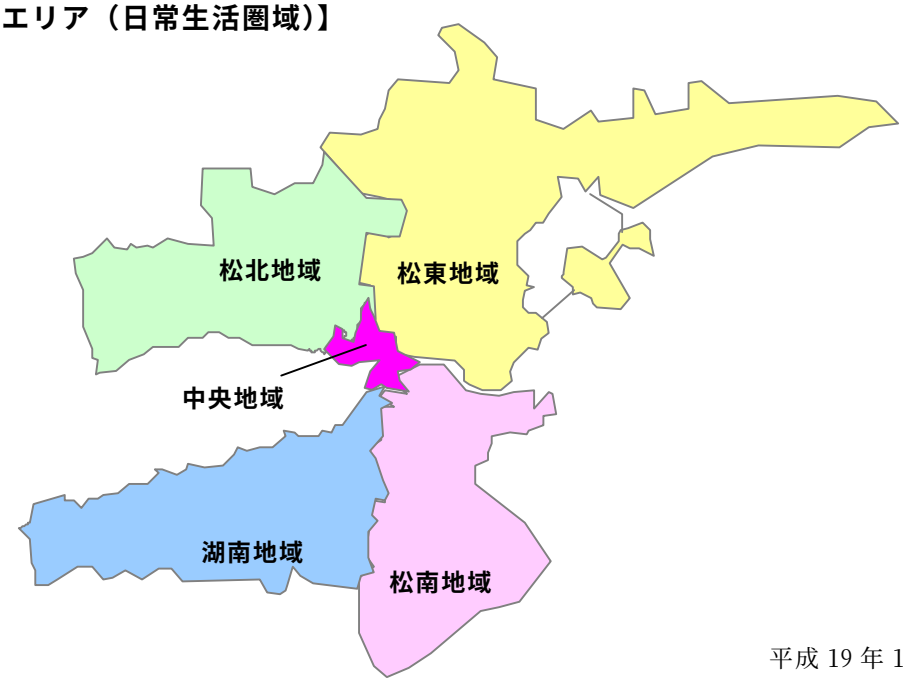
■代表的な資源

区　分	まちなみ等	伝統・行事	伝統工芸
松　江	松江城、松江城下町 塩見縄手・武家屋敷 月照寺、菅田庵、小泉八雲旧居、神魂神社、国府跡、国分寺跡、田和山遺跡　等	鼓行列、ホーランエンヤ、 お城まつり、水郷祭 松江水燈路　等	八雲塗、袖師焼、楽山焼、松江姉様、松江筆、仏像彫刻、松江藩籐細工、松江和紙てまり　等
鹿　島	佐太神社、朝日寺、 佐太講武貝塚　等	御座替祭り、お忌祭り、神等去出神事 左義長神事、港まつり　　等	
島　根	加賀神社、 加賀の潜戸、桂島　等	ガッチ祭、ヨメノエの祭り、大蛇様祭り、竜神祭、お伊勢さんの祈り日　等	
美保関	青石畳通り、 美保神社、美保関灯台	諸手船神事、青柴垣神事、千酌やぶさめ神事、竜神祭り、墨付トンド、ひざ餅神事　等	
八　束	大根島、熔岩隧道、 牡丹園、人参畑　等	弘法大師祭・町内八十八箇所御札回り 松江大根島ぼたん祭　等	
八　雲	熊野大社	鑽火祭、御櫛祭、夏越祭、庭火祭 おいでな祭、節分祭、星上寺大餅神事　等	出雲民芸紙
玉　湯	玉造温泉、 玉湯川土手桜並木等	七福神まつり、玉造温泉夏まつり 花吹雪温泉まつり　等	出雲めのう細工 布志名焼　等
宍　道	八雲本陣、木幡山荘、 蒐古館　等	祇園祭（れんげ祭）、 菅原天満宮夏季例祭、氷川神社秋祭、 菅原天満宮秋季例大祭　等	出雲石灯ろう

(3)地域福祉エリア

現在、松江市の地域福祉エリアは、地域の連携やコミュニティを重視し、５つの公民館ブロックと整合を図り、５つの地域（中央地域、松東地域、松北地域、湖南地域、松南地域）に区分しています。

【地域福祉エリア（日常生活圏域）】

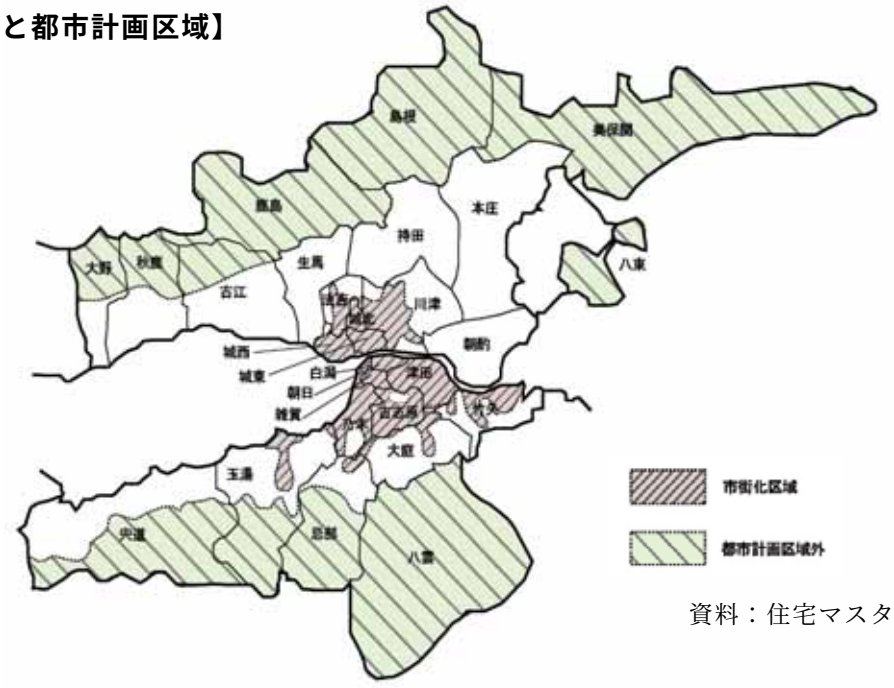


平成 19 年 12 月現在

地域	対象地域
松東	朝酌・川津・本庄・持田公民館区、島根町、美保関町、八束町
中央	城北・城西・城東・白潟・朝日・雑賀公民館区
松北	法吉・生馬・古江・秋鹿・大野公民館区、鹿島町
松南	竹矢・津田・大庭・古志原公民館区、八雲町
湖南	乃木・忌部公民館区、玉湯町、宍道町

資料：松江市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

【公民館区と都市計画区域】



資料：住宅マスタープラン

３．社会的条件

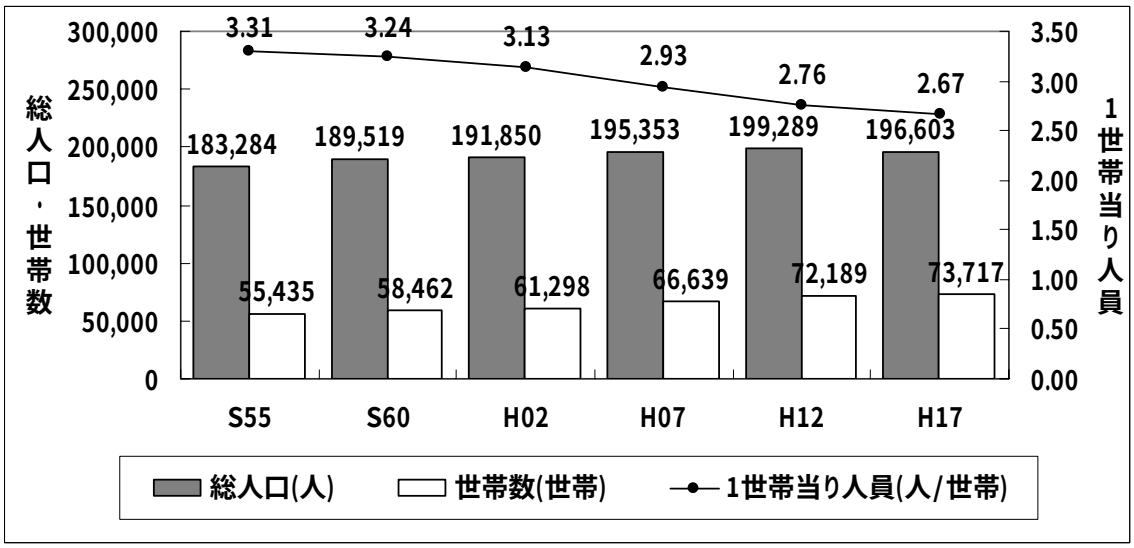
(1)人口

ア　総人口及び世帯数

松江市の総人口は徐々に伸びてきていましたが、平成 12 年度をピークに減少に転じています。平成 17 年度の国勢調査によると、８市町村の総人口は 196,603 人で、平成 12 年国勢調査の 199,289 人に対して、2,686 人（約 1.3%）減少しています。

世帯数は増加傾向にありますが、１世帯当たりの人員は減少傾向にあります。

■人口及び世帯数の推移

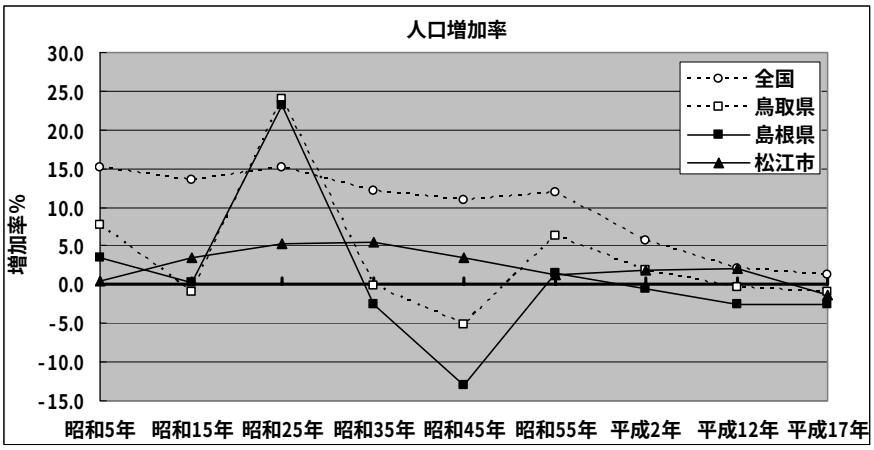


資料：国勢調査

イ　人口増加率

松江市の人口増加率は、昭和 35 年より減少傾向にありましたが、昭和 55 年より、平成 12 年までは増加し、以降減少に転じています。また、島根県全体では、平成 12 年から 17 年の増加率は－2.53%と全国で 4 番目に人口の減少割合が高くなっています。

■人口増加率



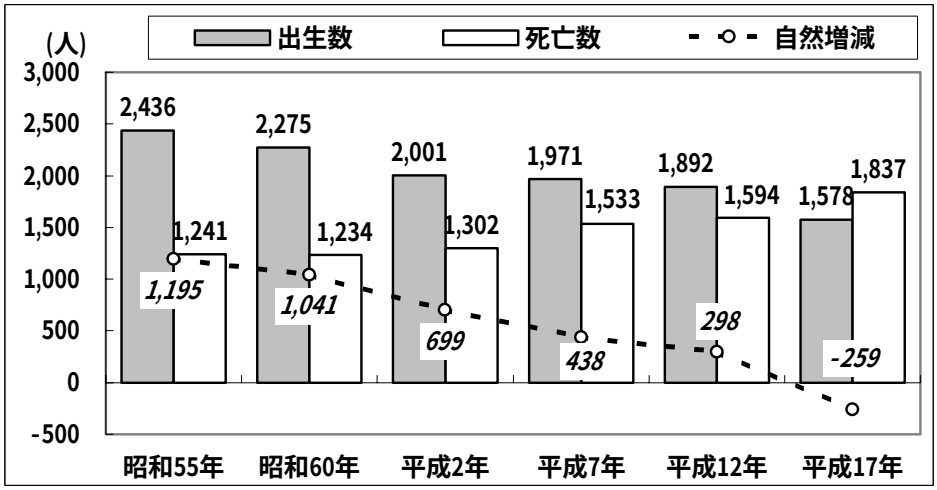
増加率順位		
1	東　京	4.25%
2	神奈川	3.55%
3	沖　縄	3.29%
4	愛　知	3.00%
5	滋　賀	2.79%
・	・	・
・	・	・
43	長　崎	-2.50%
44	島　根	-2.53%
45	青　森	-2.65%
46	和歌山	-3.17%
47	秋　田	-3.68%

資料：国勢調査

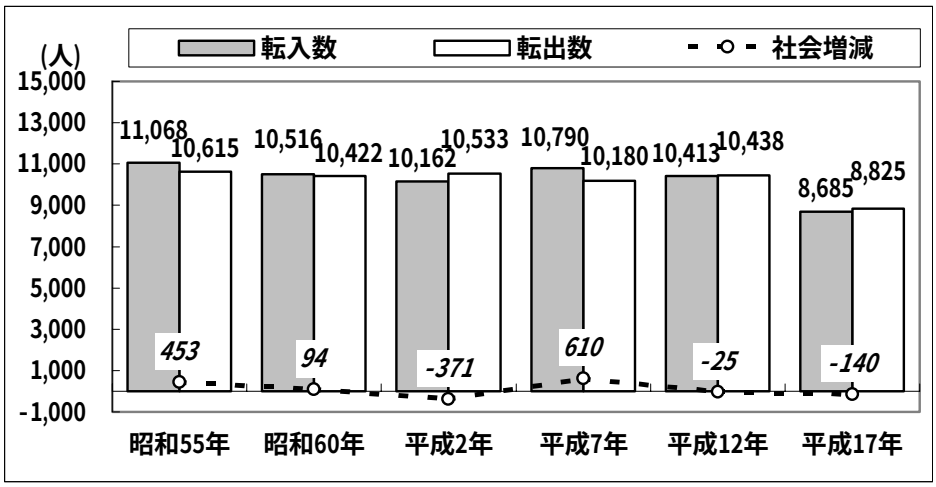
ウ　人口動態

出生、死亡による自然動態は、これまで増加傾向にありましたが、増加数は年々減少を続け、平成 17 年には死亡数が出生数を超える自然減に転じています。また、転入、転出による社会動態は、平成 12 年以降、転出数が転入数を上回る社会減の状態が続いています。

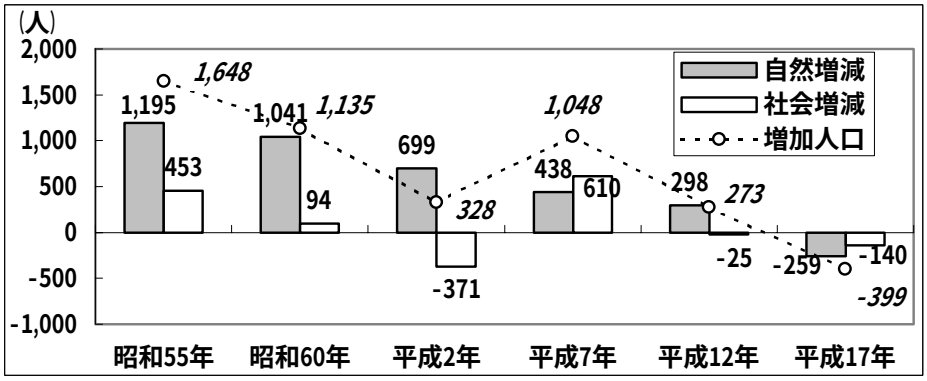
■自然動態の推移



■社会動態の推移



■人口動態（自然増減、社会増減の合計）



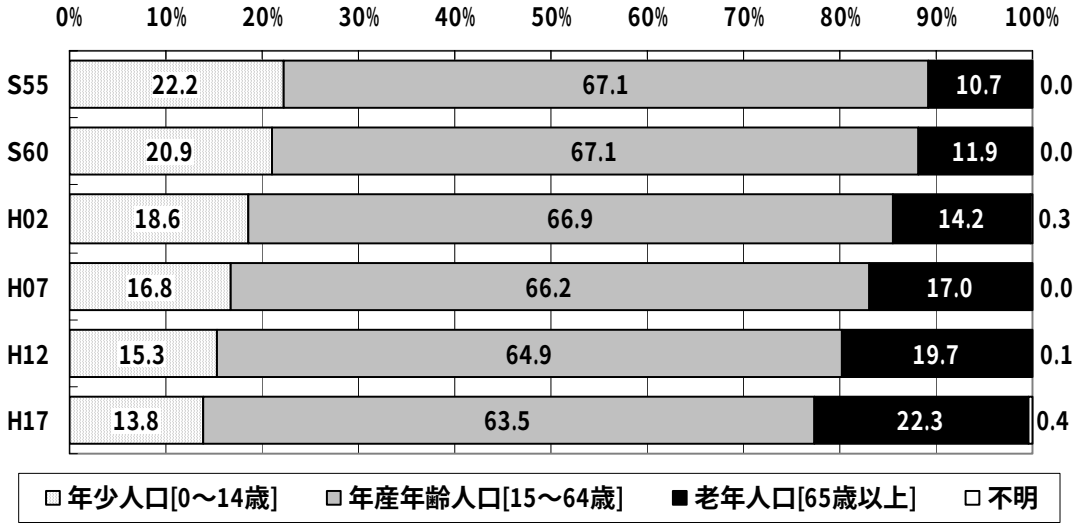
資料：島根県の人口移動と推計人口

エ　年齢別構成の動向

年齢階層別人口は、出生率の低下や平均寿命が伸びたことに伴い、15 歳未満の年少人口割合の低下と 65 歳以上の老年人口割合の上昇が続き、平成 17 年には、年少人口が 13.8%（27,179 人）、生産年齢人口が 63.5%（124,784 人）、老年人口が 22.3%（43,849 人）となっており、少子高齢化が進行しています。

平成 17 年の老年人口割合については、島根県平均の 28.0%を下回っていますが、全国平均の 21.0%を上回っています。

■年齢階層別人口比率の推移



資料：松江・八束合併協議会「新市まちづくり計画」、情報政策課「松江市統計書」

オ　流出入人口

従業地／常住地の就業比率は 108%とわずかに流入超過となっています。

また、人口流入出先については、出雲市及び東出雲町が上位を占めています。

	常住地による就業者数 (人)	流出 就業者数 (人)	流出 流出率 (%)	従業地による就業者数 (人)	流入 就業者数 (人)	流入 流出率 (%)	従／常 就業者比率 (%)
平成2年	95,279	8,088	8.5	102,053	14,201	13.9	107.1
平成7年	100,001	9,054	9.1	107,361	16,414	15.3	107.4
平成１２年	100,616	9,874	9.8	108,084	17,342	16.0	107.4
平成１７年	95,728	10,297	10.8	103,309	17,878	17.3	107.9

	流出先 流出率第１位			流出先 第２位			流入先 流入率第１位			流入先 第２位		
	市町村名	流出者数 (人)	流出率 (%)	市町村名	流出者数 (人)	流出率 (%)	市町村名	流出者数 (人)	流入率 (%)	市町村名	流出者数 (人)	流入率 (%)
平成2年	東出雲町	1,386	1.5	出雲市	945	1.0	平田市	2,222	2.2	出雲市	1,912	1.9
平成7年	東出雲町	1,599	1.6	出雲市	1,046	1.1	東出雲町	2,149	2.0	出雲市	2,103	2.0
平成１２年	東出雲町	1,588	1.6	出雲市	1,122	1.1	東出雲町	2,629	2.4	出雲市	2,176	2.0
平成１７年	出雲市	1,927	2.0	東出雲町	1,691	1.8	出雲市	4,699	4.6	東出雲町	3,220	3.1

資料：国勢調査

注）出雲市は旧平田市等との市町村合併から、平成 17 年の行政範囲が拡大しています。
このため、平成 17 年時点では、合併していない東出雲町は、出雲市と順位が入れ替わっています。

カ　中心市街地の人口動向等

（ｱ）　人口・世帯数

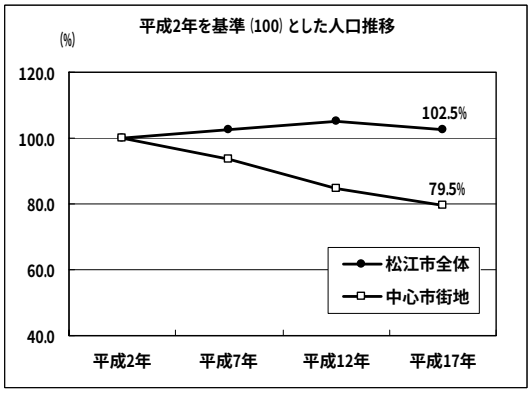
中心市街地（平成 19 年中心市街地活性化基本計画における指定範囲）の人口及び世帯数は減少傾向が続いています。

平成 17 年の一世帯当たりの人員は、平成 2 年以降、本市全域と同様減少傾向を示していますが、市全域の 2.67 人に比べ中心市街地は 2.22 人と世帯分離が進展しています。

■人口推移

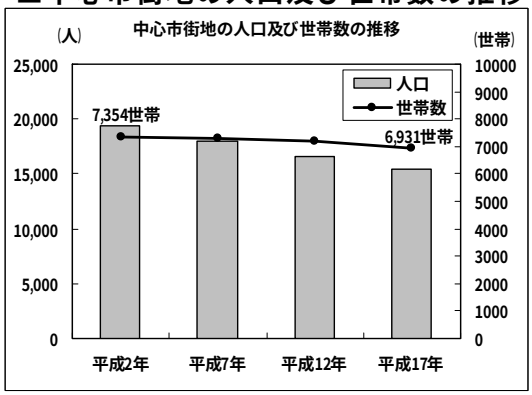
年　度	松江市全域	中心市街地
平成２年	191,850 人	19,344 人
平成７年	195,353 人	17,932 人
平成 12 年	199,289 人	16,563 人
平成 17 年	196,603 人	15,381 人

■人口増加率

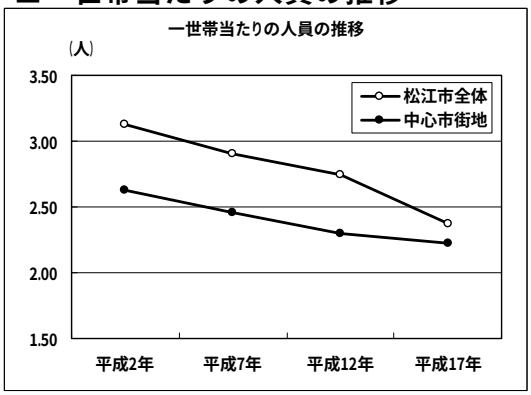


資料：国勢調査

■中心市街地の人口及び世帯数の推移



■一世帯当たりの人員の推移

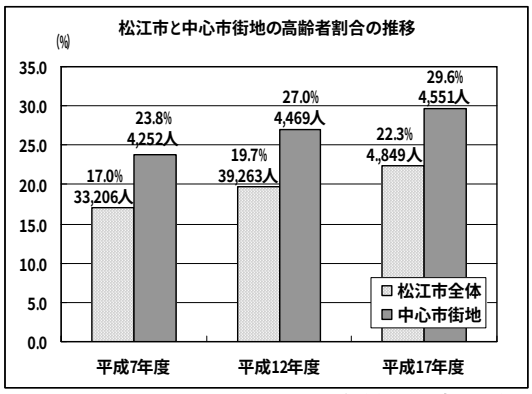


資料：国勢調査

(2)中心市街地の高齢者

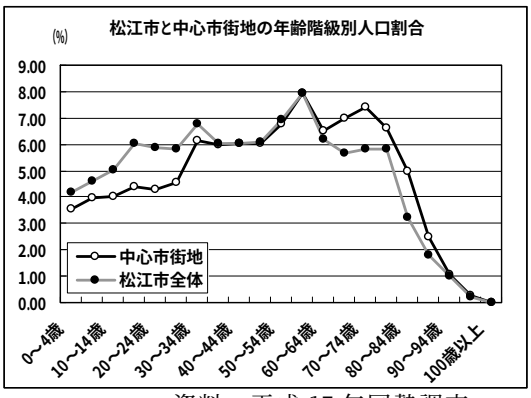
平成 17 年の中心市街地の高齢化率は市全体の 22.3%に対し、29.6%と高く、平成 7 年の 23.6%と比較すると約 6 ポイント増加しています。また、市全体と中心市街地の年齢別人口の分布を比較すると、中心市街地は、高齢層の割合が高く、若年層の割合が低い少子高齢化の傾向が進んでいます。

■高齢者の推移



資料：国勢調査

■年齢階級別人口割合



資料：平成 17 年国勢調査

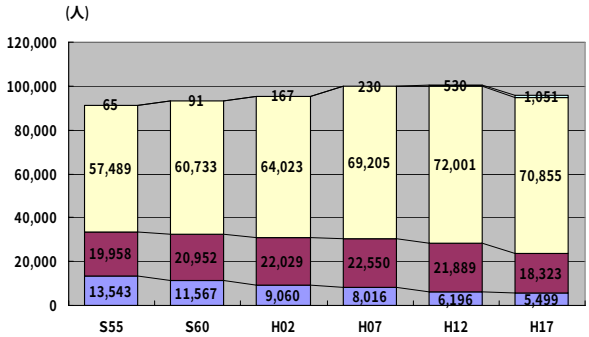
(3)産業

ア　就業者数

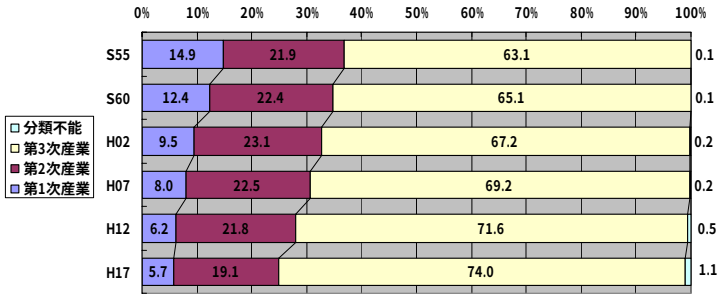
就業者数は、総人口の動向と同様に平成 12 年をピークに減少しています。

就業者比率は、産業構造の変化に伴い第 1 次産業、第 2 次産業が年々減少しています。一方、第 3 次産業は年々増加傾向にあります。しかし、総就業者の減少に伴い、第 3 次産業の就業者数は平成 12 年に比べ減少しています。

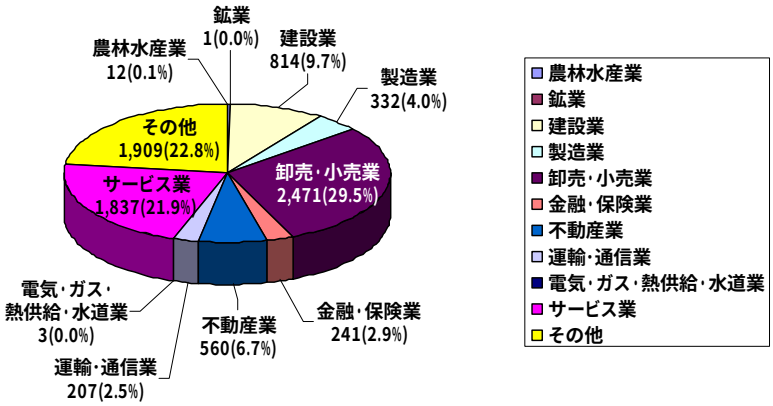
■産業別就業者数の推移



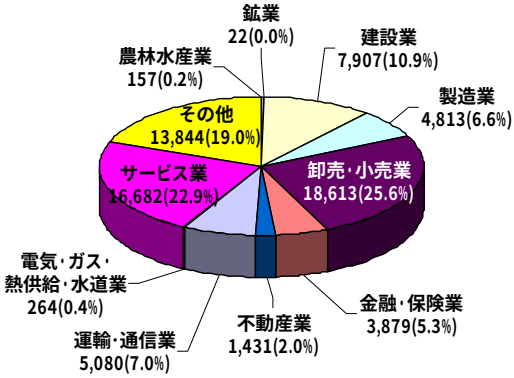
■産業別就業者比率の推移



■産業（大分類別事業所数）



■産業（大分類別従業者数）

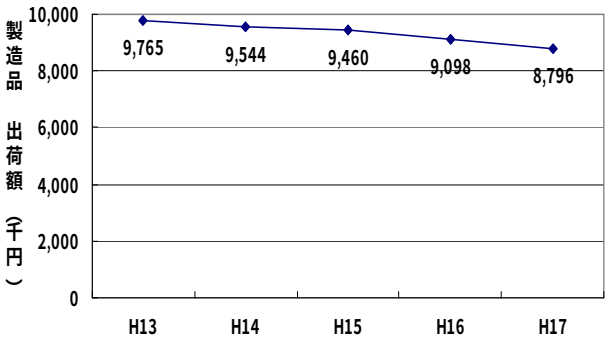


資料：H16 事務所・企業統計調査

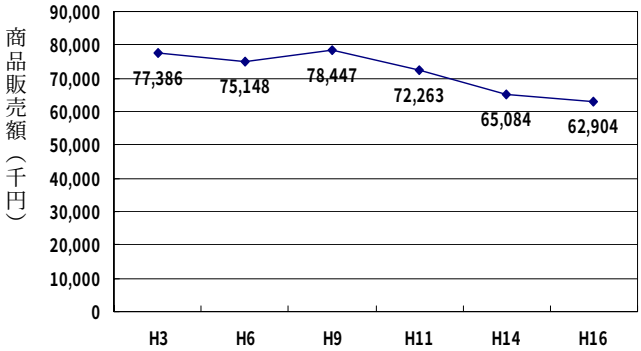
イ　生産額

製造品出荷額、商品販売額は、ともに減少傾向にあります。

■製造品出荷額



■商品販売額



資料：工業統計調査、商業統計調査

ウ　工業団地の分譲率

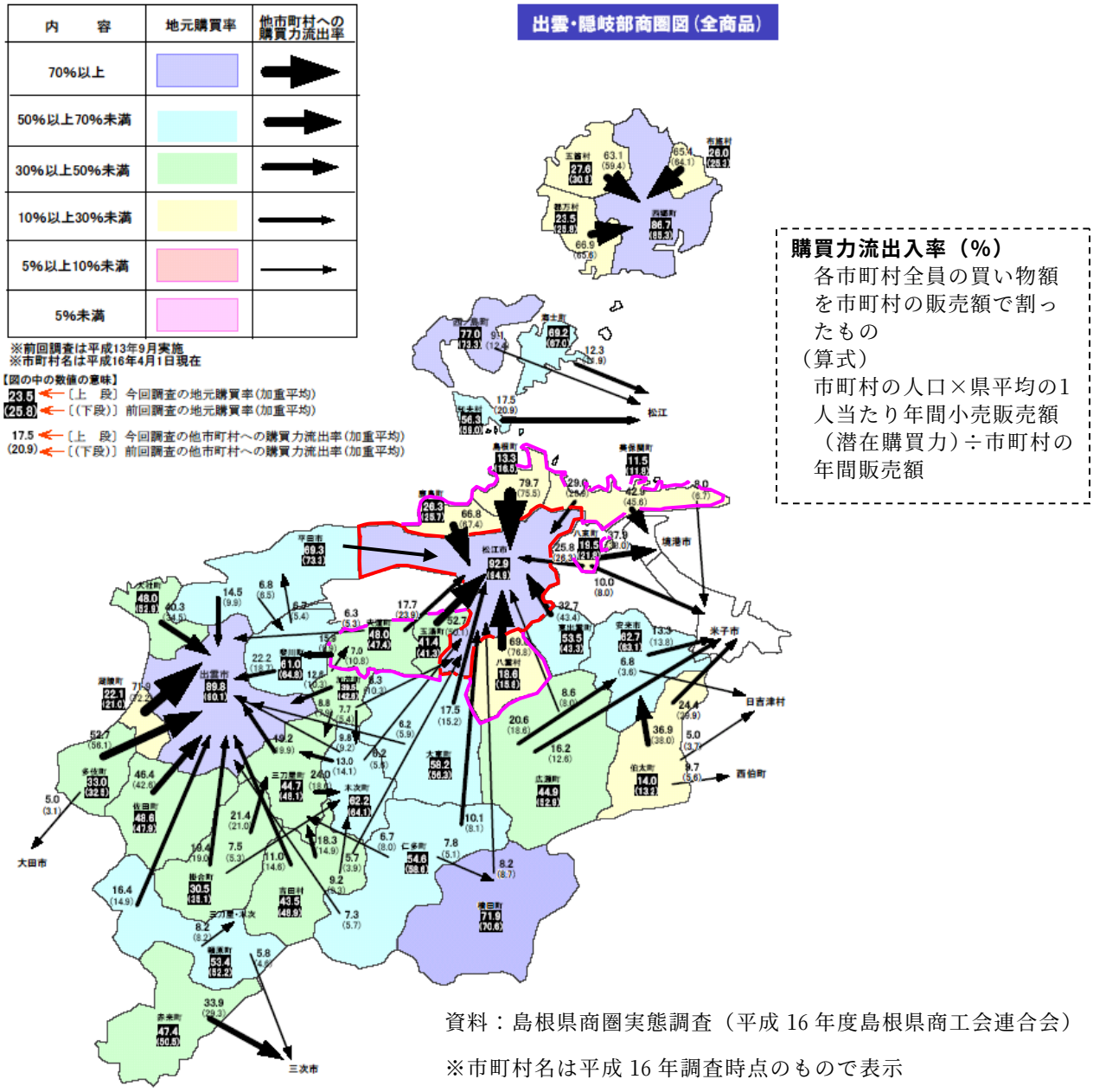
湖南テクノパークの分譲率は約７割、朝日ヒルズは約４割の分譲率となっており、未分譲地が残っています。

工業団地	分譲率
湖南テクノパーク分譲率	72.55
朝日ヒルズ工業団地分譲率	39.54

注：分譲面積／全体面積（%）　　資料：松江市総合計画

エ　購買動向（商圏）

商圏は、出雲、松江、米子の３つに大別でき、購買動向は、近隣市町村のほとんどが松江に集中しています。



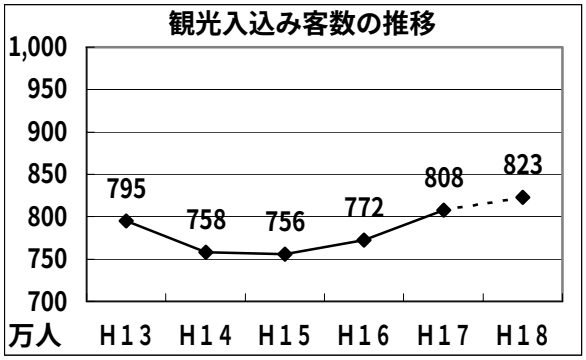
資料：島根県商圏実態調査（平成 16 年度島根県商工会連合会）

※市町村名は平成 16 年調査時点のもので表示

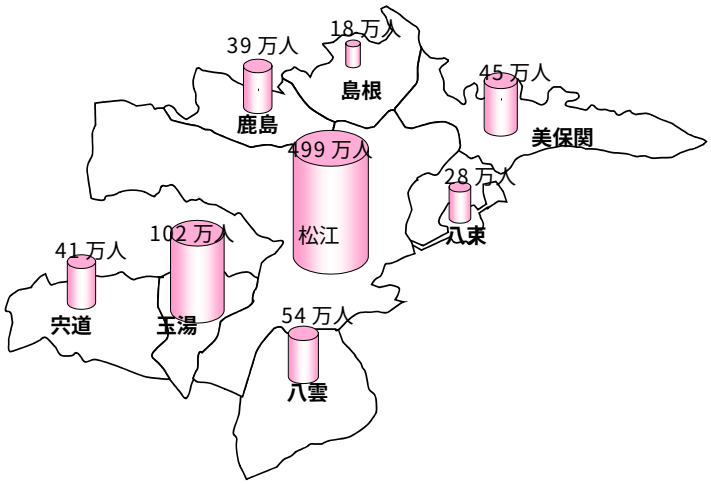
オ　観光入込み客数

観光入込み客数の推移をみると、平成 15 年以降は増加傾向にあります。

旧町別にみると、平成 18 年の観光入込み客は、松江、玉湯ともに 100 万人を超えています。



資料：市観光企画課資料

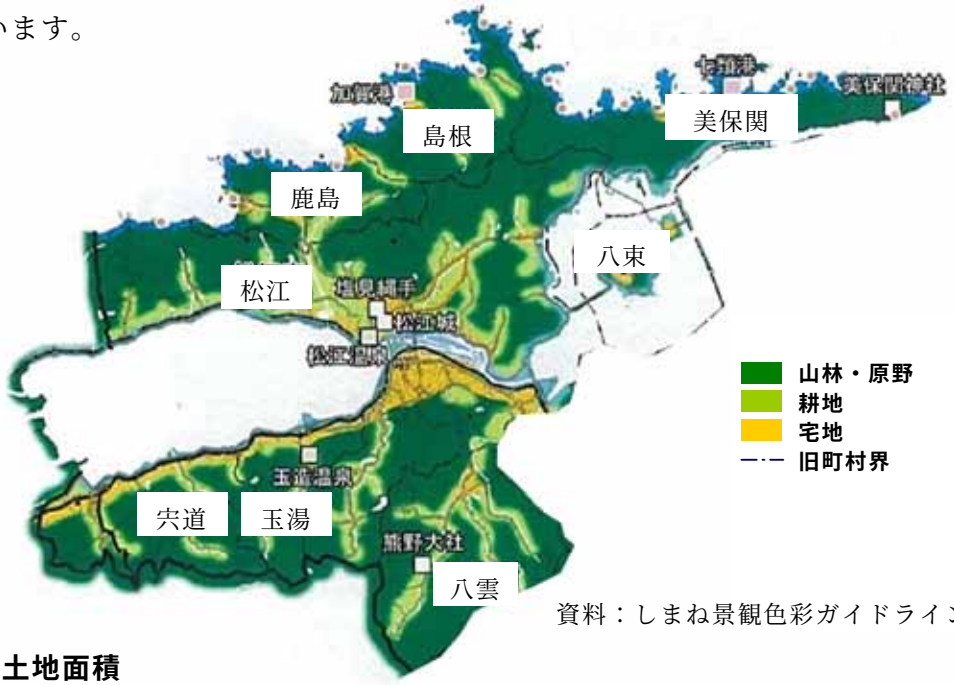


資料：H18 市観光企画課資料

(4)土地利用等

ア　土地利用

地目別土地面積をみると、山林の占める割合が最も多く、続いて田や畑の耕地、宅地となっています。



資料：しまね景観色彩ガイドライン

■地目別土地面積

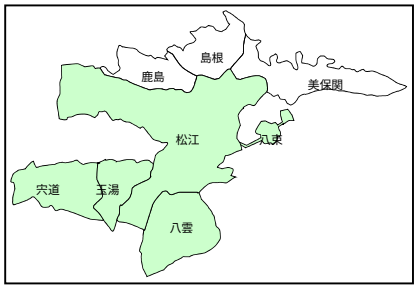
平成 18 年 1 月 1 日現在(単位:k㎡，%)

	総数	宅地	耕地			山林	原野	池沼	雑種地	その他
			総数	田	畑					
実数	530.21	28.12	62.89	41.65	21.24	223.80	5.67	0.64	15.93	193.16
構成比	100.00	5.30	11.87	7.86	4.01	42.21	1.07	0.12	3.00	36.43

資料:情報政策課「松江市統計書」、固定資産税課

イ　開発動向

農地転用、新築について、世帯当たりの開発面積をみると、松江、玉湯、宍道、八雲、八束が比較的高くなっています。



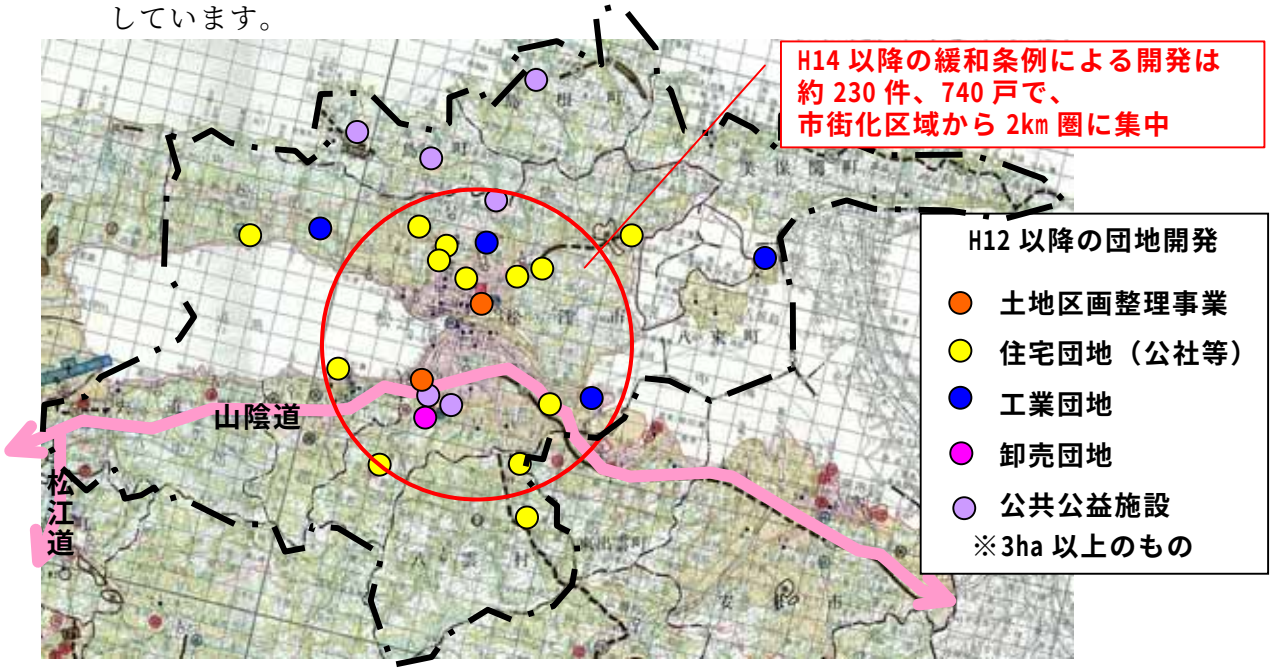
区分	農地転用（H13～H17）① 件数 件	面積 ha	新設住宅②（H12～H16） 戸数 戸	床面 ha	開発許可③（H13～H18） 市街化 件数	面積ha	その他 件数	面積ha	H17行政世帯当たり面積㎡ 農地転用	新設住宅
松江市	1,131	65	8,216	74					8.8	10.0
松江	764	46	7,143	63	62	17.1	28	12.5	7.6	10.4
鹿島	83	4	105	1	－	－	－	－	14.1	3.9
島根	8	0	14	0	－	－	－	－	3.5	1.8
美保関	13	1	49	1	－	－	－	－	2.6	3.7
八雲	55	3	184	3					15.3	12.6
玉湯	48	5	357	3	11	1.8	4	0.4	21.1	13.7
宍道	86	4	292	3					16.6	11.7
八束	74	3	72	1	－	－	－	－	22.9	7.0

注）鹿島は公的施設用地への転用が多いため除外しています。

資料：①土地利用収集分析調査②建築統計年報③開発許可台帳

ウ　開発団地の状況

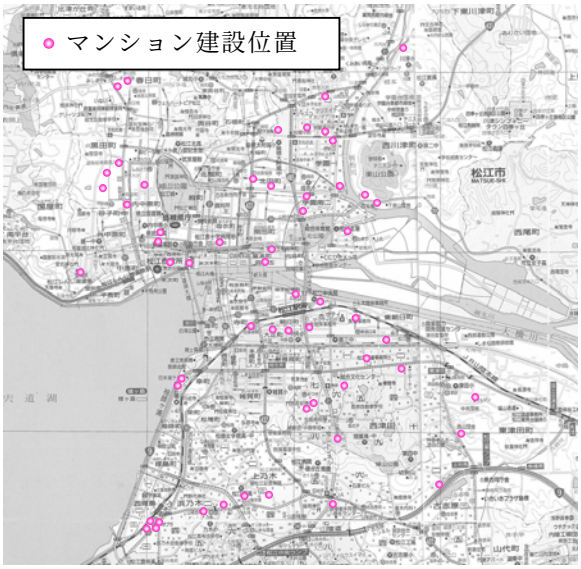
開発団地は松江の市街化区域から、２ｋｍ圏内に多く、それ以外の開発は分散しています。また、市街化調整区域緩和条例による開発も同様に２ｋｍ圏に集中しています。



資料：H12～H17 土地利用動向調査（島根県）

エ　マンション立地の状況

松江の中心部では平成 2 年から、駅や小学校の周辺部でマンション建設が進んでいます。



資料：住宅地図等

オ　中心市街地の低未利用地

衰退が著しい母衣・カラコロエリアでは、昭和 63 年当時と比べ、空き家・空き店舗の面積は約 2 倍に増加しています。

■空き家・空き店舗状況図

昭和６３年

平成１７年

また、中心市街地全域における駐車場の分布をみてみると、昭和 63 年当時と比べ、約 1.4 倍に増加しています。

■駐車場分布状況図

昭和６３年

平成１７年

資料：松江市中心市街地活性化基本計画

カ　地価の状況

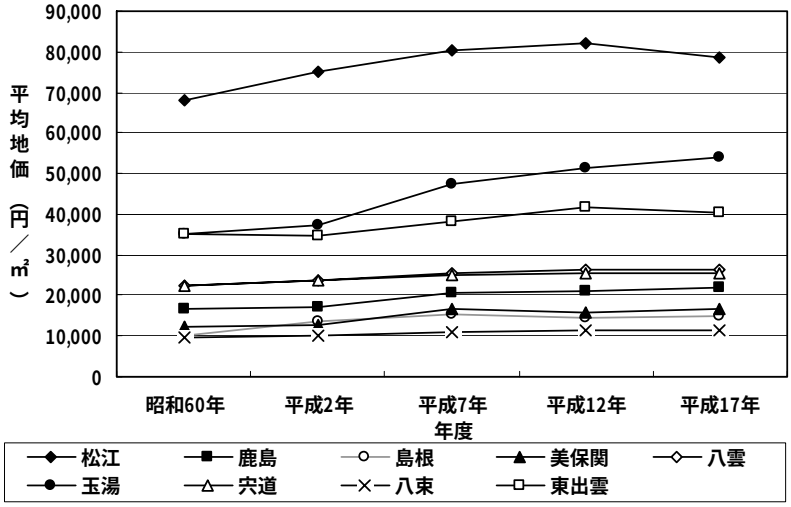
松江市の地価は、山陰の産業・経済の中心地であることに加え、平地が少なく宅地開発が集中するため、山陰地方で最も高くなっています。

■近隣都市の住宅地平均価格　（単位：円/㎡）

市町村名	標準地数	平均価格	上位の価格	下位の価格
松江市	37	70,500	135,000	27,700
出雲市	11	37,400	60,400	8,900
安来市	5	40,900	64,900	26,600
東出雲町	4	40,100	47,200	29,700
斐川町	2	30,500	37,100	24,000
鳥取市	36	62,800	132,000	4,800
米子市	20	50,800	72,300	10,800

資料：平成 18 年地価公示

■旧市町村の地価動向



（単位：円）

区分	昭和 60 年度	平成 2 年度	平成 7 年度	平成 12 年度	平成 17 年度
松江	67,900	74,872	80,133	83,500	78,800
鹿島	15,800	16,900	20,500	21,400	21,533
島根	10,200	12,966	15,833	15,100	15,067
美保関	12,200	12,833	16,533	13,500	13,533
八雲	22,500	24,000	25,866	26,900	26,900
玉湯	35,000	37,000	47,150	51,300	54,200
宍道	22,600	23,433	25,200	26,000	25,900
八束	9,200	9,750	11,300	11,800	11,833
東出雲	35,200	34,400	38,725	41,600	40,600

出典：島根県地価ハンドブック

(5)交通

ア　道路

(ｱ)　道路の整備状況

松江市全体の改良率は 54%で、舗装率は 80%程度となっています。また、国道、県道の整備率は比較的高いですが、市道については、改良率が 50%を下回っています。また、八雲の国道、美保関の県道、旧市内及び島根、八束の市道の改良率は市平均を下回っています。

■道路整備状況

平成17年4月1日現在
単位: m, %

道路現況	総数					国道計				
	実延長	改良済延長	改良率	舗装済延長	舗装率	実延長	改良済延長	改良率	舗装済延長	舗装率
島根県	17,738,203	9,583,768	54.0	14,112,805	79.6	895,722	853,293	95.3	895,722	100.0
松江市	2,392,917	1,310,530	54.8	1,822,546	76.2	100,217	95,695	95.5	100,217	100.0
松江	1,511,475	767,720	50.8	1,052,048	69.6	55,726	55,726	100.0	55,726	100.0
鹿島	113,841	67,422	59.2	97,769	85.9	-	-	-	-	-
島根	76,265	39,349	51.6	71,463	93.7	-	-	-	-	-
美保関	109,982	68,204	62.0	90,938	82.7	12,630	12,384	98.1	12,630	100.0
八雲	162,856	88,507	54.3	136,303	83.7	10,327	6,051	58.6	10,327	100.0
玉湯	99,685	93,418	93.7	96,009	96.3	7,670	7,670	100.0	7,670	100.0
宍道	222,087	152,410	68.6	191,984	86.4	13,864	13,864	100.0	13,864	100.0
八束	96,726	33,500	34.6	86,032	88.9	-	-	-	-	-

道路現況	県道計					市町村道計				
	実延長	改良済延長	改良率	舗装済延長	舗装率	実延長	改良済延長	改良率	舗装済延長	舗装率
島根県	2,485,293	1,650,433	66.4	2,446,940	98.5	14,357,188	7,080,042	49.3	10,770,143	75.0
松江市	227,546	166,991	73.4	217,409	95.5	2,065,154	1,047,844	50.7	1,504,920	72.9
松江	91,489	69,458	75.9	90,167	98.6	1,364,260	642,536	47.1	906,155	66.4
鹿島	32,911	25,301	76.9	30,158	91.6	80,930	42,121	52.0	67,611	83.5
島根	18,921	12,956	68.5	18,921	100.0	57,344	26,393	46.0	52,542	91.6
美保関	33,260	19,654	59.1	27,198	81.8	64,092	36,166	56.4	51,110	79.7
八雲	16,367	12,826	78.4	16,367	100.0	136,162	69,630	51.1	109,609	80.5
玉湯	11,335	9,342	82.4	11,335	100.0	80,680	76,406	94.7	77,004	95.4
宍道	13,773	9,756	70.8	13,773	100.0	194,450	128,790	66.2	164,347	84.5
八束	9,490	7,698	81.1	9,490	100.0	87,236	25,802	29.6	76,542	87.7

注　1 自転車道, 公団管理を含まない。
　　2 改良率は、W=5.5未満を含む。

資料：島根県道路維持課「道路等の現況調書」

(ｲ)　歩道設置率

歩道設置率は一級市道で約 30%ですが、松江、鹿島や八束を除き、10%未満のエリアが多く残っています。

■歩道設置率

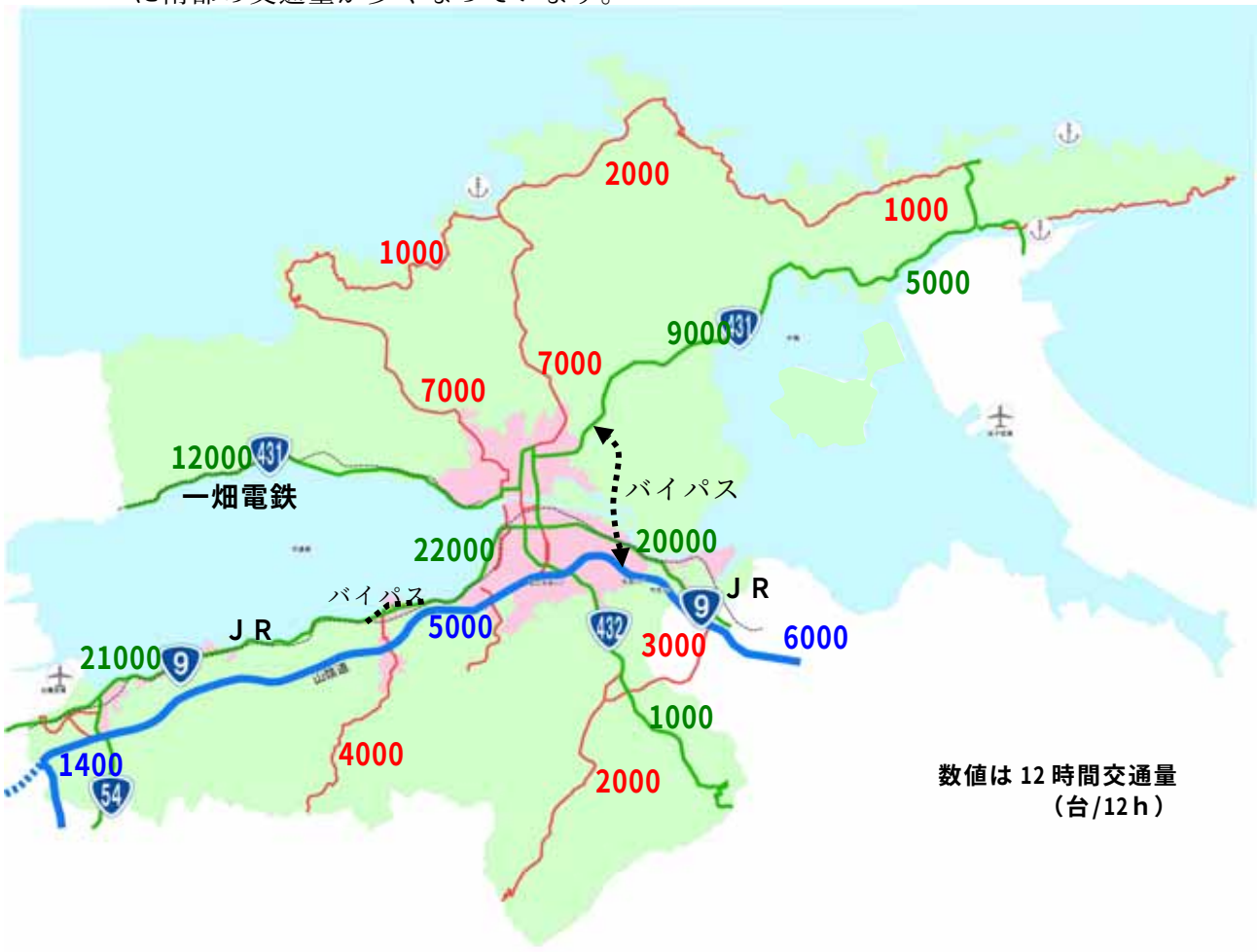
平成 18 年 4 月 1 日現在

		実延長 (km)	歩道設置道路延長(km)	歩道設置率 (%)
旧松江市	一級市道	68,727	29,658	43.2
	市道計	1,368,101	115,613	8.5
旧鹿島町	一級市道	4,783	2,637	55.1
	市道計	82,685	6,146	7.4
旧島根町	一級市道	10,435	8	0.1
	市道計	57,578	626	1.1
旧美保関町	一級市道	2,217	0	0.0
	市道計	63,662	507	0.8
旧八雲村	一級市道	15,975	1,480	9.3
	市道計	140,317	4,654	3.3
旧玉湯町	一級市道	10,010	109	1.1
	市道計	80,674	1,703	2.1
旧宍道町	一級市道	14,450	1,164	8.1
	市道計	194,813	10,790	5.5
旧八束町	一級市道	8,175	6,039	73.9
	市道計	89,784	9,817	10.9
松江市	一級市道	134,772	41,095	30.5
	市道計	2,077,614	149,856	7.2

資料：松江市管理課資料

イ　交通量

交通量についてみると、1万台を超える路線は国道9号、431号のみであり、特に南部の交通量が多くなっています。



資料：H17 道路交通センサス

ウ　自動車保有率

世帯あたりの自動車保有台数（保有率）は、全体的に増加しており、特に宍道、八雲は保有率が高くなっています。

区分	H12			H17		
	普・小・軽	世帯数	保有台数（台／世帯）	普・小・軽	世帯数	保有台数（台／世帯）
松江市計	90,874	72,189	1.26	97,179	73,717	1.32
松 江	69,479	58,752	1.18	74,355	60,034	1.24
鹿 島	3,768	2,464	1.53	3,988	2,476	1.61
島 根	1,780	1,154	1.54	1,941	1,134	1.71
美保関	2,854	1,940	1.47	2,996	1,908	1.57
八 雲	3,563	1,928	1.85	3,805	2,021	1.88
玉 湯	2,948	2,021	1.46	3,183	2,185	1.46
宍 道	4,674	2,605	1.79	4,914	2,647	1.86
八 束	1,808	1,325	1.36	1,997	1,312	1.52

資料：島根県統計書

エ　公共交通利用状況

（ｱ）　鉄道

一畑電車の年間乗降客数は、平成 8 年の 148 万人をピークとして減少傾向にありましたが、平成 17・18 年は増加・横ばいに転じています。

一方、ＪＲ線の年間乗降客数は減少傾向にありますが、平成 18 年には増加に転じています。

■鉄道乗降客数

年次	一畑電車（市内合計）					ＪＲ（市内合計）	
	乗客（人／年）		降客（人／年）		年間乗降客（人／年）	年間乗降客（人／年）	日乗降客（人／日）
	普通	定期	普通	定期			
平成８年	352,932	390,655	346,678	390,551	1,480,816	2,805,755	7,687
平成９年	243,054	375,586	236,336	375,586	1,230,562	2,651,360	7,264
平成１０年	269,967	348,421	282,369	348,421	1,249,178	2,605,370	7,138
平成１１年	309,904	354,365	246,115	354,365	1,264,749	2,541,860	6,964
平成１２年	279,952	350,237	261,192	350,237	1,241,618	2,479,810	6,794
平成１３年	272,253	353,827	276,146	353,827	1,256,053	2,430,535	6,659
平成１４年	278,724	344,967	261,669	344,967	1,230,327	2,332,350	6,390
平成１５年	267,606	341,800	210,792	341,800	1,161,998	2,282,345	6,253
平成１６年	216,004	361,559	223,619	361,559	1,162,741	2,248,765	6,161
平成１７年	232,553	400,410	207,126	400,410	1,240,499	2,229,785	6,109
平成１８年	248,005	370,775	244,190	370,775	1,233,745	2,235,625	6,125

資料：一畑電気鉄道株式会社、ＪＲ西日本米子支社

（ｲ）　市営バス

市営バスの年間の乗車人員は減少傾向にありますが、平成 18 年には増加に転じています。

■市営バス乗降客数

（単位：km，台）

年度	営業キロ数	バス停留所数	バス在籍車数	走行キロ数	乗車人員（万人/年）総数	うち定期券利用者	１日平均 走行キロ数	１日平均 乗車人員(人)
平成 12	90.50	289	57	1,732,895	319	22	5,363	8,744
13	108.00	289	56	2,093,304	307	22	5,735	8,410
14	108.00	460	58	2,317,453	284	20	6,349	7,781
15	114.60	477	56	1,867,037	281	20	5,101	7,143
16	121.40	449	54	1,642,515	234	19	4,500	6,412
17	130.00	455	54	1,706,514	226	18	4,675	6,203
18	130.00	450	54	1,736,172	231	18	4,757	6,331

バス停留所数は14年より上り下りを合計して記載　　資料：市交通局

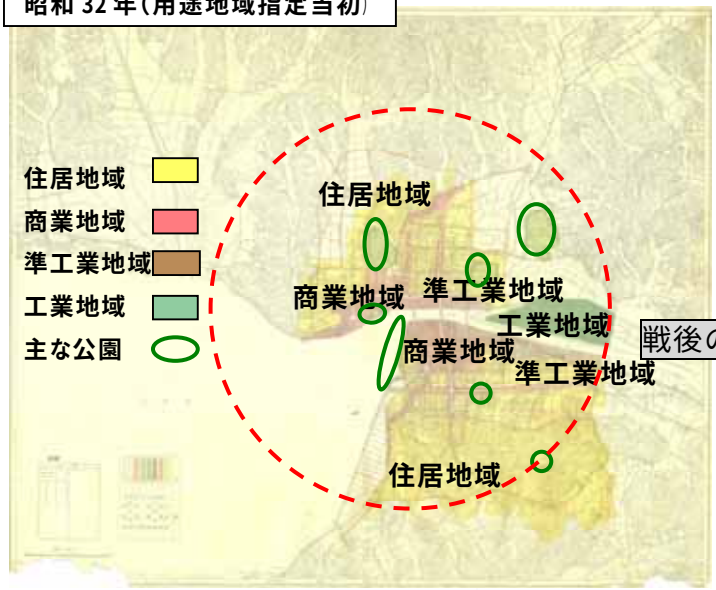
注）貸切バス運行を除く数値。

(6)都市計画に関する状況

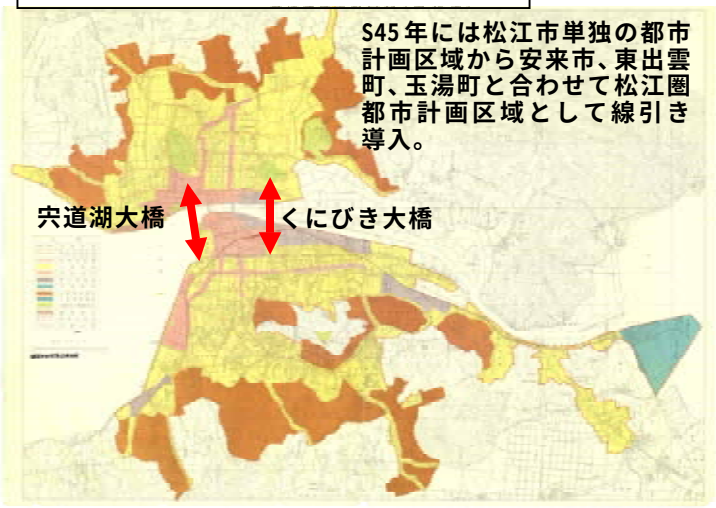
ア　これまでの都市づくり

大正 10 年ごろ

昭和 32 年(用途地域指定当初)



昭和 46 年都市計画総括図



明治期の都市計画

- 海上交通から陸上交通へシフト（主要幹線道路の整備）

戦前の都市計画

- 松江大橋を中心に 10 万人都市を目指す（土地区画整理事業、街路事業）。
- 廃藩置県により松江城三の丸跡に県庁舎建設（1909）。
- 病院、銀行等の都市施設が集積し、橋北市街地が形成。
- 鉄道が開通（1908）。松江駅と松江港を交通運輸拠点として定める。松江大橋を中心に半径 2.4km（徒歩 1 時間）圏を中心に街づくりの区域を設定。市街地の拡大を目指す。
- 宍道湖埋立て、畑地造成により大橋川南側の市街地が拡大。
- 新大橋が建設。新たな南北主要幹線を整備。

戦後の都市計画

- 街路の大幅変更と建築規制等による新しい都市計画（用途地域・線引き）の導入
- 宍道湖大橋、くにびき海岸大橋を建設。

イ　都市計画決定状況

市内の都市計画決定状況は下表のとおりです。

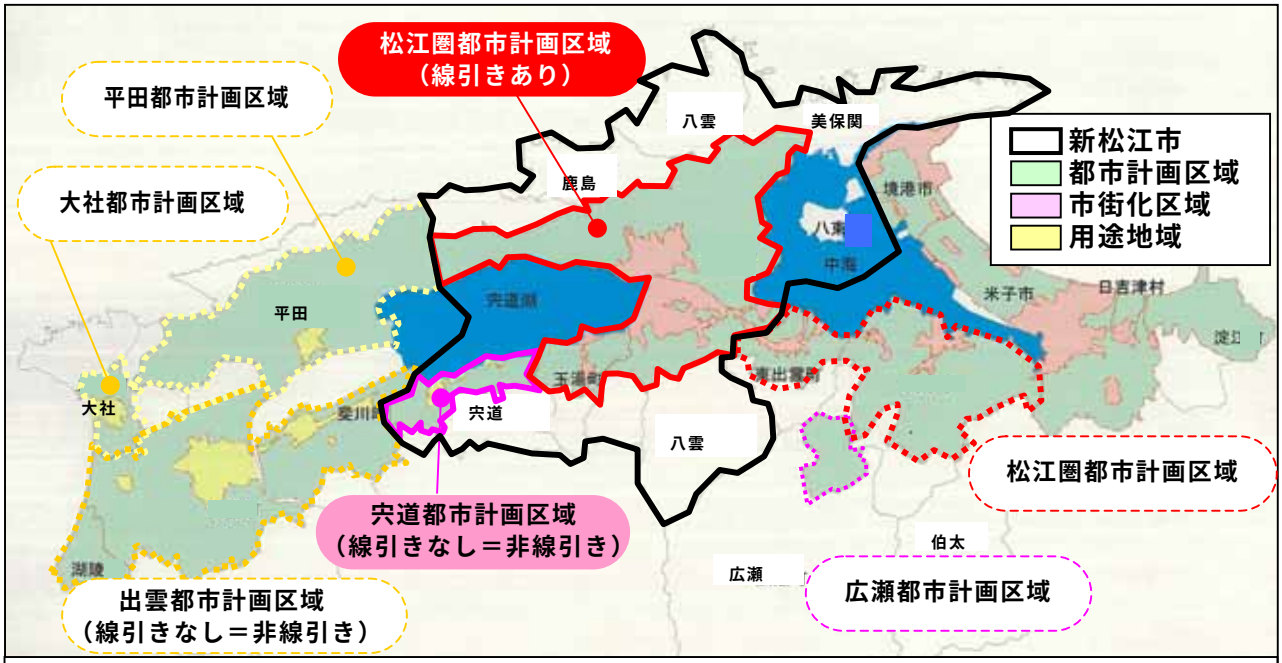
■都市計画決定状況　（平成 20 年 3 月現在）

種　　類	松江圏都市計画区域	宍道都市計画区域
都市計画区域	15,932ha	2,000ha
市街化区域	2,848ha	
市街化調整区域	13,084ha	
用途地域内	-	218.5ha
用途地域外	-	1,781.5ha
観光地区	10.4ha	
高度利用地区	(3 地区)　2.9ha	
準防火地域	232.5ha	
駐車場整備地区	305.0ha	
臨港地区	25.8ha	
道路	(77 路線)　133,390m	(4 路線)　7,170m
駅前広場	(5 箇所)　1.87ha	
都市高速鉄道	3,480 m	
駐車場	(2 箇所)　0.81ha	
公園	(35 箇所)　170.10ha	(5 箇所)　16.80ha
墓園	(1 箇所)　28.10ha	
流域下水道	3,861.0ha	358.0ha
公共下水道	3,861.0ha	358.0ha
汚物処理場	(3 箇所)　1.55ha	
ごみ焼却場	(1 箇所)2.0ha 112.5t/日 S51 供用開始	
ごみ処理場	(1 箇所)　0.80ha	(1 箇所)　0.94ha
火葬場	(1 箇所)　1.8ha　8 体/日	
土地区画整理事業	(22 地区)　465ha	
市街地再生開発事業	(3 地区)　2.9ha	
地区計画	(12 地区)　108.5ha	

資料：松江市都市計画課資料

ウ　都市計画区域の指定状況

市町村合併により、線引き都市計画区域と非線引き都市計画区域、都市計画区域の指定のない町村など、土地利用制限の異なる区域が存在しています。



○線引き（制度）とは：都市計画区域を市街化区域と市街化調整区域に分ける線を引くこと。
○市街化区域とは：市街化している区域、または 10 年以内に市街化を図る区域のこと。
○市街化調整区域とは：農林漁業の振興や自然環境を保全するため、市街化をおさえる区域のこと。
（ただし、農林漁業施設や日常生活に必要な施設、公共公益施設などは開発可能。
また、平成 14 年に指定した市街化調整区域の開発を緩和する区域や地区計画区域内であれば開発可能。）

エ　用途地域指定状況

用途地域の指定状況は、住居系 13%、商業系 2%、工業系 2%、用途地域未指定が 83%を占めています。

■用途地域指定状況

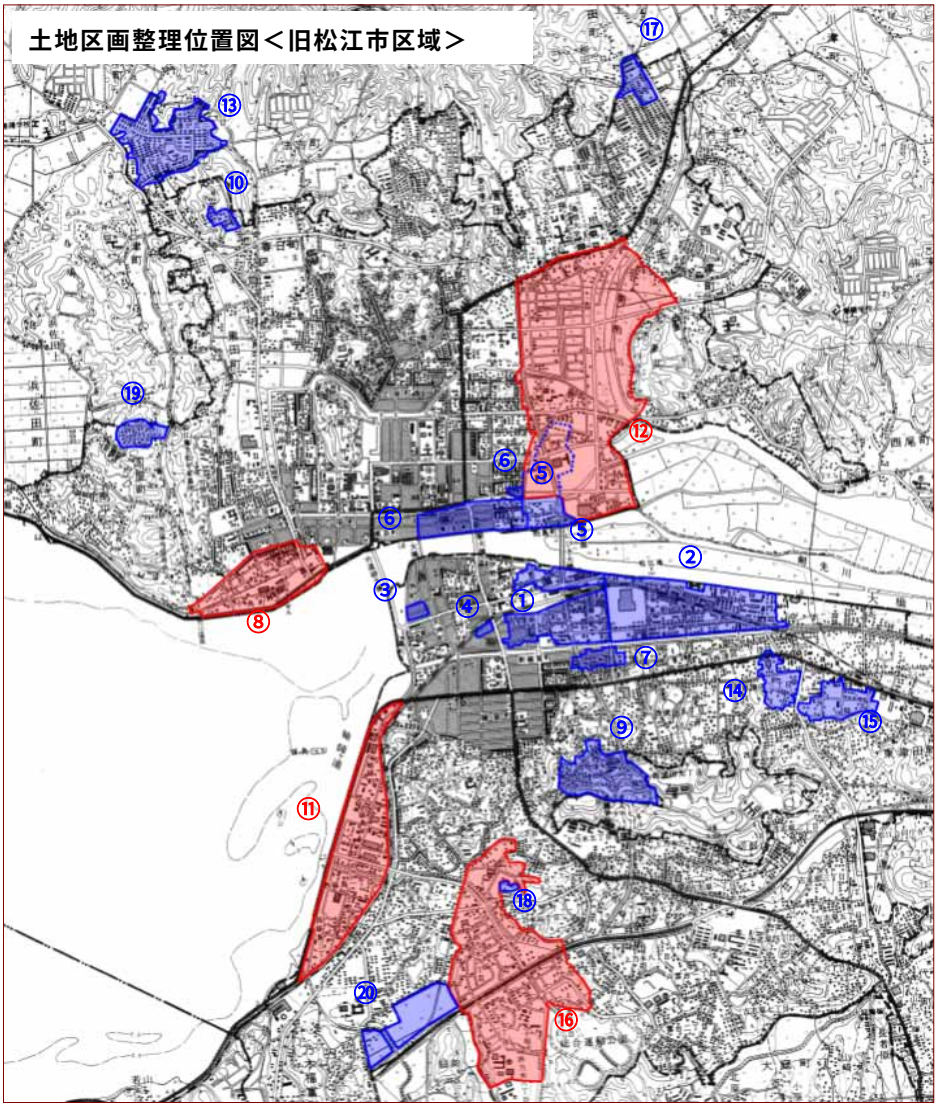
H16.3.31現在

	松江圏都市計画区域						宍道都市計画区域		松江市合算		
	（旧）松江市		（旧）玉湯町		計		（旧）宍道町				
	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	
第１種低層住居専用地域	507	(3.5)	0	(-)	507	(3.2)	0	(-)	**507**	(2.8)	
第１種中高層住居専用地域	445	(3.1)	14	(0.9)	459	(2.9)	40	(2.0)	**499**	(2.8)	
第２種中高層住居専用地域	245	(1.7)	12	(0.8)	257	(1.6)	0	(-)	**257**	(1.4)	
第１種住居地域	589	(4.1)	60	(3.8)	649	(4.1)	64	(3.2)	**713**	(4.0)	
第２種住居地域	337	(2.3)	10	(0.6)	347	(2.2)	10	(0.5)	**357**	(2.0)	**13%**
近隣商業地域	75	(0.5)	13	(0.8)	88	(0.6)	13	(0.7)	**101**	(0.6)	
商業地域	190	(1.3)	45	(2.9)	235	(1.5)	7	(0.3)	**242**	(1.3)	**2%**
準工業地域	141	(1.0)	30	(1.9)	171	(1.1)	69	(3.5)	**240**	(1.3)	
工業地域	79	(0.5)	0	(-)	79	(0.5)	16	(0.8)	**95**	(0.5)	
工業専用地域	48	(0.3)	0	(-)	48	(0.3)	0	(-)	**48**	(0.3)	**2%**
未指定	11,714	(81.5)	1,378	(88.2)	13,092	(82.2)	1,782	(89.1)	**14,874**	(82.9)	**83%**
計	14,370	(100.0)	1,562	(100.0)	15,932	(100.0)	2,000	(100.0)	**17,932**	(100.0)	

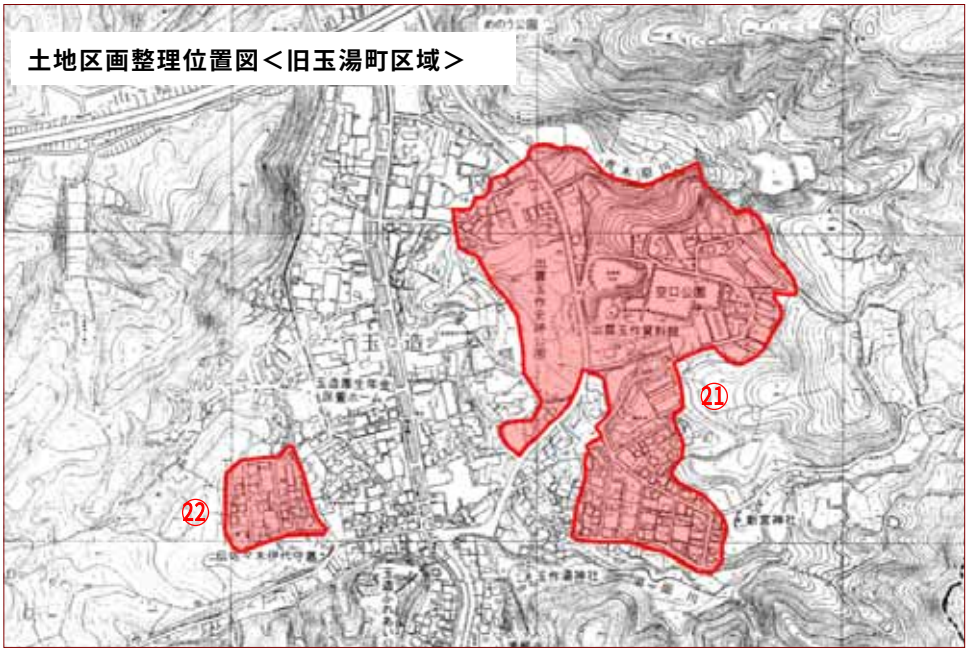
資料：松江の都市計画 2006 年度版

オ　土地区画整理事業

土地区画整理事業は全て事業完了しており、施行区域内では良好な市街地が形成されています。



①	津田村松江市連合耕地整理（1 工区）
②	津田村松江市連合耕地整理（2 工区）
③	灘町土地区画整理
④	寺町土地区画整理
⑤	向島土地区画整理
⑥	松東土地区画整理
⑦	松江境土地区画整理
⑧	湖北土地区画整理
⑨	美月土地区画整理
⑩	久米土地区画整理
⑪	嫁島土地区画整理
⑫	北部土地区画整理
⑬	比津が丘土地区画整理
⑭	森脇土地区画整理
⑮	沼土地区画整理
⑯	乃木土地区画整理
⑰	竹崎土地区画整理
⑱	西ノ原土地区画整理
⑲	新国屋土地区画整理
⑳	浜乃木･乃木福富地区土地区画整理



㉑	玉造地区土地区画整理
㉒	新御堂地区土地区画整理

凡　例	
	公共団体施行
	組合･個人施行

資料：松江の都市計画 2006 年度版

カ　都市計画道路の整備状況

都市計画道路の整備状況は、松江圏都市計画区域では 60.3%、宍道都市計画区域では 76.4%の整備率となっています。

平成 18 年 4 月 1 日現在

	計画延長	整備済延長	整備率
	(m)	(m)	(%)
松江圏都市計画区域	133,390	80,389	60.27
宍道都市計画区域	7,170	5,474	76.35

資料：松江の都市計画 2006 年度版

キ　都市計画公園の整備状況

都市計画公園の整備状況は、松江圏では 9 割以上が整備されており、宍道町は整備済みです。

■都市計画公園の整備状況（松江圏都市計画区域）

区分	公園名		計画面積 (ha)	開設面積 (ha)
街区公園	千鳥児童公園		0.15	0.15
	南平台児童公園		0.20	0.20
	笠森児童公園		0.12	0.12
	松尾児童公園		0.15	0.15
	八幡児童公園		0.32	0.32
	淞北台児童公園		0.22	0.22
	美月東児童公園		0.20	0.18
	美月西児童公園		0.32	0.32
	比津が丘児童公園		0.23	0.23
	森脇児童公園		0.15	0.15
	竹崎児童公園		0.18	0.18
	照床児童公園		0.17	0.17
	沼児童公園		0.18	0.18
	菅田児童公園		0.26	0.26
	玉造ふれあい公園		0.76	0.76
	宇賀公園		0.20	0.20
	うぐいす公園		0.40	0.40
	国尾公園		0.40	0.40
	下沢公園		0.21	0.21
	比津ヶ丘東児童公園		0.49	0.49
	川口児童公園		0.30	0.30
	東淞北台児童公園		0.41	0.41
	橋本街区公園		0.38	0.38
	楽山西街区公園		0.12	0.12
	小計	**箇所数**	**24**	**24**
		面積	**6.52**	**6.50**

区分	公園名		計画面積 (ha)	開設面積 (ha)
近隣公園	松江湖畔公園		9.90	9.10
	内訳	千鳥南公園	0.60	0.60
		末次公園	0.80	0.80
		白潟公園	3.00	2.60
		岸公園	2.80	2.80
		嫁ヶ島公園	0.20	0.20
		袖師公園	2.50	2.10
	緑山公園		2.60	1.30
	空口公園		1.28	1.28
	菅田公園		1.40	1.40
	小計	**箇所数**	**4**	**4**
		面積	**15.18**	**13.08**
総合公園	北公園		8.40	8.40
	楽山公園		21.90	21.30
	秋鹿湖畔公園		31.30	31.30
	小計	**箇所数**	**3**	**3**
		面積	**61.60**	**61.00**
運動公園	松江総合運動公園		35.30	35.30
	小計	**箇所数**	**1**	**1**
		面積	**35.30**	**35.30**
歴史公園	玉作公園		3.80	3.80
	城山公園		19.60	21.50
	小計	**箇所数**	**2**	**2**
		面積	**23.40**	**25.30**
墓園	松江市公園墓地		28.10	14.30
	小計	**箇所数**	**1**	**1**
		面積	**28.10**	**14.30**
合計		**箇所数**	**35**	**35**
		面積	**170.10**	**155.48**

■都市計画公園の整備状況（宍道都市計画区域）

区分	公園名		計画面積 (ha)	開設面積 (ha)
街区公園	荻田児童公園		0.16	0.16
	要害山児童公園		0.39	0.39
	下白石児童公園		0.13	0.13
	亀島児童公園		0.20	0.20
	小計	**箇所数**	**4**	**4**
		面積	**0.88**	**0.88**

区分	公園名		計画面積 (ha)	開設面積 (ha)
総合公園	宍道総合公園		15.92	15.92
	小計	**箇所数**	**1**	**1**
		面積	**15.92**	**15.92**
合計		**箇所数**	**5**	**5**
		面積	**16.80**	**16.80**

資料：松江の都市計画 2006 年度版

ク　公共下水道の整備状況

計画面積のうち、宍道を除き事業認可されています。

市平均では９割以上が整備完了となっていますが、美保関、八雲、玉湯は平均を下回っています。

■公共下水道の認可状況

処理区	松江処理区	玉湯処理区	宍道処理区
計画面積（ha）	3,556.0	285.0	503.0
計画人口（人）	147,900	5,630	9,240
計画管渠延長（m）	汚水：60,130 雨水：36,130	汚水：9,150 雨水：7,520	汚水：10,190 雨水：10,430
事業認可区域（ha）	3,556.0	285.0	331.0

資料：松江の都市計画 2006 年度版

■汚水処理の整備状況（平成 18 年度末現在）

地区	行政	汚水処理人口(人)						汚水処理人口普及率 (%)					
	人口	公共	農集	漁集	コミプラ	浄化槽等	計	公共	農集	漁集	コミプラ	浄化槽等	計
松江	147,737	116,453	12,744	416	1,662	5,440	136,715	78.8	8.6	0.3	1.1	3.7	92.5
鹿島	7,930	2,956	2,849	1,611	0	514	7,930	37.3	35.9	20.3	0.0	6.5	100.0
島根	4,225	146	1,521	2,475	0	83	4,225	3.5	36.0	58.6	0.0	2.0	100.0
美保関	6,376	1,356	627	2,330	0	134	4,447	21.3	9.8	36.5	0.0	2.1	69.7
八雲	7,144	3,112	0	0	0	2,469	5,581	43.6	0.0	0.0	0.0	34.6	78.1
玉湯	6,213	4,931	0	0	0	301	5,232	79.4	0.0	0.0	0.0	4.8	84.2
宍道	9,560	5,563	3,244	0	0	128	8,935	58.2	33.9	0.0	0.0	1.3	93.5
八束	4,464	1,452	2,999	0	0	13	4,464	32.5	67.2	0.0	0.0	0.3	100.0
全　市	193,649	135,969	23,984	6,832	1,662	9,082	177,529	70.2	12.4	3.5	0.9	4.7	91.7

注：汚水処理人口普及率は旧市町村の行政人口に対する処理割合。

資料：松江市下水道工務課資料

(7)都市の災害、事故等

ア　交通事故の発生状況

交通事故件数の推移をみると、年間の総件数は約 1,000 件程度で推移していますが、近年においては、わずかに減少しています。

■交通事故件数の推移　（単位：件、人）

年次	総数	速度	無免許	飲酒	その他	死者	負傷者
平成 13 年	1,195	65	－	－	1,130	14	1,282
平成 14 年	1,100	70	－	－	1,030	15	1,157
平成 15 年	1,133	74	－	1	1,058	16	1,286
平成 16 年	1,075	70	－	2	1,003	4	1,264
平成 17 年	918	52	－	－	866	10	1,044

注）松江警察署管内　　資料：松江警察署資料

イ　犯罪の発生状況

犯罪の発生件数の推移をみると、年間の総件数は約 3,000 件程度で推移していますが、近年においては、わずかに減少しており、さらに検挙率も高まっています。

■犯罪の発生件数の推移

(単位:件)

項 目	平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年	
	発生	検挙	発生	検挙	発生	検挙	発生	検挙	発生	検挙
総 数	**3,511**	**1,161**	**3,390**	**1,362**	**3,252**	**1,009**	**3,114**	**1,195**	**2,473**	**1,026**
殺 人	1	1	3	3	1	1	2	1	1	1
強 盗	4	3	8	3	3	4	4	4	2	1
放 火	2	-	-	1	2	1	3	2	-	-
暴 行	38	24	30	14	25	12	26	16	26	14
傷 害	44	38	42	31	45	35	44	29	40	39
脅 迫	6	4	8	5	8	5	8	6	4	4
恐 喝	23	12	18	11	14	8	14	9	19	16
窃 盗	2,715	779	2,464	1,026	2,352	663	2,338	843	1,806	704
詐 欺	158	137	124	47	158	83	135	84	72	58
横 領	4	2	13	5	4	7	8	6	6	8
その他	516	161	680	216	640	190	532	195	497	181

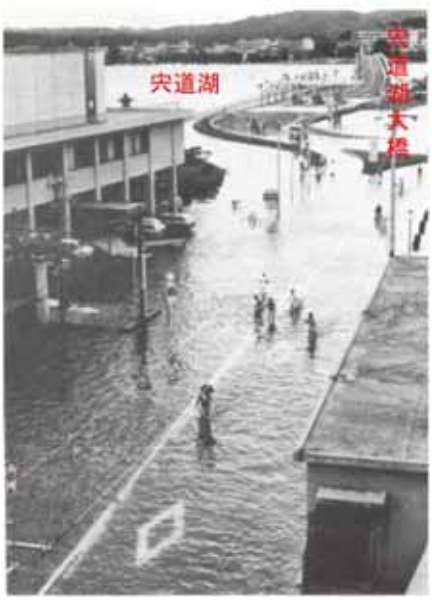
注）松江警察署管内　　資料：松江警察署資料

ウ　都市の災害

松江市は地盤の低い部分に市街地が形成されています。このため、昭和 47 年 7 月の豪雨では、宍道湖の水位が上がり、松江市街地や農地が広範囲にわたり長期間浸水しました。

さらに、平成 18 年 7 月の豪雨では、地盤の低い大橋川周辺を中心に松江市街地が 2 日間にわたり浸水しました。特に幹線道路や橋が通行止めとなり、直接的な浸水被害に加えて社会的にも市民生活や経済活動に大きな影響が出ました。

昭和４７年７月の豪雨(宍道湖)大橋付近



資料：出雲河川事務所ホームページ

平成１８年７月の豪雨(松江市朝日町・ＪＲ松江駅前)

資料：庁内資料

平成 12 年の鳥取県西部地震においては、八束町などで、家屋の損壊に加えて臨海部の埋立地や干拓地で地盤の液状化が広範囲で発生し、流通・港湾・漁業施設、農地や農業施設などに甚大な被害が発生しました。

(8)情報環境の整備状況

ケーブルテレビやブロードバンドなど、情報環境は整いつつありますが、一部の地域では、情報環境整備が整っていない世帯がみられます。

指標	現状値（H17)
ケーブルテレビ世帯カバー率	84%
ブロードバンド世帯カバー率	92%
ケーブルテレビ加入者数	33,550 件

資料：松江市総合計画

資料編第２　上位計画、関係法令等

１．上位計画について

松江市都市計画マスタープランに関する上位計画について、次のように整理します。

(1)松江市総合計画

計画期間	目標年次：平成28年/（平成19年5月策定）
都市づくりの基本理念	①はるかな歴史・水と緑を大切にするまちづくり ②人・心・ゆとりを大切にするまちづくり ③人がいきいきと活気あふれるまちづくり
将来都市像	**水と緑、歴史と教育を大切にし 伸びゆく国際文化観光都市・松江**
基本目標（施策大綱）	● 豊かな自然をまもり、美しい都市空間をつくる ● 歴史と文化を大切にし、豊かな心を育むまちをつくる ● 安心して、安全に生活できるまちをつくる ● 癒しと温もりに満ち、いきいきと暮らせるまちをつくる ● 活力ある産業と魅力ある観光で豊かな都市をつくる ● 快適で交流が盛んな都市をつくる ● ともに手をたずさえてすめるまちづくり
都市空間	● 自然空間の保全 ● 優良農地の活用・保全 ● 中心市街地の整備 ● 拠点地区の整備（旧7町村） ● 連携・交流の基盤整備 （放射道路、環状道路、循環道路、高速自動車道、鉄道、航空路、港湾）

(2)松江市新市まちづくり計画

計画期間	目標年次：平成26年/（平成16年2月策定）
まちづくりの基本理念	● 生活環境都市：住民が健康で快適に生き生きと暮らせるまちづくり ● 産業交流都市：産業の活力向上を図り若者が定住する魅力あるまちづくり ● 教育文化都市：地域文化を守り創ると共に豊かな人材を育てるまちづくり
将来像	**山陰をリードする経済・生活・文化中核都市**
基本施策の方向	① 山陰の中核にふさわしい都市基盤整備 ② 自然と調和し、住民に快適な生活環境の整備 ③ 心豊かなひとづくりを目指す教育文化の振興 ④ 健康で安心な暮らしができる保険医療と福祉の充実 ⑤ 地域の特性と資源を生かした産業の振興

次ページに地域別整備方針を示します。

地域別整備方針（ゾーニング）

資料：平成 16 年松江市　新市まちづくり計画

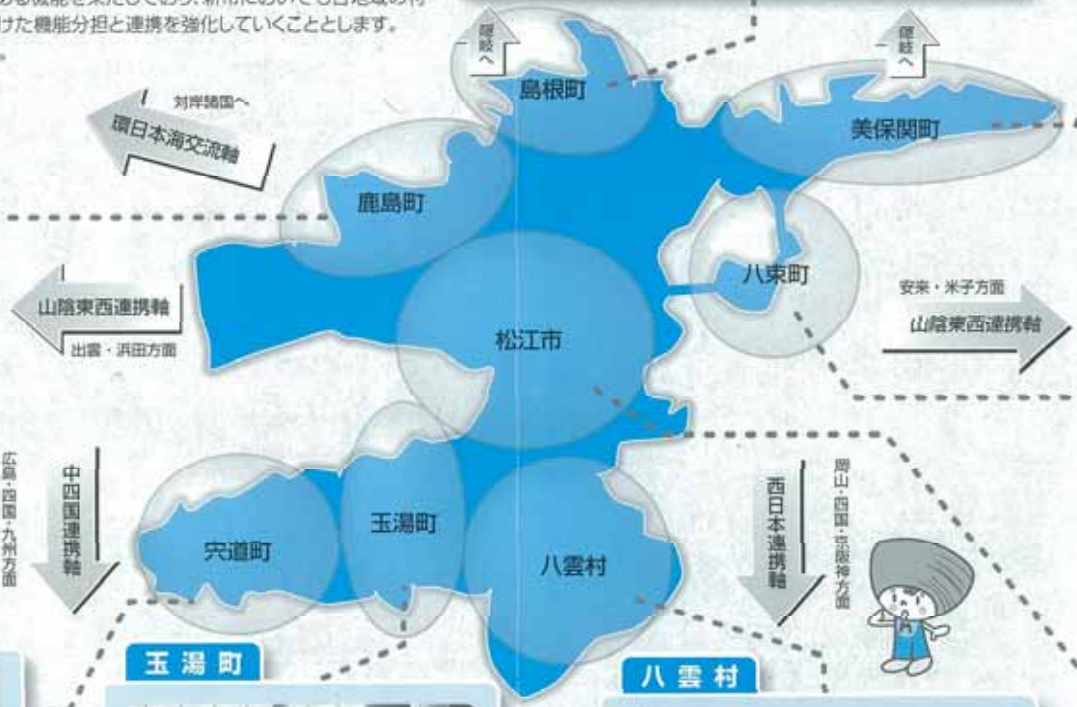
地域別整備の方針

新市の将来像及びまちづくりの基本理念の実現に向け、以下のような新市の空間構成（地域別整備の方針）を基本に、８市町村の連携のもと魅力あふれる新市のまちづくりを目指していきます。

1.多様な8市町村の地域個性の強化と連携

松江･八束の8市町村は、それぞれが独特の魅力ある機能を果たしており、新市においても各地域の特性を十分ふまえ、住み良く魅力ある都市の形成に向けた機能分担と連携を強化していくこととします。

各地域ゾーンの振興イメージは下記のとおりです。



島根町

漁業・マリンリゾートゾーン

島根半島の変化に富んだ風光明媚な海岸線と景勝地を活かし、人と自然がふれあい心のやすらぎを与えるマリンリゾート拠点として、海洋レジャーと水産観光業の振興を図ります。

美保関町

海・歴史・文化交流ゾーン

出雲神話の舞台として引き継ぐ多くの歴史的･文化的遺産と、漁業資源が豊富な島根半島の水域を活かし、歴史文化の情報発信拠点として、また、観光及び水産業の拠点としての整備を進めます。

鹿島町

生鮮食料品の供給・エネルギー供給ゾーン

圏域随一を誇る豊かな漁業資源を活かした水産業の高度化と高付加価値化を図るとともに、中国地方唯一の原子力発電所立地によるエネルギー供給拠点としての地域振興整備を進めます。

八束町

付加価値農業生産ゾーン

特産品である牡丹と薬用人参の高付加価値化･販路拡大による農業の振興を図るとともに、周囲を中海に囲まれた島の特性を活かした観光産業の強化と、土地の有効利用による定住促進を図ります。

宍道町

交流・物流ゾーン

山陰の東西や山陽･四国方面を結ぶ交通の要衝として、また、出雲空港に隣接する新市における西の玄関口として、これからの高速交通時代における交流･物流拠点としての整備を進めるとともに、交通利便性を活かした定住機能の強化を図ります。

玉湯町

いで湯のまち観光ゾーン

全国に誇れる玉造温泉･ののう･出雲神話の史跡や文化財を活かした観光の振興･観光情報の発信に努め、神代からのいで湯のまち温泉保養拠点としての整備を進めます。

八雲村

都市農村交流・国際文化交流ゾーン

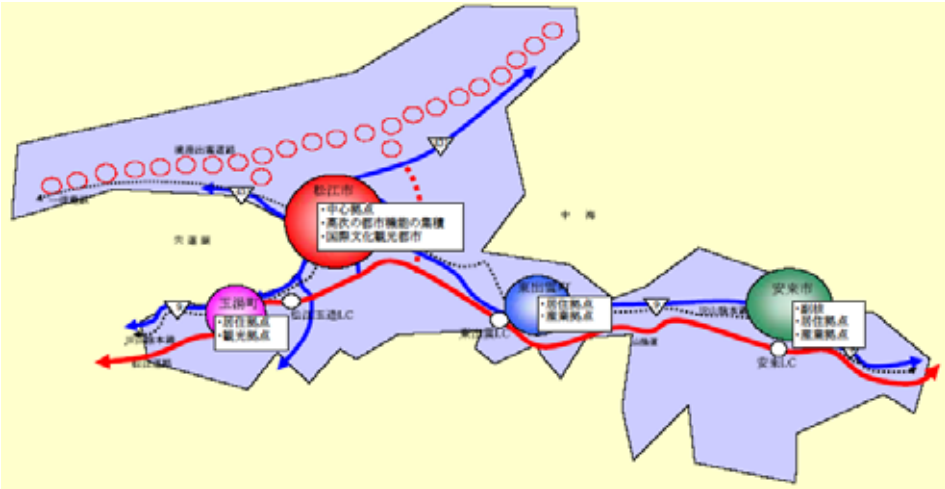
市街地近郊に拡がる恵まれた田園環境の特性を活かし、都市と農村が交流する新しい時代の農村の振興を図るとともに、手作りで進めている国際交流･文化交流の拠点としての整備を図ります。

松江市

新市の中核ゾーン

政治･経済･文化等の新市の中枢として、都市基盤･産業基盤の整備を図り、賑わいと生活利便性を備えた都市機能拠点づくりを進めるとともに、豊かな歴史遺産･美しい自然景観を活かした観光振興と交流人口の更なる拡大を図ります。

(3)松江圏都市計画区域マスタープラン

計画期間	目標年次：平成22年/（平成16年1月策定）	
まちづくりの基本理念	● 高速交通体系に対応したまちづくり ● 魅力的な都市文化を享受できる都市基盤の整備 ● 豊かさと活力を生み出す産業の集積 ● 中心市街地の活性化 ● 自然や既存集落と共生する健やかな都市の形成 ● 安心して暮らせるまちづくり ● 地域の個性を生かした観光都市の形成将来像	
地域毎の市街地像	松江	県都である松江市は、本区域の中心核として、高次の都市機能が集積した拠点を形成する。また、「艶やかな水苑の都」として、宍道湖等の優良な自然景観と松江城を中心とした伝統的文化財を生かした魅力的な国際文化観光都市を目指す。
	玉湯	玉湯町は、温泉街を中心に観光拠点としての役割を果たすとともに、良好な住宅地供給を行い、「お湯と緑と幸せあふれるまち」として居住・観光都市を目指す。
		
区域区分の方針	下記の理由から、区域区分を定めるものとする ・昭和45 年から適用されている区域区分制度により、都市の高度な発展と、郊外部での良好な営農環境や自然環境の保全が図られてきており、都市計画法の理念である「農林漁業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動の確保」を図るため、引き続き計画的な土地利用を規制・誘導する必要があること ・山陰道や中国横断道路の開通により、広域的な交流による人口・産業の拡大が期待されるとともに、インターチェンジ周辺の開発等が積極的に進められていること ・松江圏の中心的役割を担う松江市は、島根県の政治・経済・文化の中心として高度に発展しており、「島根県長期計画」においても、「日本海国土軸」の山陰の拠点として高次の都市機能の集積を図る都市とされていること ・安来市は、安来ハガネを中心とした島根県を代表する工業都市として発展している一方で、近年、人口は減少の傾向であるが、米子市と松江市の中核都市の間に位置し潜在的な土地需要は高いと考えられること ・東出雲町は、工業都市として発展してきたが、干拓農業や市街地開発事業による大型商業施設の集積や宅地開発等、総合的な都市として成長しており、人口も高い割合で増加していること ・玉湯町は、松江市のベッドタウンとして、また、全国有数の温泉地として発展してきており、国道９号松江道路の整備を契機として、新たなまちづくりが鋭意進められていること	

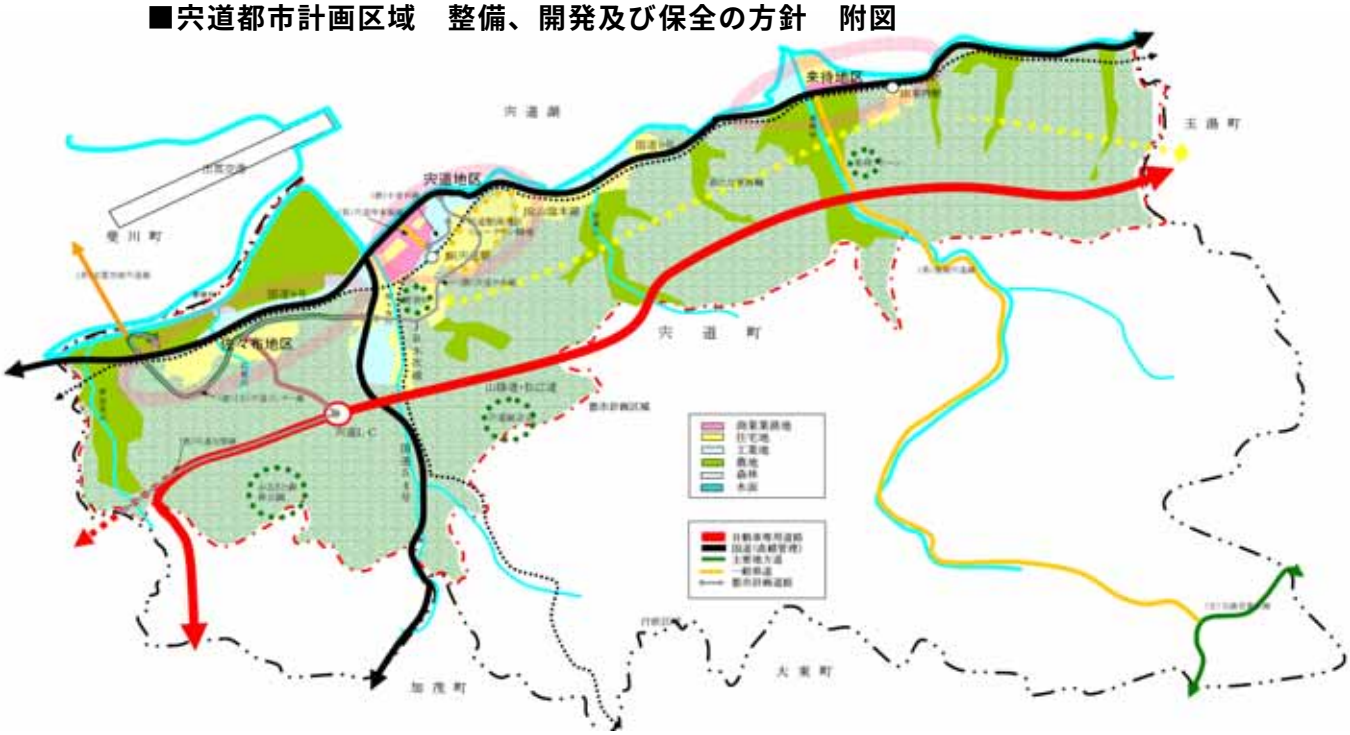
<table>
<tr><td rowspan="10">土地利用に関する主要な都市計画の決定方針</td><td colspan="2">市街化区域の主要用途の配置方針</td></tr>
<tr><td>住宅地</td><td>・利便性の高い都市型居住を目指した中層住宅を主体とした比較的高密な住宅地の形成を図る。
・良好な居住環境を有する住宅地として低密度な利用を図る。
・比較的良好な低層の住宅地が形成されている区域については、今後も居住環境を維持し、環境と共生したゆとりある低密な住宅地を形成する。</td></tr>
<tr><td>業務地</td><td>・都市の中心核として土地の高度利用を図り、商業業務や公共サービス等の多様な機能の集積したにぎわいのある高密度の業務地とする。</td></tr>
<tr><td>商業地</td><td>・利便性の高い地区では高密度の利用を図り、潤いのあるオープンスペースの確保など、都市型の景観形成に努める。
・沿道型商業地は低密度の商店街を、日常販売をまかなう商業地については、低中密度の商店や住宅による街並みを形成する商業地とする。</td></tr>
<tr><td>工業地</td><td>・まとまりのある工業地については、周辺環境に配慮されたゆとりある操業環境を目指し、低密度の工業地とし、地場産業等の既存工業地についても低密度な利用とする。</td></tr>
<tr><td>流通業務地</td><td>・流通業務地については施設の合理化、近代化を進め、低密度な利用とする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">市街化調整区域の土地利用の方針</td></tr>
<tr><td colspan="2">・「佐陀川」、「意宇川」等の川沿いの穀倉地帯では大規模経営に徹した農地や生産性の高い農地が存在しており、引き続き良好な農地として保全を図る。
・優れた自然の風景を有する「宍道湖北山自然公園」を中心とする周辺の区域、南部丘陵地一帯における良好な樹林地、神社、古墳群地区については、都市的開発を抑制し、現在の土地利用を保全する。
・コミュニティの維持や回復を図るべき集落、主要幹線沿道等の区域、あるいは計画的な市街地整備が行われた区域、あるいは行われることが確実な区域等では、市街化を抑制しつつも、優良農地、自然環境の保全、優れた自然景観に配慮しつつ地域特性を考慮した整備開発保全策を講じる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針図（参考）

</td></tr>
<tr><td rowspan="4">概ね 10 年以内に整備又は着手することを予定している主要な施設</td><td>道路</td><td>（都）東津田連絡線、（都）東津田下東川津線、（都）袖師大手前線、（都）城山北公園線、（都）北公園西尾線、（都）東津田鼻曲線、（都）松江停車場白潟線、（都）北循環線、（都）小浜堂の前線、(仮称)東津田中央線、（都）布志名林線、（一）浜乃木湯町線</td></tr>
<tr><td>下水道</td><td>整備水準の目標に掲げた下水道普及率を達成するため流域関連公共下水道や農業集落排水の整備を促進する。また、流域関連公共下水道の普及に対応して終末処理場（宍道湖東部浄化センター）の処理能力の向上を図る。</td></tr>
<tr><td>河川</td><td>大橋川の改修、中海・宍道湖の湖岸堤整備、朝酌川、中川、忌部川等の改修</td></tr>
<tr><td>公園</td><td>総合公園：楽山公園、特殊公園：城山公園、運動公園：松江総合運動公園</td></tr>
<tr><td>市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定方針</td><td>市街地再開発事業</td><td>殿町地区</td></tr>
</table>

(4)宍道都市計画区域マスタープラン

計画期間	目標年次：平成22年/（平成16年1月策定）	
都市づくりの基本理念	● 優れた交通結節点を生かした交通・物流基盤の計画的な整備により都市基盤の充実に努め、都市機能の向上及び良好な居住環境の整備を図る。 ● 地場産業等既存の土地利用との調和を図りつつ、新たな産業の立地や集積を進め、都市の自立性を高める。 ● 若者の定住促進と豊かな暮らしを実現するための良好な住宅および住宅地の供給を促進するとともに、住環境の整備を進める。 ● 豊かな自然・歴史・風景の保全・活用や農業的土地利用との整合を図ることによる環境共生型の都市づくりを進める。	
地域毎の市街地像	宍道	本区域の中心核として、ＪＲ宍道駅を中心とした地域の道路、公園等の整備及び、面的開発による市街地の整備を図ることにより、利便性が高く活気あふれる都市拠点を目指す。
	佐々布	宍道インターチェンジを活用した、流通業務施設の整備や、良好な住宅地の整備を図る。また、国道９号沿道には、沿道サービス型の業務施設の集積を図る。
	来待	本区域の副核として、松江市に近い立地条件を利用して、周辺の自然環境と調和のとれた良好な住宅地として整備するとともに、地場産業の振興を図る。
区域区分の有無	下記の理由から、区域区分を定めないものとする	
	人口、産業の動向から、今後市街地の無秩序な拡大は見込まれないこと。また、これまで区域区分を設定しなくても、優良な営農環境や自然環境が適切に保全され、都市基盤、産業基盤、住宅団地等の整備が計画的に進められてきたこと等、いずれの観点からも区域区分を設定する必要性は低く、本都市計画に区域区分は定めないものとした。	
概ね 10 年以内に整備又は着手することを予定している主要な施設	道路	自動車専用道路：（都）宍道出雲線（「山陰道」） 幹線道路：（都）宍道中央線、（都）小宮田線
	下水道	平成 22 年の整備水準を達成するために、公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽を整備する
市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定方針	市街地再開発事業	宍道駅南地区: 宍道駅南ニュータウン開発事業（仮称）

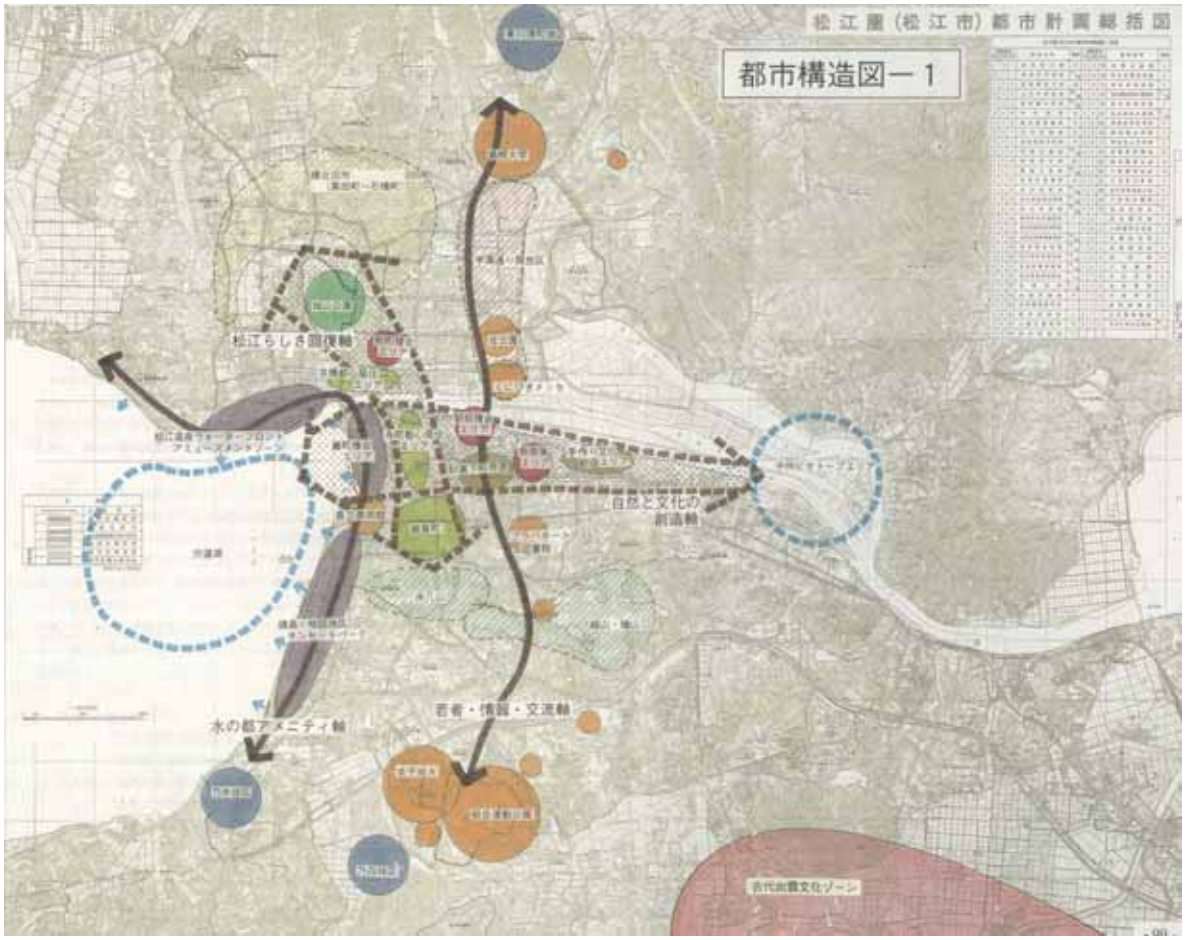
■宍道都市計画区域　整備、開発及び保全の方針　附図



(5)松江市都市マスタープラン

計画期間	目標年次：平成27年/（平成8年3月策定）
将来都市像	**艶やかな水苑の都**
基本目標	①成熟した大人の美しさを持つ都市 ②ヒューマンスケール感の残る都市 ③自立した都市 ④安らぎを与える都市 ⑤個性と活力を備えた都市 ヒューマンスケール：人が快適に感じられる距離感や空間
松江市の人口動態と広域的特性	①若年層の定住を図る高度な職場、産業の育成 ②総合的な定住の環境づくり ③交流人口の最大化を重視したまちづくり ④出雲－松江－米子 50 万人圏域の実現 推計人口：H7　147,414 人→H27 年 154,000 人（H17 年 152,000 人）

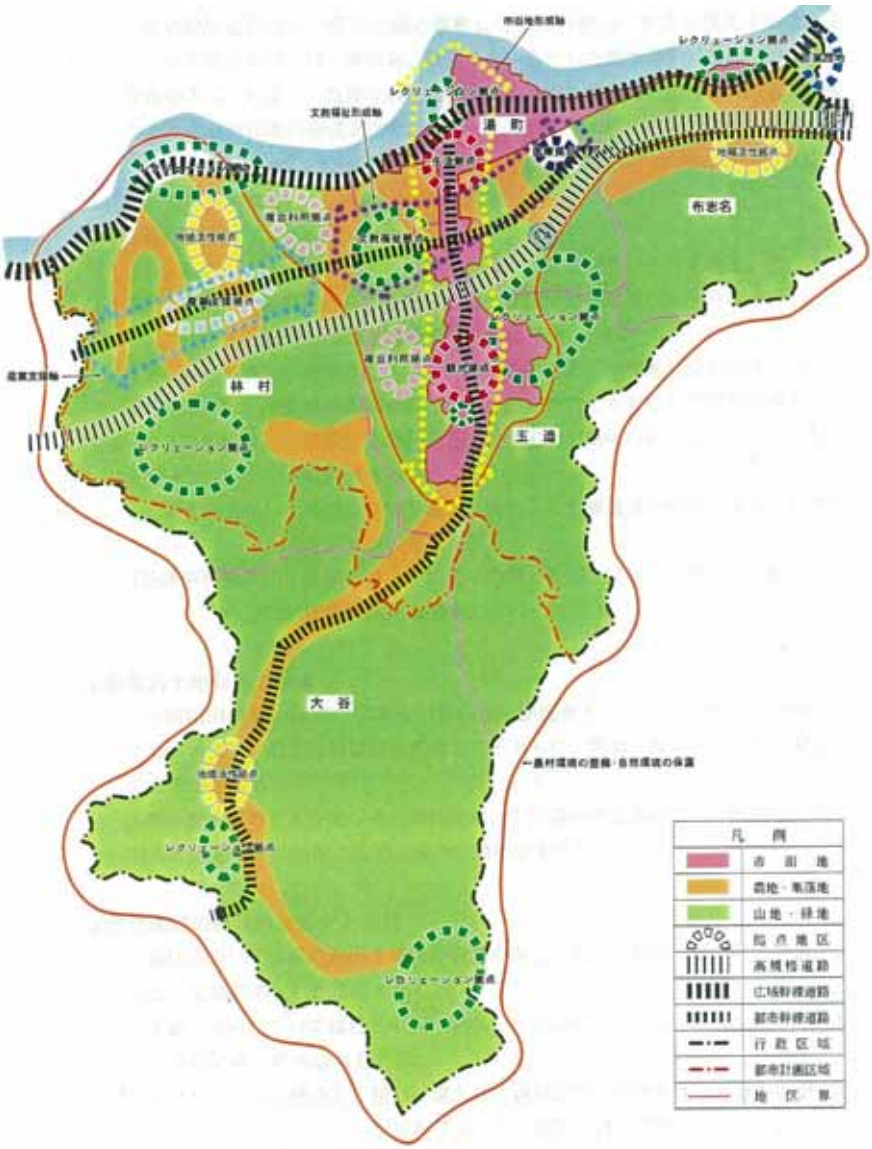
■将来都市構造図



(6)玉湯町都市計画マスタープラン

計画期間	目標年次：平成17年（中期）、平成27年（長期）/（平成9年7月策）
将来都市像	お湯と緑と幸せあふれるまち
基本目標	①骨格交通体系の確立 ②適正かつ計画的な土地利用の形成 ③住環境整備の推進 ④レクリエーション拠点の整備とネットワーク化の推進 推計人口：行政区域　H7　6,119 人→H17　6,300 人 市街化区域 H7　3,193 人→H17　3,350 人

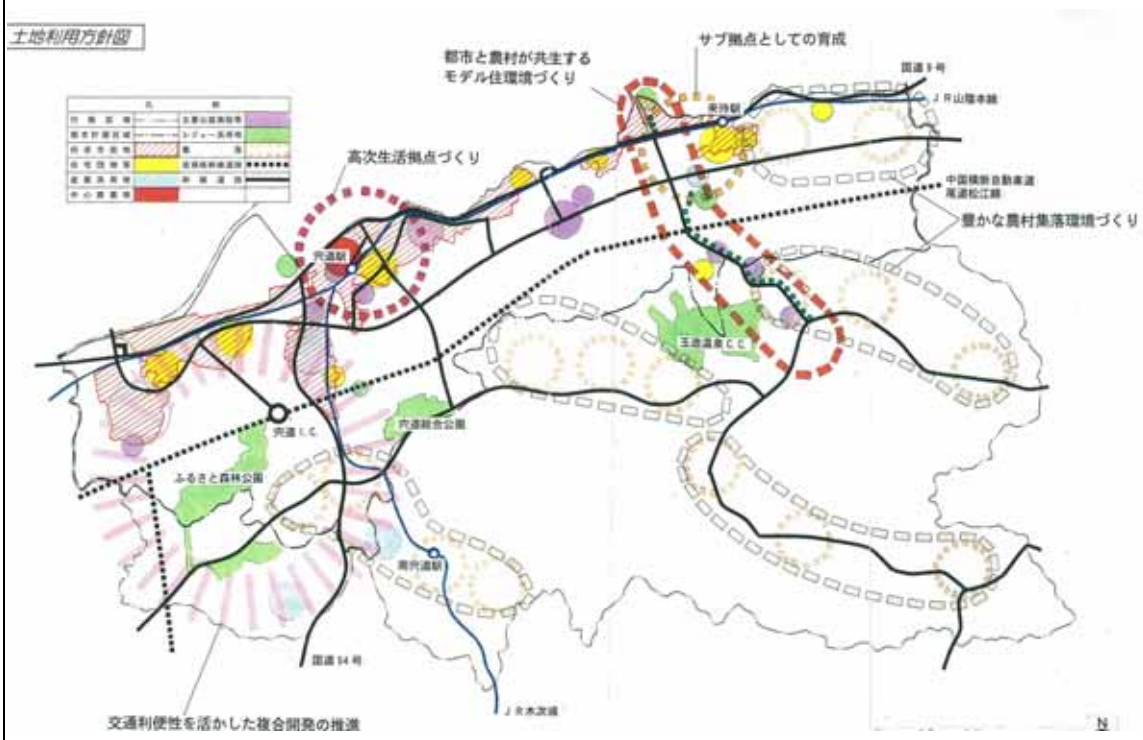
■将来都市構造図



(7)宍道町都市マスタープラン

計画期間	目標年次：平成17年（中期）、平成27年（長期）/（平成10年3月策定）
将来都市像	**未来(あした)の夢をかなえてくれるシンデレラタウンしんじ**
基本目標	①優れた交通結節性を生かした交通・物流基盤づくり ②新産業の誘致と地場産業の振興による足腰の強い産業基盤づくり ③若者定住促進と豊かな暮らしを実現するための生活基盤づくり ④宍道町のより高いイメージ形成に資する魅力づくり 推計人口：行政区域　H7　9,681 人→H17　10,500 人 用途地域　H7　3,955 人→H17　5,440 人

■土地利用方針図

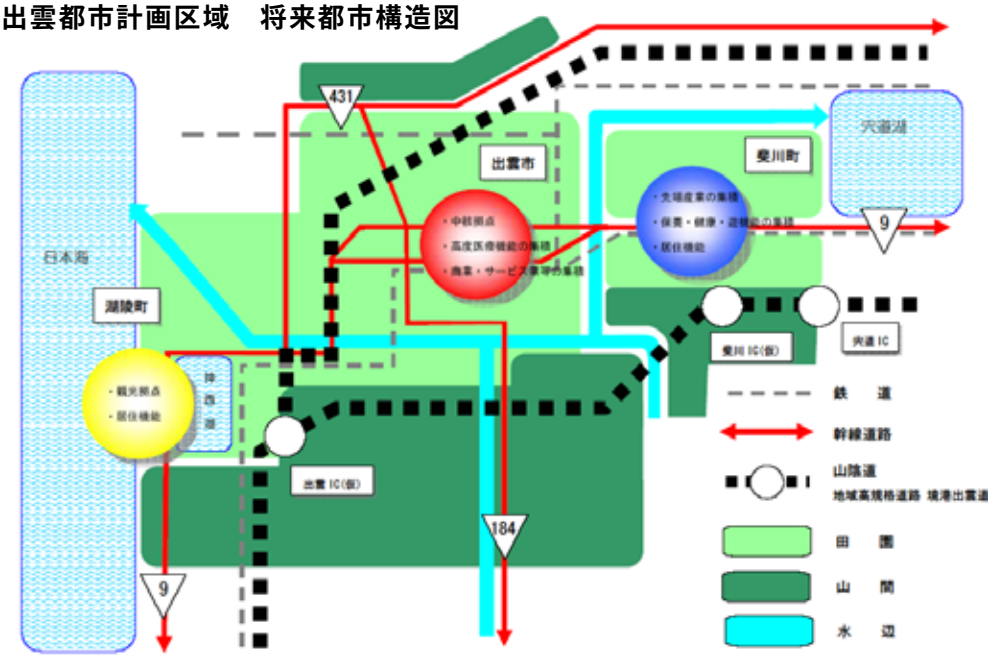


２．宍道湖･中海圏域における関連計画

(1)出雲都市計画区域マスタープラン

計画期間	目標年次：平成22年/（平成17年策定）	
都市づくりの基本理念	● 広域的な交流の促進を図るため、「山陰道」、地域高規格道路「境港出雲道路」及び「出雲空港」の整備・拡充を図り、山陰の拠点都市として、松江市及び周辺市町と連携しながら、人と物の交流都市をめざす。 ● 魅力ある高次都市機能の充実を図るため、優先的に市街地の整備を図る。特に、中心市街地の有効・高度利用を図るとともに、未利用地の整序、面的整備を行った区域の定住促進を図る。 ● 生活環境の優れた、住み続けたいと思える安心・安全なまちづくりを目標に、生活道路、身近な公園、下水道等の充実を図るとともに、地域住民の文化活動が盛んな定住文化都市をめざす。 ● 自然公園や史跡を有機的に結びつけ、出雲圏らしさ（地域特性）を生かした観光及びレクリエーション都市をめざす。また、森林資源やレクリエーション拠点を活用した自然とのふれあいをテーマとする教育・文化機能の充実を図る。 ● 市街地周辺に広がる田園環境と市街地及び郊外既存集落が調和のとれた秩序ある都市形成をめざす。 ● 魅力ある商業機能の向上及び地場産業の振興を図るため中小企業の支援や伝統産業の振興を図るとともに、地域産業の高度化、複合化等を促進するなど産業基盤の充実を図る。 ● 島根県の健康福祉の先導的役割を担うため、保健・医療・福祉の充実した都市を目指す。	
地域毎の市街地像	出雲	出雲圏域の中心都市であり、「安全安心な交流拠点都市」として、集積する高度医療・福祉機能を一層強化連携し、地域全体の医療福祉環境を牽引していくとともに、商業・サービス業等の集積による都市核の形成など多様な高次都市を目指す。
	斐川	県内最大の工業拠点として各工業団地への企業誘致を促進するとともに魅力ある住宅地供給を行い、圏域の副核として、また、優良な自然景観と伝統的文化財を生かした「明るく創造的な生活・産業都市」として、就業機会の充実、保養・健康・遊機能都市を目指す。
	湖陵	豊かな自然が良好に保持され、神西湖及び神西湖西岸周辺の温泉を中心とした観光拠点としての役割を果たすとともに、生活環境の整備された「水と緑あふれるまち」として居住・観光都市を目指す。
区域区分の有無	増加人口については、用途地域内の農地を土地区画整理事業等により、計画的に都市的土地利用に転換することで、収容可能であることから、区域区分を定めないものとする	

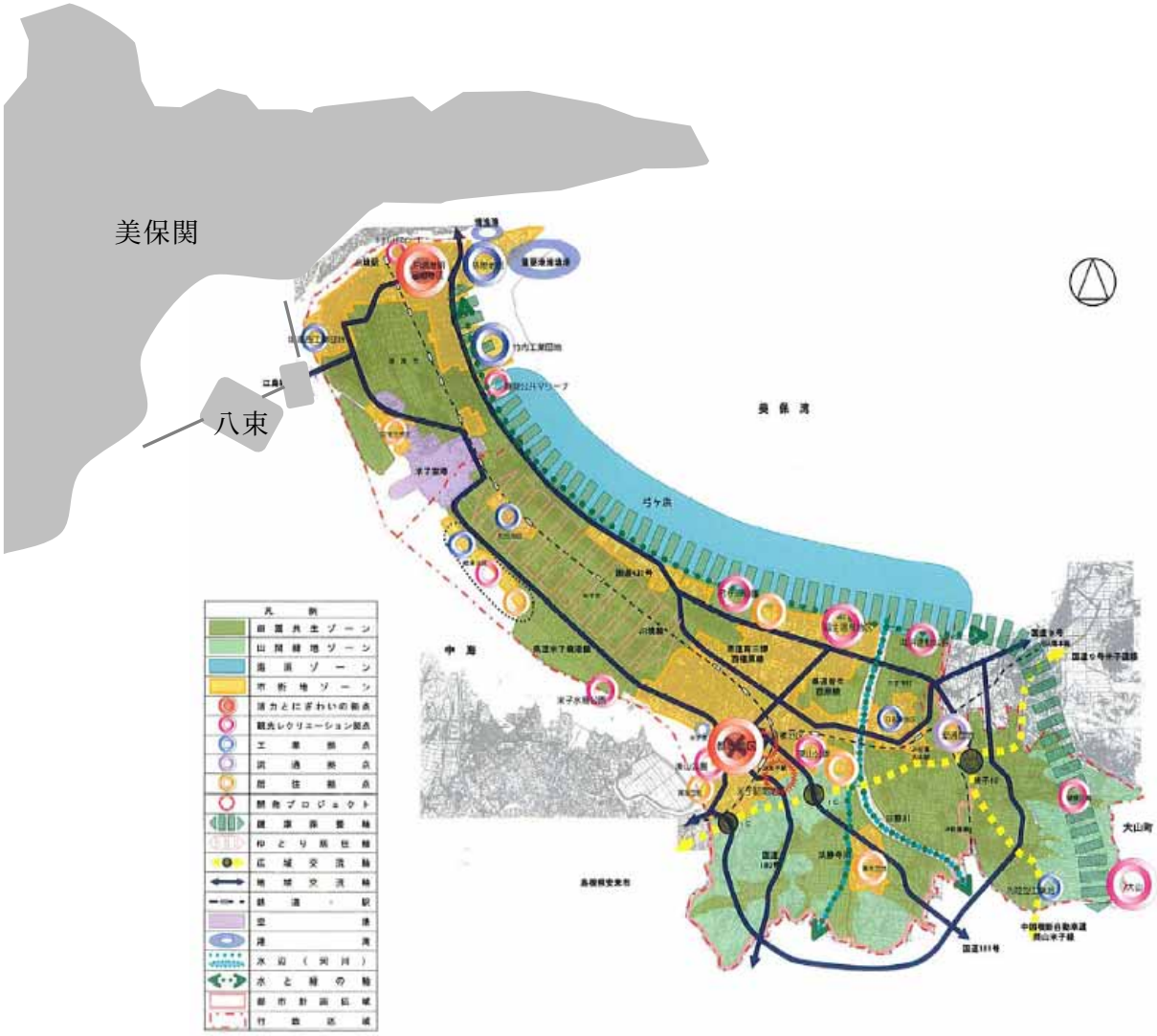
■出雲都市計画区域　将来都市構造図



(2)米子境港都市計画区域マスタープラン

計画期間	目標年次：平成22年/（平成17年策定）	
基本理念	住民が主役で市町村が主体の効率の良い特色あるまちづくり	
基本目標	● 無駄を排した効率的なまちづくり ● 個性のあるコンパクトなまちづくり ● 住民が主役で市町村が主体となった魅力ある広域的なまちづくり	
地域毎の市街地像	米子	圏域における都市的サービスを提供する中核都市としての役割を果たすと共に、広域交通・観光のターミナルとして圏域内の内外にわたる広域交流都市をめざす。
	淀江	自然資源を生かした定住・交流拠点としての役割を果たすと共に伯耆古代の丘公園を中心とする歴史・文化資源を生かしたレクリエーション拠点としての役割を果たす。
	境港	境港の環日本海時代の物流拠点や水産加工産業としての特徴を生かした広域交流都市をめざす。
	日吉津	住宅・工業拠点としてまた農産物の供給基地としての機能をもつ。
区域区分の有無	区域区分を定めないものとする	

■米子境港都市計画区域　骨格形成図



３．都市計画関連法令について

(1)まちづくり三法改正

まちづくり三法は、「改正都市計画法」「中心市街地活性化法」「大規模小売店舗立地法」の総称を言います。中小商業の保護を目的とした「大規模小売店舗法（大店法）」の廃止に伴い、1998 年から 2000 年にかけて施行されました。

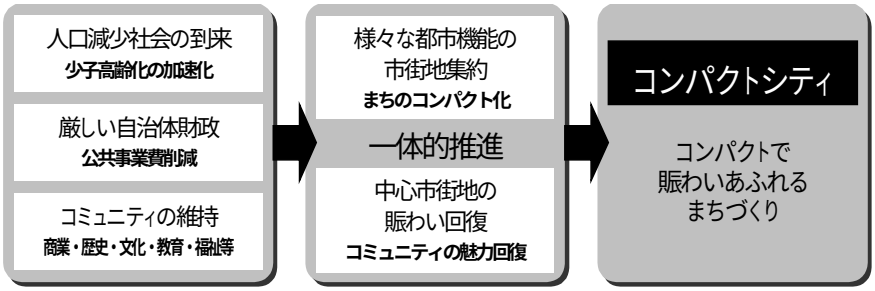
改正都市計画法は、市町村の判断で大型店の郊外立地を規制できることを定めた法律です。中心市街地活性化法は、中心市街地の整備と再活性化を一体で進めることを定めた法律です。大規模小売店舗立地法（大店立地法）は、交通渋滞や騒音など社会的側面から大型店の出店を規制する法律と要約することができます。

中心市街地活性化法及び各種の支援策により中心市街地の活性化を実現しようとするものでしたが、制定から 7 年を経て、中心市街地の活性化に取り組む地域は数多くあるものの、目に見える効果が挙がっているところは多くありません。

現状のまま中心市街地が衰退し、市街地の機能が郊外へ拡散していくと、少子高齢化により人口が減少に転じる中で、地方財政が都市のインフラ維持のためのコストに耐えられなくなるとともに、高齢化や治安の悪化等によりコミュニティが荒廃するおそれもあります。

こうしたことから、近年、市街地の郊外への拡散を抑制し、まちの機能を中心市街地に集中させるコンパクトシティの考え方が提唱されています。

このような状況を背景に、まちづくり三法の見直しが進められ、平成 18 年 5 月、まちづくり三法の改正法案が成立しました。



■まちづくり三法の主な改正ポイント

■中心市街地活性化法

・中心市街地活性化本部の創設、基本計画の内閣総理大臣認定制度の導入
・多様な民間主体が参画する中心市街地活性化協議会の法制化
・認定基本計画への支援措置の拡充

■都市計画法

・大規模集客施設（床面積１万㎡超の店舗、映画館等）が立地可能な用途地域見直し
・非線引き白地地域等における立地規制
・用途を緩和する地区計画制度の創設
・市町村の主体性と広域的な調整手続きの充実
・市街化調整区域内の開発許可制度の見直し

■大規模店舗立地法

・改正中心市街地活性化法に「大店立地法の特例」を規定（出店手続きの簡素化等）

(2)改正都市計画法

都市の秩序ある整備を図るための都市計画法等の一部を改正する法律案

（平成 18 年 5 月 31 日公布）

都市の秩序ある整備を図るため、準都市計画区域制度の拡充、都市計画区域等の区域内における大規模集客施設の立地に係る規制の見直し、開発許可制度の見直しその他都市計画に関する制度の整備を行う。

①都市計画法・建築基準法の一部改正

人口減少・超高齢社会にふさわしいまちづくりを実現するため、以下の措置を講じる。特に、広域にわたり都市構造に大きな影響を与える大規模集客施設（法律では「特定大規模建築物」と定義）の立地に当たっては都市計画手続を経ることとし、地域の判断を反映した適切な立地を確保する。

②市街化区域、用途地域における立地規制

大規模集客施設が立地可能な用途地域を見直し、現行の６種類の用途地域から３種類へ限定。

③非線引き白地地域等における立地規制

非線引き都市計画区域、準都市計画区域内の白地地域では大規模集客施設は原則立地不可。

④用途を緩和する地区計画制度の創設

上記①②により規制強化される用途地域及び非線引き都市計画区域内の白地地域においては、大規模集客施設の立地も認めうる新たな地区計画制度（開発整備促進区）を創設。

⑤準都市計画区域制度の拡充

農地を含む土地利用の整序が必要な区域等に広く指定できるよう、準都市計画区域の要件を緩和するとともに、指定権者を都道府県に変更。

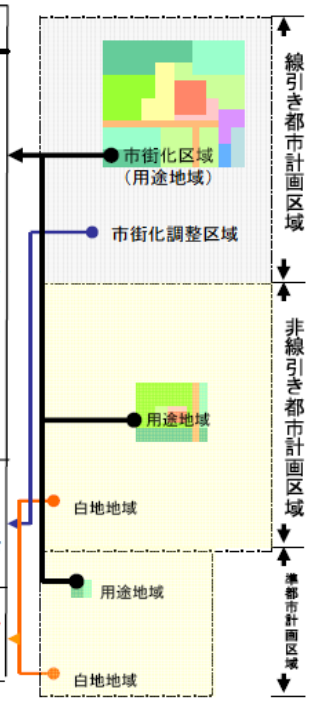
⑥都市計画手続等の円滑化、広域調整手続の充実

一定の開発事業者が都市計画提案を行えるよう、都市計画提案権者の範囲を拡大。また、広域調整の強化のため、都道府県知事が市町村の都市計画決定等に対する協議同意を行う際に、関係市町村から意見を聴取できることとする。

⑦開発許可制度の見直し

市街化調整区域内の大規模開発を許可できる基準を廃止し、病院、福祉施設、学校、庁舎等の公共公益施設を開発許可等の対象とする。

現　行（店舗）		改 正 後
用途地域：50㎡超不可	第一種低層住居専用地域	同左
用途地域：150㎡超不可	第二種低層住居専用地域	同左
用途地域：500㎡超不可	第一種中高層住居専用地域	同左
用途地域：1,500㎡超不可	第二種中高層住居専用地域	同左
用途地域：3,000㎡超不可	第一種住居地域	同左
用途地域：制限なし	第二種住居地域	大規模集客施設については、用途地域の変更又は用途を緩和する地区計画決定により立地可能
用途地域：制限なし	準住居地域	大規模集客施設については、用途地域の変更又は用途を緩和する地区計画決定により立地可能
用途地域：制限なし	工業地域	大規模集客施設については、用途地域の変更又は用途を緩和する地区計画決定により立地可能
用途地域：制限なし	近隣商業地域	制限なし※
用途地域：制限なし	商業地域	制限なし※
用途地域：制限なし	準工業地域	制限なし※
用途地域：用途地域の変更又は地区計画(再開発等促進区)決定が必要	工業専用地域	同左
原則不可 ただし、計画的大規模開発は許可 （病院、福祉施設、学校等は開発許可不要）	市街化調整区域	大規模開発も含め、原則不可 地区計画を定めた場合、適合するものは許可 （病院、福祉施設、学校等も開発許可を必要とする。）
制限なし	非線引き都市計画区域、準都市計画区域の白地地域	大規模集客施設については　用途地域の指定により立地可能。また、非線引き都市計画区域では、用途を緩和する地区計画決定でも立地可能



大規模集客施設：　床面積1万㎡超の店舗、映画館、アミューズメント施設、展示場等。

※ 準工業地域では、特別用途地区を活用。特に地方都市においては、これを中活法の基本計画の国による認定の条件とすることを基本方針で明記。

(3)市街化調整区域地区計画ガイドライン

（平成 19 年 11 月 30 日施行）

都市計画法における開発許可制度の改正等を踏まえて、島根県においては、改訂「市街化調整区域の地区計画ガイドライン」を平成 19 年 11 月 30 日より施行されました。

市街化調整区域においては、原則として開発を制限していますが、地区計画が決定された区域では地区計画の内容に適合する開発が可能となります。しかしながら、市街化調整区域の地区計画は、市街化調整区域の性格を変えるものではないため、当該地区計画の周辺における市街化を促進することがないなど、当該都市計画区域の計画的な市街化に支障がないように定める必要があります。

そこで、松江市、安来市及び東出雲町並びに島根県においては、農林漁業との健全な調和を図りつつ、都市の健全な発展と秩序ある整備の実現を目指すため、このガイドラインの統一的な運用を行い、松江圏都市計画区域にふさわしいまちづくりを進めていくものです。

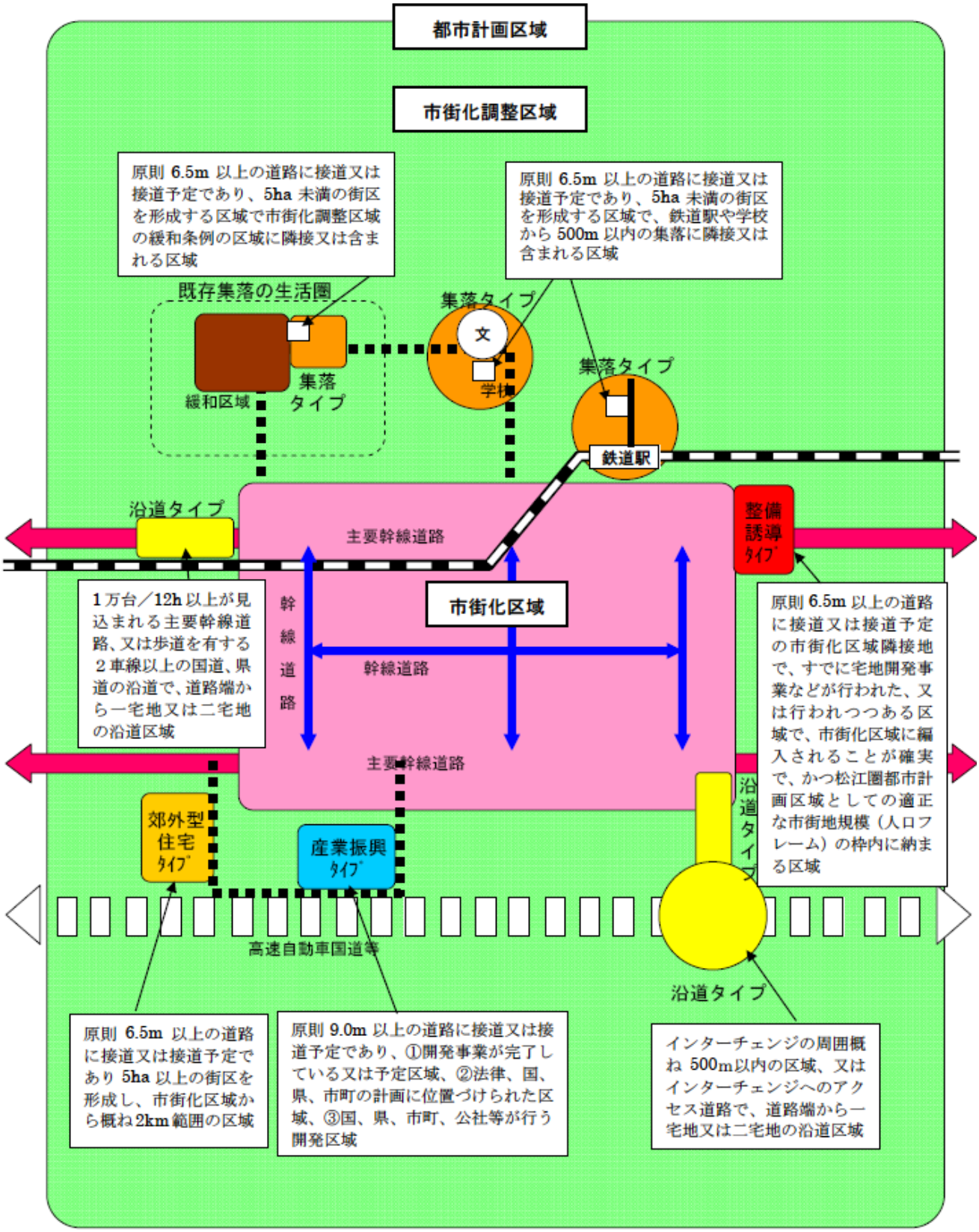
詳細は、島根県都市計画課ホームページを参照下さい。

【タイプ別の概要】

ガイドラインでは、地区計画の目的や条件により以下のとおり 5 タイプを設定しています。

●集落タイプ
コミュニティの回復を図るべき集落や、無秩序な開発を防止し良好な集落景観を維持するべき集落、交通利便性が高く、地域づくりの核施設となる鉄道駅周辺や公益施設 周辺の集落について、都市的土地利用と自然的土地利用との調和を図りつつ、良好な地域づくりを誘導するタイプ
●郊外型住宅タイプ
市街化区域から概ね２ｋｍの範囲で、市街地整備が確実な区域等について、都市的土地利用と自然的土地利用との調和を図りつつ、大規模な住宅地を創出するエリアとして、土地利用及び建物利用の規制誘導を図るタイプ
●沿道タイプ
既に沿道利用型施設の立地が進み、営農条件に悪影響を与えている区域や住居と非住居系用途が混在している若しくは混在が予想される主要幹線道路沿道及び高速自動車国道出入り口周辺について、良好な営農環境を確保しつつ、都市的土地利用と自然的土地利用との調和を図り、活力ある産業・流通業務を担うエリア、雇用の場を創出するエリアとして、沿道系（非住居系）土地利用及び建物利用の規制誘導を図るタイプ
●整備誘導タイプ
市街化区域に隣接し、すでに市街地としての形態を整えつつある地域や将来的に市街地としての開発の可能性が高い区域で、市街地整備が確実な区域等について、都市的土地利用と自然的土地利用との調和を図りつつ、主として都市的居住を補充するエリアとして、土地利用及び建物利用の規制誘導を図るタイプ
●産業振興タイプ
法律、国、県、市町の計画（都市計画マスタープラン等）に位置づけられた区域や国、県、市町、公社等が行う開発区域について、良好な営農環境を確保しつつ、都市的土地利用と自然的土地利用との調和を図り、活力ある産業振興や雇用の場を創出するエリアとして、産業系（非住居系）土地利用及び建物利用の規制誘導を図るタイプ

■地域的要件と地区計画タイプ



資料：改訂「市街化調整区域地区計画ガイドライン」/島根県

(4)市街化調整区域開発許可緩和条例

（平成 19 年 11 月 30 日施行）

松江市では将来の土地利用を見据え、地域の活性化、無秩序な乱開発の防止、農業・自然環境の保全など地域の特性を生かした秩序ある土地利用を図るため、「松江市開発行為等の許可の基準に関する条例」（市街化調整区域の緩和条例）を施行しました。

これにより、開発許可等の手続きの迅速化、定住化による地域コミュニティや営農環境の維持・活性を図ることができるよう新たな選択肢を準備しました。

区域別の緩和要件は以下のとおりです。

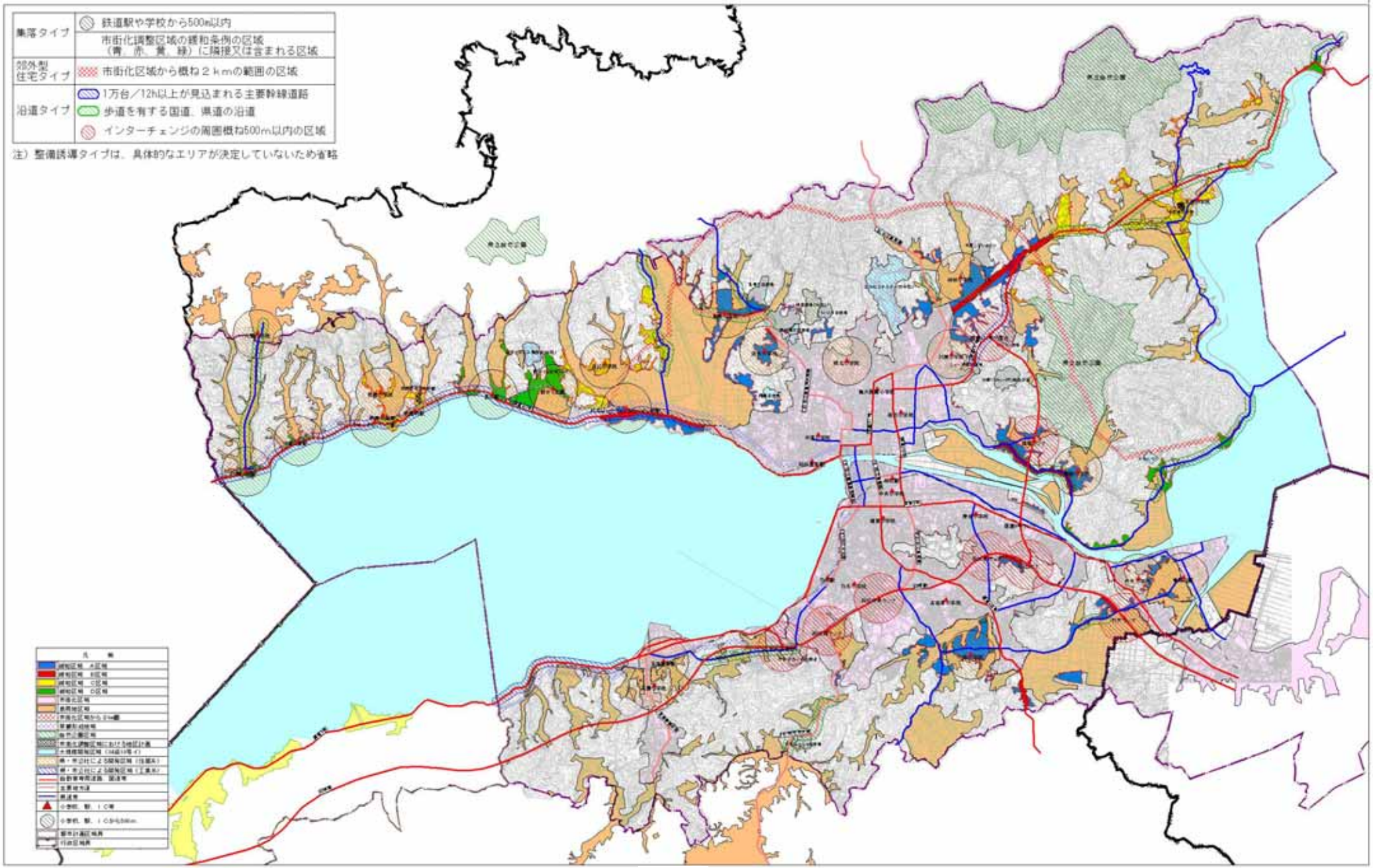
■松江市条例による市街化調整区域内の開発許可立地基準の緩和の概要

区　　分	隣接、近接区域		大規模既存集落区域	既存集落区域	緩和区域外
	A 区域	B 区域	C 区域	D 区域	例)分家住宅
根拠法	法第 34 条 11 号		法第 34 条 12 号		
地域要件	市街化区域の隣接、近接		な　し		
集落要件	概ね 50(40 以上)の建築物が連たん		概ね 100(80 以上)の建築物(散在する集落(30 以上)を含む)が連たん	概ね 50(40 以上)の建築物が連たん	なし
土　地	売買取得可				①又は②に該当する土地 ①本家の所有地（線引き以前） ②本家から直接若しくは間接的に連たんが確保される土地(売買取得可)
連たん	建築物の敷地相互間距離が 50m 以内 (集落の一体性を確保する場合は、この限りでない)				50m 以内
申請者	区域外からの転入を許容				本家の親族
自己・非自己別	非自己用建築物可		自己用建築物のみ		
予定建築物	専用住宅 兼用住宅 共同住宅	専用住宅 兼用住宅 共同住宅 店舗 事務所 工場	専用住宅 兼用住宅 店舗 事務所 工場 運動・ﾚｼﾞｬｰ施設	専用住宅 兼用住宅	分家住宅
土地・建築物の規模等	最低敷地規模:200 ㎡	最低敷地規模:200 ㎡ 店舗、事務所、工場の規模 延床面積:500 ㎡以内 工場の作業床面積:150 ㎡以内 原動機:0.75kw 以下	業務用の開発面積:1000 ㎡以内 店舗、事務所、工場、運動・レジャー施設の規模 延床面積:500 ㎡以内 工場の作業床面積:150 ㎡以内 原動機:0.75kw 以下		
高さ制限	最高限度 10m				
形態制限	容積率／建ﾍﾟｲ率 100／60	容積率／建ﾍﾟｲ率 200／60	容積率／建ﾍﾟｲ率 200／70		
	道路斜線 1.25	隣地斜線 1.25	道路斜線 1.5　　隣地斜線 2.5		
備　考	市街化区域から概ね 2ｋｍ以内	国道、主要地方道等の道路境界 50mの区域			

市街化調整区域地区計画　資料

土地利用規制状況図（松江市）

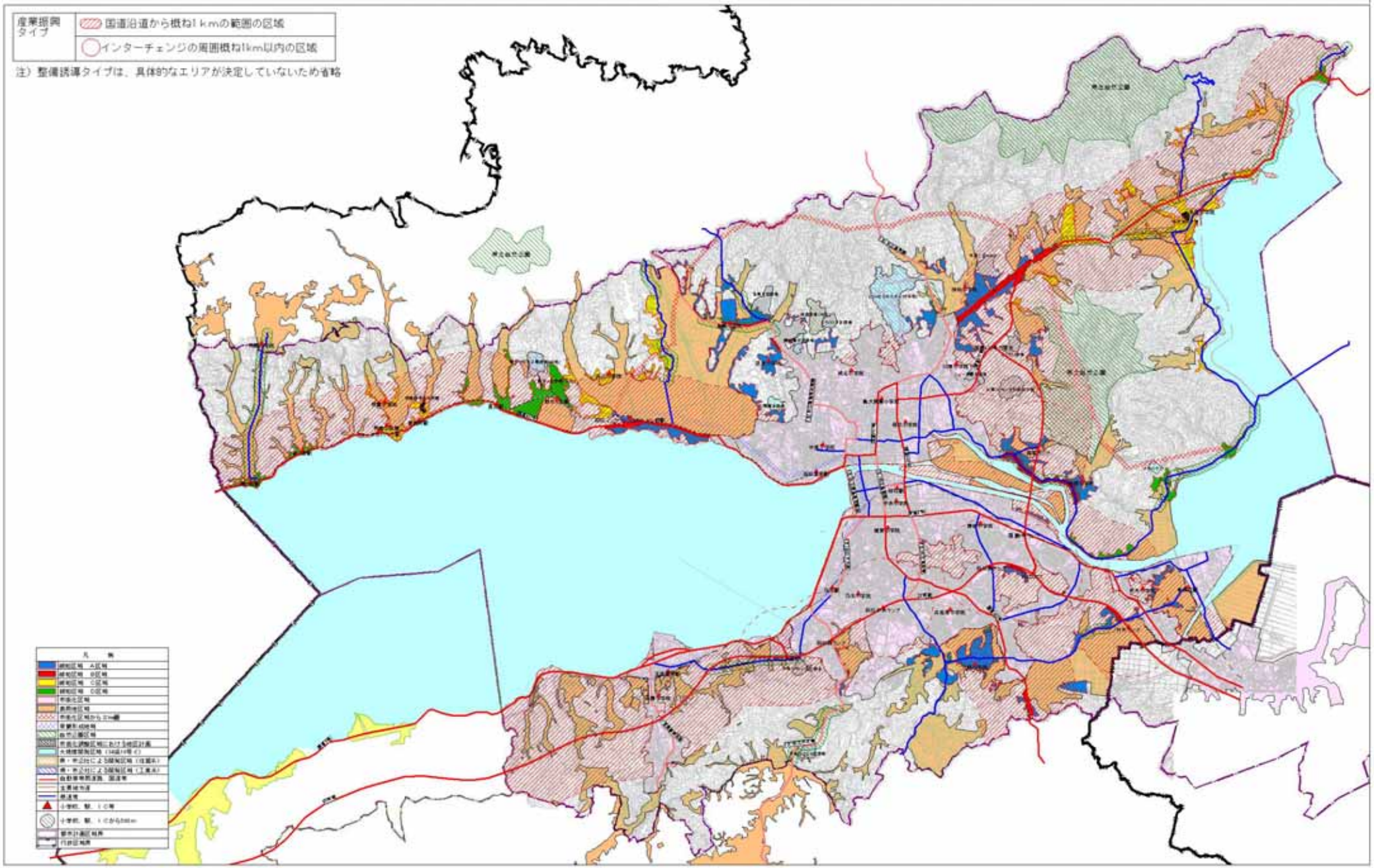
参考資料



市街化調整区域地区計画　資料２

土地利用規制状況図（松江市）

参考資料



資料編第３　市民の意向

１．まちづくりアンケート

(1)調査概要

ア　調査の目的

「松江市都市計画マスタープラン」の策定にあたり、松江市の現状に対する市民の認識や今後のまちづくり及び施策の方向性についての住民の意向を把握し、計画に反映させることを目的に実施しました。

イ　調査項目

ア　土地の使い方	イ　都市施設整備のあり方	ウ　まちづくりへの関わり
(ｱ) 市街地の拡大について (ｲ) 市街地の整備について (ｳ) 住宅地として望まれること (ｴ) 居住地域のイメージについて (ｵ) 居住場所について (ｶ) 農地のあり方について (ｷ) 農村地域に今後望まれること (ｸ) 大規模商業施設のあり方 (ｹ) 商店街について (ｺ) 工業地のあり方について (ｻ) 工業地として相応しい場所	(ｱ) 道路や交通について (ｲ) 公園や緑地について (ｳ) その他の都市施設について (ｴ) 防災対策について (ｵ) 防犯対策について (ｶ) 景観形成について	(ｱ) まちづくりへの参加について (ｲ) まちづくりの進め方について

ウ　調査対象

松江市の男女別構成比、年齢別構成比、地域別構成比をもとに、住民基本台帳の階層無作為抽出による世帯主を対象としました。

エ　調査方法

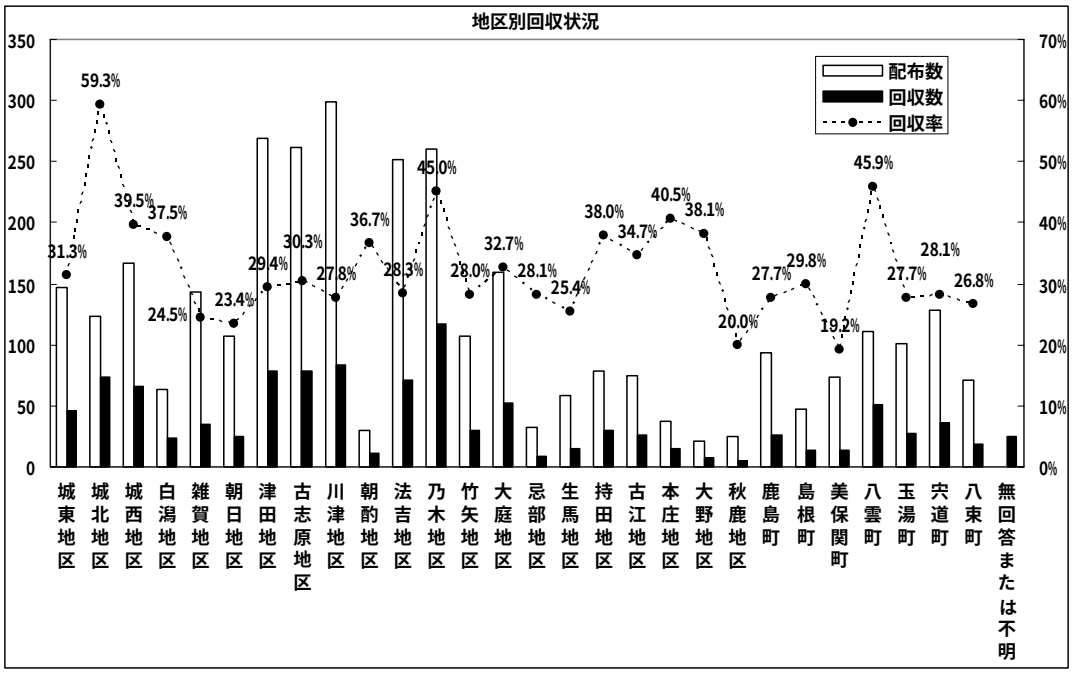
郵送調査法（郵送による配布・回収）

オ　調査時期

平成 18 年 12 月～平成 19 年 1 月

カ　回収状況

配布数　3,340 件、回収数　1,112 件、回収率　33.3%（平成 19 年２月末現在）



キ　地域と地区について

本編第５章で設定した６つの地域と地区カルテは、アンケートの集計上、次のように整理しました。

中央地域は、中心市街地と中心市街地周辺地区，湖北地域は、湖北地区，湖南地域は、玉湯地区と宍道地区，中海沿岸地域は、本庄地区と朝酌地区と八束地区，島根半島地域は、鹿島地区と島根地区と美保関地区，松南地域は、忌部地区と八雲地区です。

(2)アンケート結果

アンケートによる市民意向について、その概要は以下のとおりです。

土地利用のあり方	市街地の拡大について	・「市街地の拡大を抑え、今ある市街地（集落地）を充実させる」（49%） ・「良好なまちづくりであれば、多少の市街地拡大はよい」（40%） の２つの意見に分かれました。
	市街地の整備の方向について	・「地域格差が生じないようにする」（37%） ・「支所や駅周辺など地域の市街地を中心にまちづくりを行う」（27%）
	住宅地への配慮事項	・「美しいまちなみとなるような景観への取り組み」（41%）
	居住場所について	・「幹線道路沿いの利便性の良いところ（市街化調整区域）」（36%） ・「多少狭くても利便性の高い中心市街地の周辺（市街化区域）」（33%） の２つの意見に分かれました。
	農地のあり方について	・「今ある農地を守った方がよい」（39%） ・「農家の方の自主性に任せた方がよい」（34%）
	農村地域に望まれている事	・「道路や公園、排水施設など快適な生活環境の整備」（29%） ・「開発ルールの強化」、「まちづくり支援」、「住宅地整備」（各26%）
	大規模商業施設のあり方	・「郊外の幹線道路沿いや工場跡地に大規模商業施設を立地」（30%） ・「今のままで良い」（25%）
	工業地のあり方	・「現状のままで良い」（39%） ・「新たに工業用地を整備し、工業地の範囲を広げる」（31%） の２つの意見に分かれました
都市施設整備のあり方	道路や交通について	・市全体に必要なのは「広域的な幹線道路の整備」（27%） ・住まいの地域に必要なのは「歩道の設置」（32%）、「生活道路」（23%）、「鉄道、バスなどの公共交通の充実」（17%）
	公園･緑地について	・市全体と住まいの地域ともに必要なのは、「日常の憩いのための身近な広場や公園の整備」（22%）
	防災、防犯対策について	・防災対策：「狭い道路の整備」（43%） ・防犯対策：「防犯灯の設置」（27%）
	景観形成について	・「山や丘陵、水辺等の自然景観を残す」（53%） ・「電線類を地中化し、すっきりさせる」（48%）
まちづくり	参加方法	・「アンケート等であれば参加してみたい」（43%）
	進め方	・行政のやるべきことは「地域住民の要望･意見を整理する」、「まちづくりに関する計画を提案する」（各 27%） ・住民のやるべきことは「コミュニティ活動を充実させる」（24%）、「各地域でまちづくり懇談会などを行う」（21%）
自由意見		・一番多かったのは「交通」に関する事項で、自由意見回答者の約１/４を占めます。 ・その中でも最も多い項目が「道路整備」、次いで「公共交通体系、公共交通機関」が多くなっています。

ア　土地の使い方について

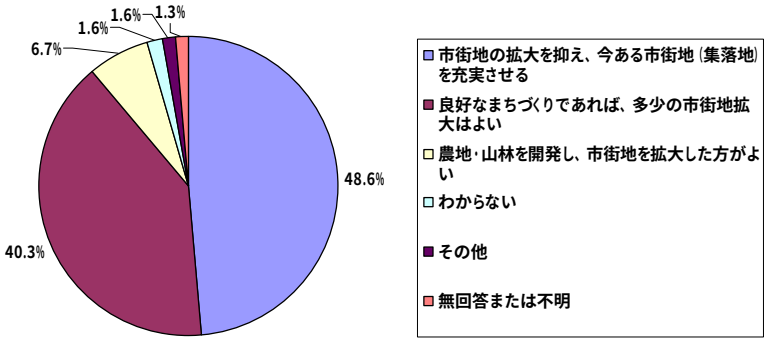
(ｱ)　市街地の拡大について

これまで人口増加や産業が成長する中で、農地・山林などを開発して市街地の拡大を行ってきましたが、拡大成長期から安定成熟期を迎えた現在、市街地の拡大について、基本的にどのような方向で考えていくべきだと思われますか？

全市では、[市街地の拡大を抑え、今ある市街地（集落地）を充実させる]が 48.6%で最も多く、次いで[良好なまちづくりであれば、多少の市街地拡大はよい]が 40.3%となっています。

年齢別、地域別では全市と同様な傾向が伺えます。

【全　市】



【年齢別・地域別】

全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　□

内訳		回答数							性別・年齢・居住地の内訳					
		市街地の拡大を抑え、今ある市街地（集落地）を充実させる	良好なまちづくりであれば、多少の市街地拡大はよい	農地・山林を開発し、市街地を拡大した方がよい	わからない	その他	無回答または不明	合計	市街地の拡大を抑え、今ある市街地（集落地）を充実させる	良好なまちづくりであれば、多少の市街地拡大はよい	農地・山林を開発し、市街地を拡大した方がよい	わからない	その他	無回答または不明
全　体		540	448	74	18	18	14	1,112	48.6%	40.3%	6.7%	1.6%	1.6%	1.3%
年齢別	20歳代	36	24	1	1	0	0	62	58.1%	38.7%	1.6%	1.6%	0.0%	0.0%
	30歳代	79	67	7	4	3	1	161	49.1%	41.6%	4.3%	2.5%	1.9%	0.6%
	40歳代	93	100	14	3	2	3	215	43.3%	46.5%	6.5%	1.4%	0.9%	1.4%
	50歳代	172	127	23	6	8	4	340	50.6%	37.4%	6.8%	1.8%	2.4%	1.2%
	60歳代	151	123	27	3	4	6	314	48.1%	39.2%	8.6%	1.0%	1.3%	1.9%
	70歳以上	5	6	2	1	0	0	14	35.7%	42.9%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%
6地域	中央	395	343	50	15	13	9	825	47.9%	41.6%	6.1%	1.8%	1.6%	1.1%
	湖北	19	16	4	0	0	0	39	48.7%	41.0%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	湖南	32	26	3	1	1	1	64	50.0%	40.6%	4.7%	1.6%	1.6%	1.6%
	中海沿岸	22	16	6	0	0	1	45	48.9%	35.6%	13.3%	0.0%	0.0%	2.2%
	島根半島	24	21	6	0	0	3	54	44.4%	38.9%	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%
	松南	34	19	4	1	2	0	60	56.7%	31.7%	6.7%	1.7%	3.3%	0.0%
12地区	中心市街地	119	94	9	3	7	2	234	50.9%	40.2%	3.8%	1.3%	3.0%	0.9%
	中心市街地周辺	276	249	41	12	6	7	591	46.7%	42.1%	6.9%	2.0%	1.0%	1.2%
	湖北	19	16	4	0	0	0	39	48.7%	41.0%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	玉湯	12	14	2	0	0	0	28	42.9%	50.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	宍道	20	12	1	1	1	1	36	55.6%	33.3%	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%
	本庄･朝酌	10	12	3	0	0	1	26	38.5%	46.2%	11.5%	0.0%	0.0%	3.8%
	八束	12	4	3	0	0	0	19	63.2%	21.1%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	鹿島	11	9	4	0	0	2	26	42.3%	34.6%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%
	島根	7	6	1	0	0	0	14	50.0%	42.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	美保関	6	6	1	0	0	1	14	42.9%	42.9%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%
	忌部	5	4	0	0	0	0	9	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八雲	29	15	4	1	2	0	51	56.9%	29.4%	7.8%	2.0%	3.9%	0.0%

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

(ｲ)　市街地の整備について

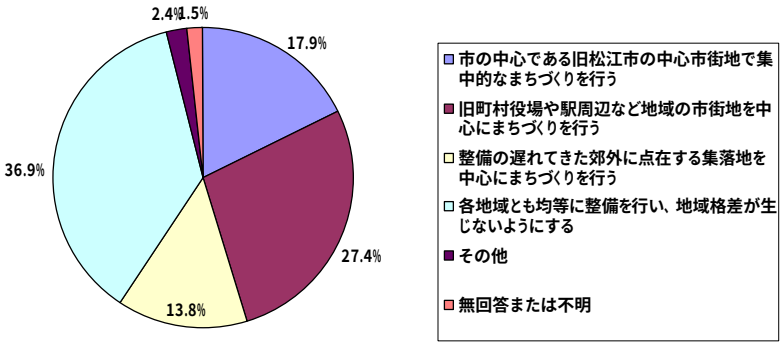
これからの市街地の整備についてどのようにお考えですか?

【全　市】

全市では、[各地域とも均等に整備を行い、地域格差が生じないようにする]が 36.9%で最も多く、次いで[旧町村役場や駅周辺など地域の市街地を中心にまちづくりを行う]が 27.4%となっており、全市的な整備レベルの向上が望まれています。

年齢別でも、全市と同様の傾向が見受けられます。

地域別には、中央地域から離れている地域で整備の遅れや地域の均等な整備など地域格差を是正する整備への要望が強いようです。



【年齢別・地域別】

全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　□

内訳		回答数							性別・年齢・居住地の内訳					
		市の中心である旧松江市の中心市街地で集中的なまちづくりを行う	旧町村役場や駅周辺などそれぞれの地域にある市街地を中心にまちづくりを行う	これまで整備の遅れてきた郊外に点在する集落地を中心にまちづくりを行う	各地域とも均等に整備を行い、地域格差が生じないようにまちづくりを行う	その他	無回答または不明	合計	市の中心である旧松江市の中心市街地で集中的なまちづくりを行う	旧町村役場や駅周辺などそれぞれの地域にある市街地を中心にまちづくりを行う	これまで整備の遅れてきた郊外に点在する集落地を中心にまちづくりを行う	各地域とも均等に整備を行い、地域格差が生じないようにまちづくりを行う	その他	無回答または不明
全　体		199	305	154	410	27	17	1,112	17.9%	27.4%	13.8%	36.9%	2.4%	1.5%
年齢別	20歳代	17	14	5	25	1	0	62	27.4%	22.6%	8.1%	40.3%	1.6%	0.0%
	30歳代	37	37	26	56	4	1	161	23.0%	23.0%	16.1%	34.8%	2.5%	0.6%
	40歳代	32	77	23	76	4	3	215	14.9%	35.8%	10.7%	35.3%	1.9%	1.4%
	50歳代	64	93	39	126	13	5	340	18.8%	27.4%	11.5%	37.1%	3.8%	1.5%
	60歳代	44	80	56	122	5	7	314	14.0%	25.5%	17.8%	38.9%	1.6%	2.2%
	70歳以上	3	1	4	5	0	1	14	21.4%	7.1%	28.6%	35.7%	0.0%	7.1%
6地域	中央	172	242	96	278	25	12	825	20.8%	29.3%	11.6%	33.7%	3.0%	1.5%
	湖北	6	5	9	19	0	0	39	15.4%	12.8%	23.1%	48.7%	0.0%	0.0%
	湖南	4	15	10	32	0	3	64	6.3%	23.4%	15.6%	50.0%	0.0%	4.7%
	中海沿岸	3	6	16	20	0	0	45	6.7%	13.3%	35.6%	44.4%	0.0%	0.0%
	島根半島	2	10	13	27	0	2	54	3.7%	18.5%	24.1%	50.0%	0.0%	3.7%
	松南	5	22	9	22	2	0	60	8.3%	36.7%	15.0%	36.7%	3.3%	0.0%
12地区	中心市街地	69	78	9	65	9	4	234	29.5%	33.3%	3.8%	27.8%	3.8%	1.7%
	中心市街地周辺	103	164	87	213	16	8	591	17.4%	27.7%	14.7%	36.0%	2.7%	1.4%
	湖北	6	5	9	19	0	0	39	15.4%	12.8%	23.1%	48.7%	0.0%	0.0%
	玉湯	2	5	7	13	0	1	28	7.1%	17.9%	25.0%	46.4%	0.0%	3.6%
	宍道	2	10	3	19	0	2	36	5.6%	27.8%	8.3%	52.8%	0.0%	5.6%
	本庄･朝酌	2	3	10	11	0	0	26	7.7%	11.5%	38.5%	42.3%	0.0%	0.0%
	八束	1	3	6	9	0	0	19	5.3%	15.8%	31.6%	47.4%	0.0%	0.0%
	鹿島	1	3	6	15	0	1	26	3.8%	11.5%	23.1%	57.7%	0.0%	3.8%
	島根	0	5	3	6	0	0	14	0.0%	35.7%	21.4%	42.9%	0.0%	0.0%
	美保関	1	2	4	6	0	1	14	7.1%	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%	7.1%
	忌部	1	2	1	4	1	0	9	11.1%	22.2%	11.1%	44.4%	11.1%	0.0%
	八雲	4	20	8	18	1	0	51	7.8%	39.2%	15.7%	35.3%	2.0%	0.0%

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

(ｳ)　住宅地として望まれること

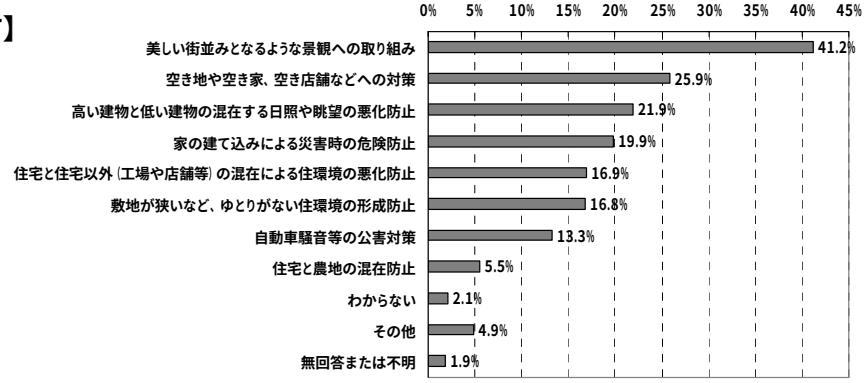
あなたのお住まいの地域について、住宅地として望まれることは、どのようなことですか？ 2つ以内で回答

全市では、[美しい街並みとなるような景観への取り組み]が 41.2%で最も多く、次いで[空き地や空き家、空き店舗などへの対策]が 25.9%となっており、まち全体で調和の取れた落ち着きのある住宅地が望まれています。

年齢別には、30～60 代では概ね全市と同様の傾向を示していますが、20 歳代では日照や眺望、ゆとりのある住環境が望まれています。また、体力的な不安がある 70 代では、災害に対する危機意識が高くなっています。

地域別には、湖北、湖南、中海沿岸、松南の各地域では、現在の住環境の良さを反映し、日照や眺望に関する要望が低くなっています。湖南、島根半島地域では、空き家や空き店舗への関心が高く、地域の活性化を期待していることが伺えます。

【全　市】



【年齢別・地域別】

内訳		回答数											
		住宅と住宅以外（工場や店舗等）の混在による住環境の悪化防止	住宅と農地の混在防止	高い建物と低い建物の混在する日照や眺望の悪化防止	敷地が狭いなど、ゆとりがない住環境の形成防止	家の建て込みによる災害時の危険防止	自動車騒音等の公害対策	空き地や空き家、空き店舗などへの対策	美しい街並みとなるような景観への取り組み	わからない	その他	無回答または不明	合計
全　体		188	61	243	187	221	148	288	458	23	54	21	1,892
年齢別	20歳代	6	2	21	17	11	14	12	23	3	4	0	113
	30歳代	32	7	30	31	26	30	31	65	5	16	1	274
	40歳代	46	5	45	46	44	18	66	88	2	12	4	376
	50歳代	48	22	75	59	64	44	87	150	7	12	3	571
	60歳代	52	23	68	30	70	40	88	126	5	10	12	524
	70歳以上	3	1	2	3	5	1	1	4	1	0	1	22
6地域	中央	140	35	210	138	165	120	199	337	14	48	13	1,419
	湖北	3	4	2	6	4	3	11	21	2	1	1	58
	湖南	17	3	7	8	15	6	28	24	1	0	1	110
	中海沿岸	9	7	1	8	11	6	10	12	3	0	0	67
	島根半島	8	2	7	7	14	5	23	20	0	1	3	90
	松南	7	9	6	15	8	6	11	32	2	4	3	103
12地区	中心市街地	29	3	74	36	51	24	69	92	1	20	4	403
	中心市街地周辺	111	32	136	102	114	96	130	245	13	28	9	1,016
	湖北	3	4	2	6	4	3	11	21	2	1	1	58
	玉湯	4	3	4	4	7	2	13	11	0	0	1	49
	宍道	13	0	3	4	8	4	15	13	1	0	0	61
	本庄･朝酌	3	3	0	5	8	4	6	8	2	0	0	39
	八束	6	4	1	3	3	2	4	4	1	0	0	28
	鹿島	6	1	5	4	8	2	8	9	0	0	1	44
	島根	1	1	0	2	2	1	9	6	0	1	0	23
	美保関	1	0	2	1	4	2	6	5	0	0	2	23
	忌部	1	3	1	1	3	1	1	3	0	2	0	16
	八雲	6	6	5	14	5	5	10	29	2	2	3	87

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　■

内　訳		住宅と住宅以外（工場や店舗等）の混在による住環境の悪化防止	住宅と農地の混在防止	高い建物と低い建物の混在する日照や眺望の悪化防止	敷地が狭いなど、ゆとりがない住環境の形成防止	家の建て込みによる災害時の危険防止	自動車騒音等の公害対策	空き地や空き家、空き店舗などへの対策	美しい街並みとなるような景観への取り組み	わからない	その他	無回答または不明
全　体		16.9%	5.5%	21.9%	16.8%	19.9%	13.3%	25.9%	41.2%	2.1%	4.9%	1.9%
年齢別	20歳代	9.7%	3.2%	33.9%	27.4%	17.7%	22.6%	19.4%	37.1%	4.8%	6.5%	0.0%
	30歳代	19.9%	4.3%	18.6%	19.3%	16.1%	18.6%	19.3%	40.4%	3.1%	9.9%	0.6%
	40歳代	21.4%	2.3%	20.9%	21.4%	20.5%	8.4%	30.7%	40.9%	0.9%	5.6%	1.9%
	50歳代	14.1%	6.5%	22.1%	17.4%	18.8%	12.9%	25.6%	44.1%	2.1%	3.5%	0.9%
	60歳代	16.6%	7.3%	21.7%	9.6%	22.3%	12.7%	28.0%	40.1%	1.6%	3.2%	3.8%
	70歳以上	21.4%	7.1%	14.3%	21.4%	35.7%	7.1%	7.1%	28.6%	7.1%	0.0%	7.1%
6地域	中央	17.0%	4.2%	25.5%	16.7%	20.0%	14.5%	24.1%	40.8%	1.7%	5.8%	1.6%
	湖北	7.7%	10.3%	5.1%	15.4%	10.3%	7.7%	28.2%	53.8%	5.1%	2.6%	2.6%
	湖南	26.6%	4.7%	10.9%	12.5%	23.4%	9.4%	43.8%	37.5%	1.6%	0.0%	1.6%
	中海沿岸	20.0%	15.6%	2.2%	17.8%	24.4%	13.3%	22.2%	26.7%	6.7%	0.0%	0.0%
	島根半島	14.8%	3.7%	13.0%	13.0%	25.9%	9.3%	42.6%	37.0%	0.0%	1.9%	5.6%
	松南	11.7%	15.0%	10.0%	25.0%	13.3%	10.0%	18.3%	53.3%	3.3%	6.7%	5.0%
12地区	中心市街地	12.4%	1.3%	31.6%	15.4%	21.8%	10.3%	29.5%	39.3%	0.4%	8.5%	1.7%
	中心市街地周辺	18.8%	5.4%	23.0%	17.3%	19.3%	16.2%	22.0%	41.5%	2.2%	4.7%	1.5%
	湖北	7.7%	10.3%	5.1%	15.4%	10.3%	7.7%	28.2%	53.8%	5.1%	2.6%	2.6%
	玉湯	14.3%	10.7%	14.3%	14.3%	25.0%	7.1%	46.4%	39.3%	0.0%	0.0%	3.6%
	宍道	36.1%	0.0%	8.3%	11.1%	22.2%	11.1%	41.7%	36.1%	2.8%	0.0%	0.0%
	本庄･朝酌	11.5%	11.5%	0.0%	19.2%	30.8%	15.4%	23.1%	30.8%	7.7%	0.0%	0.0%
	八束	31.6%	21.1%	5.3%	15.8%	15.8%	10.5%	21.1%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%
	鹿島	23.1%	3.8%	19.2%	15.4%	30.8%	7.7%	30.8%	34.6%	0.0%	0.0%	3.8%
	島根	7.1%	7.1%	0.0%	14.3%	14.3%	7.1%	64.3%	42.9%	0.0%	7.1%	0.0%
	美保関	7.1%	0.0%	14.3%	7.1%	28.6%	14.3%	42.9%	35.7%	0.0%	0.0%	14.3%
	忌部	11.1%	33.3%	11.1%	11.1%	33.3%	11.1%	11.1%	33.3%	0.0%	22.2%	0.0%
	八雲	11.8%	11.8%	9.8%	27.5%	9.8%	9.8%	19.6%	56.9%	3.9%	3.9%	5.9%

(I)　居住地域のイメージについて

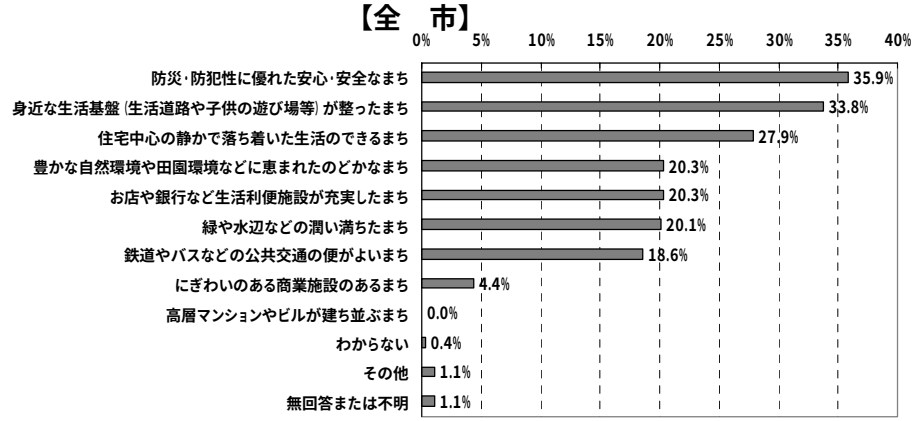
あなたのお住まいの地域について、将来どのようなイメージの場所になったらよいと思われますか？２つ以内で回答

全市では、[防災・防犯性に優れた安心・安全なまち]が 35.9%で最も多く、次いで[身近な生活基盤（生活道路や子供の遊び場等）が整ったまち]が 33.8%となっており、子供が元気に安心して遊べるまちが望まれています。

年齢別では、小さな子供を持つ家庭の多い 30 代で[身近な生活基盤（生活道路や子供の遊び場等）が整ったまち]の回答比率が多くなっています。

地域別には、湖北、湖南、中海沿岸、松南の各地域では現在の自然環境を生かした「のどかなまち」が望まれている一方で、自然環境が豊かな島根半島地域では、身近な生活基盤や、防災・防犯に関心が高くなっています。

【全　市】



【年齢別・地域別】

内訳		回答数												
		住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち	緑や水辺などの潤い満ちたまち	豊かな自然環境や田園環境などに恵まれたのどかなまち	お店や銀行など生活利便施設が充実したまち	にぎわいのある商業施設のあるまち	高層マンションやビルが建ち並ぶまち	身近な生活基盤（生活道路や子供の遊び場等）が整ったまち	鉄道やバスなどの公共交通の便がよいまち	防災・防犯性に優れた安心・安全なまち	わからない	その他	無回答または不明	合計
全体		310	224	226	226	49	0	376	207	399	4	12	12	2,045
年齢別	20歳代	13	11	10	17	7	0	27	9	19	1	1	0	115
	30歳代	37	42	21	31	14	0	71	27	51	1	1	0	296
	40歳代	72	55	24	45	6	0	79	44	78	1	2	1	407
	50歳代	103	67	81	77	7	0	94	65	121	0	5	4	624
	60歳代	82	47	83	51	13	0	100	57	125	1	3	6	568
	70歳以上	2	1	5	3	2	0	4	3	3	0	0	1	24
6地域	中央	268	162	121	174	38	0	292	151	299	3	7	9	1,524
	湖北	6	7	16	4	0	0	9	14	12	0	1	1	70
	湖南	9	13	28	11	5	0	18	12	20	0	1	1	118
	中海沿岸	6	12	14	10	3	0	9	7	14	0	0	0	75
	島根半島	4	8	14	14	2	0	25	7	25	0	2	1	102
	松南	11	15	29	9	0	0	16	10	21	0	1	0	112
12地区	中心市街地	78	61	23	52	16	0	77	39	83	1	2	3	435
	中心市街地周辺	190	101	98	122	22	0	215	112	216	2	5	6	1,089
	湖北	6	7	16	4	0	0	9	14	12	0	1	1	70
	玉湯	3	5	13	5	3	0	9	3	11	0	0	1	53
	宍道	6	8	15	6	2	0	9	9	9	0	1	0	65
	本庄･朝酌	4	7	6	7	3	0	6	2	9	0	0	0	44
	八束	2	5	8	3	0	0	3	5	5	0	0	0	31
	鹿島	1	3	8	6	0	0	15	3	13	0	0	0	49
	島根	1	3	3	7	1	0	5	0	7	0	0	0	27
	美保関	2	2	3	1	1	0	5	4	5	0	2	1	26
	忌部	2	1	6	1	0	0	2	2	4	0	0	0	18
	八雲	9	14	23	8	0	0	14	8	17	0	1	0	94

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない
全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　■

内訳		性別・年齢・居住地の内訳											
		住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち	緑や水辺などの潤い満ちたまち	豊かな自然環境や田園環境などに恵まれたのどかなまち	お店や銀行など生活利便施設が充実したまち	にぎわいのある商業施設のあるまち	高層マンションやビルが建ち並ぶまち	身近な生活基盤（生活道路や子供の遊び場等）が整ったまち	鉄道やバスなどの公共交通の便がよいまち	防災・防犯性に優れた安心・安全なまち	わからない	その他	無回答または不明
全体		27.9%	20.1%	20.3%	20.3%	4.4%	0.0%	33.8%	18.6%	35.9%	0.4%	1.1%	1.1%
年齢別	20歳代	21.0%	17.7%	16.1%	27.4%	11.3%	0.0%	43.5%	14.5%	30.6%	1.6%	1.6%	0.0%
	30歳代	23.0%	26.1%	13.0%	19.3%	8.7%	0.0%	44.1%	16.8%	31.7%	0.6%	0.6%	0.0%
	40歳代	33.5%	25.6%	11.2%	20.9%	2.8%	0.0%	36.7%	20.5%	36.3%	0.5%	0.9%	0.5%
	50歳代	30.3%	19.7%	23.8%	22.6%	2.1%	0.0%	27.6%	19.1%	35.6%	0.0%	1.5%	1.2%
	60歳代	26.1%	15.0%	26.4%	16.2%	4.1%	0.0%	31.8%	18.2%	39.8%	0.3%	1.0%	1.9%
	70歳以上	14.3%	7.1%	35.7%	21.4%	14.3%	0.0%	28.6%	21.4%	21.4%	0.0%	0.0%	7.1%
6地域	中央	32.5%	19.6%	14.7%	21.1%	4.6%	0.0%	35.4%	18.3%	36.2%	0.4%	0.8%	1.1%
	湖北	15.4%	17.9%	41.0%	10.3%	0.0%	0.0%	23.1%	35.9%	30.8%	0.0%	2.6%	2.6%
	湖南	14.1%	20.3%	43.8%	17.2%	7.8%	0.0%	28.1%	18.8%	31.3%	0.0%	1.6%	1.6%
	中海沿岸	13.3%	26.7%	31.1%	22.2%	6.7%	0.0%	20.0%	15.6%	31.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	島根半島	7.4%	14.8%	25.9%	25.9%	3.7%	0.0%	46.3%	13.0%	46.3%	0.0%	3.7%	1.9%
	松南	18.3%	25.0%	48.3%	15.0%	0.0%	0.0%	26.7%	16.7%	35.0%	0.0%	1.7%	0.0%
12地区	中心市街地	33.3%	26.1%	9.8%	22.2%	6.8%	0.0%	32.9%	16.7%	35.5%	0.4%	0.9%	1.3%
	中心市街地周辺	32.1%	17.1%	16.6%	20.6%	3.7%	0.0%	36.4%	19.0%	36.5%	0.3%	0.8%	1.0%
	湖北	15.4%	17.9%	41.0%	10.3%	0.0%	0.0%	23.1%	35.9%	30.8%	0.0%	2.6%	2.6%
	玉湯	10.7%	17.9%	46.4%	17.9%	10.7%	0.0%	32.1%	10.7%	39.3%	0.0%	0.0%	3.6%
	宍道	16.7%	22.2%	41.7%	16.7%	5.6%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	2.8%	0.0%
	本庄･朝酌	15.4%	26.9%	23.1%	26.9%	11.5%	0.0%	23.1%	7.7%	34.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	八束	10.5%	26.3%	42.1%	15.8%	0.0%	0.0%	15.8%	26.3%	26.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	鹿島	3.8%	11.5%	30.8%	23.1%	0.0%	0.0%	57.7%	11.5%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	島根	7.1%	21.4%	21.4%	50.0%	7.1%	0.0%	35.7%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	美保関	14.3%	14.3%	21.4%	7.1%	7.1%	0.0%	35.7%	28.6%	35.7%	0.0%	14.3%	7.1%
	忌部	22.2%	11.1%	66.7%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	八雲	17.6%	27.5%	45.1%	15.7%	0.0%	0.0%	27.5%	15.7%	33.3%	0.0%	2.0%	0.0%

（オ）　居住場所について

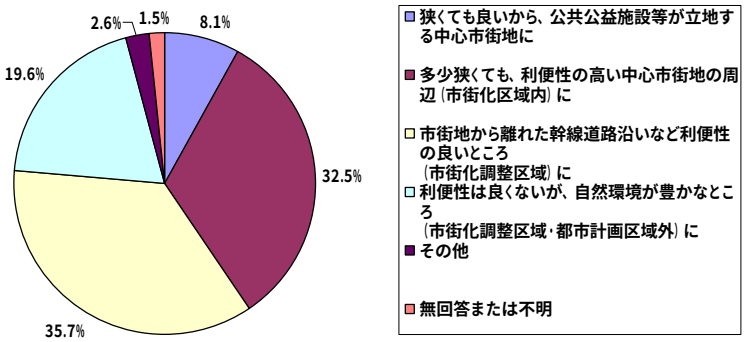
あなたが今後生活してみたいと思われる場所の条件は何ですか？

【全　市】

全市では、[市街地から離れた幹線道路沿いなど利便性の良いところ（市街化調整区域）に]が 35.7%で最も多く、次いで[多少狭くても、利便性の高い中心市街地の周辺（市街化区域内）に]が 32.5%となっています。

年齢別では、30 代で郊外での生活に関心が高い一方、70 代では市街地周辺の生活に関心が高くなっています。

地域別では、必ずしも利便性の高い中心市街地を望んでいるわけではなく、島根半島地域のように自然の豊かさを重視した評価もなされています。



【年齢別・地域別】

全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　□

内訳		回答数							性別・年齢・居住地の内訳					
		狭くても良いから、公共公益施設等が立地する中心市街地に	多少狭くても、利便性の高い中心市街地の周辺（市街化区域内）に	市街地から離れた幹線道路沿いなど利便性の良いところ（市街化調整区域）に	利便性は良くないが、自然環境が豊かなところ（市街化調整区域・都市計画区域外）に	その他	無回答または不明	合計	狭くても良いから、公共公益施設等が立地する中心市街地に	多少狭くても、利便性の高い中心市街地の周辺（市街化区域内）に	市街地から離れた幹線道路沿いなど利便性の良いところ（市街化調整区域）に	利便性は良くないが、自然環境が豊かなところ（市街化調整区域・都市計画区域外）に	その他	無回答または不明
全　体		90	361	397	218	29	17	1,112	8.1%	32.5%	35.7%	19.6%	2.6%	1.5%
年齢別	20歳代	3	21	22	13	2	1	62	4.8%	33.9%	35.5%	21.0%	3.2%	1.6%
	30歳代	7	36	81	28	5	4	161	4.3%	22.4%	50.3%	17.4%	3.1%	2.5%
	40歳代	22	72	82	34	5	0	215	10.2%	33.5%	38.1%	15.8%	2.3%	0.0%
	50歳代	30	116	110	69	9	6	340	8.8%	34.1%	32.4%	20.3%	2.6%	1.8%
	60歳代	27	109	99	67	7	5	314	8.6%	34.7%	31.5%	21.3%	2.2%	1.6%
	70歳以上	1	6	2	4	0	1	14	7.1%	42.9%	14.3%	28.6%	0.0%	7.1%
6地域	中央	77	293	278	142	22	13	825	9.3%	35.5%	33.7%	17.2%	2.7%	1.6%
	湖北	2	9	21	7	0	0	39	5.1%	23.1%	53.8%	17.9%	0.0%	0.0%
	湖南	6	15	26	15	2	0	64	9.4%	23.4%	40.6%	23.4%	3.1%	0.0%
	中海沿岸	2	13	19	11	0	0	45	4.4%	28.9%	42.2%	24.4%	0.0%	0.0%
	島根半島	0	12	20	19	2	1	54	0.0%	22.2%	37.0%	35.2%	3.7%	1.9%
	松南	2	9	27	17	2	3	60	3.3%	15.0%	45.0%	28.3%	3.3%	5.0%
12地区	中心市街地	35	108	46	36	7	2	234	15.0%	46.2%	19.7%	15.4%	3.0%	0.9%
	中心市街地周辺	42	185	232	106	15	11	591	7.1%	31.3%	39.3%	17.9%	2.5%	1.9%
	湖北	2	9	21	7	0	0	39	5.1%	23.1%	53.8%	17.9%	0.0%	0.0%
	玉湯	1	7	12	6	2	0	28	3.6%	25.0%	42.9%	21.4%	7.1%	0.0%
	宍道	5	8	14	9	0	0	36	13.9%	22.2%	38.9%	25.0%	0.0%	0.0%
	本庄･朝酌	2	8	13	3	0	0	26	7.7%	30.8%	50.0%	11.5%	0.0%	0.0%
	八束	0	5	6	8	0	0	19	0.0%	26.3%	31.6%	42.1%	0.0%	0.0%
	鹿島	0	4	11	10	0	1	26	0.0%	15.4%	42.3%	38.5%	0.0%	3.8%
	島根	0	4	5	4	1	0	14	0.0%	28.6%	35.7%	28.6%	7.1%	0.0%
	美保関	0	4	4	5	1	0	14	0.0%	28.6%	28.6%	35.7%	7.1%	0.0%
	忌部	0	1	6	1	1	0	9	0.0%	11.1%	66.7%	11.1%	11.1%	0.0%
	八雲	2	8	21	16	1	3	51	3.9%	15.7%	41.2%	31.4%	2.0%	5.9%

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

(ｶ)　農地のあり方について

今後の農地のあり方について、どのようにお考えですか？ 2つ以内で回答

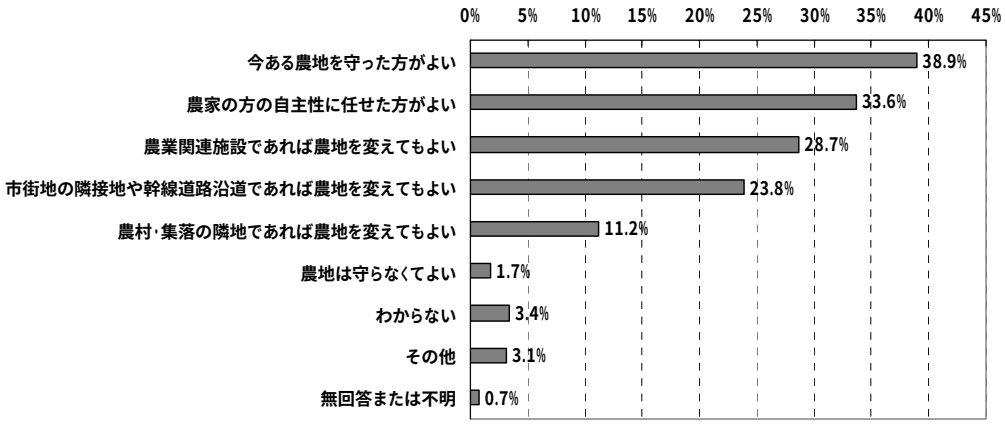
全市では、[今ある農地を守った方がよい]が 38.9%で最も多く、次いで[農家の方の自主性に任せた方がよい]が 33.6%となっており、農地の重要性を認識しつつも、農家の意向に任せる意見が多くなっています。

年齢別でも、ほぼ全市と同様の傾向を示しています。

地域別には、中海沿岸地域が集落の周辺であれば開発を容認する割合が高くなっています。

一方、島根半島地域では、農業関連施設であっても開発を抑制する意向があるようです。

【全　市】



【年齢別・地域別】

内　訳		回答数									
		今ある農地を守った方がよい	農家レストランや農産物加工所など農業関連施設であれば農地を変えてもよい	農村・集落の隣地であれば農地を変えてもよい	市街地の隣接地や幹線道路沿道であれば農地を変えてもよい	農家の方の自主性に任せた方がよい	農地は守らなくてよい	わからない	その他	無回答または不明	合計
全　体		433	319	125	265	374	19	38	35	8	1,616
年齢別	20歳代	23	15	0	7	30	0	3	3	0	81
	30歳代	58	46	7	32	66	2	8	5	0	224
	40歳代	65	69	23	59	64	5	9	6	1	301
	50歳代	138	105	46	74	111	8	11	13	5	511
	60歳代	141	79	48	91	93	4	6	8	2	472
	70歳以上	4	5	1	2	8	0	0	0	0	20
6地域	中央	319	246	81	197	283	14	32	26	4	1,202
	湖北	14	8	7	10	11	1	0	2	0	53
	湖南	28	16	9	19	23	1	0	1	1	98
	中海沿岸	16	15	11	9	14	1	1	0	0	67
	島根半島	20	10	7	12	17	1	2	2	2	73
	松南	24	22	8	13	17	1	2	4	1	92
12地区	中心市街地	90	66	22	54	86	1	11	6	1	337
	中心市街地周辺	229	180	59	143	197	13	21	20	3	865
	湖北	14	8	7	10	11	1	0	2	0	53
	玉湯	10	7	6	8	13	0	0	0	1	45
	宍道	18	9	3	11	10	1	0	1	0	53
	本庄･朝酌	8	9	8	6	8	1	0	0	0	40
	八束	8	6	3	3	6	0	1	0	0	27
	鹿島	8	5	3	6	10	1	2	0	1	36
	島根	4	3	3	3	4	0	0	2	0	19
	美保関	8	2	1	3	3	0	0	0	1	18
	忌部	3	8	0	0	3	0	0	1	0	15
	八雲	21	14	8	13	14	1	2	3	1	77

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　■

内　訳		性別・年齢・居住地の内訳								
		今ある農地を守った方がよい	農家レストランや農産物加工所など農業関連施設であれば農地を変えてもよい	農村・集落の隣地であれば農地を変えてもよい	市街地の隣接地や幹線道路沿道であれば農地を変えてもよい	農家の方の自主性に任せた方がよい	農地は守らなくてよい	わからない	その他	無回答または不明
全　体		38.9%	28.7%	11.2%	23.8%	33.6%	1.7%	3.4%	3.1%	0.7%
年齢別	20歳代	37.1%	24.2%	0.0%	11.3%	48.4%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%
	30歳代	36.0%	28.6%	4.3%	19.9%	41.0%	1.2%	5.0%	3.1%	0.0%
	40歳代	30.2%	32.1%	10.7%	27.4%	29.8%	2.3%	4.2%	2.8%	0.5%
	50歳代	40.6%	30.9%	13.5%	21.8%	32.6%	2.4%	3.2%	3.8%	1.5%
	60歳代	44.9%	25.2%	15.3%	29.0%	29.6%	1.3%	1.9%	2.5%	0.6%
	70歳以上	28.6%	35.7%	7.1%	14.3%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6地域	中央	38.7%	29.8%	9.8%	23.9%	34.3%	1.7%	3.9%	3.2%	0.5%
	湖北	35.9%	20.5%	17.9%	25.6%	28.2%	2.6%	0.0%	5.1%	0.0%
	湖南	43.8%	25.0%	14.1%	29.7%	35.9%	1.6%	0.0%	1.6%	1.6%
	中海沿岸	35.6%	33.3%	24.4%	20.0%	31.1%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%
	島根半島	37.0%	18.5%	13.0%	22.2%	31.5%	1.9%	3.7%	3.7%	3.7%
	松南	40.0%	36.7%	13.3%	21.7%	28.3%	1.7%	3.3%	6.7%	1.7%
12地区	中心市街地	38.5%	28.2%	9.4%	23.1%	36.8%	0.4%	4.7%	2.6%	0.4%
	中心市街地周辺	38.7%	30.5%	10.0%	24.2%	33.3%	2.2%	3.6%	3.4%	0.5%
	湖北	35.9%	20.5%	17.9%	25.6%	28.2%	2.6%	0.0%	5.1%	0.0%
	玉湯	35.7%	25.0%	21.4%	28.6%	46.4%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%
	宍道	50.0%	25.0%	8.3%	30.6%	27.8%	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%
	本庄･朝酌	30.8%	34.6%	30.8%	23.1%	30.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	八束	42.1%	31.6%	15.8%	15.8%	31.6%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
	鹿島	30.8%	19.2%	11.5%	23.1%	38.5%	3.8%	7.7%	0.0%	3.8%
	島根	28.6%	21.4%	21.4%	21.4%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
	美保関	57.1%	14.3%	7.1%	21.4%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%
	忌部	33.3%	88.9%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	八雲	41.2%	27.5%	15.7%	25.5%	27.5%	2.0%	3.9%	5.9%	2.0%

(ｷ)　農村地域に今後望まれること

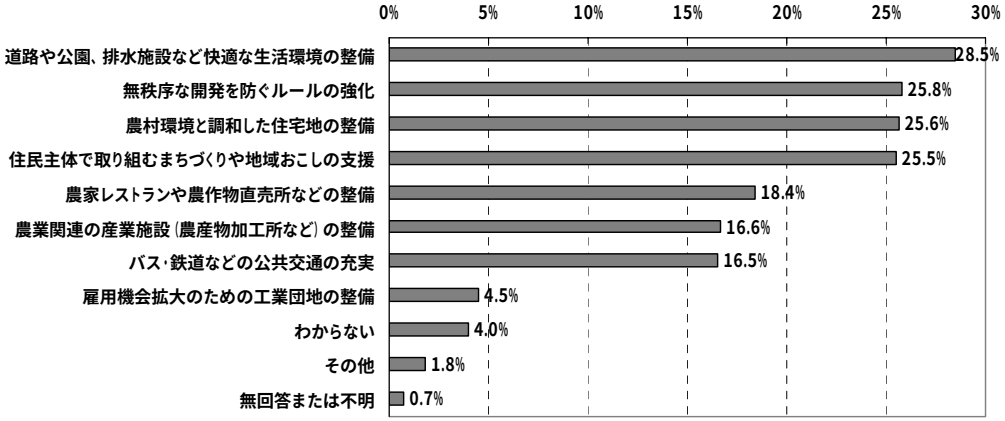
農村地域について、今後望まれることはどのようなことですか？ 2つ以内で回答

全市では、[道路や公園、排水施設など快適な生活環境の整備]が 28.5%で最も多く、次いで［無秩序な開発を防ぐルールの強化］が 25.8%となっており、基本的な、整備と制度が望まれています。要望の上位 2～4 位までは要望の度合いに差はなく、3 位、4 位は［農村環境と調和した住宅地の整備］［住民主体で取り組むまちづくりや地域おこしの支援］となっています。

年齢別には、70 代で公共交通に対する要望が高くなっています。

地域別には、島根半島地域で［住民主体で取り組むまちづくりや地域おこしの支援］の要望が強く、地域の活性化が希求されています。

【全　市】



【年齢別・地域別】

内訳		回答数											
		道路や公園、排水施設など快適な生活環境の整備	農業関連の産業施設（農産物加工所など）の整備	農家レストランや農作物直売所などの整備	農村環境と調和した住宅地の整備	雇用機会拡大のための工業団地の整備	バス・鉄道などの公共交通の充実	住民主体で取り組むまちづくりや地域おこしの支援	無秩序な開発を防ぐルールの強化	わからない	その他	無回答または不明	合計
全体		317	185	205	285	50	184	284	287	44	20	8	1,869
年齢別	20歳代	18	10	8	14	3	13	18	12	4	3	0	103
	30歳代	54	24	27	37	11	30	40	28	7	4	1	263
	40歳代	64	30	52	43	10	44	49	46	11	7	1	357
	50歳代	83	58	77	94	11	54	79	102	12	3	5	578
	60歳代	93	60	41	89	14	38	94	96	10	2	0	537
	70歳以上	5	2	0	5	1	4	3	2	0	0	1	23
6地域	中央	231	148	168	196	34	129	201	222	36	17	5	1,387
	湖北	12	5	8	10	0	7	11	10	1	0	1	65
	湖南	19	6	7	26	4	12	21	14	0	0	0	109
	中海沿岸	16	5	5	14	4	7	10	9	3	0	0	73
	島根半島	13	9	4	12	4	12	21	14	1	1	1	92
	松南	22	8	12	19	2	13	15	11	1	1	1	105
12地区	中心市街地	47	44	55	44	9	38	58	80	10	7	0	392
	中心市街地周辺	184	104	113	152	25	91	143	142	26	10	5	995
	湖北	12	5	8	10	0	7	11	10	1	0	1	65
	玉湯	9	3	3	13	2	3	10	6	0	0	0	49
	宍道	10	3	4	13	2	9	11	8	0	0	0	60
	本庄･朝酌	7	2	4	10	4	3	6	3	3	0	0	42
	八束	9	3	1	4	0	4	4	6	0	0	0	31
	鹿島	4	5	1	7	1	5	9	8	1	0	1	42
	島根	5	2	3	4	2	2	6	2	0	1	0	27
	美保関	4	2	0	1	1	5	6	4	0	0	0	23
	忌部	3	2	1	4	0	1	2	3	0	0	0	16
	八雲	19	6	11	15	2	12	13	8	1	1	1	89

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　■

内訳		性別・年齢・居住地の内訳										
		道路や公園、排水施設など快適な生活環境の整備	農業関連の産業施設（農産物加工所など）の整備	農家レストランや農作物直売所などの整備	農村環境と調和した住宅地の整備	雇用機会拡大のための工業団地の整備	バス・鉄道などの公共交通の充実	住民主体で取り組むまちづくりや地域おこしの支援	無秩序な開発を防ぐルールの強化	わからない	その他	無回答または不明
全体		28.5%	16.6%	18.4%	25.6%	4.5%	16.5%	25.5%	25.8%	4.0%	1.8%	0.7%
年齢別	20歳代	29.0%	16.1%	12.9%	22.6%	4.8%	21.0%	29.0%	19.4%	6.5%	4.8%	0.0%
	30歳代	33.5%	14.9%	16.8%	23.0%	6.8%	18.6%	24.8%	17.4%	4.3%	2.5%	0.6%
	40歳代	29.8%	14.0%	24.2%	20.0%	4.7%	20.5%	22.8%	21.4%	5.1%	3.3%	0.5%
	50歳代	24.4%	17.1%	22.6%	27.6%	3.2%	15.9%	23.2%	30.0%	3.5%	0.9%	1.5%
	60歳代	29.6%	19.1%	13.1%	28.3%	4.5%	12.1%	29.9%	30.6%	3.2%	0.6%	0.0%
	70歳以上	35.7%	14.3%	0.0%	35.7%	7.1%	28.6%	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%	7.1%
6地域	中央	28.0%	17.9%	20.4%	23.8%	4.1%	15.6%	24.4%	26.9%	4.4%	2.1%	0.6%
	湖北	30.8%	12.8%	20.5%	25.6%	0.0%	17.9%	28.2%	25.6%	2.6%	0.0%	2.6%
	湖南	29.7%	9.4%	10.9%	40.6%	6.3%	18.8%	32.8%	21.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	中海沿岸	35.6%	11.1%	11.1%	31.1%	8.9%	15.6%	22.2%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%
	島根半島	24.1%	16.7%	7.4%	22.2%	7.4%	22.2%	38.9%	25.9%	1.9%	1.9%	1.9%
	松南	36.7%	13.3%	20.0%	31.7%	3.3%	21.7%	25.0%	18.3%	1.7%	1.7%	1.7%
12地区	中心市街地	20.1%	18.8%	23.5%	18.8%	3.8%	16.2%	24.8%	34.2%	4.3%	3.0%	0.0%
	中心市街地周辺	31.1%	17.6%	19.1%	25.7%	4.2%	15.4%	24.2%	24.0%	4.4%	1.7%	0.8%
	湖北	30.8%	12.8%	20.5%	25.6%	0.0%	17.9%	28.2%	25.6%	2.6%	0.0%	2.6%
	玉湯	32.1%	10.7%	10.7%	46.4%	7.1%	10.7%	35.7%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	宍道	27.8%	8.3%	11.1%	36.1%	5.6%	25.0%	30.6%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	本庄･朝酌	26.9%	7.7%	15.4%	38.5%	15.4%	11.5%	23.1%	11.5%	11.5%	0.0%	0.0%
	八束	47.4%	15.8%	5.3%	21.1%	0.0%	21.1%	21.1%	31.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	鹿島	15.4%	19.2%	3.8%	26.9%	3.8%	19.2%	34.6%	30.8%	3.8%	0.0%	3.8%
	島根	35.7%	14.3%	21.4%	28.6%	14.3%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	7.1%	0.0%
	美保関	28.6%	14.3%	0.0%	7.1%	7.1%	35.7%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	忌部	33.3%	22.2%	11.1%	44.4%	0.0%	11.1%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	八雲	37.3%	11.8%	21.6%	29.4%	3.9%	23.5%	25.5%	15.7%	2.0%	2.0%	2.0%

(ｸ)　大規模商業施設のあり方

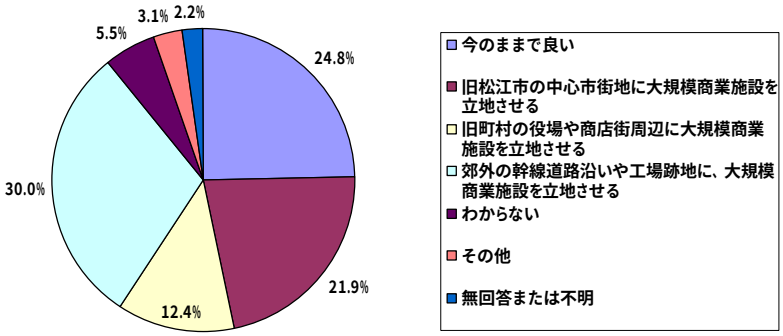
大型スーパーなどの「大規模商業施設」は郊外に多く立地していますが、これからの大規模商業施設のあり方について、どのようにお考えですか？

全市では、[郊外の幹線道路沿いや工場跡地に、大規模商業施設を立地させる]が 30.0%で最も多く、次いで[今のままで良い]が 24.8%となっています。既存の跡地や利便性の高い場所の開発が望まれています。

年齢別には、20 代で現状維持の意見が多いのが特徴的です。

地域別には、湖北地域で現状維持の傾向が強いですが、湖南地域では中心市街地までの距離が遠いためか、旧町村の役場や商店街周辺への大規模商業施設の立地が望まれています。

【全　市】



【年齢別・地域別】全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　□

内訳		回答数								性別・年齢・居住地の内訳						
		今のままで良い	旧松江市の中心市街地に大規模商業施設を立地させる	旧町村の役場や商店街周辺に大規模商業施設を立地させる	郊外の幹線道路沿いや工場跡地に、大規模商業施設を立地させる	わからない	その他	無回答または不明	合計	今のままで良い	旧松江市の中心市街地に大規模商業施設を立地させる	旧町村の役場や商店街周辺に大規模商業施設を立地させる	郊外の幹線道路沿いや工場跡地に、大規模商業施設を立地させる	わからない	その他	無回答または不明
全　体		276	243	138	334	61	35	25	1,112	24.8%	21.9%	12.4%	30.0%	5.5%	3.1%	2.2%
年齢別	20歳代	23	13	7	11	4	4	0	62	37.1%	21.0%	11.3%	17.7%	6.5%	6.5%	0.0%
	30歳代	46	34	8	60	8	2	3	161	28.6%	21.1%	5.0%	37.3%	5.0%	1.2%	1.9%
	40歳代	48	45	32	66	12	11	1	215	22.3%	20.9%	14.9%	30.7%	5.6%	5.1%	0.5%
	50歳代	90	79	35	101	14	11	10	340	26.5%	23.2%	10.3%	29.7%	4.1%	3.2%	2.9%
	60歳代	64	68	54	92	20	5	11	314	20.4%	21.7%	17.2%	29.3%	6.4%	1.6%	3.5%
	70歳以上	4	2	1	4	2	1	0	14	28.6%	14.3%	7.1%	28.6%	14.3%	7.1%	0.0%
6地域	中央	195	203	86	253	41	28	19	825	23.6%	24.6%	10.4%	30.7%	5.0%	3.4%	2.3%
	湖北	14	10	1	9	2	2	1	39	35.9%	25.6%	2.6%	23.1%	5.1%	5.1%	2.6%
	湖南	17	3	18	25	0	1	0	64	26.6%	4.7%	28.1%	39.1%	0.0%	1.6%	0.0%
	中海沿岸	12	7	5	15	4	1	1	45	26.7%	15.6%	11.1%	33.3%	8.9%	2.2%	2.2%
	島根半島	13	9	12	11	6	1	2	54	24.1%	16.7%	22.2%	20.4%	11.1%	1.9%	3.7%
	松南	17	5	13	17	6	1	1	60	28.3%	8.3%	21.7%	28.3%	10.0%	1.7%	1.7%
12地区	中心市街地	50	91	22	51	8	9	3	234	21.4%	38.9%	9.4%	21.8%	3.4%	3.8%	1.3%
	中心市街地周辺	145	112	64	202	33	19	16	591	24.5%	19.0%	10.8%	34.2%	5.6%	3.2%	2.7%
	湖北	14	10	1	9	2	2	1	39	35.9%	25.6%	2.6%	23.1%	5.1%	5.1%	2.6%
	玉湯	9	1	7	11	0	0	0	28	32.1%	3.6%	25.0%	39.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	宍道	8	2	11	14	0	1	0	36	22.2%	5.6%	30.6%	38.9%	0.0%	2.8%	0.0%
	本庄･朝酌	8	5	1	10	1	1	0	26	30.8%	19.2%	3.8%	38.5%	3.8%	3.8%	0.0%
	八束	4	2	4	5	3	0	1	19	21.1%	10.5%	21.1%	26.3%	15.8%	0.0%	5.3%
	鹿島	6	6	3	6	3	0	2	26	23.1%	23.1%	11.5%	23.1%	11.5%	0.0%	7.7%
	島根	4	2	6	1	1	0	0	14	28.6%	14.3%	42.9%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%
	美保関	3	1	3	4	2	1	0	14	21.4%	7.1%	21.4%	28.6%	14.3%	7.1%	0.0%
	忌部	2	1	1	4	1	0	0	9	22.2%	11.1%	11.1%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%
	八雲	15	4	12	13	5	1	1	51	29.4%	7.8%	23.5%	25.5%	9.8%	2.0%	2.0%

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

(ｹ)　商店街について

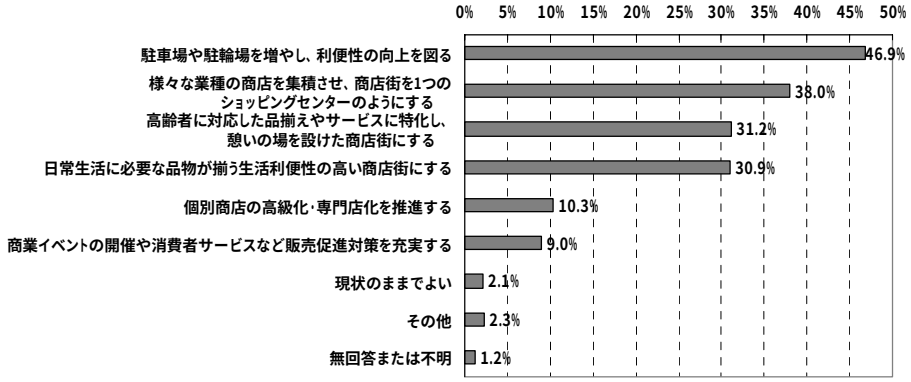
中心市街地にある商店街について、どのようなことを望まれますか？ 2つ以内で回答

全市では、[駐車場や駐輪場を増やし、利便性の向上を図る]が46.9%で最も多く、次いで[様々な業種の商店を集積させ、商店街を1つのショッピングセンターのようにする]が38.0%となっており、全市的にモータリゼーションが普及しています。

年齢別では、高齢者（60代、70代）に行動範囲の中で必要なものが揃えられる商店街が望まれています。

地域別では、ほぼ全市と同様な傾向となっています。

【全　市】



【年齢別・地域別】

内訳		回答数									
		日常生活に必要な品物が揃う生活利便性の高い商店街にする	個別商店の高級化・専門店化を推進する	高齢者に対応した品揃えやサービスに特化し、憩いの場を設けた商店街にする	商業イベントの開催や消費者サービスなど販売促進対策を充実する	様々な業種の商店を集積させ、商店街を1つのショッピングセンターのようにする	駐車場や駐輪場を増やし、利便性の向上を図る	現状のままでよい	その他	無回答または不明	合計
全　体		344	115	347	100	423	521	23	26	13	1,912
年齢別	20歳代	15	12	18	8	24	30	1	1	0	109
	30歳代	46	21	36	18	53	73	4	6	3	260
	40歳代	54	27	53	23	84	119	3	8	2	373
	50歳代	108	35	110	26	138	161	6	7	3	594
	60歳代	113	19	121	24	121	130	8	4	5	545
	70歳以上	8	1	7	0	1	5	1	0	0	23
6地域	中央	256	87	258	74	323	388	13	22	9	1,430
	湖北	10	6	10	1	13	17	3	0	0	60
	湖南	19	3	22	9	19	30	4	1	0	107
	中海沿岸	13	4	14	2	18	23	1	0	0	75
	島根半島	20	4	15	8	20	22	1	1	2	93
	松南	21	7	17	4	21	32	1	2	2	107
12地区	中心市街地	76	31	66	15	95	108	2	9	2	404
	中心市街地周辺	180	56	192	59	228	280	11	13	7	1,026
	湖北	10	6	10	1	13	17	3	0	0	60
	玉湯	11	0	11	4	7	14	2	1	0	50
	宍道	8	3	11	5	12	16	2	0	0	57
	本庄･朝酌	8	1	8	1	7	16	1	0	0	42
	八束	5	3	6	1	11	7	0	0	0	33
	鹿島	9	2	7	4	9	12	1	0	1	45
	島根	7	1	4	4	5	3	0	1	0	25
	美保関	4	1	4	0	6	7	0	0	1	23
	忌部	3	1	2	0	2	7	1	0	0	16
	八雲	18	6	15	4	19	25	0	2	2	91

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　■

内　訳		日常生活に必要な品物が揃う生活利便性の高い商店街にする	個別商店の高級化・専門店化を推進する	高齢者に対応した品揃えやサービスに特化し、憩いの場を設けた商店街にする	商業者サービスなど販売促進対策を充実する	商業イベントの開催や消費ピングセンターのようにする	様々な業種の商店を集積させ、商店街を１つのショッ	駐車場や駐輪場を増やし、利便性の向上を図る	現状のままでよい	その他	無回答または不明
全　体		30.9%	10.3%	31.2%	9.0%	38.0%	46.9%	2.1%	2.3%	1.2%
年齢別	20歳代	24.2%	19.4%	29.0%	12.9%	38.7%	48.4%	1.6%	1.6%	0.0%
	30歳代	28.6%	13.0%	22.4%	11.2%	32.9%	45.3%	2.5%	3.7%	1.9%
	40歳代	25.1%	12.6%	24.7%	10.7%	39.1%	55.3%	1.4%	3.7%	0.9%
	50歳代	31.8%	10.3%	32.4%	7.6%	40.6%	47.4%	1.8%	2.1%	0.9%
	60歳代	36.0%	6.1%	38.5%	7.6%	38.5%	41.4%	2.5%	1.3%	1.6%
	70歳以上	57.1%	7.1%	50.0%	0.0%	7.1%	35.7%	7.1%	0.0%	0.0%
6地域	中央地域	31.0%	10.5%	31.3%	9.0%	39.2%	47.0%	1.6%	2.7%	1.1%
	湖北地域	25.6%	15.4%	25.6%	2.6%	33.3%	43.6%	7.7%	0.0%	0.0%
	湖南地域	29.7%	4.7%	34.4%	14.1%	29.7%	46.9%	6.3%	1.6%	0.0%
	中海地域	28.9%	8.9%	31.1%	4.4%	40.0%	51.1%	2.2%	0.0%	0.0%
	日本海沿岸地域	37.0%	7.4%	27.8%	14.8%	37.0%	40.7%	1.9%	1.9%	3.7%
	松南地域	35.0%	11.7%	28.3%	6.7%	35.0%	53.3%	1.7%	3.3%	3.3%
12地区	松江中央	32.5%	13.2%	28.2%	6.4%	40.6%	46.2%	0.9%	3.8%	0.9%
	松江周辺	30.5%	9.5%	32.5%	10.0%	38.6%	47.4%	1.9%	2.2%	1.2%
	湖北	25.6%	15.4%	25.6%	2.6%	33.3%	43.6%	7.7%	0.0%	0.0%
	本庄	30.8%	3.8%	30.8%	3.8%	26.9%	61.5%	3.8%	0.0%	0.0%
	忌部	33.3%	11.1%	22.2%	0.0%	22.2%	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%
	鹿島	34.6%	7.7%	26.9%	15.4%	34.6%	46.2%	3.8%	0.0%	3.8%
	島根	50.0%	7.1%	28.6%	28.6%	35.7%	21.4%	0.0%	7.1%	0.0%
	美保関	28.6%	7.1%	28.6%	0.0%	42.9%	50.0%	0.0%	0.0%	7.1%
	八雲	35.3%	11.8%	29.4%	7.8%	37.3%	49.0%	0.0%	3.9%	3.9%
	玉湯	39.3%	0.0%	39.3%	14.3%	25.0%	50.0%	7.1%	3.6%	0.0%
	宍道	22.2%	8.3%	30.6%	13.9%	33.3%	44.4%	5.6%	0.0%	0.0%
	八束	26.3%	15.8%	31.6%	5.3%	57.9%	36.8%	0.0%	0.0%	0.0%

(ｺ)　工業地のあり方について

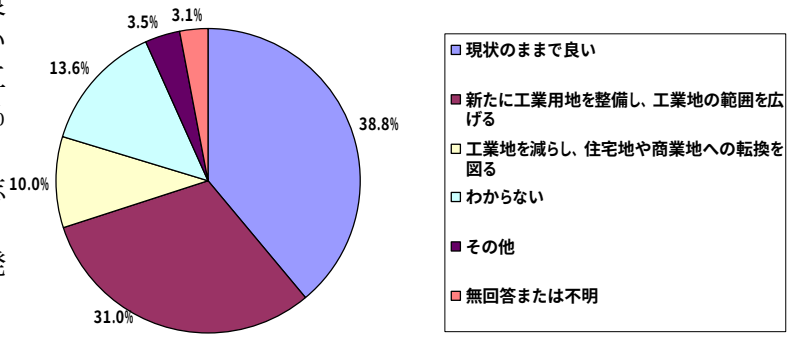
全国的に工場の新設、増設が活発化していますが、本市における工業地のあり方について、どのようなことを望まれますか？

【全　市】

全市では、[現状のままで良い]が 38.8%で最も多く、次いで[新たに工業用地を整備し、工業地の範囲を広げる]が 31.0%となっています。

年齢別では、高齢者の開発志向が強くなっています。

地域別では、湖南地域で開発志向が強いことがわかります。



【年齢別・地域別】

全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　□

内　訳		回答数							性別・年齢・居住地の内訳					
		現状のままで良い	新たに工業用地を整備し、工業地の範囲を広げる	工業地を減らし、住宅地や商業地への転換を図る	わからない	その他	無回答または不明	合計	現状のままで良い	新たに工業用地を整備し、工業地の範囲を広げる	工業地を減らし、住宅地や商業地への転換を図る	わからない	その他	無回答または不明
全　体		432	345	111	151	39	34	1,112	38.8%	31.0%	10.0%	13.6%	3.5%	3.1%
年齢別	20歳代	27	14	6	15	0	0	62	43.5%	22.6%	9.7%	24.2%	0.0%	0.0%
	30歳代	75	40	19	20	5	2	161	46.6%	24.8%	11.8%	12.4%	3.1%	1.2%
	40歳代	81	61	31	30	9	3	215	37.7%	28.4%	14.4%	14.0%	4.2%	1.4%
	50歳代	123	116	29	44	12	16	340	36.2%	34.1%	8.5%	12.9%	3.5%	4.7%
	60歳代	121	106	24	38	12	13	314	38.5%	33.8%	7.6%	12.1%	3.8%	4.1%
	70歳以上	4	6	1	3	0	0	14	28.6%	42.9%	7.1%	21.4%	0.0%	0.0%
6地域	中央	338	234	86	112	30	25	825	41.0%	28.4%	10.4%	13.6%	3.6%	3.0%
	湖北	16	13	3	5	2	0	39	41.0%	33.3%	7.7%	12.8%	5.1%	0.0%
	湖南	15	32	5	7	2	3	64	23.4%	50.0%	7.8%	10.9%	3.1%	4.7%
	中海沿岸	13	17	7	5	1	2	45	28.9%	37.8%	15.6%	11.1%	2.2%	4.4%
	島根半島	15	20	5	10	2	2	54	27.8%	37.0%	9.3%	18.5%	3.7%	3.7%
	松南	27	20	3	8	1	1	60	45.0%	33.3%	5.0%	13.3%	1.7%	1.7%
12地区	中心市街地	106	49	25	37	10	7	234	45.3%	20.9%	10.7%	15.8%	4.3%	3.0%
	中心市街地周辺	232	185	61	75	20	18	591	39.3%	31.3%	10.3%	12.7%	3.4%	3.0%
	湖北	16	13	3	5	2	0	39	41.0%	33.3%	7.7%	12.8%	5.1%	0.0%
	玉湯	9	11	2	3	2	1	28	32.1%	39.3%	7.1%	10.7%	7.1%	3.6%
	宍道	6	21	3	4	0	2	36	16.7%	58.3%	8.3%	11.1%	0.0%	5.6%
	本庄･朝酌	8	12	1	4	1	0	26	30.8%	46.2%	3.8%	15.4%	3.8%	0.0%
	八束	5	5	6	1	0	2	19	26.3%	26.3%	31.6%	5.3%	0.0%	10.5%
	鹿島	8	9	4	4	0	1	26	30.8%	34.6%	15.4%	15.4%	0.0%	3.8%
	島根	4	5	0	4	1	0	14	28.6%	35.7%	0.0%	28.6%	7.1%	0.0%
	美保関	3	6	1	2	1	1	14	21.4%	42.9%	7.1%	14.3%	7.1%	7.1%
	忌部	4	4	0	1	0	0	9	44.4%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
	八雲	23	16	3	7	1	1	51	45.1%	31.4%	5.9%	13.7%	2.0%	2.0%

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

(ｻ)　工業地として相応しい場所

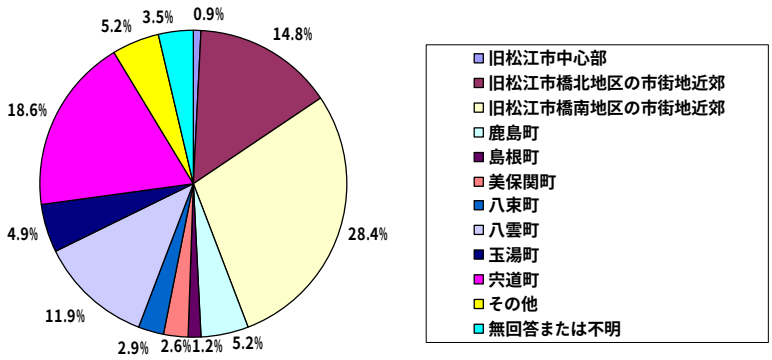
前問で「2.新たに工業用地を整備し、工業地の範囲を広げる」とお答えになられた方にお聞きします。工業地として相応しいのはどのあたりであるとお考えですか？

【全　市】

全市では、[旧松江市橋南地区の市街地近郊]が 28.4%で最も多く、次いで[宍道町]が 18.6%となっています。

年齢別では、概ね全市と同じ傾向が見られます。

地域別では、各地域の活性化を意図し、自地域への企業誘致を望んでいます。



【年齢別・地域別】

内訳		回答数												
		旧松江市中心部	旧松江市橋北地区の市街地近郊	旧松江市橋南地区の市街地近郊	鹿島町	島根町	美保関町	八束町	八雲町	玉湯町	宍道町	その他	無回答または不明	合計
全体		3	51	98	18	4	9	10	41	17	64	18	12	345
年齢別	20歳代	0	3	2	1	1	1	0	2	1	1	2	0	14
	30歳代	1	5	12	2	0	0	0	5	1	7	6	1	40
	40歳代	0	4	20	5	0	1	0	9	5	12	4	1	61
	50歳代	0	18	33	2	2	4	5	10	6	26	3	7	116
	60歳代	1	20	31	8	1	3	5	15	3	15	3	1	106
	70歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	6
6地域	中央	3	30	73	12	3	4	6	30	13	40	13	7	234
	湖北	0	6	3	0	0	0	0	2	0	0	2	0	13
	湖南	0	1	6	0	0	0	0	1	3	18	1	2	32
	中海沿岸	0	8	2	1	0	1	2	0	0	1	0	2	17
	島根半島	0	5	2	5	1	3	1	0	0	2	1	0	20
	松南	0	0	11	0	0	0	0	6	0	1	1	1	20
12地区	中心市街地	0	8	12	5	1	0	2	4	3	8	3	3	49
	中心市街地周辺	3	22	61	7	2	4	4	26	10	32	10	4	185
	湖北	0	6	3	0	0	0	0	2	0	0	2	0	13
	玉湯	0	1	4	0	0	0	0	0	2	2	1	1	11
	宍道	0	0	2	0	0	0	0	1	1	16	0	1	21
	本庄･朝酌	0	7	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	12
	八束	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	5
	鹿島	0	1	1	5	0	0	1	0	0	1	0	0	9
	島根	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	5
	美保関	0	2	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	6
	忌部	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	八雲	0	0	8	0	0	0	0	5	0	1	1	1	16

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

全体から 10 ポイント以上高いもの　　、全体から 10 ポイント以上低いもの

内訳		性別・年齢・居住地の内訳											
		旧松江市中心部	旧松江市橋北地区の市街地近郊	旧松江市橋南地区の市街地近郊	鹿島町	島根町	美保関町	八束町	八雲町	玉湯町	宍道町	その他	無回答または不明
全体		0.9%	14.8%	28.4%	5.2%	1.2%	2.6%	2.9%	11.9%	4.9%	18.6%	5.2%	3.5%
年齢別	20歳代	0.0%	21.4%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	14.3%	7.1%	7.1%	14.3%	0.0%
	30歳代	2.5%	12.5%	30.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	2.5%	17.5%	15.0%	2.5%
	40歳代	0.0%	6.6%	32.8%	8.2%	0.0%	1.6%	0.0%	14.8%	8.2%	19.7%	6.6%	1.6%
	50歳代	0.0%	15.5%	28.4%	1.7%	1.7%	3.4%	4.3%	8.6%	5.2%	22.4%	2.6%	6.0%
	60歳代	0.9%	18.9%	29.2%	7.5%	0.9%	2.8%	4.7%	14.2%	2.8%	14.2%	2.8%	0.9%
	70歳以上	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	33.3%
	年齢不明	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
6地域	中央	1.3%	12.8%	31.2%	5.1%	1.3%	1.7%	2.6%	12.8%	5.6%	17.1%	5.6%	3.0%
	湖北	0.0%	46.2%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%
	湖南	0.0%	3.1%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	9.4%	56.3%	3.1%	6.3%
	中海沿岸	0.0%	47.1%	11.8%	5.9%	0.0%	5.9%	11.8%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	11.8%
	島根半島	0.0%	25.0%	10.0%	25.0%	5.0%	15.0%	5.0%	0.0%	0.0%	10.0%	5.0%	0.0%
	松南	0.0%	0.0%	55.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	5.0%	5.0%	5.0%
12地区	中心市街地	0.0%	16.3%	24.5%	10.2%	2.0%	0.0%	4.1%	8.2%	6.1%	16.3%	6.1%	6.1%
	中心市街地周辺	1.6%	11.9%	33.0%	3.8%	1.1%	2.2%	2.2%	14.1%	5.4%	17.3%	5.4%	2.2%
	湖北	0.0%	46.2%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%
	玉湯	0.0%	9.1%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%
	宍道	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%	76.2%	0.0%	4.8%
	本庄･朝酌	0.0%	58.3%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
	八束	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%
	鹿島	0.0%	11.1%	11.1%	55.6%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
	島根	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	美保関	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	忌部	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八雲	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.3%	0.0%	6.3%	6.3%	6.3%

イ　「都市施設整備のあり方」について

(ｱ)　道路や交通について

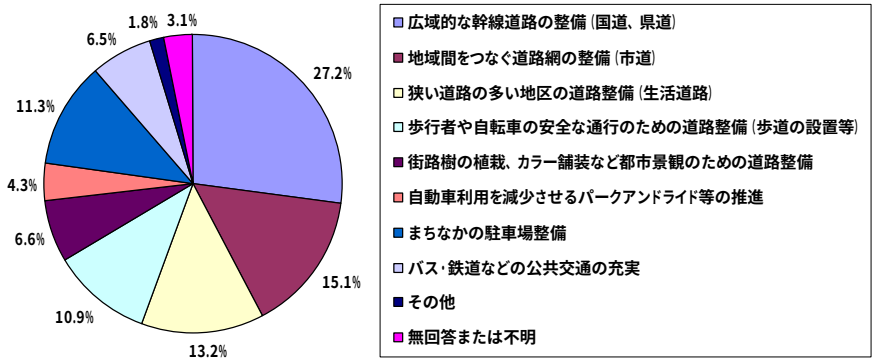
道路整備や交通のあり方について、それぞれどのように思われますか？
・松江市に必要なのは

全市的には、[広域的な幹線道路の整備（国道、県道）]が 27.2%で最も多く、次いで[地域間をつなぐ道路網の整備（市道）]が 15.1%となっています。

年齢別では概ね全市と同様な傾向となっています。

地域別では、湖北、島根半島の両地域で地域間の連絡道路の整備が望まれています。

【全　市】



【年齢別・地域別】

内　訳		回答数										
		広域的な幹線道路の整備（国道、県道）	地域間をつなぐ道路網の整備（市道）	狭い道路の多い地区の道路整備（生活道路）	歩行者や自転車の安全な通行のための道路整備（歩道の設置等）	街路樹の植栽、カラー舗装など都市景観のための道路整備	自動車利用を減少させるパークアンドライド等の推進	まちなかの駐車場整備	バス・鉄道などの公共交通の充実	その他	無回答または不明	合計
全　体		303	168	147	121	73	48	126	72	20	34	1,112
年齢別	20歳代	15	5	8	9	2	4	10	8	1	0	62
	30歳代	52	17	23	14	14	11	10	10	5	5	161
	40歳代	70	31	25	18	14	8	17	24	5	3	215
	50歳代	91	50	45	39	31	10	49	13	4	8	340
	60歳代	72	58	42	39	11	15	40	15	5	17	314
	70歳以上	3	5	1	2	1	0	0	1	0	1	14
6地域	中央	233	117	106	93	59	35	85	64	15	18	825
	湖北	12	10	6	3	2	2	2	0	0	2	39
	湖南	17	9	4	8	2	3	15	3	1	2	64
	中海沿岸	9	8	9	4	3	2	5	2	1	2	45
	島根半島	14	14	4	3	1	4	6	1	1	6	54
	松南	14	7	9	8	5	2	9	1	1	4	60
12地区	中心市街地	68	29	25	27	20	11	23	17	8	6	234
	中心市街地周辺	165	88	81	66	39	24	62	47	7	12	591
	湖北	12	10	6	3	2	2	2	0	0	2	39
	玉湯	5	4	2	3	2	2	8	1	1	0	28
	宍道	12	5	2	5	0	1	7	2	0	2	36
	本庄･朝酌	5	4	6	3	2	0	4	1	0	1	26
	八束	4	4	3	1	1	2	1	1	1	1	19
	鹿島	8	8	3	1	0	1	3	1	0	1	26
	島根	2	4	0	1	0	1	2	0	1	3	14
	美保関	4	2	1	1	1	2	1	0	0	2	14
	忌部	2	2	1	1	0	0	2	0	1	0	9
	八雲	12	5	8	7	5	2	7	1	0	4	51

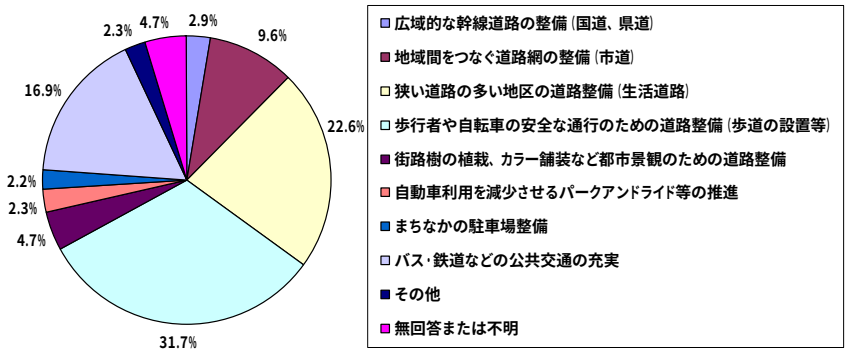
※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　□

内訳		性別・年齢・居住地の内訳									
		広域的な幹線道路の整備（国道、県道）	地域間をつなぐ道路網の整備（市道）	狭い道路の多い地区の道路整備（生活道路）	歩行者や自転車の安全な通行のための道路整備（歩道の設置等）	街路樹の植栽、カラー舗装など都市景観のための道路整備	自動車利用を減少させるパークアンドライド等の推進	まちなかの駐車場整備	バス・鉄道などの公共交通の充実	その他	無回答または不明
全　体		27.2%	15.1%	13.2%	10.9%	6.6%	4.3%	11.3%	6.5%	1.8%	3.1%
年齢別	20歳代	24.2%	8.1%	12.9%	14.5%	3.2%	6.5%	16.1%	12.9%	1.6%	0.0%
	30歳代	32.3%	10.6%	14.3%	8.7%	8.7%	6.8%	6.2%	6.2%	3.1%	3.1%
	40歳代	32.6%	14.4%	11.6%	8.4%	6.5%	3.7%	7.9%	11.2%	2.3%	1.4%
	50歳代	26.8%	14.7%	13.2%	11.5%	9.1%	2.9%	14.4%	3.8%	1.2%	2.4%
	60歳代	22.9%	18.5%	13.4%	12.4%	3.5%	4.8%	12.7%	4.8%	1.6%	5.4%
	70歳以上	21.4%	35.7%	7.1%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%
6地域	中央	28.2%	14.2%	12.8%	11.3%	7.2%	4.2%	10.3%	7.8%	1.8%	2.2%
	湖北	30.8%	25.6%	15.4%	7.7%	5.1%	5.1%	5.1%	0.0%	0.0%	5.1%
	湖南	26.6%	14.1%	6.3%	12.5%	3.1%	4.7%	23.4%	4.7%	1.6%	3.1%
	中海沿岸	20.0%	17.8%	20.0%	8.9%	6.7%	4.4%	11.1%	4.4%	2.2%	4.4%
	島根半島	25.9%	25.9%	7.4%	5.6%	1.9%	7.4%	11.1%	1.9%	1.9%	11.1%
	松南	23.3%	11.7%	15.0%	13.3%	8.3%	3.3%	15.0%	1.7%	1.7%	6.7%
12地区	中心市街地	29.1%	12.4%	10.7%	11.5%	8.5%	4.7%	9.8%	7.3%	3.4%	2.6%
	中心市街地周辺	27.9%	14.9%	13.7%	11.2%	6.6%	4.1%	10.5%	8.0%	1.2%	2.0%
	湖北	30.8%	25.6%	15.4%	7.7%	5.1%	5.1%	5.1%	0.0%	0.0%	5.1%
	玉湯	17.9%	14.3%	7.1%	10.7%	7.1%	7.1%	28.6%	3.6%	3.6%	0.0%
	宍道	33.3%	13.9%	5.6%	13.9%	0.0%	2.8%	19.4%	5.6%	0.0%	5.6%
	本庄･朝酌	19.2%	15.4%	23.1%	11.5%	7.7%	0.0%	15.4%	3.8%	0.0%	3.8%
	八束	21.1%	21.1%	15.8%	5.3%	5.3%	10.5%	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%
	鹿島	30.8%	30.8%	11.5%	3.8%	0.0%	3.8%	11.5%	3.8%	0.0%	3.8%
	島根	14.3%	28.6%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	14.3%	0.0%	7.1%	21.4%
	美保関	28.6%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	14.3%
	忌部	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%
	八雲	23.5%	9.8%	15.7%	13.7%	9.8%	3.9%	13.7%	2.0%	0.0%	7.8%

道路整備や交通のあり方について、それぞれどのように思われますか？
・あなたのお住まいの地域に必要なのは

【全　市】



全市では、[歩行者や自転車の安全な通行のための道路整備（歩道の設置等）]が 31.7%で最も多く、次いで[狭い道路の多い地区の道路整備(生活道路)]が 22.6%となっています。

年齢別には概ね全市と同じ傾向となっています。

地域別には、湖北と松南の両地域で地域間をつなぐ道路を要望しています。これらの地域は、合併前から中心市街地との結びつきが強く、合併後も同様の生活様式が継続している結果と考えられます。

【年齢別・地域別】

内訳		回答数										
		広域的な幹線道路の整備（国道、県道）	地域間をつなぐ道路網の整備（市道）	狭い道路の多い地区の道路整備（生活道路）	歩行者や自転車の安全な通行のための道路整備（歩道等の設置）	街路樹の植栽、カラー舗装など都市景観のための道路整備	自動車利用を減少させるパークアンドライド等の推進	まちなかの駐車場整備	バス・鉄道などの公共交通の充実	その他	無回答または不明	合計
全体		32	107	251	353	52	26	25	188	26	52	1,112
年齢別	20歳代	1	10	10	17	3	4	1	12	2	2	62
	30歳代	3	7	39	55	7	4	5	32	4	5	161
	40歳代	8	16	51	76	11	4	4	36	5	4	215
	50歳代	5	44	81	106	18	5	7	50	10	14	340
	60歳代	13	28	68	88	13	9	8	56	5	26	314
	70歳以上	2	2	2	7	0	0	0	0	0	1	14
6地域	中央	21	55	188	286	41	24	25	131	20	34	825
	湖北	0	12	6	5	2	0	0	12	0	2	39
	湖南	1	10	16	18	1	1	0	15	0	2	64
	中海沿岸	3	5	11	11	2	0	0	9	2	2	45
	島根半島	5	10	14	12	1	0	0	6	0	6	54
	松南	2	13	12	13	1	0	0	11	3	5	60
12地区	中心市街地	7	12	56	78	20	10	11	25	3	12	234
	中心市街地周辺	14	43	132	208	21	14	14	106	17	22	591
	湖北	0	12	6	5	2	0	0	12	0	2	39
	玉湯	1	5	7	8	1	0	0	6	0	0	28
	宍道	0	5	9	10	0	1	0	9	0	2	36
	本庄･朝酌	2	5	6	9	1	0	0	1	1	1	26
	八束	1	0	5	2	1	0	0	8	1	1	19
	鹿島	2	6	7	7	0	0	0	3	0	1	26
	島根	0	2	4	2	1	0	0	2	0	3	14
	美保関	3	2	3	3	0	0	0	1	0	2	14
	忌部	0	2	1	4	0	0	0	1	1	0	9
	八雲	2	11	11	9	1	0	0	10	2	5	51

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

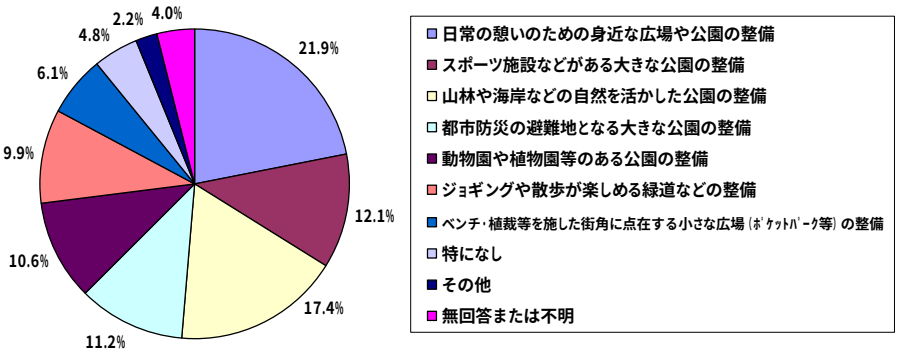
全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　□

内訳		性別・年齢・居住地の内訳									
		広域的な幹線道路の整備（国道、県道）	地域間をつなぐ道路網の整備（市道）	狭い道路の多い地区の道路整備（生活道路）	歩行者や自転車の安全な通行のための道路整備（歩道等の設置）	街路樹の植栽、カラー舗装など都市景観のための道路整備	自動車利用を減少させるパークアンドライド等の推進	まちなかの駐車場整備	バス・鉄道などの公共交通の充実	その他	無回答または不明
全体		2.9%	9.6%	22.6%	31.7%	4.7%	2.3%	2.2%	16.9%	2.3%	4.7%
年齢別	20歳代	1.6%	16.1%	16.1%	27.4%	4.8%	6.5%	1.6%	19.4%	3.2%	3.2%
	30歳代	1.9%	4.3%	24.2%	34.2%	4.3%	2.5%	3.1%	19.9%	2.5%	3.1%
	40歳代	3.7%	7.4%	23.7%	35.3%	5.1%	1.9%	1.9%	16.7%	2.3%	1.9%
	50歳代	1.5%	12.9%	23.8%	31.2%	5.3%	1.5%	2.1%	14.7%	2.9%	4.1%
	60歳代	4.1%	8.9%	21.7%	28.0%	4.1%	2.9%	2.5%	17.8%	1.6%	8.3%
	70歳以上	14.3%	14.3%	14.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%
6地域	中央	2.5%	6.7%	22.8%	34.7%	5.0%	2.9%	3.0%	15.9%	2.4%	4.1%
	湖北	0.0%	30.8%	15.4%	12.8%	5.1%	0.0%	0.0%	30.8%	0.0%	5.1%
	湖南	1.6%	15.6%	25.0%	28.1%	1.6%	1.6%	0.0%	23.4%	0.0%	3.1%
	中海沿岸	6.7%	11.1%	24.4%	24.4%	4.4%	0.0%	0.0%	20.0%	4.4%	4.4%
	島根半島	9.3%	18.5%	25.9%	22.2%	1.9%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%
	松南	3.3%	21.7%	20.0%	21.7%	1.7%	0.0%	0.0%	18.3%	5.0%	8.3%
12地区	中心市街地	3.0%	5.1%	23.9%	33.3%	8.5%	4.3%	4.7%	10.7%	1.3%	5.1%
	中心市街地周辺	2.4%	7.3%	22.3%	35.2%	3.6%	2.4%	2.4%	17.9%	2.9%	3.7%
	湖北	0.0%	30.8%	15.4%	12.8%	5.1%	0.0%	0.0%	30.8%	0.0%	5.1%
	玉湯	3.6%	17.9%	25.0%	28.6%	3.6%	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%	0.0%
	宍道	0.0%	13.9%	25.0%	27.8%	0.0%	2.8%	0.0%	25.0%	0.0%	5.6%
	本庄･朝酌	7.7%	19.2%	23.1%	34.6%	3.8%	0.0%	0.0%	3.8%	3.8%	3.8%
	八束	5.3%	0.0%	26.3%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	42.1%	5.3%	5.3%
	鹿島	7.7%	23.1%	26.9%	26.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.5%	0.0%	3.8%
	島根	0.0%	14.3%	28.6%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	21.4%
	美保関	21.4%	14.3%	21.4%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	14.3%
	忌部	0.0%	22.2%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%
	八雲	3.9%	21.6%	21.6%	17.6%	2.0%	0.0%	0.0%	19.6%	3.9%	9.8%

（ｲ）　公園や緑地について

公園・緑地などの整備について、それぞれどのように思われますか？
・松江市に必要なのは

【全　市】



全市では、[日常の憩いのための身近な広場や公園の整備]が 21.9%で最も多く、次いで[山林や海岸などの自然を生かした公園の整備]が17.4%となっています。3 位に［スポーツ施設などがある大きな公園の整備］となっており、市民は活動的なものよりも閑静で心が和らぐ公園や緑地を望んでいます。

年齢別、地域別とも全市と同様な傾向となっています。

【年齢別・地域別】

内　訳		回答数										
		日常の憩いのための身近な広場や公園の整備	スポーツ施設などがある大きな公園の整備	山林や海岸などの自然を活かした公園の整備	都市防災の避難地となる大きな公園の整備	動物園や植物園等のある公園の整備	ジョギングや散歩が楽しめる緑道などの整備	ベンチ・植栽等を施した街角に点在する小さな広場（ポケットパーク等）の整備	特になし	その他	無回答または不明	合計
全　体		243	134	193	124	118	110	68	53	25	44	1,112
年齢別	20歳代	11	9	9	5	9	6	5	5	2	1	62
	30歳代	32	15	29	14	31	16	9	5	5	5	161
	40歳代	37	37	38	12	29	33	6	11	9	3	215
	50歳代	89	38	57	49	21	30	24	18	4	10	340
	60歳代	70	33	54	41	27	23	24	14	5	23	314
	70歳以上	3	2	4	2	1	0	0	0	0	2	14
6地域	中央	176	100	147	89	92	86	49	36	22	28	825
	湖北	8	3	9	3	5	5	3	2	0	1	39
	湖南	17	4	11	12	5	1	5	6	1	2	64
	中海沿岸	11	5	9	6	3	2	3	4	0	2	45
	島根半島	15	7	4	4	4	7	2	2	2	7	54
	松南	10	12	7	7	7	6	4	3	0	4	60
12地区	中心市街地	51	30	28	28	22	27	12	20	5	11	234
	中心市街地周辺	125	70	119	61	70	59	37	16	17	17	591
	湖北	8	3	9	3	5	5	3	2	0	1	39
	玉湯	8	2	6	5	1	0	3	2	1	0	28
	宍道	9	2	5	7	4	1	2	4	0	2	36
	本庄･朝酌	4	5	6	4	2	1	1	2	0	1	26
	八束	7	0	3	2	1	1	2	2	0	1	19
	鹿島	8	4	3	0	3	2	1	2	1	2	26
	島根	5	1	0	2	0	1	1	0	1	3	14
	美保関	2	2	1	2	1	4	0	0	0	2	14
	忌部	1	2	2	2	0	1	0	1	0	0	9
	八雲	9	10	5	5	7	5	4	2	0	4	51

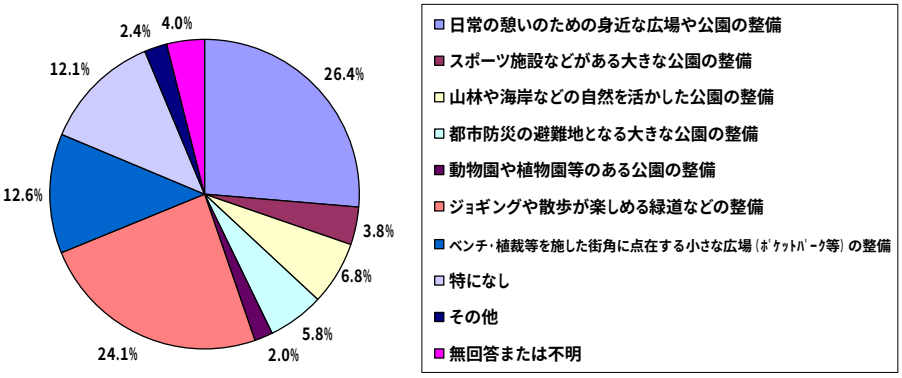
※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　□

内　訳		性別・年齢・居住地の内訳									
		日常の憩いのための身近な広場や公園の整備	スポーツ施設などがある大きな公園の整備	山林や海岸などの自然を活かした公園の整備	都市防災の避難地となる大きな公園の整備	動物園や植物園等のある公園の整備	ジョギングや散歩が楽しめる緑道などの整備	ベンチ・植栽等を施した街角に点在する小さな広場（ポケットパーク等）の整備	特になし	その他	無回答または不明
全　体		21.9%	12.1%	17.4%	11.2%	10.6%	9.9%	6.1%	4.8%	2.2%	4.0%
年齢別	20歳代	17.7%	14.5%	14.5%	8.1%	14.5%	9.7%	8.1%	8.1%	3.2%	1.6%
	30歳代	19.9%	9.3%	18.0%	8.7%	19.3%	9.9%	5.6%	3.1%	3.1%	3.1%
	40歳代	17.2%	17.2%	17.7%	5.6%	13.5%	15.3%	2.8%	5.1%	4.2%	1.4%
	50歳代	26.2%	11.2%	16.8%	14.4%	6.2%	8.8%	7.1%	5.3%	1.2%	2.9%
	60歳代	22.3%	10.5%	17.2%	13.1%	8.6%	7.3%	7.6%	4.5%	1.6%	7.3%
	70歳以上	21.4%	14.3%	28.6%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
6地域	中央	21.3%	12.1%	17.8%	10.8%	11.2%	10.4%	5.9%	4.4%	2.7%	3.4%
	湖北	20.5%	7.7%	23.1%	7.7%	12.8%	12.8%	7.7%	5.1%	0.0%	2.6%
	湖南	26.6%	6.3%	17.2%	18.8%	7.8%	1.6%	7.8%	9.4%	1.6%	3.1%
	中海沿岸	24.4%	11.1%	20.0%	13.3%	6.7%	4.4%	6.7%	8.9%	0.0%	4.4%
	島根半島	27.8%	13.0%	7.4%	7.4%	7.4%	13.0%	3.7%	3.7%	3.7%	13.0%
	松南	16.7%	20.0%	11.7%	11.7%	11.7%	10.0%	6.7%	5.0%	0.0%	6.7%
12地区	中心市街地	21.8%	12.8%	12.0%	12.0%	9.4%	11.5%	5.1%	8.5%	2.1%	4.7%
	中心市街地周辺	21.2%	11.8%	20.1%	10.3%	11.8%	10.0%	6.3%	2.7%	2.9%	2.9%
	湖北	20.5%	7.7%	23.1%	7.7%	12.8%	12.8%	7.7%	5.1%	0.0%	2.6%
	玉湯	28.6%	7.1%	21.4%	17.9%	3.6%	0.0%	10.7%	7.1%	3.6%	0.0%
	宍道	25.0%	5.6%	13.9%	19.4%	11.1%	2.8%	5.6%	11.1%	0.0%	5.6%
	本庄･朝酌	15.4%	19.2%	23.1%	15.4%	7.7%	3.8%	3.8%	7.7%	0.0%	3.8%
	八束	36.8%	0.0%	15.8%	10.5%	5.3%	5.3%	10.5%	10.5%	0.0%	5.3%
	鹿島	30.8%	15.4%	11.5%	0.0%	11.5%	7.7%	3.8%	7.7%	3.8%	7.7%
	島根	35.7%	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	7.1%	21.4%
	美保関	14.3%	14.3%	7.1%	14.3%	7.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
	忌部	11.1%	22.2%	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
	八雲	17.6%	19.6%	9.8%	9.8%	13.7%	9.8%	7.8%	3.9%	0.0%	7.8%

公園・緑地などの整備について、それぞれどのように思われますか？
・あなたのお住まいの地域に必要なのは

【全　市】



全市では、[日常の憩いのための身近な広場や公園の整備]が 26.4%で最も多く、次いで[ジョギングや散歩が楽しめる緑道などの整備]が 24.1%となっており、近年の健康志向を反映した結果となっています。

年齢別には、各年代とも概ね全市と同様の傾向を示しています。

地域別には、中心市街地から離れた中海沿岸、島根半島、松南の各地域で地域の自然を生かした公園整備を望んでいます。

【年齢別・地域別】

内訳		回答数										
		日常の憩いのための身近な広場や公園の整備	スポーツ施設などがある大きな公園の整備	山林や海岸などの自然を活かした公園の整備	都市防災の避難地となる大きな公園の整備	動物園や植物園等のある公園の整備	ジョギングや散歩が楽しめる緑道などの整備	ベンチ・植栽等を施した街角に点在する小さな広場（ポケットパーク等）の整備	特になし	その他	無回答または不明	合計
全体		294	42	76	64	22	268	140	135	27	44	1,112
年齢別	20歳代	19	2	6	2	0	12	11	9	1	0	62
	30歳代	49	5	8	8	10	38	15	16	7	5	161
	40歳代	62	11	13	13	4	50	21	27	10	4	215
	50歳代	80	14	23	18	4	92	49	46	5	9	340
	60歳代	80	8	24	21	4	71	44	35	3	24	314
	70歳以上	3	2	1	2	0	2	0	2	0	2	14
6地域	中央	224	28	21	55	15	213	118	102	19	30	825
	湖北	11	2	4	0	3	11	0	7	0	1	39
	湖南	17	3	7	3	1	13	8	9	1	2	64
	中海沿岸	12	2	11	2	1	5	3	8	0	1	45
	島根半島	8	1	17	2	1	10	5	3	2	5	54
	松南	15	6	14	2	1	7	5	2	4	4	60
12地区	中心市街地	58	11	2	14	0	43	53	37	6	10	234
	中心市街地周辺	166	17	19	41	15	170	65	65	13	20	591
	湖北	11	2	4	0	3	11	0	7	0	1	39
	玉湯	7	2	4	1	0	5	4	4	1	0	28
	宍道	10	1	3	2	1	8	4	5	0	2	36
	本庄･朝酌	6	1	6	2	0	3	2	6	0	0	26
	八束	6	1	5	0	1	2	1	2	0	1	19
	鹿島	7	0	5	2	1	6	2	1	1	1	26
	島根	1	0	7	0	0	1	1	0	1	3	14
	美保関	0	1	5	0	0	3	2	2	0	1	14
	忌部	2	2	2	2	0	0	0	1	0	0	9
	八雲	13	4	12	0	1	7	5	1	4	4	51

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

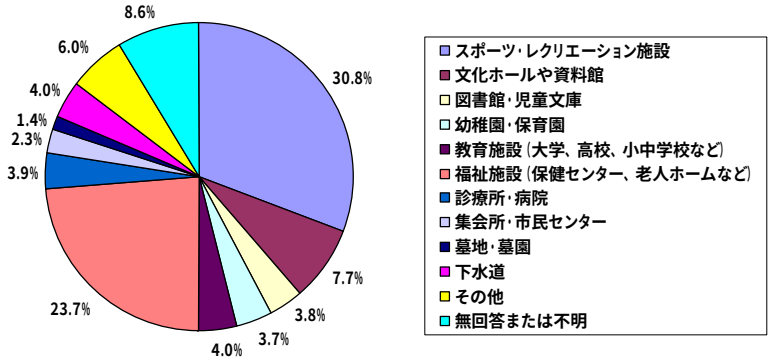
全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　□

内訳		性別・年齢・居住地の内訳									
		日常の憩いのための身近な広場や公園の整備	スポーツ施設などがある大きな公園の整備	山林や海岸などの自然を活かした公園の整備	都市防災の避難地となる大きな公園の整備	動物園や植物園等のある公園の整備	ジョギングや散歩が楽しめる緑道などの整備	ベンチ・植栽等を施した街角に点在する小さな広場（ポケットパーク等）の整備	特になし	その他	無回答または不明
全体		26.4%	3.8%	6.8%	5.8%	2.0%	24.1%	12.6%	12.1%	2.4%	4.0%
年齢別	20歳代	30.6%	3.2%	9.7%	3.2%	0.0%	19.4%	17.7%	14.5%	1.6%	0.0%
	30歳代	30.4%	3.1%	5.0%	5.0%	6.2%	23.6%	9.3%	9.9%	4.3%	3.1%
	40歳代	28.8%	5.1%	6.0%	6.0%	1.9%	23.3%	9.8%	12.6%	4.7%	1.9%
	50歳代	23.5%	4.1%	6.8%	5.3%	1.2%	27.1%	14.4%	13.5%	1.5%	2.6%
	60歳代	25.5%	2.5%	7.6%	6.7%	1.3%	22.6%	14.0%	11.1%	1.0%	7.6%
	70歳以上	21.4%	14.3%	7.1%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%
6地域	中央	27.2%	3.4%	2.5%	6.7%	1.8%	25.8%	14.3%	12.4%	2.3%	3.6%
	湖北	28.2%	5.1%	10.3%	0.0%	7.7%	28.2%	0.0%	17.9%	0.0%	2.6%
	湖南	26.6%	4.7%	10.9%	4.7%	1.6%	20.3%	12.5%	14.1%	1.6%	3.1%
	中海沿岸	26.7%	4.4%	24.4%	4.4%	2.2%	11.1%	6.7%	17.8%	0.0%	2.2%
	島根半島	14.8%	1.9%	31.5%	3.7%	1.9%	18.5%	9.3%	5.6%	3.7%	9.3%
	松南	25.0%	10.0%	23.3%	3.3%	1.7%	11.7%	8.3%	3.3%	6.7%	6.7%
12地区	中心市街地	24.8%	4.7%	0.9%	6.0%	0.0%	18.4%	22.6%	15.8%	2.6%	4.3%
	中心市街地周辺	28.1%	2.9%	3.2%	6.9%	2.5%	28.8%	11.0%	11.0%	2.2%	3.4%
	湖北	28.2%	5.1%	10.3%	0.0%	7.7%	28.2%	0.0%	17.9%	0.0%	2.6%
	玉湯	25.0%	7.1%	14.3%	3.6%	0.0%	17.9%	14.3%	14.3%	3.6%	0.0%
	宍道	27.8%	2.8%	8.3%	5.6%	2.8%	22.2%	11.1%	13.9%	0.0%	5.6%
	本庄･朝酌	23.1%	3.8%	23.1%	7.7%	0.0%	11.5%	7.7%	23.1%	0.0%	0.0%
	八束	31.6%	5.3%	26.3%	0.0%	5.3%	10.5%	5.3%	10.5%	0.0%	5.3%
	鹿島	26.9%	0.0%	19.2%	7.7%	3.8%	23.1%	7.7%	3.8%	3.8%	3.8%
	島根	7.1%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	7.1%	21.4%
	美保関	0.0%	7.1%	35.7%	0.0%	0.0%	21.4%	14.3%	14.3%	0.0%	7.1%
	忌部	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
	八雲	25.5%	7.8%	23.5%	0.0%	2.0%	13.7%	9.8%	2.0%	7.8%	7.8%

（ｳ）　その他の都市施設について

道路、公園・緑地以外の都市施設の整備について、それぞれどのように思われますか？
・松江市に必要なのは

【全　市】



全市では、[スポーツ・レクリエーション施設]が30.8%で最も多く、次いで[福祉施設（保健センター、老人ホームなど）]が23.7%となっており、全市的に、健康や高齢化社会に対する意識が高いことがわかります。

年齢別には、活動的な20代、30代でスポーツ・レクリエーション施設の要望が高くなっています。

地域別には、湖南地域で福祉施設の要望が高くなっています。

【年齢別・地域別】

内訳		回答数												
		スポーツ・レクリエーション施設	文化ホールや資料館	図書館・児童文庫	幼稚園・保育園	教育施設（大学、高校、小中学校など）	福祉施設（保健センター、老人ホームなど）	診療所・病院	集会所・市民センター	墓地・墓園	下水道	その他	無回答または不明	合計
全　体		343	86	42	41	45	263	43	26	16	44	67	96	1,112
年齢別	20歳代	26	8	3	4	1	12	1	0	0	3	3	1	62
	30歳代	74	7	6	14	8	21	3	6	2	7	6	7	161
	40歳代	72	19	14	7	12	41	11	3	2	10	14	10	215
	50歳代	89	28	11	9	13	90	15	7	5	16	29	28	340
	60歳代	77	23	8	7	9	94	13	9	6	8	14	46	314
	70歳以上	4	1	0	0	2	3	0	0	1	0	0	3	14
6地域	中央	264	65	30	30	35	190	30	20	12	37	49	63	825
	湖北	13	0	1	3	3	10	0	0	0	1	6	2	39
	湖南	10	6	0	4	2	23	4	1	1	3	2	8	64
	中海沿岸	15	5	3	1	1	7	0	0	2	2	3	6	45
	島根半島	14	3	3	2	2	12	4	1	0	1	2	10	54
	松南	20	3	4	1	2	16	4	2	0	0	3	5	60
12地区	中心市街地	62	20	6	4	11	61	5	7	5	13	18	22	234
	中心市街地周辺	202	45	24	26	24	129	25	13	7	24	31	41	591
	湖北	13	0	1	3	3	10	0	0	0	1	6	2	39
	玉湯	5	4	0	3	1	8	2	0	0	2	1	2	28
	宍道	5	2	0	1	1	15	2	1	1	1	1	6	36
	本庄・朝酌	10	3	2	0	1	5	0	0	1	0	0	4	26
	八束	5	2	1	1	0	2	0	0	1	2	3	2	19
	鹿島	7	3	1	1	1	6	2	0	0	0	2	3	26
	島根	3	0	2	0	0	3	2	0	0	0	0	4	14
	美保関	4	0	0	1	1	3	0	1	0	1	0	3	14
	忌部	6	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	9
	八雲	14	3	3	1	1	16	3	2	0	0	3	5	51

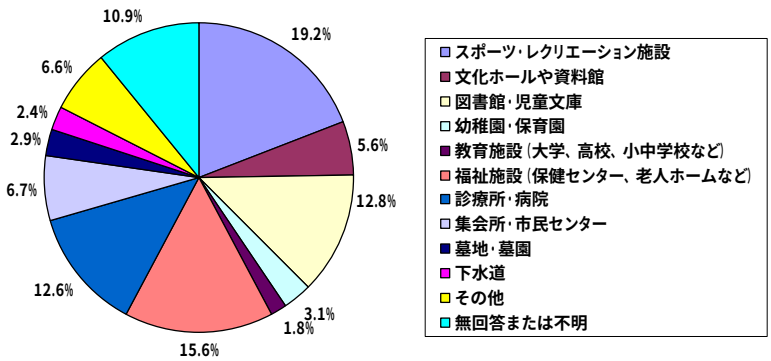
※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　□

内　訳		性別・年齢・居住地の内訳											
		スポーツ・レクリエーション施設	文化ホールや資料館	図書館・児童文庫	幼稚園・保育園	教育施設（大学、高校、小中学校など）	福祉施設（保健センター、老人ホームなど）	診療所・病院	集会所・市民センター	墓地・墓園	下水道	その他	無回答または不明
全　体		30.8%	7.7%	3.8%	3.7%	4.0%	23.7%	3.9%	2.3%	1.4%	4.0%	6.0%	8.6%
年齢別	20歳代	41.9%	12.9%	4.8%	6.5%	1.6%	19.4%	1.6%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%	1.6%
	30歳代	46.0%	4.3%	3.7%	8.7%	5.0%	13.0%	1.9%	3.7%	1.2%	4.3%	3.7%	4.3%
	40歳代	33.5%	8.8%	6.5%	3.3%	5.6%	19.1%	5.1%	1.4%	0.9%	4.7%	6.5%	4.7%
	50歳代	26.2%	8.2%	3.2%	2.6%	3.8%	26.5%	4.4%	2.1%	1.5%	4.7%	8.5%	8.2%
	60歳代	24.5%	7.3%	2.5%	2.2%	2.9%	29.9%	4.1%	2.9%	1.9%	2.5%	4.5%	14.6%
	70歳以上	28.6%	7.1%	0.0%	0.0%	14.3%	21.4%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	21.4%
6地域	中央	32.0%	7.9%	3.6%	3.6%	4.2%	23.0%	3.6%	2.4%	1.5%	4.5%	5.9%	7.6%
	湖北	33.3%	0.0%	2.6%	7.7%	7.7%	25.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	15.4%	5.1%
	湖南	15.6%	9.4%	0.0%	6.3%	3.1%	35.9%	6.3%	1.6%	1.6%	4.7%	3.1%	12.5%
	中海沿岸	33.3%	11.1%	6.7%	2.2%	2.2%	15.6%	0.0%	0.0%	4.4%	4.4%	6.7%	13.3%
	島根半島	25.9%	5.6%	5.6%	3.7%	3.7%	22.2%	7.4%	1.9%	0.0%	1.9%	3.7%	18.5%
	松南	33.3%	5.0%	6.7%	1.7%	3.3%	26.7%	6.7%	3.3%	0.0%	0.0%	5.0%	8.3%
12地区	中心市街地	26.5%	8.5%	2.6%	1.7%	4.7%	26.1%	2.1%	3.0%	2.1%	5.6%	7.7%	9.4%
	中心市街地周辺	34.2%	7.6%	4.1%	4.4%	4.1%	21.8%	4.2%	2.2%	1.2%	4.1%	5.2%	6.9%
	湖北	33.3%	0.0%	2.6%	7.7%	7.7%	25.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	15.4%	5.1%
	玉湯	17.9%	14.3%	0.0%	10.7%	3.6%	28.6%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	3.6%	7.1%
	宍道	13.9%	5.6%	0.0%	2.8%	2.8%	41.7%	5.6%	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%	16.7%
	本庄･朝酌	38.5%	11.5%	7.7%	0.0%	3.8%	19.2%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	15.4%
	八束	26.3%	10.5%	5.3%	5.3%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%	5.3%	10.5%	15.8%	10.5%
	鹿島	26.9%	11.5%	3.8%	3.8%	3.8%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	11.5%
	島根	21.4%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%
	美保関	28.6%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	21.4%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%	21.4%
	忌部	66.7%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八雲	27.5%	5.9%	5.9%	2.0%	2.0%	31.4%	5.9%	3.9%	0.0%	0.0%	5.9%	9.8%

道路、公園・緑地以外の都市施設の整備について、それぞれどのように思われますか？
・あなたのお住まいの地域に必要なのは

【全　市】



全市では、[スポーツ・レクリエーション施設]が 19.2%で最も多く、次いで[福祉施設(保健センター、老人ホームなど）]が 15.6%となっており、上位 1,2 位は松江市に望むものと同じですが、3 位、4 位は、[図書館・児童文庫］［診療所・病院］となっており、健康を保ちつつ、文化や教養を育み、豊かな生活を実現しようとする意図が読み取れます。

年齢別には全市と概ね同様な傾向ですが、地域別では、湖北、湖南、中海沿岸、島根半島の各地域で医療機関が求められています。

【年齢別・地域別】

内訳		回答数												
		スポーツ・レクリエーション施設	文化ホールや資料館	図書館・児童文庫	幼稚園・保育園	教育施設（大学、高校、小中学校など）	福祉施設（保健センター、老人ホームなど）	診療所・病院	集会所・市民センター	墓地・墓園	下水道	その他	無回答または不明	合計
全体		213	62	142	34	20	173	140	75	32	27	73	121	1,112
年齢別	20歳代	21	2	10	6	0	6	6	2	1	1	4	3	62
	30歳代	42	11	32	11	2	16	14	3	4	4	12	10	161
	40歳代	46	14	34	6	9	24	28	15	4	5	16	14	215
	50歳代	50	21	36	5	6	65	47	25	15	9	23	38	340
	60歳代	50	12	29	6	3	58	44	27	7	8	17	53	314
	70歳以上	2	2	0	0	0	4	1	2	1	0	0	2	14
6地域	中央	167	53	101	27	13	123	76	70	21	22	60	92	825
	湖北	8	1	5	0	2	4	9	0	1	2	5	2	39
	湖南	6	2	11	4	2	14	15	1	2	1	1	5	64
	中海沿岸	11	1	2	1	1	4	12	0	2	0	2	9	45
	島根半島	4	0	11	1	1	13	14	1	2	1	1	5	54
	松南	11	4	6	1	1	14	11	1	4	1	2	4	60
12地区	中心市街地	49	14	23	7	5	42	20	18	4	1	18	33	234
	中心市街地周辺	118	39	78	20	8	81	56	52	17	21	42	59	591
	湖北	8	1	5	0	2	4	9	0	1	2	5	2	39
	玉湯	5	0	6	1	0	6	6	1	0	1	0	2	28
	宍道	1	2	5	3	2	8	9	0	2	0	1	3	36
	本庄･朝酌	7	1	0	1	1	1	5	0	2	0	1	7	26
	八束	4	0	2	0	0	3	7	0	0	0	1	2	19
	鹿島	1	0	5	1	1	9	8	0	0	0	0	1	26
	島根	2	0	2	0	0	4	2	0	1	0	1	2	14
	美保関	1	0	4	0	0	0	4	1	1	1	0	2	14
	忌部	1	1	1	1	0	2	1	1	0	0	1	0	9
	八雲	10	3	5	0	1	12	10	0	4	1	1	4	51

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　■

内訳		性別・年齢・居住地の内訳											
		スポーツ・レクリエーション施設	文化ホールや資料館	図書館・児童文庫	幼稚園・保育園	教育施設（大学、高校、小中学校など）	福祉施設（保健センター、老人ホームなど）	診療所・病院	集会所・市民センター	墓地・墓園	下水道	その他	無回答または不明
全体		19.2%	5.6%	12.8%	3.1%	1.8%	15.6%	12.6%	6.7%	2.9%	2.4%	6.6%	10.9%
年齢別	20歳代	33.9%	3.2%	16.1%	9.7%	0.0%	9.7%	9.7%	3.2%	1.6%	1.6%	6.5%	4.8%
	30歳代	26.1%	6.8%	19.9%	6.8%	1.2%	9.9%	8.7%	1.9%	2.5%	2.5%	7.5%	6.2%
	40歳代	21.4%	6.5%	15.8%	2.8%	4.2%	11.2%	13.0%	7.0%	1.9%	2.3%	7.4%	6.5%
	50歳代	14.7%	6.2%	10.6%	1.5%	1.8%	19.1%	13.8%	7.4%	4.4%	2.6%	6.8%	11.2%
	60歳代	15.9%	3.8%	9.2%	1.9%	1.0%	18.5%	14.0%	8.6%	2.2%	2.5%	5.4%	16.9%
	70歳以上	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	7.1%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	14.3%
6地域	中央	20.2%	6.4%	12.2%	3.3%	1.6%	14.9%	9.2%	8.5%	2.5%	2.7%	7.3%	11.2%
	湖北	20.5%	2.6%	12.8%	0.0%	5.1%	10.3%	23.1%	0.0%	2.6%	5.1%	12.8%	5.1%
	湖南	9.4%	3.1%	17.2%	6.3%	3.1%	21.9%	23.4%	1.6%	3.1%	1.6%	1.6%	7.8%
	中海沿岸	24.4%	2.2%	4.4%	2.2%	2.2%	8.9%	26.7%	0.0%	4.4%	0.0%	4.4%	20.0%
	島根半島	7.4%	0.0%	20.4%	1.9%	1.9%	24.1%	25.9%	1.9%	3.7%	1.9%	1.9%	9.3%
	松南	18.3%	6.7%	10.0%	1.7%	1.7%	23.3%	18.3%	1.7%	6.7%	1.7%	3.3%	6.7%
12地区	中心市街地	20.9%	6.0%	9.8%	3.0%	2.1%	17.9%	8.5%	7.7%	1.7%	0.4%	7.7%	14.1%
	中心市街地周辺	20.0%	6.6%	13.2%	3.4%	1.4%	13.7%	9.5%	8.8%	2.9%	3.6%	7.1%	10.0%
	湖北	20.5%	2.6%	12.8%	0.0%	5.1%	10.3%	23.1%	0.0%	2.6%	5.1%	12.8%	5.1%
	玉湯	17.9%	0.0%	21.4%	3.6%	0.0%	21.4%	21.4%	3.6%	0.0%	3.6%	0.0%	7.1%
	宍道	2.8%	5.6%	13.9%	8.3%	5.6%	22.2%	25.0%	0.0%	5.6%	0.0%	2.8%	8.3%
	本庄･朝酌	26.9%	3.8%	0.0%	3.8%	3.8%	3.8%	19.2%	0.0%	7.7%	0.0%	3.8%	26.9%
	八束	21.1%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%	15.8%	36.8%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	10.5%
	鹿島	3.8%	0.0%	19.2%	3.8%	3.8%	34.6%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%
	島根	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	14.3%
	美保関	7.1%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	14.3%
	忌部	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	八雲	19.6%	5.9%	9.8%	0.0%	2.0%	23.5%	19.6%	0.0%	7.8%	2.0%	2.0%	7.8%

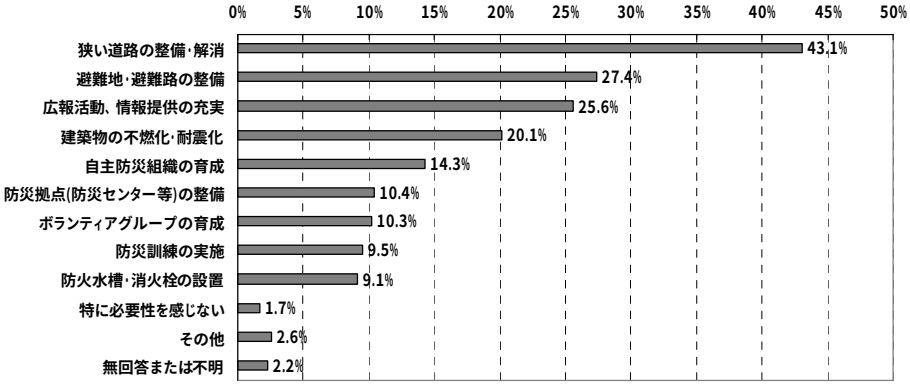
(Ｉ)　防災対策について

防災対策について、特にどのようなことをしておけばよいと思われますか？
２つ以内で回答

全市では、[狭い道路の整備・解消]が 43.1%で最も多く、次いで[避難地・避難路の整備]が 27.4%となっており、現状では多くの市民が災害時の避難に対して不安を抱えているようです。

年齢別、地域別でも全市と同様の傾向が伺えますが、さらに細かく、地区別にみると島根半島地域の地区で防災意識が高くなっています。

【全　市】



【年齢別・地域別】

内訳		回答数												
		建築物の不燃化・耐震化	狭い道路の整備・解消	避難地・避難路の整備	防火水槽・消火栓の設置	防災拠点（防災センター等）の整備	自主防災組織の育成	広報活動、情報提供の充実	防災訓練の実施	ボランティアグループの育成	特に必要性を感じない	その他	無回答または不明	合計
全　体		224	479	305	101	116	159	285	106	114	19	29	25	1,962
年齢別	20歳代	15	24	18	5	6	5	20	6	9	1	1	1	111
	30歳代	35	82	46	8	18	20	39	14	13	1	5	3	284
	40歳代	43	97	66	15	26	21	50	14	18	6	7	3	366
	50歳代	68	147	82	42	35	53	84	38	33	5	6	10	603
	60歳代	61	118	90	27	31	57	87	32	38	6	9	6	562
	70歳以上	1	7	3	4	0	2	3	1	2	0	0	2	25
6地域	中央	176	356	228	65	85	112	219	76	82	14	23	19	1,455
	湖北	8	17	6	3	6	7	8	4	6	1	0	1	67
	湖南	10	26	23	9	7	10	13	6	6	2	0	1	113
	中海沿岸	9	19	11	5	5	7	10	4	3	0	0	2	75
	島根半島	6	23	16	9	6	12	16	4	5	0	2	0	99
	松南	9	25	18	7	6	9	12	9	6	2	1	2	106
12地区	中心市街地	50	93	72	17	29	27	64	14	23	5	8	7	409
	中心市街地周辺	126	263	156	48	56	85	155	62	59	9	15	12	1,046
	湖北	8	17	6	3	6	7	8	4	6	1	0	1	67
	玉湯	4	14	9	4	1	5	6	2	3	1	0	0	49
	宍道	6	12	14	5	6	5	7	4	3	1	0	1	64
	本庄･朝酌	5	10	7	2	3	5	4	3	2	0	0	2	43
	八束	4	9	4	3	2	2	6	1	1	0	0	0	32
	鹿島	3	12	5	4	2	7	7	3	3	0	1	0	47
	島根	1	6	6	3	2	1	4	0	0	0	1	0	24
	美保関	2	5	5	2	2	4	5	1	2	0	0	0	28
	忌部	0	4	4	1	0	0	3	2	1	0	0	0	15
	八雲	9	21	14	6	6	9	9	7	5	2	1	2	91

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　□

内　訳		性別・年齢・居住地の内訳											
		建築物の不燃化・耐震化	狭い道路の整備・解消	避難地・避難路の整備	防火水槽・消火栓の設置	防災拠点（防災センター等）の整備	自主防災組織の育成	広報活動、情報提供の充実	防災訓練の実施	ボランティアグループの育成	特に必要性を感じない	その他	無回答または不明
全　体		20.1%	43.1%	27.4%	9.1%	10.4%	14.3%	25.6%	9.5%	10.3%	1.7%	2.6%	2.2%
年齢別	20歳代	24.2%	38.7%	29.0%	8.1%	9.7%	8.1%	32.3%	9.7%	14.5%	1.6%	1.6%	1.6%
	30歳代	21.7%	50.9%	28.6%	5.0%	11.2%	12.4%	24.2%	8.7%	8.1%	0.6%	3.1%	1.9%
	40歳代	20.0%	45.1%	30.7%	7.0%	12.1%	9.8%	23.3%	6.5%	8.4%	2.8%	3.3%	1.4%
	50歳代	20.0%	43.2%	24.1%	12.4%	10.3%	15.6%	24.7%	11.2%	9.7%	1.5%	1.8%	2.9%
	60歳代	19.4%	37.6%	28.7%	8.6%	9.9%	18.2%	27.7%	10.2%	12.1%	1.9%	2.9%	1.9%
	70歳以上	7.1%	50.0%	21.4%	28.6%	0.0%	14.3%	21.4%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
6地域	中央	21.3%	43.2%	27.6%	7.9%	10.3%	13.6%	26.5%	9.2%	9.9%	1.7%	2.8%	2.3%
	湖北	20.5%	43.6%	15.4%	7.7%	15.4%	17.9%	20.5%	10.3%	15.4%	2.6%	0.0%	2.6%
	湖南	15.6%	40.6%	35.9%	14.1%	10.9%	15.6%	20.3%	9.4%	9.4%	3.1%	0.0%	1.6%
	中海沿岸	20.0%	42.2%	24.4%	11.1%	11.1%	15.6%	22.2%	8.9%	6.7%	0.0%	0.0%	4.4%
	島根半島	11.1%	42.6%	29.6%	16.7%	11.1%	22.2%	29.6%	7.4%	9.3%	0.0%	3.7%	0.0%
	松南	15.0%	41.7%	30.0%	11.7%	10.0%	15.0%	20.0%	15.0%	10.0%	3.3%	1.7%	3.3%
12地区	中心市街地	21.4%	39.7%	30.8%	7.3%	12.4%	11.5%	27.4%	6.0%	9.8%	2.1%	3.4%	3.0%
	中心市街地周辺	21.3%	44.5%	26.4%	8.1%	9.5%	14.4%	26.2%	10.5%	10.0%	1.5%	2.5%	2.0%
	湖北	20.5%	43.6%	15.4%	7.7%	15.4%	17.9%	20.5%	10.3%	15.4%	2.6%	0.0%	2.6%
	玉湯	14.3%	50.0%	32.1%	14.3%	3.6%	17.9%	21.4%	7.1%	10.7%	3.6%	0.0%	0.0%
	宍道	16.7%	33.3%	38.9%	13.9%	16.7%	13.9%	19.4%	11.1%	8.3%	2.8%	0.0%	2.8%
	本庄･朝酌	19.2%	38.5%	26.9%	7.7%	11.5%	19.2%	15.4%	11.5%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%
	八束	21.1%	47.4%	21.1%	15.8%	10.5%	10.5%	31.6%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	鹿島	11.5%	46.2%	19.2%	15.4%	7.7%	26.9%	26.9%	11.5%	11.5%	0.0%	3.8%	0.0%
	島根	7.1%	42.9%	42.9%	21.4%	14.3%	7.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%
	美保関	14.3%	35.7%	35.7%	14.3%	14.3%	28.6%	35.7%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	忌部	0.0%	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	八雲	17.6%	41.2%	27.5%	11.8%	11.8%	17.6%	17.6%	13.7%	9.8%	3.9%	2.0%	3.9%

（ｵ）　防犯対策について

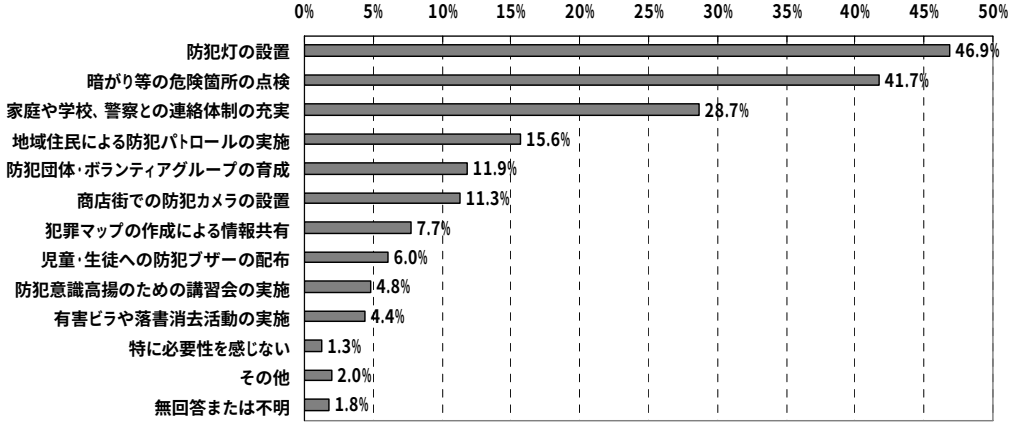
防犯対策について、特にどのようなことをしておけばよいと思われますか？
２つ以内で回答

全市では、[防犯灯の設置]が 46.9%で最も多く、次いで[暗がり等の危険箇所の点検]が 41.7%となっており、夜間に人通りが少なく暗い場所などの危険箇所を減らすことが望まれています。

年齢別では、全市とほぼ同様な傾向となっています。

地域別では、危険箇所が他の地域に比べて少ないと思われる湖南、松南の両地域で、地域住民による監視が重要と考えられています。

【全　市】



【年齢別・地域別】

内訳		回答数													
		防犯灯の設置	商店街での防犯カメラの設置	児童・生徒への防犯ブザーの配布	地域住民による防犯パトロールの実施	有害ビラや落書消去活動の実施	暗がり等の危険箇所の点検	家庭や学校、警察との連絡体制の充実	犯罪マップの作成による情報共有	防犯意識高揚のための講習会の実施	防犯団体・ボランティアグループの育成	特に必要性を感じない	その他	無回答または不明	合計
全体		521	126	67	174	49	464	319	86	53	132	14	22	20	2,047
年齢別	20歳代	29	1	5	9	1	32	23	5	2	5	1	1	0	114
	30歳代	70	20	12	36	8	67	42	14	5	18	2	3	3	300
	40歳代	111	20	14	32	9	89	63	13	13	24	3	4	2	397
	50歳代	163	49	16	46	16	139	81	26	16	45	3	9	9	618
	60歳代	138	34	20	46	14	133	100	26	16	39	5	5	5	581
	70歳以上	7	2	0	2	1	3	6	1	1	1	0	0	1	25
6地域	中央	388	100	50	113	40	359	229	65	35	102	12	17	14	1,524
	湖北	19	3	3	8	2	14	8	5	3	7	0	0	0	72
	湖南	27	7	8	16	3	19	22	3	4	8	1	0	1	119
	中海沿岸	17	5	3	7	1	15	15	2	2	5	1	1	1	75
	島根半島	27	4	0	7	0	27	19	4	5	6	0	1	2	102
	松南	30	7	3	18	3	17	16	4	3	3	0	2	2	108
12地区	中心市街地	112	41	5	25	10	99	60	20	8	22	6	5	5	418
	中心市街地周辺	276	59	45	88	30	260	169	45	27	80	6	12	9	1,106
	湖北	19	3	3	8	2	14	8	5	3	7	0	0	0	72
	玉湯	13	2	5	5	1	11	9	2	2	2	0	0	0	52
	宍道	14	5	3	11	2	8	13	1	2	6	1	0	1	67
	本庄･朝酌	10	3	0	5	1	7	7	0	2	5	1	1	1	43
	八束	7	2	3	2	0	8	8	2	0	0	0	0	0	32
	鹿島	13	2	0	2	0	15	9	4	2	2	0	0	0	49
	島根	7	1	0	3	0	7	4	0	2	1	0	0	1	26
	美保関	7	1	0	2	0	5	6	0	1	3	0	1	1	27
	忌部	3	2	0	4	1	0	4	0	1	0	0	1	0	16
	八雲	27	5	3	14	2	17	12	4	2	3	0	1	2	92

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　■

内訳		性別・年齢・居住地の内訳												
		防犯灯の設置	商店街での防犯カメラの設置	児童・生徒への防犯ブザーの配布	地域住民による防犯パトロールの実施	有害ビラや落書消去活動の実施	暗がり等の危険箇所の点検	家庭や学校、警察との連絡体制の充実	犯罪マップの作成による情報共有	防犯意識高揚のための講習会の実施	防犯団体・ボランティアグループの育成	特に必要性を感じない	その他	無回答または不明
全体		46.9%	11.3%	6.0%	15.6%	4.4%	41.7%	28.7%	7.7%	4.8%	11.9%	1.3%	2.0%	1.8%
年齢別	20歳代	46.8%	1.6%	8.1%	14.5%	1.6%	51.6%	37.1%	8.1%	3.2%	8.1%	1.6%	1.6%	0.0%
	30歳代	43.5%	12.4%	7.5%	22.4%	5.0%	41.6%	26.1%	8.7%	3.1%	11.2%	1.2%	1.9%	1.9%
	40歳代	51.6%	9.3%	6.5%	14.9%	4.2%	41.4%	29.3%	6.0%	6.0%	11.2%	1.4%	1.9%	0.9%
	50歳代	47.9%	14.4%	4.7%	13.5%	4.7%	40.9%	23.8%	7.6%	4.7%	13.2%	0.9%	2.6%	2.6%
	60歳代	43.9%	10.8%	6.4%	14.6%	4.5%	42.4%	31.8%	8.3%	5.1%	12.4%	1.6%	1.6%	1.6%
	70歳以上	50.0%	14.3%	0.0%	14.3%	7.1%	21.4%	42.9%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%
6地域	中央	47.0%	12.1%	6.1%	13.7%	4.8%	43.5%	27.8%	7.9%	4.2%	12.4%	1.5%	2.1%	1.7%
	湖北	48.7%	7.7%	7.7%	20.5%	5.1%	35.9%	20.5%	12.8%	7.7%	17.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	湖南	42.2%	10.9%	12.5%	25.0%	4.7%	29.7%	34.4%	4.7%	6.3%	12.5%	1.6%	0.0%	1.6%
	中海沿岸	37.8%	11.1%	6.7%	15.6%	2.2%	33.3%	33.3%	4.4%	4.4%	11.1%	2.2%	2.2%	2.2%
	島根半島	50.0%	7.4%	0.0%	13.0%	0.0%	50.0%	35.2%	7.4%	9.3%	11.1%	0.0%	1.9%	3.7%
	松南	50.0%	11.7%	5.0%	30.0%	5.0%	28.3%	26.7%	6.7%	5.0%	5.0%	0.0%	3.3%	3.3%
12地区	中心市街地	47.9%	17.5%	2.1%	10.7%	4.3%	42.3%	25.6%	8.5%	3.4%	9.4%	2.6%	2.1%	2.1%
	中心市街地周辺	46.7%	10.0%	7.6%	14.9%	5.1%	44.0%	28.6%	7.6%	4.6%	13.5%	1.0%	2.0%	1.5%
	湖北	48.7%	7.7%	7.7%	20.5%	5.1%	35.9%	20.5%	12.8%	7.7%	17.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	玉湯	46.4%	7.1%	17.9%	17.9%	3.6%	39.3%	32.1%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	宍道	38.9%	13.9%	8.3%	30.6%	5.6%	22.2%	36.1%	2.8%	5.6%	16.7%	2.8%	0.0%	2.8%
	本庄･朝酌	38.5%	11.5%	0.0%	19.2%	3.8%	26.9%	26.9%	0.0%	7.7%	19.2%	3.8%	3.8%	3.8%
	八束	36.8%	10.5%	15.8%	10.5%	0.0%	42.1%	42.1%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	鹿島	50.0%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	57.7%	34.6%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	島根	50.0%	7.1%	0.0%	21.4%	0.0%	50.0%	28.6%	0.0%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%
	美保関	50.0%	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%	35.7%	42.9%	0.0%	7.1%	21.4%	0.0%	7.1%	7.1%
	忌部	33.3%	22.2%	0.0%	44.4%	11.1%	0.0%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	八雲	52.9%	9.8%	5.9%	27.5%	3.9%	33.3%	23.5%	7.8%	3.9%	5.9%	0.0%	2.0%	3.9%

（カ）　景観形成について

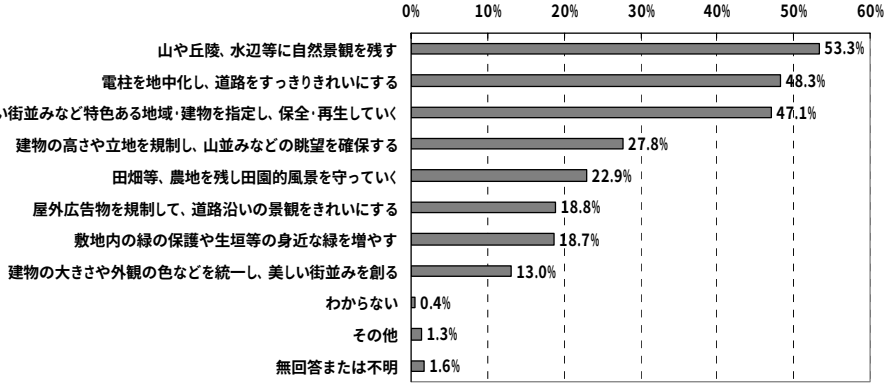
自然環境や美しいまち街並み景観を守り・育て・創るためには、どのようなことを望まれますか？３つ以内で回答

全市では、［山や丘陵、水辺等に自然景観を残す］が 53.3%で最も多く、次いで［電柱を地中化し、道路をすっきりきれいにする］が 48.3%となっています。現在の自然環境を保全すると共に都市景観についても改善することが望まれています。

年齢別には、若い世代が、現存する自然景観や歴史的な景観を保全する意識が高くなっています。一方で、高齢になればなるほど視点が都市景観の保全・改善へと変わっています。

地域別では、湖北、島根半島の両地域で自然景観への関心が高くなっています。

【全　市】



【年齢別・地域別】

内訳		回答数											
		山や丘陵、水辺等に自然景観を残す	田畑等、農地を残し田園的風景を守っていく	敷地内の緑の保護や生垣等の身近な緑を増やす	古い街並みなど特色ある地域・建物を指定し、保全・再生していく	建物の高さや立地を規制し、山並みなどの眺望を確保する	建物の大きさや外観の色などを統一し、美しい街並みを創る	屋外広告物を規制して、道路沿いの景観をきれいにする	電柱を地中化し、道路をすっきりきれいにする	わからない	その他	無回答または不明	合計
全　体		593	255	208	524	309	145	209	537	5	15	18	2,818
年齢別	20歳代	38	16	15	38	12	10	8	24	0	1	0	162
	30歳代	87	40	24	89	26	25	23	75	1	3	2	395
	40歳代	108	42	33	116	63	37	34	96	0	7	4	540
	50歳代	177	71	71	139	93	43	68	180	1	3	7	853
	60歳代	172	82	63	136	109	27	73	156	2	1	4	825
	70歳以上	7	2	2	4	4	1	1	5	1	0	1	28
6地域	中央	422	173	153	404	246	116	162	396	2	12	13	2,099
	湖北	30	9	8	17	5	7	3	14	0	0	1	94
	湖南	27	21	13	29	9	8	15	31	0	0	2	155
	中海沿岸	28	5	6	18	9	0	2	31	1	1	1	102
	島根半島	37	20	13	21	12	5	8	25	0	1	0	142
	松南	36	18	12	21	21	6	13	28	2	1	1	159
12地区	中心市街地	98	37	40	126	80	35	54	118	0	4	5	597
	中心市街地周辺	324	136	113	278	166	81	108	278	2	8	8	1,502
	湖北	30	9	8	17	5	7	3	14	0	0	1	94
	玉湯	13	3	5	8	6	0	1	17	1	1	1	56
	宍道	4	4	1	2	2	0	2	5	0	1	0	21
	本庄･朝酌	19	11	3	9	8	1	5	10	0	0	0	66
	八束	9	5	6	5	3	1	1	5	0	1	0	36
	鹿島	9	4	4	7	1	3	2	10	0	0	0	40
	島根	32	14	11	19	19	6	11	23	2	0	1	138
	美保関	12	11	4	13	6	3	6	13	0	0	1	69
	忌部	15	10	9	16	3	5	9	18	0	0	1	86
	八雲	15	2	1	10	3	0	1	14	0	0	0	46

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　□

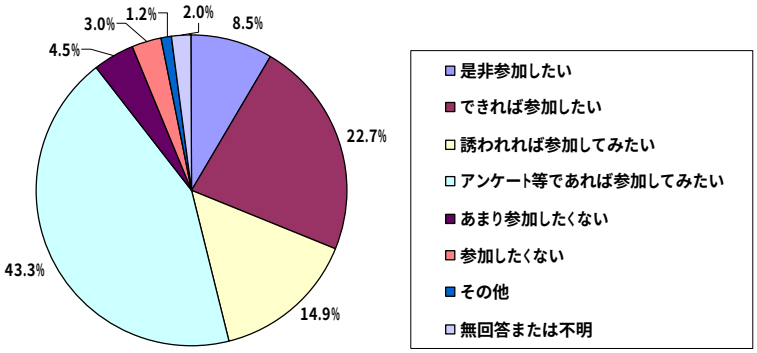
内訳		性別・年齢・居住地の内訳										
		山や丘陵、水辺等に自然景観を残す	田畑等、農地を残し田園的風景を守っていく	敷地内の緑の保護や生垣等の身近な緑を増やす	古い街並みなど特色ある地域・建物を指定し、保全・再生していく	建物の高さや立地を規制し、山並みなどの眺望を確保する	建物の大きさや外観の色などを統一し、美しい街並みを創る	屋外広告物を規制して、道路沿いの景観をきれいにする	電柱を地中化し、道路をすっきりきれいにする	わからない	その他	無回答または不明
全体		53.3%	22.9%	18.7%	47.1%	27.8%	13.0%	18.8%	48.3%	0.4%	1.3%	1.6%
年齢別	20歳代	61.3%	25.8%	24.2%	61.3%	19.4%	16.1%	12.9%	38.7%	0.0%	1.6%	0.0%
	30歳代	54.0%	24.8%	14.9%	55.3%	16.1%	15.5%	14.3%	46.6%	0.6%	1.9%	1.2%
	40歳代	50.2%	19.5%	15.3%	54.0%	29.3%	17.2%	15.8%	44.7%	0.0%	3.3%	1.9%
	50歳代	52.1%	20.9%	20.9%	40.9%	27.4%	12.6%	20.0%	52.9%	0.3%	0.9%	2.1%
	60歳代	54.8%	26.1%	20.1%	43.3%	34.7%	8.6%	23.2%	49.7%	0.6%	0.3%	1.3%
	70歳以上	50.0%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	7.1%	7.1%	35.7%	7.1%	0.0%	7.1%
6地域	中央	51.2%	21.0%	18.5%	49.0%	29.8%	14.1%	19.6%	48.0%	0.2%	1.5%	1.6%
	湖北	76.9%	23.1%	20.5%	43.6%	12.8%	17.9%	7.7%	35.9%	0.0%	0.0%	2.6%
	湖南	42.2%	32.8%	20.3%	45.3%	14.1%	12.5%	23.4%	48.4%	0.0%	0.0%	3.1%
	中海沿岸	62.2%	11.1%	13.3%	40.0%	20.0%	0.0%	4.4%	68.9%	2.2%	2.2%	2.2%
	島根半島	68.5%	37.0%	24.1%	38.9%	22.2%	9.3%	14.8%	46.3%	0.0%	1.9%	0.0%
	松南	60.0%	30.0%	20.0%	35.0%	35.0%	10.0%	21.7%	46.7%	3.3%	1.7%	1.7%
12地区	中心市街地	41.9%	15.8%	17.1%	53.8%	34.2%	15.0%	23.1%	50.4%	0.0%	1.7%	2.1%
	中心市街地周辺	54.8%	23.0%	19.1%	47.0%	28.1%	13.7%	18.3%	47.0%	0.3%	1.4%	1.4%
	湖北	76.9%	23.1%	20.5%	43.6%	12.8%	17.9%	7.7%	35.9%	0.0%	0.0%	2.6%
	玉湯	46.4%	10.7%	17.9%	28.6%	21.4%	0.0%	3.6%	60.7%	3.6%	3.6%	3.6%
	宍道	11.1%	11.1%	2.8%	5.6%	5.6%	0.0%	5.6%	13.9%	0.0%	2.8%	0.0%
	本庄･朝酌	73.1%	42.3%	11.5%	34.6%	30.8%	3.8%	19.2%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	八束	47.4%	26.3%	31.6%	26.3%	15.8%	5.3%	5.3%	26.3%	0.0%	5.3%	0.0%
	鹿島	34.6%	15.4%	15.4%	26.9%	3.8%	11.5%	7.7%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	島根	228.6%	100.0%	78.6%	135.7%	135.7%	42.9%	78.6%	164.3%	14.3%	0.0%	7.1%
	美保関	85.7%	78.6%	28.6%	92.9%	42.9%	21.4%	42.9%	92.9%	0.0%	0.0%	7.1%
	忌部	166.7%	111.1%	100.0%	177.8%	33.3%	55.6%	100.0%	200.0%	0.0%	0.0%	11.1%
	八雲	29.4%	3.9%	2.0%	19.6%	5.9%	0.0%	2.0%	27.5%	0.0%	0.0%	0.0%

ウ　まちづくりへの関わり

(ｱ)　まちづくりへの参加について

今後、計画的なまちづくりを進めて行くためには、住民のみなさんの協力が必要となります。あなたの地域で、まちづくりについて話し合ったり、考えたりする機会があれば、どのようにしたいとお考えですか？

【全　市】



全市では、［アンケート等であれば参加してみたい］が 43.3%で最も多く、次いで［できれば参加したい］が 22.7%となっています。

年齢別では、若い世代では間接的なアンケート等での参加が多く、高齢になればなるほど、直接的な参加を望んでいます。

地域別では、概ね全市と同様の傾向を示しています。

【年齢別・地域別】 全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　□

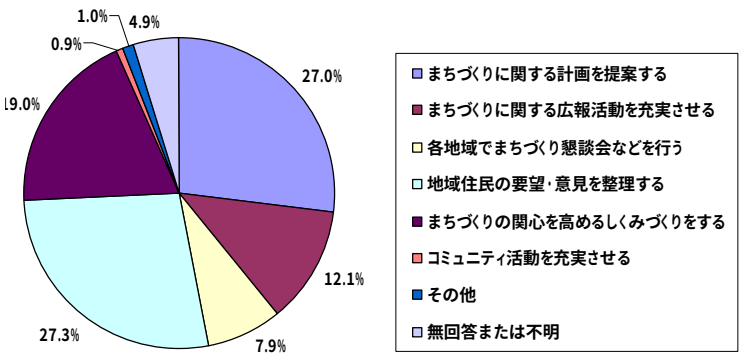
内　訳		回答数									性別・年齢・居住地の内訳							
		是非参加したい	できれば参加したい	誘われれば参加してみたい	アンケート等であれば参加してみたい	あまり参加したくない	参加したくない	その他	無回答または不明	合計	是非参加したい	できれば参加したい	誘われれば参加してみたい	アンケート等であれば参加してみたい	あまり参加したくない	参加したくない	その他	無回答または不明
全　体		95	252	166	481	50	33	13	22	1,112	8.5%	22.7%	14.9%	43.3%	4.5%	3.0%	1.2%	2.0%
年齢別	20歳代	2	8	5	41	3	2	0	1	62	3.2%	12.9%	8.1%	66.1%	4.8%	3.2%	0.0%	1.6%
	30歳代	12	21	20	91	10	5	2	0	161	7.5%	13.0%	12.4%	56.5%	6.2%	3.1%	1.2%	0.0%
	40歳代	16	43	36	96	11	5	6	2	215	7.4%	20.0%	16.7%	44.7%	5.1%	2.3%	2.8%	0.9%
	50歳代	21	81	50	146	15	15	5	7	340	6.2%	23.8%	14.7%	42.9%	4.4%	4.4%	1.5%	2.1%
	60歳代	42	95	47	101	11	6	0	12	314	13.4%	30.3%	15.0%	32.2%	3.5%	1.9%	0.0%	3.8%
	70歳以上	1	3	5	5	0	0	0	0	14	7.1%	21.4%	35.7%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6地域	中央	63	171	117	384	38	27	11	14	825	7.6%	20.7%	14.2%	46.5%	4.6%	3.3%	1.3%	1.7%
	湖北	7	8	8	11	4	1	0	0	39	17.9%	20.5%	20.5%	28.2%	10.3%	2.6%	0.0%	0.0%
	湖南	5	21	11	20	4	1	0	2	64	7.8%	32.8%	17.2%	31.3%	6.3%	1.6%	0.0%	3.1%
	中海沿岸	5	15	6	15	2	0	0	2	45	11.1%	33.3%	13.3%	33.3%	4.4%	0.0%	0.0%	4.4%
	島根半島	5	14	8	23	1	0	1	2	54	9.3%	25.9%	14.8%	42.6%	1.9%	0.0%	1.9%	3.7%
	松南	8	17	11	18	0	3	1	2	60	13.3%	28.3%	18.3%	30.0%	0.0%	5.0%	1.7%	3.3%
12地区	中心市街地	22	47	32	104	13	7	5	4	234	9.4%	20.1%	13.7%	44.4%	5.6%	3.0%	2.1%	1.7%
	中心市街地周辺	41	124	85	280	25	20	6	10	591	6.9%	21.0%	14.4%	47.4%	4.2%	3.4%	1.0%	1.7%
	湖北	7	8	8	11	4	1	0	0	39	17.9%	20.5%	20.5%	28.2%	10.3%	2.6%	0.0%	0.0%
	玉湯	3	9	3	8	3	1	0	1	28	10.7%	32.1%	10.7%	28.6%	10.7%	3.6%	0.0%	3.6%
	宍道	2	12	8	12	1	0	0	1	36	5.6%	33.3%	22.2%	33.3%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%
	本庄･朝酌	2	11	2	9	2	0	0	0	26	7.7%	42.3%	7.7%	34.6%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	八束	3	4	4	6	0	0	0	2	19	15.8%	21.1%	21.1%	31.6%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%
	鹿島	3	8	5	7	1	0	1	1	26	11.5%	30.8%	19.2%	26.9%	3.8%	0.0%	3.8%	3.8%
	島根	1	2	2	8	0	0	0	1	14	7.1%	14.3%	14.3%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%
	美保関	1	4	1	8	0	0	0	0	14	7.1%	28.6%	7.1%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	忌部	3	3	2	1	0	0	0	0	9	33.3%	33.3%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八雲	5	14	9	17	0	3	1	2	51	9.8%	27.5%	17.6%	33.3%	0.0%	5.9%	2.0%	3.9%

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

(ｲ)　まちづくりの進め方について

まちづくりを進めていくために、やっていけば良いと思われることは何ですか？
・行政がやっていけば良いと思われること

【全　市】



全市では、[地域住民の要望・意見を整理する]が27.3%で最も多く、次いで[まちづくりに関する計画を提案する]が 27.0%となっており、行政へまちづくりのリーダーとしての役割を期待しています。

年齢別では、全市と概ね同様の傾向を示していますが、20 代、30 代で市民の要望・意見を整理することを市に求めています。

地域別では、ほぼ全市と同じ傾向ですが、松南地域ではより積極的な市民参加の形態を望んでいます。

【年齢別・地域別】全体から 10 ポイント以上高いもの　■　、全体から 10 ポイント以上低いもの　□

内訳		回答数									性別・年齢・居住地の内訳							
		まちづくりに関する計画を提案する	まちづくりに関する広報活動を充実させる	各地域でまちづくり懇談会などを行う	地域住民の要望・意見を整理する	まちづくりの関心を高めるしくみづくりをする	コミュニティ活動を充実させる	その他	無回答または不明	合計	まちづくりに関する計画を提案する	まちづくりに関する広報活動を充実させる	各地域でまちづくり懇談会などを行う	地域住民の要望・意見を整理する	まちづくりの関心を高めるしくみづくりをする	コミュニティ活動を充実させる	その他	無回答または不明
全　体		300	134	88	304	211	10	11	54	1,112	27.0%	12.1%	7.9%	27.3%	19.0%	0.9%	1.0%	4.9%
年齢別	20歳代	12	4	1	24	15	3	1	2	62	19.4%	6.5%	1.6%	38.7%	24.2%	4.8%	1.6%	3.2%
	30歳代	34	17	13	55	34	1	2	5	161	21.1%	10.6%	8.1%	34.2%	21.1%	0.6%	1.2%	3.1%
	40歳代	48	25	16	68	46	0	6	6	215	22.3%	11.6%	7.4%	31.6%	21.4%	0.0%	2.8%	2.8%
	50歳代	99	42	31	85	67	2	2	12	340	29.1%	12.4%	9.1%	25.0%	19.7%	0.6%	0.6%	3.5%
	60歳代	97	45	26	67	49	3	0	27	314	30.9%	14.3%	8.3%	21.3%	15.6%	1.0%	0.0%	8.6%
	70歳以上	8	0	0	3	0	1	0	2	14	57.1%	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%	7.1%	0.0%	14.3%
6地域	中央	215	103	61	235	156	9	9	37	825	26.1%	12.5%	7.4%	28.5%	18.9%	1.1%	1.1%	4.5%
	湖北	13	1	6	13	5	0	0	1	39	33.3%	2.6%	15.4%	33.3%	12.8%	0.0%	0.0%	2.6%
	湖南	22	10	7	13	9	0	0	3	64	34.4%	15.6%	10.9%	20.3%	14.1%	0.0%	0.0%	4.7%
	中海沿岸	14	3	0	15	12	0	0	1	45	31.1%	6.7%	0.0%	33.3%	26.7%	0.0%	0.0%	2.2%
	島根半島	12	5	7	13	8	0	1	8	54	22.2%	9.3%	13.0%	24.1%	14.8%	0.0%	1.9%	14.8%
	松南	14	9	4	10	18	1	0	4	60	23.3%	15.0%	6.7%	16.7%	30.0%	1.7%	0.0%	6.7%
12地区	中心市街地	57	34	18	60	46	2	4	13	234	24.4%	14.5%	7.7%	25.6%	19.7%	0.9%	1.7%	5.6%
	中心市街地	158	69	43	175	110	7	5	24	591	26.7%	11.7%	7.3%	29.6%	18.6%	1.2%	0.8%	4.1%
	湖北	13	1	6	13	5	0	0	1	39	33.3%	2.6%	15.4%	33.3%	12.8%	0.0%	0.0%	2.6%
	玉湯	6	2	0	11	7	0	0	0	26	23.1%	7.7%	0.0%	42.3%	26.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	宍道	3	1	0	1	4	0	0	0	9	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	本庄･朝酌	6	4	6	5	2	0	1	2	26	23.1%	15.4%	23.1%	19.2%	7.7%	0.0%	3.8%	7.7%
	八束	2	1	0	4	4	0	0	3	14	14.3%	7.1%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	21.4%
	鹿島	4	0	1	4	2	0	0	3	14	28.6%	0.0%	7.1%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	21.4%
	島根	11	8	4	9	14	1	0	4	51	21.6%	15.7%	7.8%	17.6%	27.5%	2.0%	0.0%	7.8%
	美保関	9	3	3	5	7	0	0	1	28	32.1%	10.7%	10.7%	17.9%	25.0%	0.0%	0.0%	3.6%
	忌部	13	7	4	8	2	0	0	2	36	36.1%	19.4%	11.1%	22.2%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%
	八雲	8	1	0	4	5	0	0	1	19	42.1%	5.3%	0.0%	21.1%	26.3%	0.0%	0.0%	5.3%

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

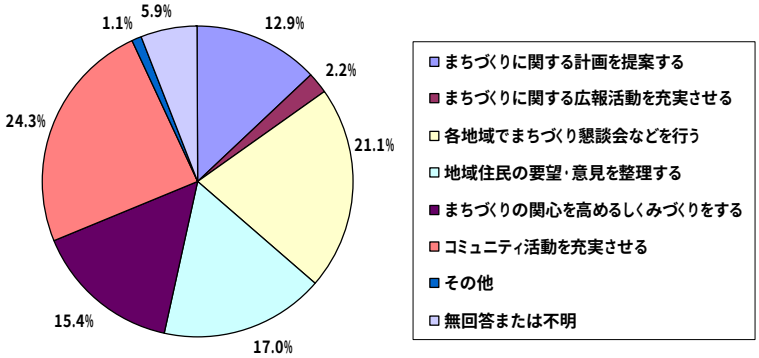
まちづくりを進めていくために、やっていけば良いと思われることは何ですか？
・市民がやっていけば良いと思われること

【全　市】

全市では、[コミュニティ活動を充実させる]が24.3%で最も多く、次いで[各地域でまちづくり懇談会などを行う]が 21.1%となっており、身近なところからの住民参加を望んでいます。

年齢別では、20 代が、積極的に地域別の懇談会などを行うことを望んでいます。

地域別では、中海沿岸地域が積極的に懇談会などを行うことを望んでいます。



【年齢別・地域別】 全体から 10 ポイント以上高いもの ■ 、全体から 10 ポイント以上低いもの □

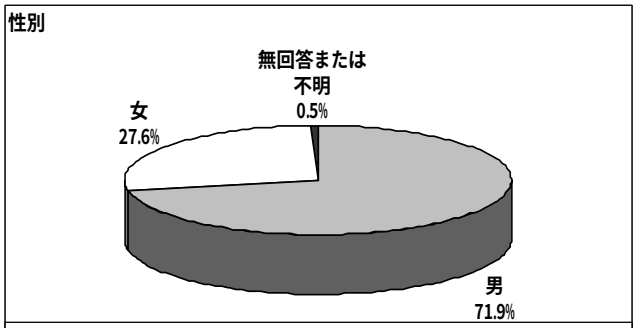
内訳		回答数									性別・年齢・居住地の内訳							
		まちづくりに関する計画を提案する	まちづくりに関する広報活動を充実させる	各地域でまちづくり懇談会などを行う	地域住民の要望・意見を整理する	まちづくりの関心を高めるしくみづくりをする	コミュニティ活動を充実させる	その他	無回答または不明	合計	まちづくりに関する計画を提案する	まちづくりに関する広報活動を充実させる	各地域でまちづくり懇談会などを行う	地域住民の要望・意見を整理する	まちづくりの関心を高めるしくみづくりをする	コミュニティ活動を充実させる	その他	無回答または不明
全　体		144	25	235	189	171	270	12	66	1,112	12.9%	2.2%	21.1%	17.0%	15.4%	24.3%	1.1%	5.9%
年齢別	20歳代	12	1	21	7	5	13	1	2	62	19.4%	1.6%	33.9%	11.3%	8.1%	21.0%	1.6%	3.2%
	30歳代	23	4	30	27	17	54	1	5	161	14.3%	2.5%	18.6%	16.8%	10.6%	33.5%	0.6%	3.1%
	40歳代	37	3	28	31	31	69	4	12	215	17.2%	1.4%	13.0%	14.4%	14.4%	32.1%	1.9%	5.6%
	50歳代	41	8	68	63	60	79	3	18	340	12.1%	2.4%	20.0%	18.5%	17.6%	23.2%	0.9%	5.3%
	60歳代	31	9	84	56	54	52	2	26	314	9.9%	2.9%	26.8%	17.8%	17.2%	16.6%	0.6%	8.3%
	70歳以上	0	0	3	5	2	1	0	3	14	0.0%	0.0%	21.4%	35.7%	14.3%	7.1%	0.0%	21.4%
6地域	中央	104	22	170	146	130	203	9	41	825	12.6%	2.7%	20.6%	17.7%	15.8%	24.6%	1.1%	5.0%
	湖北	6	0	9	6	9	8	0	1	39	15.4%	0.0%	23.1%	15.4%	23.1%	20.5%	0.0%	2.6%
	湖南	11	0	13	10	8	17	1	4	64	17.2%	0.0%	20.3%	15.6%	12.5%	26.6%	1.6%	6.3%
	中海沿岸	6	1	17	5	6	7	0	3	45	13.3%	2.2%	37.8%	11.1%	13.3%	15.6%	0.0%	6.7%
	島根半島	8	0	8	9	9	9	1	10	54	14.8%	0.0%	14.8%	16.7%	16.7%	16.7%	1.9%	18.5%
	松南	7	2	15	9	3	19	0	5	60	11.7%	3.3%	25.0%	15.0%	5.0%	31.7%	0.0%	8.3%
12地区	中心市街地	28	9	38	29	43	68	5	14	234	12.0%	3.8%	16.2%	12.4%	18.4%	29.1%	2.1%	6.0%
	中心市街地周辺	76	13	132	117	87	135	4	27	591	12.9%	2.2%	22.3%	19.8%	14.7%	22.8%	0.7%	4.6%
	湖北	6	0	9	6	9	8	0	1	39	15.4%	0.0%	23.1%	15.4%	23.1%	20.5%	0.0%	2.6%
	本庄･朝酌	4	0	12	3	2	3	0	2	26	15.4%	0.0%	46.2%	11.5%	7.7%	11.5%	0.0%	7.7%
	忌部	3	0	2	1	1	2	0	0	9	33.3%	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%
	鹿島	6	0	2	6	5	3	1	3	26	23.1%	0.0%	7.7%	23.1%	19.2%	11.5%	3.8%	11.5%
	島根	0	0	0	1	3	6	0	4	14	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	21.4%	42.9%	0.0%	28.6%
	美保関	2	0	6	2	1	0	0	3	14	14.3%	0.0%	42.9%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	21.4%
	八雲	4	2	13	8	2	17	0	5	51	7.8%	3.9%	25.5%	15.7%	3.9%	33.3%	0.0%	9.8%
	玉湯	5	0	4	6	4	8	0	1	28	17.9%	0.0%	14.3%	21.4%	14.3%	28.6%	0.0%	3.6%
	宍道	6	0	9	4	4	9	1	3	36	16.7%	0.0%	25.0%	11.1%	11.1%	25.0%	2.8%	8.3%
	八束	2	1	5	2	4	4	0	1	19	10.5%	5.3%	26.3%	10.5%	21.1%	21.1%	0.0%	5.3%

※年齢・地域・地区の不明な回答については表示していないため、合計は一致しない

エ　調査対象者の属性

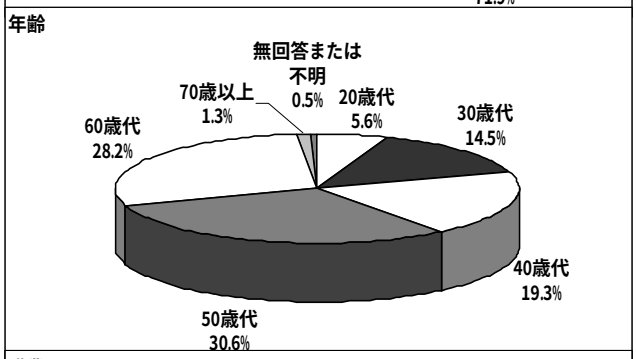
(ｱ)　性 別

全体に占める割合は、[男性]71.9%、[女性]27.6%と男性の割合が高くなっています。



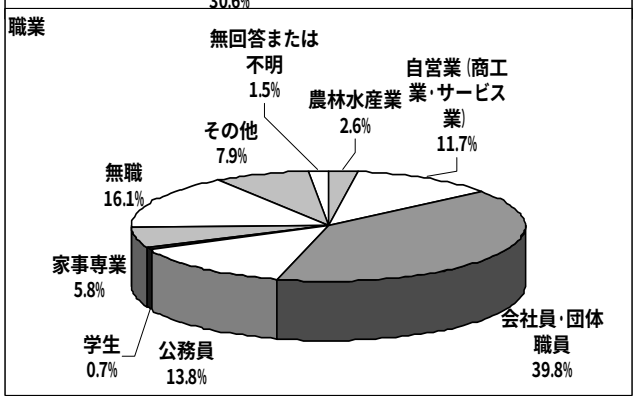
(ｲ)　年 齢

[50 歳代]30.6%、[60 歳代]28.2%、[40 歳代]19.3%、[30 歳代]14.5%の順に割合が高くなっています。



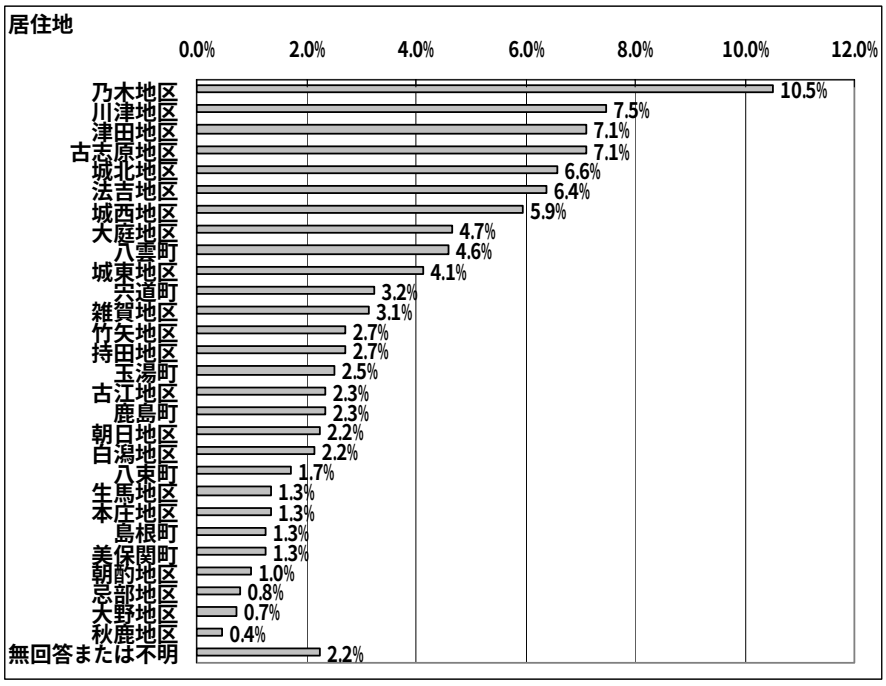
(ｳ)　職 業

［会社員・団体職員］39.8%と最も多く、次いで、［無職］16.1%、［公務員］13.8%の順に割合が高くなっています。



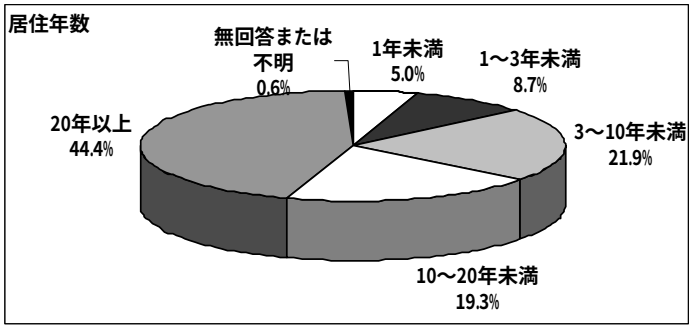
(ｴ)　地 区

[乃木地区]10.5%、[川津地区]7.5%、[津田地区]7.1%、[古志原地区]7.1%の順となっています。



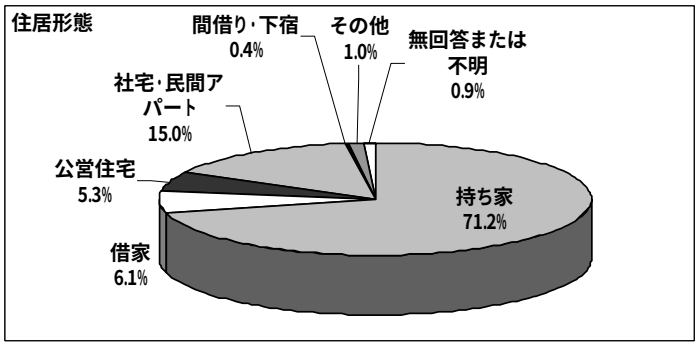
（ｵ）　居住年数

[20 年以上]が 44.4%で最も多く、次いで［3～10 年未満］21.9%、［10～20 年］19.3%となっています。



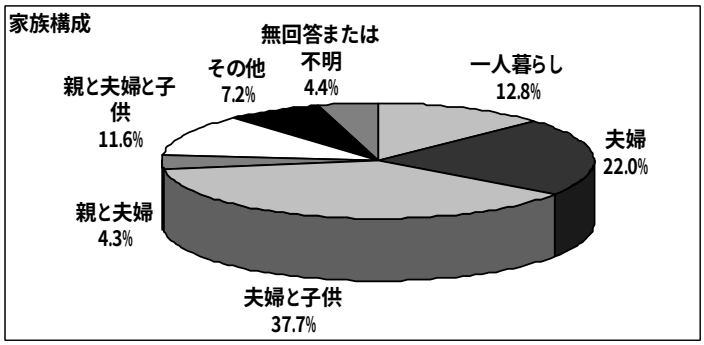
（ｶ）　住居形態

[持ち家]が 71.2%と大部分を占め、[社宅・民間アパート]が 15.0%となっています。



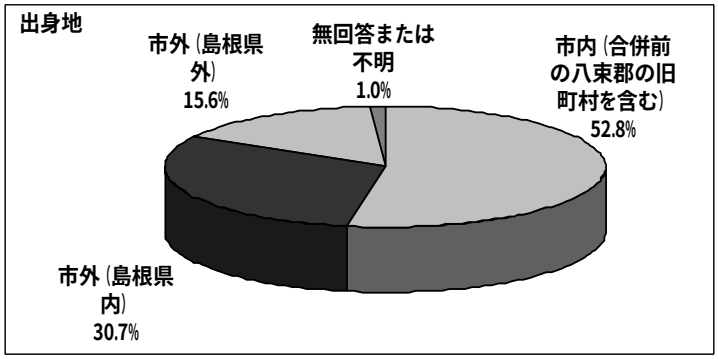
（ｷ）　家族構成

[夫婦と子供]が 37.7%で最も多く、次いで［夫婦］22.0%、［親と夫婦と子供］11.6%となっています。



（ｸ）　出身地

[市内（新市内）]が 52.8%で最も多く、次いで［市外（県内）30.7%、［市外（県外）］15.6%となっています。



オ　自由意見

３３６名の方の記入がありました。

【自由意見の類型】

ｺｰﾄﾞ	大項目	意見数	小項目	意見数
0	まちづくり方針	59	都市計画、マスタープラン、計画的なまちづくり	34
			まちづくりの方針、まちづくり施策	25
1	土地利用	19	空き地活用	2
			開発、開発と保全	4
			土地利用規制緩和	4
			土地利用	7
			土地区画整理事業	2
2	産業	63	中心市街地活性化	18
			大型商業施設、商業施設	12
			商店街活性化	7
			観光都市、観光施設、観光資源	18
			就業環境、雇用対策、企業誘致	8
3	交通	148	渋滞緩和、渋滞解消、交通渋滞	9
			若者が歩くまち、若者が集うまち	2
			道路整備	48
			公共交通体系、公共交通機関	41
			自転車道整備	2
			駐車場	8
			歩道整備	17
			歩いて楽しいまち、歩いて暮らせるまち	6
			交通規制	4
			電線、電柱地中化	4
			街路樹	2
			道路工事	5
4	公園･緑地	44	自然保全、自然保護、自然活用	16
			公園整備、憩いの場整備	10
			子どもの遊び場	7
			遊園地、動物園、レクリエーション施設整備	6
			緑化推進、緑地	5
5	景観	52	高層マンション規制、高さ制限	12
			街並み、街並み整備、街並み保全	9
			景観保全、景観阻害、景観形成、景観規制	18
			松江らしさ	13
6	河川・下水道	13	下水道整備	2
			河川改修、橋梁、大橋川	11
7	安全･安心	32	高齢化対策、シルバー人材活用	12
			街路灯、防犯灯整備	10
			防災、防犯	10
8	公共施設	27	公共施設、公共施設整備	27
9	行政	32	市職員	6
			市長	6
			市役所	2
			行政	16
			市議会	2
10	住民	64	地域コミュニティ、地域交流	4
			市民、市民参加、市民と行政	29
			税金、公共料金、住民負担	15
			地域格差、地域の活用、機能分担	16
12	その他	32	情報発信、情報提供、情報公開	9
			アンケート	6
			ごみ	5
			文化、芸術	3
			子育て環境	2
			条例	2
			教育	2
			その他	3
	合計	585		

注）意見数は回答者の意見を上記の項目により分類した為、自由意見の回答者数と異なる。
小項目の「その他」は、地域の歴史映画製作、公共マナー、花火の寄付など。

２．まちづくりワークショップ

(1)ワークショップで得られた結果概要

都市計画及び住宅マスタープランの策定にあたり、合併後の松江市について、どのような「まちの姿」を目指していくべきか、市民の皆様が自由に話し合っていただける場として『まちづくりワークショップ』を 2 回開催しました。

ワークショップの概要は以下のとおりです。

平成 18 年 11 月　第 1 回ワークショップ　開催、参加者　39 名 目的：新松江市の現状を再認識し、住みたいまち、住み続けたいまちについて魅力を抽出
住みたい松江市の６つの魅力 ・　景観がよい（宍道湖、夕日、自然景観等） ・　自然が豊富である（海岸線、山、温泉等） ・　観光資源が豊富である（海、祭、温泉等） ・　伝統・文化・歴史が受け継がれている（祭、抹茶、雰囲気、街並み等） ・　食物がよい（新鮮、出雲そば、魚、お茶、和菓子等） ・　人情・人柄がよい（親切、方言、のんびり等）

平成 19 年 2 月　第 2 回ワークショップ　開催　参加者　33 名 目的：定住の方向性を探ること、松江市に住み続けたくなる要件と私たちにできることを抽出	
●住み続けたくなる要件●	●私たち市民にできること●
□　安全、安心で便利な松江・観光資源を活用するためのインフラのあり方	□　安全、安心なまちづくり、公共交通のあり方の検討（一部、行政支援）
□　豊かな人間関係およびまちづくりを行うためのコミュニケーションのあり方	□　ひとや資源を生かす、人間関係や市民参加のあり方を大切にする
□　公共交通、道路・歩道の整備	□　車を利用しない、バスを使う、住む、歩くことを主体に
□　観光資源の利用（自然景観の保全）	□　地元へのＰＲ
□　景観の保全と地域コミュニティ	□　ゴミ出しルール、景観保全策、公共事業の監視、地域のイベント参加
□　活気ある中心市街地	□　商店街を利用する
□　住みやすい松江（住環境・公共交通）	□　交流できる環境をつくる、特徴のあるまちづくり（一部、行政支援）

(2)第１回ワークショップ

テーマ　：「松江市」について理解を深めよう！

新松江市が誕生して１年半。
松江市のこれから（将来）の指針となるマスタープランを考えるために、「私たちのまち」を理解することからはじめましょう。

◆開催日時：平成１８年１１月２６日（日）13：30～16：30
◆会　　場：島根県民会館3階大会議室
◆参加人数：３９人

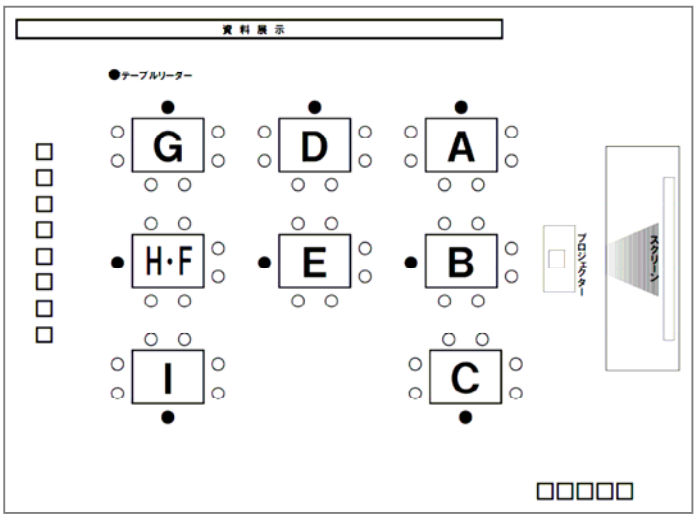
プログラム

■開　会
■あいさつ
　□ＷＳ開催の目的と位置づけ、２回の構成とテーマ
■スタッフ紹介
■本日の進め方説明
■ＳＴＥＰ１／都市計画マスタープラン・住宅マスタープランとは？
　□都市計画マスタープランについて
　□住宅マスタープランについて
■ＳＴＥＰ２／松江市について理解を深めよう！
　□松江市の概要
　□島大生による松江市まちドック診断の結果紹介
　□松江市まちドッククイズ
■休憩
■ＳＴＥＰ３／「住みたい松江・住み続けたい松江」について考えよう！
　□自己紹介（自己紹介シート）
　□松江の魅力／住みたくなる松江の要件
　□住みたい松江・住みたくなる松江のキーワード
■グループ意見発表
■ワークショップのまとめ
■閉会

参加者概要

□所属別
　■一般参加　　１６名
　■商工会関係者　　４名
　■島根大学　　１１名
　■島根女子短大　　８名　　計３９
　（現島根県立大学）
□地域別
　■旧松江市　　２４名
　■旧玉湯町　　２名
　■旧宍道町　　２名
　■旧鹿島町　　１名
　■旧島根町　　１名
　■市外・不明　　９名　　計３９名

会場配置



■松江市まちドッククイズに答える参加者

■グループ討議

グループ発表

■Aグループ

■Bグループ

■Cグループ

■Dグループ

■Eグループ

■Gグループ

■H＋Fグループ

■Iグループ

松江市都市計画及び住宅施策に関する
まちづくり・ワークショップ通信
2006.12
第1号
●発行：松江市都市計画課・建築課●

まちづくりワークショップを開催しました！

秋も深まった11月26日（日）、島根県民会館にて、「第1回新・松江市の都市計画及び住宅施策に関するまちづくりワークショップ」を開催しました。

このワークショップは、都市計画及び住宅マスタープラン策定の一環として行ったもので、総勢３９名の市民の方々にご参加いただきました。

ワークショップでは、松江市のまちづくりについて学習したあと、８つのグループに分かれ、「松江の魅力」、「住みたくなる松江にするための問題点・課題・要件」等について意見交換を行いました。

ワークショップの企画・運営にあたっては、ＮＰＯ法人まつえ・まちづくり塾の方々に協力していただき、島根大学の学生さんによる「まちドック診断」の紹介やクイズによって松江を再認識するなど、市民感覚を取り入れたプログラムとなるよう工夫しました。

今回のワークショップでいただいたご意見は、庁内の「都市ビジョン検討幹事会・検討委員会」及び市民有識者等で構成する「都市ビジョン懇談会」の検討作業に反映されます。

ワークショップにご参加いただいた皆さんに改めてお礼申し上げるとともに、今後とも松江市のまちづくりにご協力いただきたくお願い申し上げます。

テーマ「松江市」について理解を深めよう！
～住みたい松江・住み続けたい松江について考えよう～

●ワークショッププログラム●

■STEP1／都市計画マスタープラン・住宅マスタープランとは？
- □都市計画マスタープランについて概要説明
- □住宅マスタープランについての概要説明

■STEP2／松江市について理解を深めましょう！
- □松江市の概要説明
- □島大生による「松江市まちドック診断」の結果紹介
- □松江市まちドッククイズ

■STEP3／「住みたい松江・住み続けたい松江」について考えよう！
- □松江の魅力／住みたくなる松江の要件
- □住みたい松江・住みたくなる松江のキーワード

■グループ意見発表

■ワークショップのまとめ

【参加者の概要】

◆所属別

一般参加	１６名
商工会関係者	４名
島根大学生	１１名
島根女子短大生	８名

◆地域別

旧松江市	２４名
旧玉湯町	２名
旧宍道町	２名
旧鹿島町	１名
旧島根町	１名
市外・不明	９名　計３９名

●ワークショップの様子●

●ワークショップのまとめ●

ワークショップでは、「松江の魅力」及び「住みたくなる松江にするための問題点・課題・要件」等について意見交換を行い、その内容をグループごとに発表していただきました。発表の内容は、グループによって視点の違う、興味のあるものでした。（詳細は裏面参照 魅力：144件、要件172件）。また、以下のような共通の意見がありました。

共通意見：松江の6つの魅力と住みたくなる松江の10の要件

松江の魅力		住みたくなる松江の要件
①景観 宍道湖、夕日、自然景観等 ②自然 豊富、海岸線、山、温泉等 ③観光資源 豊富、海、祭、温泉等 ④伝統・文化・歴史 祭、抹茶、雰囲気、街並み等 ⑤食物 新鮮、出雲そば、魚、お茶、和菓子等 ⑥人情・人柄 親切、人付き合い、方言、のんびり等	魅力を活かす →	①活気ある中心市街地　②道路、歩道の整備 ③松江らしい住環境整備　④公共交通の整備 ⑤観光資源の活用　⑥労働環境の整備 ⑦自然、景観保全　⑧子育て環境の整備 ⑨地域コミュニティ、高齢化への対応 ⑩レクリエーション施設の整備

～松江のまちづくりについて考え、まちづくりを語る場がここにありました～

●参加者の皆様の感想：抜粋●

今日の内容を活かして！■いろんな立場の人がいて、それぞれ違った視点から「松江」を見ていることがわかって面白かったです。ここで出た意見が、市に少しでも伝わって聞き入れてもらえればよいなあと思います。
こういう場を増やして！■数多くの市民レベルの話し合いの場が増えると良いと思う。■今回のワークショップのような会を１０年に１回とかではなく、もっと短期間で行っていくと良いと思いました。世代を超えた意見交換ができてよい勉強になりました。
参加者が少ない！■まちづくりに興味を持つ市民を増やしていくことも重要だと思いました。一般参加者が少ないと思ったので。■もっと多くの人に参加してもらえるといいのになと思いました。
時間が短い！■話し合うテーマとそれに見合う時間が少なすぎたと思う。■もう少し発言の場が欲しかったです■グループディスカッションの時間がもっとほしかった。
どう活かされる？■このような取り組みがどう活かされるのか、活かされたかについて報告を聞かせてもらえればと思います。
もっと松江を知りたい！■松江市民であるからにはもっといろいろなことを知らなければならないと感じた。■皆「松江のことを知りたい！」「松江をよい町にしたい」という理念のもと、とてもよい意味で必死になっておられていました。
よかった！■こういうワークショップに参加できたことは、なかなか体験することが良いことだと思いました。■学生さんやお年寄りの方と話ができてよかった。いろいろな方面の方が参加されておりびっくりした。■とても有意義な時間をアグレッシブな方々とともにすごさせていただき、大変感謝しております。次回が楽しみです。■意見交換の中で、魅力よりも課題についての話題で盛り上がったのは意外でしたしおもしろかったです。■私一人では生まれなかった発想が、今日ワークショップに参加したことで発見することができよかったと思います。そして、これだけの改善点があるということは、この先改善していく松江市があるということなので楽しみです。本当に芸術の街松江になればいいなと思います。
レベルが違う・・・■リーダーの思いと参加者の思いのレベルが違う。
わからない・・・■少しは理解できたが、現実的に何をどう考えればよいのかわからない。

◆都市計画マスタープランとは？

まちづくりの基本となる「松江市総合計画」や島根県がつくる「都市計画区域マスタープラン」を踏まえながら、住民意見を反映し、松江市の１０年後の具体性あるビジョンを定め、これを実現化するため都市計画の基本的な（マスター）方針（プラン）を定めるものです。

◆住宅マスタープラン」とは？

住み良い「住まい」や「まち」をつくっていくための、将来の目標や取組みの基本方針、推進していくための具体的施策など住宅・住環境に関する計画です。

●第2回まちづくりワークショップのご案内●

平成19年2月18日（日）13:30～16:30／会場：島根県民会館大会議室

テーマ"新・松江市のまちづくり"を考えよう！

※計画の進行状況等により、テーマを変更する場合があります。

●都市計画マスタープラン・住宅マスタープラン及びワークショップに関する問い合わせ●
松江市都市計画課：TEL（0852）55－5373 Eメールアドレス：t-plan@city.matsue.shimane.jp

●第1回ワークショップ：各グループのまとめ●

グループ	松江の魅力キーワード！			住みたくなる松江にするための問題点・課題・要件		
A	**■景観：**夕日がきれい／松江しんじ湖温泉街からみた夕日はとてもきれい／景観がよい。高知の田舎と似ていて静かでよい（緑が多い） **■自然環境：**自然環境がよい／水（日本海、宍道湖、中海、堀川、等）と緑がすばらしい	**■雰囲気：**昔ながらの街並みがある。堀川遊覧船など／歴史がある（城下町の……、古代の…）／きれい（空気、環境）で雰囲気のいい、感じのいい、品のあるまち／和菓子のお店が多く、松江のイメージに合っている	**■食材が新鮮：**食材がよい。新鮮 **■人柄：**親切な人が多い（県外の方から良く聞く） **■通勤時間が短い：**通勤時間が短い（都市部に比べて） **■地震が少ない：**地震の心配が少ない（東京に比べて）	**■まちに活気がほしい**／まちの活気がない・まちの中が賑やかであるといい／まちなかに空家が多くあり、寂しい／若者、奥さん方に魅力的な施設が無い **■観光資源の有効活用**／観光資源が活かされていない／観光地として中途半端／水の都市の割には川の水が汚い**■景観形成**／統一された条例がない／歴史や文化、伝統について、住人および観光客等に対して統一された方針や施設などが見当たらない。官庁主導の不要な箱物が多い **■住宅**／住みわけがきちんとしてない。土地利用区分に問題	**■明るい場所・暗い場所**／松江は地域や場所によって明るい場所と暗い場所の差が激しい／大学裏が暗くて危ない **■道路、歩道の整備**／歩道が狭い、危険／交通の便が良いが、歩道などで自転車が走りにくい場所が多い／ **■医療・福祉・子育て環境の整備**／医者不足。産婦人科の女の医師が少ない／子育て環境：バックアップ体制が無い／医療や福祉：悪い。現実が置き去りにされている **■労働環境**／働く環境（働きにくい。働く場が無い） **■公共交通機関**／交通機関（バス、電車）の利用が不便	**■公共料金**／水道代が高い **■地域に合ったシステム**／山陰特有の気候に対応できる快適なシステム的なものが欠けている **■まちづくりを語る場づくり**／このような話合いの場をもっと多く設けてほしい **■人間関係・慣習**／閉ざされた人間関係／古い慣習が不安／人情や付き合いは、今は形だけのものしか見当たらない／地域のイベント等は、官主導の人しか参加していない。ローソンの近くで生活しているせいか、一部の人だと思うがマナーの悪い人が目立つ
B	**■景観が美しい**／宍道湖の風情／宍道湖、夕日が美しい／多数の観光資源／景観がよい／山、川、湖、風、動物、歴史あり、古い建物が残っている／松江のまちは本当に美しいまちだと思う。宍道湖、松江市城、大橋川など。かなり自慢できること	**■松江が広がった**／松江が合併して広がったので、魅力も増えた／合併して、美保関や島根町など、美しい日本海の海岸も松江になったことは誇れること **■人口減、高齢化は悪くない**／高齢者が元気でよい／人口が少ないというのは、混雑せずによいと捉える	**■地域の人のつながり**／地区の人々との交流を深めて歴史をつくっていくとこと／祭を守って、外より来られる人々に楽しんでもらえるところ／人付き合いが深いところ／こちらの人は人情がある／人の顔が見える関係もあり、農村のようにべったりの地域関係というわけでもない。その加減がちょうどいい	**■まちなかのにぎわい**／ある程度の都会さがほしい／古着屋などのショップがひとつのエリアに固まってあるといい／まちなかがもう少し賑わっているといい。もうちょっと都会風／大手前の駐車場はやめて、広場として利用しイベントを開催する **■子育て**／一時保育、延長保育などの子育て支援の充実が必要 **■防災**／防災対策が必要。ハードでなくソフトで充実させて **■住まい**／賃貸住宅の家賃を安くしてほしい。ワンルームなどは、都会の賃料とさほどかわらない／もっと空家の利用を。ただ、オーナーが簡単に貸してくれるかどうかというのが課題	**■公共交通**／公共交通の充実／公共交通の便をよくして。短大方面から学園の方に直接行くバス路線があるといい **■レクリエーション**／自然、湖、海を利用したスポーツ施設、レクリエーション施設の整備 **■歩きやすい道づくり**／水路ふたのフラット化、舗装のフラット化など道路整備／歩道の整備がされていること／高齢者、子供、自転車で移動する人にやさしい道づくり **■芸術のまちに**／芸術のまちをつくっていく。若者が音楽、アートなど発表の場を必要としている	**■車の利便性**／市内の駐車場スペースの確保が必要 **■歴史を生かすまちづくり**／伝統保存地区、城の建物の施工方法の育成のソフト面を事業化する／松江大橋をモチーフにしたまちづくりをすすめる **■湖の水質改善**／宍道湖の水質の改善が必要 **■仕事場が必要**／自分の望む職に就けるような環境づくりが必要／外に出た学生が何年か先にまた松江にもどってきたいと思えるようにすること／働く場が少ない。若い人の働く場づくりは急務／松江は銀行、役所しか魅力的な職がない
C	**■ロケーション、自然、歴史、史跡**／宍道湖周辺の心なごむ景色／自然を感じられる、宍道湖があるまち／県立美術館近くの公園を歩いてみて気持ちよかった／美しい自然／松江城（手を加えてないところが良い）	**■観光スポット、再発見**／出雲神話、国引きの里、出雲国風土記／田舎のごっつぉ／松江宍道湖温泉／来待ストーン／佐太神社／日吉の切り通し／美保関の青石畳通り、美保関神社／玉造温泉／島根町の花よめ寿司／八束の溶岩洞窟／	**■人材、人**／魅力的な人がたくさんいる。（パワフルな人も）／ご縁／お年寄りが元気。（お年寄りが遊ぶところはたくさんある）／内向的な人が多い	**■子育て**／子育てが安心してできる街（幼児期、学童期、思春期）／共働きがしやすい街／もっと雇用を／買い物がしやすい街／福祉の充実 **■交通**　／歩道と自転車道／子供が学校へ安心にかよえる通学路／交通の利便性が低い／公共交通の利便を見直し／交通の便で短大から島大経由のバスを増やして欲しい（車の無い人が大変不便）／水上交通をつくる／広域サインを充実させる／大橋川周辺の公園を直してほしい（公園の維持管理が不十分）	**■老後**／老人に声かけて街の活性化／老後ゆっくりできるまち／地域コミュニティーがあるまち **■観光、PR、周辺の隠れスポットの再発見**／新松江市となって旧松江市以外の人の住んでいる地域を知ること（知人に新松江市の良さをＰＲできるように）／観光のＰＲがあんまりうまく出来ていない／松江の特産品を！／現在でも旧八束郡エリアからは「松江に行ってくるけん。」という感じ。（周辺部でも松江という実感を持てるように。）	**■遊ぶ場所**／遊ぶところ（学生が）が少ない
D	**■景色がよい**／大橋や宍道湖から見えるタ陽や朝日が美しい／堀川沿いの景観／川や橋（堀川遊覧の景観）／自然が多くビルが少ない／街がきれい→もっときれいに／古い町並み **■平和な街**／平和都市である	**■伝統・文化・歴史がある**／どう行列やホーランエンヤ／伝統文化が伝承／お寺や神社、古墳などが、歴史や文化を感じる **■若者との交流機会が多い**／まちに大学や短大があり、若い方との交流ができる	**■食べ物がおいしい→もっとPR→食文化の整備が必要**／魚がおいしい／そばがおいしい／シラウオ、アマサギ／和菓子がきれいでおいしい **■人情があり落ち着く**／人情がある／全てがのんびりとしていて落ち着く	**■公共施設整備**／天神川の整備／住宅地の整備→まちなかの空いている場所を活用／道路整備／中心市街地の土地活用／宍道湖の活用／松江城の廻りがさみしいので、茶屋を増やしてほしい	**■バス等、公共交通の整備**／バス交通の便利が悪い（便が少ない、乗継が不便）／松江駅前バスターミナルの案内がわかりにくい	**■大人が手本**／大人から手本を示す（タバコのポイ捨て、飲酒運転など） **■地域コニュニティ→高齢化への不案**
E	**■自然、景観が美しい**／宍道湖とタ日／宍道湖で魚釣りができる／宍道湖大橋の近くにある白潟公園からの夜景がきれい／水郷松江。景観がよい／自然が多く、景色がよい／夏には海にすぐ行ける所がよい	**■食べ物がおいしい**／食べ物はおいしい。特に魚介類 **■（誇れる）歴史、伝統、文化がある**／文化的行事や観光地が多い／松江城、堀川遊覧船、塩見縄手／歴史を感じさせる観光地が町に溶け込んでいる／伝統的な祭りがある	**■都市と田舎のバランスがよい**／都市的な場所と田舎的な場所の両方がある／ゆったりとした時間が流れている所／医療、福祉の面が比較的恵まれている／人情に厚い	**■働く場が少ない**／若い人が就職、働く場所がほしい／働く場が少ない／若者の定住のため雇用の場がもっと欲しい **■活気、賑わいが不足している**　／遊ぶところがたくさん欲しい／活気が出てくれば住み易くなる	**■交通関係に問題あり**／交通の利便性が悪いのでは、特に公共交通機関（夜間の移動など）／松江の中心以外の交通の便が悪い／道路網をよくしてほしい／道路が狭すぎ。デコポコが多いので、車事、自転車で通りにくい／交通の便を良くしてほしい→信号制御の改良や右折禁止など交通体系を見直すことで改善できる面もある	**■松江愛がほしい**／市民の松江に対する愛が少ない／近所、隣を思いやる心がほしい **■物価が高い**／物価が安くなれば住みやすい **■子育て支援が少ない**／子育て支援の充実がほしい **■分散家族を少なくする**／分散家族をなくして住む
G	**■景観がよい（「風情」がある）**／景色のきれいな所がたくさんあるよ／宍道湖のしじみ漁船の風景がとても素敵だと思う。残したい／水辺の風景が美しい（宍道湖のタ日、いろんな雲が見えるなど）／風情がある／水色は多い／夜の松江はきれい／朝の松江はきれい	**■歴史がある・文化的**／歴史的な雰囲気が感じられる／松江の伝統産業を保存 **■資源（合併して広がった魅力）**／温泉がたくさんある。近くて良い／歴史的なお祭りがある／島根半島の海岸線は美しい。残し、活用したい	**■食べもの・飲み物（お酒）**／食べものが（お酒も）おいしい　／お茶と和菓子の文化　／魚が美味しい	**■災害対策**／災害に強い街づくりを **■治安の問題**／（近所の）治安がよい→松江市全体になればもっとよいが（川津はそうではなかった） **■子育て環境**／安心して子供を遊ばせられない／（特に）核家族の子育て環境をよりよく！（夜間保育・休日保育など） **■車社会があたりまえ？**／自動車が多い　／歩いて移動するのは面倒／歩くのは怖い **■道路の整備**／道路（特に生活道路）の整備	**■まちの「中心」の魅力**／道行く人が少ない／まちに魅力、賑わい、活気が出るといいな。「歩いて楽しめるまち」 **■ルールづくり**／風格がない／緑色は少ない **■松江らしい「食文化」って？**／松江らしい食文化の充実 **■人付き合い**／人間のつながりが深い⇔近所の人とつながりがあるか／よそものがもっと行き来して、住みやすくなれば松江外の人にも声をかけやすい **■若者の活動環境**／若い人が積極的に活動できる環境 **■遊ぶ場所**／遊ぶ場所がたくさん欲しい	**■起業をサポート**／起業のしやすい環境・起業者をサポートする環境（金銭的だけでなく、人的ネットワークや支援体制づくり） **■「松江らしい」住まいづくり・住環境**／松江の気候風土に合った住まい作り／すてきな空家（古民家）に住んだり店舗等に活用できるといい（若者にはニーズがあるはず）／古民家や趣のある住宅地があればよいと思う／庭の広い住宅地。庭で家庭菜園などが楽しめるなど、健康な生活が送れるような住宅地があればよいと思う **■緑**／緑を大切にする街に **■水**／水がきれいか（あまり美味しくない）
H+F	**■自然・景観**／山がきれい／宍道湖がすばらしい／風情がある街並み／水がおいしい／空気がきれい／静か／タ日がきれい／宍道湖のタ日がきれい／宍道湖のタ陽／広い空がいつでも見られる **■教育**／大学がある／進学校が公立（学校関係が充実）	**■人情**／親切な人が多い／ホスピタリティ、優しい **■レジャー、観光**／海で泳げる／玉造温泉が良い／大山が近い（スノーボード、スキー）／公園が多い／遊園地を造って **■交通**／高速道路／空港が近い／道路が広い／施設が利用しやすい／お年寄りのまち／低床バス、ノンステップバス	**■歴史・文化**／歴史・文化が豊かである／歴史や人々の暮らし（抹茶文化） **■商店街**／物価が安い **■食べ物**／そばがうまい／食べ物がおいしい／食べ物が美味／食は充実	**■自然豊か**／宍道湖のタ日（水の都）／空気がきれい／温泉が身近／日本海、宍道湖などの豊かな食材。海の幸、山の幸 **■歴史**／文化／暮らし／出雲風土記、城下町（抹茶）／大学がある **■人情、人柄が優しい（保守的）** **■都市機能を成熟させる**／レジャー（遊園地など）、商業機能、政策	**■産業、働く機会（場）の整備■都市計画を考える**／マンション、駐車場、商店街　／道路、電車など交通の整備 **■今ある資源をもっと活かそう**／お年寄り、大山、温泉、島大、ティファニー／空きテナント、シャッター街／昔からある歴史的な建物など	**【マイナス要因】**◆天候が変わりやすい◆川が汚い（朝酌川など）◆マンションが乱立で景観が壊されている◆松江城と周辺の景観とのマッチ◆保守的◆大学生がまちに受け入れてもらえていない◆都市機能は何もない◆温泉街の活性化、イベント不足◆遊ぶ場所やデートする場所がない◆ティファニー美術館の位置がよくない◆施設の利用者が少ない◆駅周辺の歩道が狭い◆電車の本数が少ない◆駐車場がない◆若者たちが働ける場が少ない◆古いものを活かしきれていない◆空きテナントが活用されていない◆古い街並みがさびれている◆ショップのジャンルにばらつきがある気がする
I	**■自然**／宍道湖、堀川があり、自然が多く美しい／宍道湖のタ日がきれい／自然がとにかく豊か／海と山の自然が身近にある／ **■食べ物**／魚、野菜がおいしいし新鮮／新鮮な食べ物が容易に入手できる	**■県民性（良いところ）**／都市化しすぎていないところが良い／おっとりした街の雰囲気／時間がゆっくり流れていて、へんに急がない。／方言、民話が暖かくなつかしい／近所づきあいが、べったりしすぎてもないちょうど良さ	**■利便性**／県都だけあって、都市規模が小さい割にひととおりなんでもそろっている **■歴史が感じられる**／歴史ゆかりの地が多く、観光のみならず、学習の場が多くあって飽きない／秋の城がきれい	**■自然**／宍道湖の湖岸は汚いことがある／自然を大切に、手入れを続けることが重要 **■交通**／歩くのに不便。自転車に不便／電車が少ない／便利に生活できる公共交通が少ない／鳥取方面への鉄道の少なさ。情報の少なさ／すこし都心から離れると、車でしか移動できない **■雇用**／就職先が少ない／高齢者にとっても働く場がない **■レジャー**／遊ぶ場所がない／全体的に店の閉店時間が早い／昔懐かしい場所（商店街）に活気がなく、淋しい／新情報の入ってくるのが全体的に遅い／民放が少ない	**■安全**／夜暗い。（街灯が少ない） **■県民性（悪いところ）**／新参者は輪に入りにくい。なじみにくい／近隣が身近に感じられるのは良いが、他県に比して自分の価値観を押し付ける人が多い **■ホスピタリティ不足**／殿様商売の雰囲気がまだ残っている／観光客をもてなす心づかいが足りない	**■都市としての連続性のなさ**／病院が遠い／観光拠点が点々としていて、連続していない（友人を案内するにも最初から相当に段取りを考えないと時間をロスしやすい） **■高齢者にとっても住みにくい**／バリアフリーができていない／介護施設が足りない **■広報・情報伝達不足**／酒本、窯元等、伝統ある特長がたくさんあるのに、身近に感じられない。

(3)第２回ワークショップ

テーマ　：「松江市の将来像」を考えよう！

◆開催日時：平成１９年2月１８日（日）13：30～16：30
◆会　　場：島根県民会館3階大会議室
◆参加人数：３３人

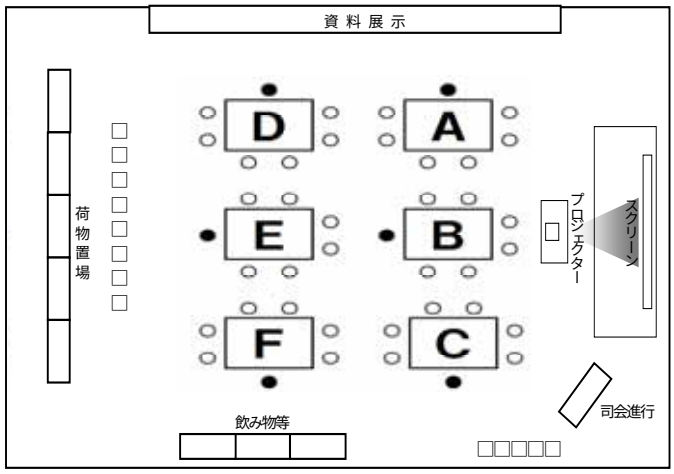
プログラム

■開　会
■ＳＴＥＰ１
おさらい
■ＳＴＥＰ２
松江の将来像を考えよう！
■ＳＴＥＰ３
将来像実現のために私たちにできることとできないことを考えよう！
■閉　会
（今後のスケジュールと終わりのあいさつ）

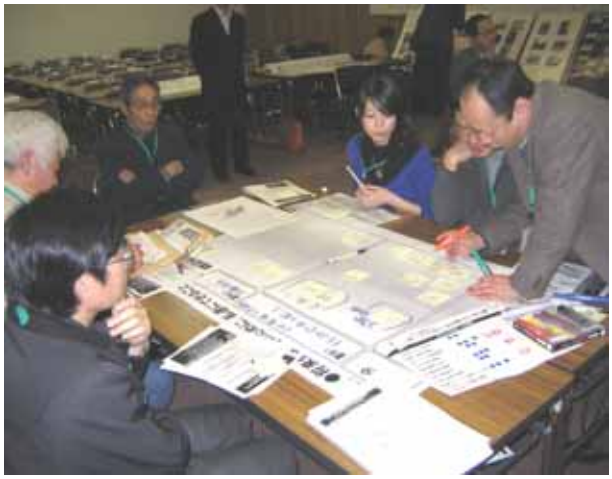
参加者概要

■一般参加	２２名
■商工会関係者	３名
■島根大学生	６名
■島根女短大学生	２名
	計３３名

会場配置



■第 2 回ワークショップの様子



松江市都市計画及び住宅施策に関する
まちづくり・ワークショップ通信
●発行：松江市都市計画課・建築課●
2007.02
第2号

第2回まちづくりワークショップを開催しました！

暖冬で春の陽気を感じる2月18日（日）、島根県民会館にて、「第2回新・松江市の都市計画及び住宅施策に関するまちづくりワークショップ」を開催しました。

このワークショップは、都市計画及び住宅マスタープラン策定の一環として行ったもので、前回１１月２６日に引き続き、総勢３３名の市民の方々にご参加いただきました。

ワークショップでは、前回のワークショップの内容と成果を確認したあと、６つのグループに分かれ、「住みたくなる松江にするための要件」を実現するために、市民に何ができて、何ができないか、について意見交換を行いました。

今回のワークショップでいただいたご意見は、庁内の「都市ビジョン検討幹事会・検討委員会」及び市民有識者等で構成する「都市ビジョン懇談会」の検討作業に反映されます。

ワークショップにご参加いただいた皆さんに改めてお礼申し上げるとともに、今後とも松江市のまちづくりにご協力いただきたくお願い申し上げます。

テーマ　松江市の将来像を考えよう！
～将来像実現のために市民にできること、できないことを考えよう～

●ワークショッププログラム●

ＳＴＥＰ１／前回のおさらい
- □これまでの経過、進捗状況について
- □第１回ＷＳまとめ、「さらに検討」結果の報告
- □本日の意見交換のポイントについて

ＳＴＥＰ２／松江の将来像を考えよう！
- □グループ内で重点的に話し合うテーマを確認

ＳＴＥＰ３／将来像実現のために私たちにできることとできないことを考えよう！
- □重点要件が実現するための方策（アイデア）を抽出
- □方策を参考に、「どうしたら住みたくなるのか」についてグループで話し合い
- □具体的なアイデア、それに対する意見など意見交換

■グループ発表　■全体の意見交換　■本日のまとめ
■閉　会（今後のスケジュールと終わりのあいさつ）

【参加者の概要】

■一般参加	２２名	■商工会関係者	３名
■島根大学生	６名	■島根女短大学生	２名
			計３３名

●ワークショップの様子●

●ワークショップのまとめ●

今回のワークショップは、第１回ワークショップで出てきた「住み続けたい松江の６つの魅力と１０の要件」を基に、何をどうすれば松江の魅力を活かし、住み続けることができるかを検討しました。

その結果、住み続けたくなる要件と私たち市民にできることを次のように整理しました。

●住み続けたくなる要件●	●私たち市民にできること●
□ 安全、安心で便利な松江・観光資源を活用するためのインフラのあり方	□ 安全、安心なまちづくり、公共交通のあり方の検討（一部、行政支援）
□ 豊かな人間関係およびまちづくりを行うためのコミュニケーションのあり方	□ ひとや資源を活かす、人間関係や市民参加のあり方を大切にする
□ 公共交通、道路・歩道の整備	□ 車を利用しない、バスを使う、住む、歩くことを主体に
□ 観光資源の利用（自然景観の保全）	□ 地元へのＰＲ
□ 景観の保全と地域コミュニティ	□ ゴミ出しルール、景観保全策、公共事業の監視、地域のイベント参加
□ 活気ある中心市街地	□ 商店街を利用する
□ 住みやすい松江（住環境・公共交通）	□ 交流できる環境をつくる、特徴のあるまちづくり（一部、行政支援）

６つのグループが選択したテーマは、「公共交通の整備」や「活気ある中心市街地」の他に、観光資源としての松江の視点や地域のコミュニティ、高齢化への対応に対するものとなり、それぞれのテーマについて、視点の違う立場から数多くの意見が出ました。意見交換からみえてきたことは次の２点に集約できそうです。

①住み続けたい松江の要件はどれも全て必要なことであり、１つや２つに絞り込むべきのものではない。

②それぞれの要件に対して、解決策、対応策は無数にあり、もっと市民同士、市民と行政が話し合う場が必要。

「松江のまちづくり」という大きなテーマで行ったワークショップでしたが、もっと細かいテーマごとの話合い、意見交換を市民が求めているなかで、市民一人ひとりが、松江のまちづくりについて考え、立場や年齢の違う参加者が、それぞれの立場で意見交換できたことには大きな成果がありました。

また、まちづくりについて、自分達にできること・市民にできることを発見し、もっともっとまちづくりを語る場や議論する場が求められていることを確認したワークショップでした。

松江市では、今回のワークショップや昨年末に行ったアンケート調査等を参考にし、年内を目標に、松江市都市計画マスタープランを策定します。今回参加された皆様、アンケートに協力いただいた皆様の声に耳をすましながら、将来の松江市のまちづくりを進めていきたいと考えます。

●全体の意見交換で出された意見、要望等●

①本日のワークショップの中で、たくさんの意見のあった「公共交通」についてもワークショップを開催してほしい。

②公共交通の整備も必要であるが、まず、道路整備を優先してほしい。市全体の道路網について、市民の声を聞く場を持ってほしい。

③観光知事、観光市長のようなポストを作り、観光をＰＲしていくべき。

④ＪＲ松江駅周辺を職員の方に見てほしい。観光者から、バスの料金設定が異なることについて説明を求められるが、回答できない。

⑤一般車両が松江駅前のバスターミナルに入ってきて危険であるが、市に連絡したくても連絡先が不明である。また、県民会館の時計が遅れており、バスに乗り遅れた人がいた。このような場合、どこに連絡したらよいのか、連絡先等のわかりやすい表示が必要である。

⑥竪町商店街には空き店舗が多くあり、有効活用を考える際に空き店舗を貸し店舗にする案があるが、この辺の店舗の造りは、トイレが奥まった場所にあり、店舗を貸し出す際に、貸主の住居部分部を通らなければならないという不都合がある。貸す側の条件も考慮して空き店舗活用を考えなければならない。

◆都市計画マスタープランとは？

まちづくりの基本となる「松江市総合計画」や島根県がつくる「都市計画区域マスタープラン」を踏まえながら、住民意見を反映し、松江市の１０年後の具体性あるビジョンを定め、これを実現化するため都市計画の基本的な（マスター）方針（プラン）を定めるものです。

◆住宅マスタープラン」とは？

住み良い「住まい」や「まち」をつくっていくための、将来の目標や取組みの基本方針、推進していくための具体的施策など住宅・住環境に関する計画です。

●都市計画マスタープラン・住宅マスタープラン及びワークショップに関する問い合わせ●
松江市都市計画課：TEL（0852）55－5373 Ｅメールアドレス：t-plan@city.matsue.shimane.jp

●第2回ワークショップ：各グループのまとめ●

グループ

住みたくなる要件の選択　→　将来像実現のために、私達にできること、できないこと！　※網掛け部分は、市民にもできること・行政との協働でできること。

A

①安全、安心で便利な松江・観光資源を活用するためのインフラのあり方

【安全、安心】安心して歩ける安全な歩道／安全でおいしい水道水／水害のないまちづくり／原発の安全性

【公共交通のあり方】バスの利用をし易くする／利用しやすい（分かりやすい）公共交通に向けての整備／新しい交通機関（バスよりも小さく、タクシーより安い何か）の創出／駐車場の情報がよくわからない（観光客にとつても）・道路、駐車場の整備／渋滞のない道づくり／広域的道路ネットワークの形成・道路、交通網の計画的整備をする／サイクリングコース新設

②豊かな人間関係およびまちづくりを行うためのコミュニケーションのあり方

【ひと資源を活かす】郷土の歴史教育を行う／お年寄りのいきいきスペースの活動支援／文化に参加（市民参加型イベント）／空地、空き家利用（芸術スペース、緑地）／芸術の館解放／滞在型（ホームステイなど）受け入れ家庭の登録／人、特技、興味ネットワーク（助け合い）／地域で子供ネットワーク支援／市民参加型健康宣言一日ウォーク
【人間関係のあり方】マンション、アパートの人の町内会への参加／地区外の人にもやさしくおもてなし／近所付合いを大切にする
【市民参加のあり方】外から見た松江象を考えるため市外、県外の人たちの声を聞く／既存外の市民の意見や声を市政に反映させるシステムをつくてほしい。（検証できるもの）／都市マス、住マスの話し合いの場の順序を再度考えてみる必要がある／市と市民のつながりのあり方を考え直す／都市計画を考えるために市民で話をする場をもっとたくさん持つ／観光面の資源の有効活用のあり方を市民レベルで話し合う

【ＰＲをもっと】もっと地域のイベント等のＰＲをする／地域のイベント等の PR が大事／観光資源の有効活用。効果的ＰＲ大事／松江ブランド（特に海産物）の育成

B

①公共交通の整備（道路・歩道の整備）

【メリハリのある道路整備（メインとサブ）】松江のメイン道路→駅前道路、国引き道路、内循環道路など／狭い道路を減らして欲しい／松江の中心を通らずに通り抜けたい／メインの道路を整備して狭い道路にはバス、車を入れない／メイン道路の車線を増やしたら良い／バス路線はメイン路線を決めて整備する／生活バス観光客バスを分ける／堀川遊覧船を活用する、船着場を増やして整備する／橋によって交通が規定されており利便性が上がらない

【歩ける公共交通のために】■水上／合同汽船および水上タクシーの開発／大きな船で（堀川遊覧船）バスの変わりに■バス／バスが不便、利便性を良くしたい／バスの小型化、区分、タウンカー■自転車／自転車が走りやすい道づくり／自転車道路の整備が必要／健康面からも歩くことも必要。不自由な人の為に自転車タクシーなども考えられる■他／電車も含めて区分（小型化して便を増やすという意）／県外の人でも分りやすい施設や地名、道路の案内表示がほしい／都市計画マスタープランの WS に道路の関係者がいないのはおかしいのでは？／公共交通の料金の方が自家用車での移動より高くなるのはおかしい。改善を！

②観光資源の利用（自然景観の保全）

【地元へのＰＲ】住んでいる人がもっと興味を持つことが重要／外湯めぐりができるように温泉を PR／観光資源の見直し、市民がもっと興味を持つべき／一畑電鉄の活用、サイクリングなど／宍道湖をみんなで綺麗にする。観を増やす。

【ＰＲ】特色を生かしたＰＲ活動、マニアックな観光コース、案内係の募集／食のＰＲ／案内表示を分りやすく／松江市の魅力を盛り込んだ映画を作る／八重垣神社や神魂（かもす）神社などをもっとＰＲ／初めて松江に観光に来た人が簡単に楽しめるような分りやすいルート、またはサービスの確保／江戸時代の町名も表示し説明板も整備

【店舗】店舗の造り方がお客様が入りにくい店構えです／地場産業を活性化し、また店員の教育に補助金を出す

【ハードの整備】湖畔を夜通し明るくしておく、雨天に備えて屋根を設置する／温泉の活用が気軽に楽しめる整備をする、外湯／歴史的に保存したい施設の手入れを充分にしたい／自然環境の保全は大切／宿泊施設、集会施設の整備が必要

【遊び場】若い人たちの遊び場、どう遊ぶ？どこで遊ぶ？？／宍道湖の活用で花火だけでなく市民が遊ぶ所を整備する／夜な夜な楽しく遊べる場所が欲しい／大きなショッピングモール、買い物を地元でしたい／親子で遊べる場所が欲しい／お金を使わずにブラブラする事ができる場所／イベントをもっと活気あふれたものにする

C

①景観の保全と地域コミュニティ

【ゴミ】川にゴミを捨てない／自転車の処分料を払う／マナーを守る【景観保全策】マンションを買わない／住民が主体となり行政に働きかけることが第１歩／地域コミュニティ単位で住んでいる人が、住んでいるまちを守る【公共事業の監視】公共事業への住民監視【地域のイベント】参加は住民にできる

【情報発信】景観に対する理解を学生に広める／学生と住民の話し合う機会がほしい／話し合いはコミュニティにつながる【地域のイベント】祭、風景など地域のイベント（古いもの、新しいもの）をより盛り上げる／開催は行政の力も必要。助成など【その他】宍道湖を大切にしたい。夕日、しじみ、渡り鳥、自然／景観を保ちたい場所はどこか／松江市の中心をどこにするのか／殿町を中心とした街の雰囲気が変化している／雇用の場の確保については、次回、機会があれば是非話し合いたい

【景観保全策】マンションの乱立を止める。どこにどのように働きかけたらよいか分からない／宍道湖岸の景観になじまない。高層建築の建設立地規制
【城下町づくり】松江らしい建物は少し高くなると思うが、松江の文化・伝統にお金を払う／古き良き松江の街並みを構成する家屋の保全・助成

②高齢化への対応

１０年後の明るい人生を！

高齢化がメリットとなるまちづくりを行う

D

①活気ある中心市街地

【市民も商店街を利用する】□近くの商店街を利用する□市街地のイベントに参加する□商店街のイベント等にできるだけ参加する□商店街で買える物は商店街で買う□みんなで声がけする

【商店街も努力する】一商店街で日用品が全て揃う街づくり／商店街の品揃えを充実して／雨でも歩けるアーケードのある商店街／見せる店づくり／行きたいと思う店（場所）があること／はっきりとしたテーマづくり（コンセプト）／商店の勉強会を行う。魅力ある商店づくり／空き店舗の活用についての話合いをする／空き店舗の活用／若い経営者に出店しやすい環境づくり／二世のＵターン促進

【行政対応】駐輪場を整備する／旧商店街に無料駐車場を整備／市街地内の施設をもっと簡単に利用できるように／ゆったりとした歩道整備（緑、外灯）／人々が行きたい街づくり／行きやすい、気軽に行ける環境整備／歩きやすい、自転車で通行しやすい道路整備

②公共交通の整備

【車を利用しない努力】ノーマイカーデイを実施する／歩いて（自転車）で出かける習慣をつくる／関係者は、自家用車や自分の足で廻ってみる／４つ橋を使ってイベントをする／バス停に一般車が入った場合等の連絡先は？

【事業者（バス、ＪＲ）の努力→もっと研究して！】一畑バスと市バスの路線がダブっている／バス路線の明確化（色分け、小型にして数を増やす）／バス代が高い／路線バスの案内をわかりやすく／ＪＲの駅を増やす／渡り舟（宍道湖）をしてみては／休日にバスが少ないのは観光客に失礼／バス路線をわかりやすく表示してほしい／バス停の整備／バスの台数を増やす／バスの本数（特に最終便）を増やす／中心地への交通を整備（バスの小型化、公共と民間の連携）

E

①住みやすい松江（住環境・公共交通）

【景観も重要（特徴のあるまちづくり）】地域の特性に応じたまちづくりをする必要があるのでは／例えばお城の周りの統一感（マンションがどんどん建つのは如何なものか）

【交流できる環境をつくる】■課題／旧市内の人は、よそ者に対してちょっと冷たい■解決策／町と外の住人との交流を図ろう／交流できる場と機会を提供するような所があれば、お年寄りが住みやすくなる／病院には、市内の広い範囲から人が集まってくるので、集い、交流できるようなサロンがあれば、交流が促進できるのではないか（郊外から街なかで用事を済ませてすぐ帰るのではなく、気軽に立ち寄れるような所があり、そこで地域と郊外のお年寄りや若者などの交流が盛んになることが重要）

【交通の利便性を高める】■課題／バスや電車の最終を遅くしてほしい／旧市内はバスの交通網は充分だと思う。新市（旧八東郡）にもっとバスの便を／新市と旧市をつなぐ、足を考えてほしい
■解決策／コミュニティーバスやタクシーを配備する／乗り合いバスや乗り合いタクシーが利用しやすいようにする／予約バスシステムの導入。路線を決めないで需要に応じた運行／（路線を決めて運行するやり方は、人口の少ない所では採算に無理がある）／３つのバス運行事業（国土交通省の路線バス、厚生省の福祉バス、文科省の送迎バス）を総合的に運用できるシステムをつくる／高齢者の運転免許の返還（交通の利便性を高め、無理に高齢者が車を運転しなくても良いようにする）／環境にも良い。交通量も減り道路や駐車場の整備も縮小できる。

F

①活気ある中心市街地

【歩く・バスを使う】用事が無くても通る／歩行マナーを守る。なるべくマイカーを使わない【住む】中心地に住む／人が住むこと（学生や若夫婦など）

【市民主体のまちづくり】観光客に頼るような政策や整備を止めて松江市民主体に考えたらどうでしょう【親水】堀川や大橋川の、人との距離がぐっと短くなればよいな【産業を大切に】都市の産業が活性化している。宍道湖のしじみ漁は失いたくない【食文化発信】食文化と松江をアピールできる場所づくり【魅力ある商店・商店街】商業地と住宅地のベストミックス／商店街の活性化／商店街に活気がある／自分の好きなブランドがあれば行きます／魅力ある商店の陳列。大型店で買えないものが買える、など･･･／多様な商店の集積／カフェがほしい！（休憩できるスペース）【空きスペースを活用しギャラリーなどの文化施設を点在させる】空きスペースを小さなギャラリー・美術館に。小さなスペースを点々と歩いて回るシステムをつくれば、おのずと周りの店や人にも目がいく／文化施設・レクリエーション施設が程よく存在する【宿泊場所】観光客を商店街の空スペースに泊める滞在させる

【アクセス（移動方法）】多くの人達が歩くような街にする。車による移動をなるべく少なくする／駐車場の地下化／駐車場割引廃止（マイカー規制）。あるいはノンマイカー割引／人が行きかう公共交通の便利なまち／地下鉄（橋北・南）をつなぐ／車（自家用）を廃止。その代わり、バスカード無料。地域の店舗に助成金【道のすみわけ】老人が歩いていても安心できるような道路／通学路に指定（強制）／歩行者絶対最優先の自動車通行【まちの統一感を出す】ゆっくり歩いて回れるような、建物などの配置？／市街地と住宅をなるべく離す【若者向けのまちづくり】若者向け中心市街地

資料編第４　地区カルテ

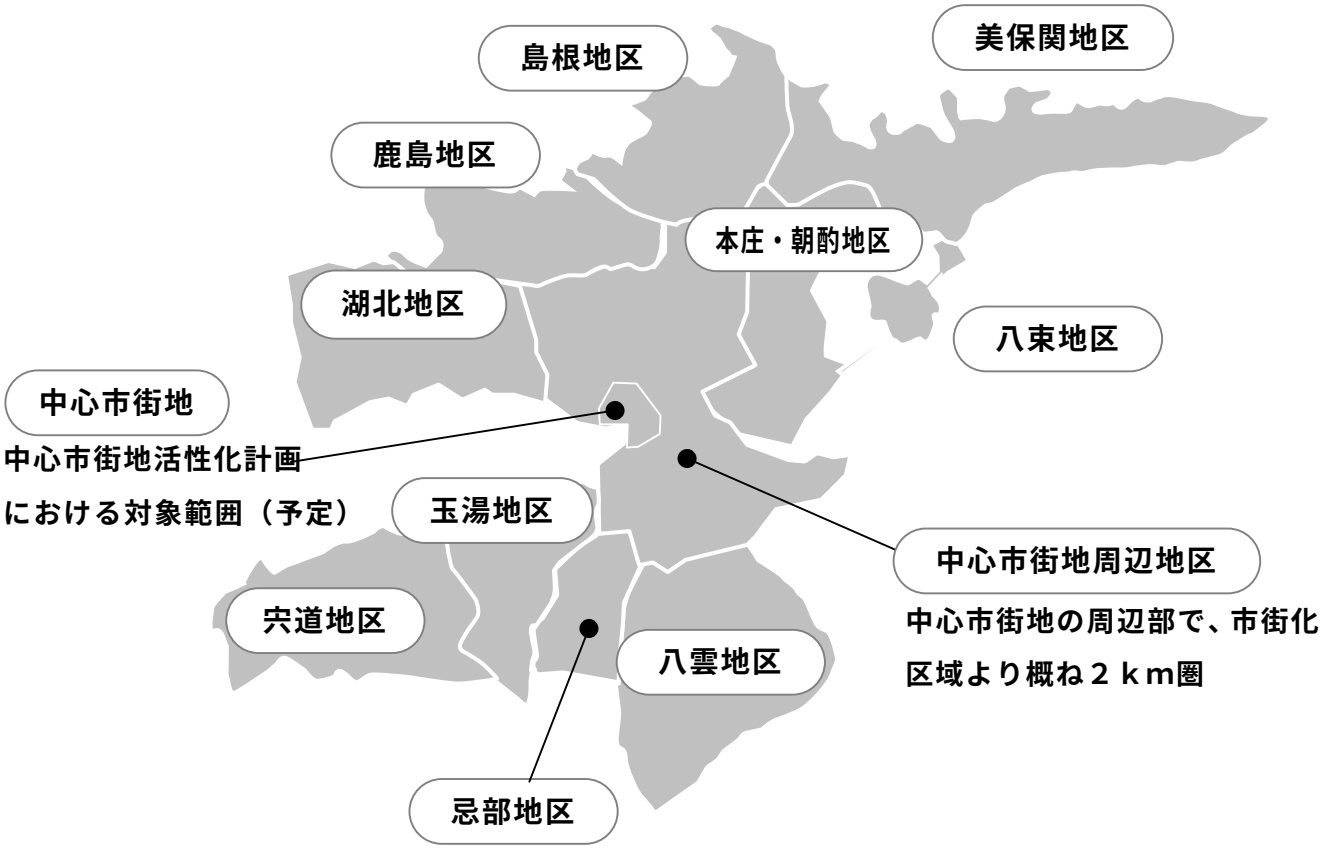
１．地区の考え方

(1)地区区分

将来都市構造で位置づけた広域拠点及び地域拠点は、それぞれが独自の魅力を生かし、個性的で魅力的な都市の発展を牽引する都市機能の集積地点となることが求められます。

このため、各拠点を中心としたまちづくりを行い、拠点の都市機能の向上を図る必要があり、広域拠点と各支所周辺、湖北の私鉄沿線、支所と中心市街地を結ぶルート上に位置づけた地域拠点等を考慮して、１２の「地区」に区分します。

■地区区分図



(2)地区一覧

地区と町名の関係は以下のとおりです。

地区		町　　名
1	中心市街地	末次本町、東本町、殿町、母衣町（一部）、北田町（一部）、南田町、米子町、向島町、北堀町、奥谷町、石橋町（一部）、西茶町、東茶町、苧町、中原町、片原町、外中原町、内中原町、末次町、千鳥町、伊勢宮町、御手船場町、大正町（一部）、東朝日町（一部）、朝日町、天神町、白潟本町、灘町、魚町、八軒屋町、和多見町、寺町、幸町(一部)、横浜町、竪町
2	中心市街地周辺地区	母衣町（一部）、北田町（一部）、石橋町（一部）、大正町（一部）、東朝日町（一部）、幸町(一部)、西川津町、学園南一丁目～学園南二丁目、東奥谷町、大輪町、淞北台、法吉町、うぐいす台、堂形町、砂子町、南平台、新雑賀町、国屋町、津田町、西津田一丁目～十丁目、袖師町、嫁島町、栄町、新町、松尾町、雑賀町、本郷町、上乃木町、上乃木一丁目～十丁目、東津田町、古志原町、古志原一丁目～七丁目、八雲台一丁目～二丁目、一の谷町、菅田町、上東川津町、下東川津町、学園一丁目、学園二丁目、春日町、比津町、黒田町、比津が丘一丁目～五丁目、西法吉町、矢田町、竹矢町、馬潟町、八幡町、富士見町、青葉台、浜乃木町、浜乃木一丁目～八丁目、乃白町、乃木福富町、田和山町、西嫁島一丁目～三丁目、大庭町、山代町、佐草町、大草町、上佐陀町、下佐陀町、西生馬町、東生馬町、薦津町、浜佐田町、福原町、坂本町、川原町、西持田町、東持田町、上本庄町(福原町の自治会に属する区域)
3	湖北地区	古曽志町、西谷町、古志町、荘成町、西浜佐陀町、西長江町、東長江町、大野町、上大野町、魚瀬町、秋鹿町、岡本町、大垣町
4	玉湯地区	玉湯町
5	宍道地区	宍道町
6	本庄・朝酌地区	西尾町、朝酌町、福富町、大井町、大海崎町、本庄町、上本庄町(福原町の自治会に属する区域を除く)、手角町、長海町、野原町、枕木町、邑生町、新庄町、上宇部尾町
7	八束地区	八束町
8	鹿島地区	鹿島町
9	島根地区	島根町
10	美保関地区	美保関町
11	忌部地区	西忌部町、東忌部町
12	八雲地区	八雲町

(3)地区カルテの構成

地区カルテの構成は次のとおりです。

区分		内容
地区の概況	地勢等	松江市や周辺地区、市町村との位置関係、地形条件など
	人口・世帯	地区人口、地区世帯数、年齢３階層別人口構成比 資料：平成 12 年、平成 17 年国勢調査
	土地利用現況	【土地利用現況】 自然的土地利用及び都市的土地利用の概況
		【開発動向】都市的土地利用への転換の概況 資料：島根県土地利用動向調査等
		【法適用現況】土地利用規制等の指定状況 資料：土地利用基本計画図
	施設等	【交通施設等】自動車専用道路、国道、県道等 資料：松江県土整備事務所管内図、市販道路地図 庁内関係各課・支所等による確認事項を追加
		【公共公益施設等】 資料：くらしの便利帳（教育施設を除き、市域マップに掲載のものに避難所指定施設を追加） 庁内関係各課・支所等による確認事項を追加
	地区資源等	【伝統・行事】 地域資源については、観光振興プログラム掲載のもの、庁内関係各課・支所等による確認事項を追加
地区の課題	経済環境	産業拠点、観光レクリエーション、地域拠点等の拠点形成に関する課題、土地利用に関する課題
	生活環境	道路、公園、下水道等の施設整備に関する課題 都市の安全形成に関する課題
	生態環境	自然環境の保全及び都市景観の形成等に関する課題
地区の基本的方針	経済環境	産業拠点、観光レクリエーション、地域拠点等の拠点形成に関する方針、土地利用の方針
	生活環境	道路、公園、下水道等の施設整備に関する方針 都市の安全形成に関する方針
	生態環境	自然環境の保全及び都市景観の形成等に関する方針

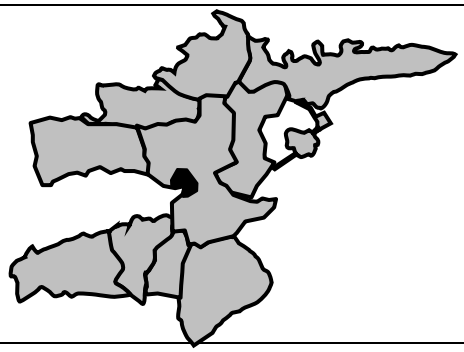
２．地区カルテ

(1)中心市街地

■地区の概況

地勢等

中心市街地は、古くから本市の商業・業務の中心的役割を果たしてきたＪＲ松江駅から殿町への Ｌ 字ラインと殿町から松江しんじ湖温泉への東西ラインを含む、まちなか居住を推進すべく旧藩政時代の城下であって、中心市街地活性化基本計画において位置づける区域です。

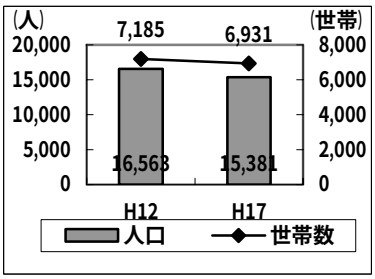


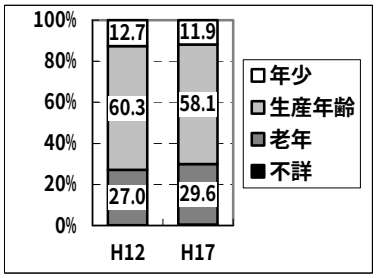
人口・世帯

平成 12 年～平成 17 年の人口増加率は、－7%、世帯数増加率は、－4%となっています。

平成 17 年の年少人口割合は 12%、老年人口割合は 30%となっています。

（資料：国勢調査）





土地利用現況

【土地利用現況】
・商業地は、大橋川の両岸及び幹線道路沿道に広がっています。
・周辺部は、一般住宅、専用住宅が広がっています。
【開発動向】
・平成 2 年以降、マンション建設が増えています。
【法適用現況】
・全域が市街化区域に指定されています。

施設等

【交通施設】
・国道９号、431 号、485 号、（主）松江鹿島美保関線、松江島根線
・ＪＲ山陰本線（松江駅）
【公共公益施設等】
本庁、島根県庁、島根県警察本部、松江地方裁判所、松江市総合福祉センター、松江勤労者総合福祉センター（松江テルサ）、松江市民活動センター、松江商工会議所、松江赤十字病院、島根県立図書館、島根県立美術館、島根県立武道館、島根県民会館、松江駅、松江しんじ湖温泉駅、自治研究所、松江中央郵便局　等

地区資源等

・松江城、松江城山公園、松江堀川、松江郷土館、宍道湖夕日スポット、へるんの小径、松江しんじ湖温泉、武家屋敷、小泉八雲記念館、小泉八雲旧家、カラコロ工房、京店カラコロ広場、明々庵、塩見縄手、普門院、松江郷土館(興雲閣)、松江大橋、白潟天満宮、大橋川、島根県立美術館　等

【伝統・行事】
・鼕行列、ホーランエンヤ、松江武者行列　等

■地区の課題

経済環境

・南殿・母衣エリアにおいては、約 20 年前に比べて、空き家・空き店舗等及び駐車場の面積が約 2 倍になっており、市街地の空洞化が見られ、市全体の経済活力の停滞の要因となっています。また、総合計画アンケートの自由意見欄においても「松江の中心部がどことはいえなくなった」「中心部が無くなった」という意見があり、市中心部の賑わいや中心商店街の魅力を取り戻すことが中心市街地の活性化に必要です。
・学生をはじめ多くの若者が集い賑わう場も不足していることから、未来の松江を担う若者の市外への流出を防ぎ、生活文化の拠点としてのまちづくりを進めるとともに、賑わいあふれる場を創出することが求められています。

生活環境

・水害から市街地を守るため、大橋川の改修事業を推進し、水害に強い安全で安心なまちづくりを実現する必要があります。
・高齢者や観光客の交通手段として公共交通を充実し、歩いて暮らせるまちづくりを進める必要があります。

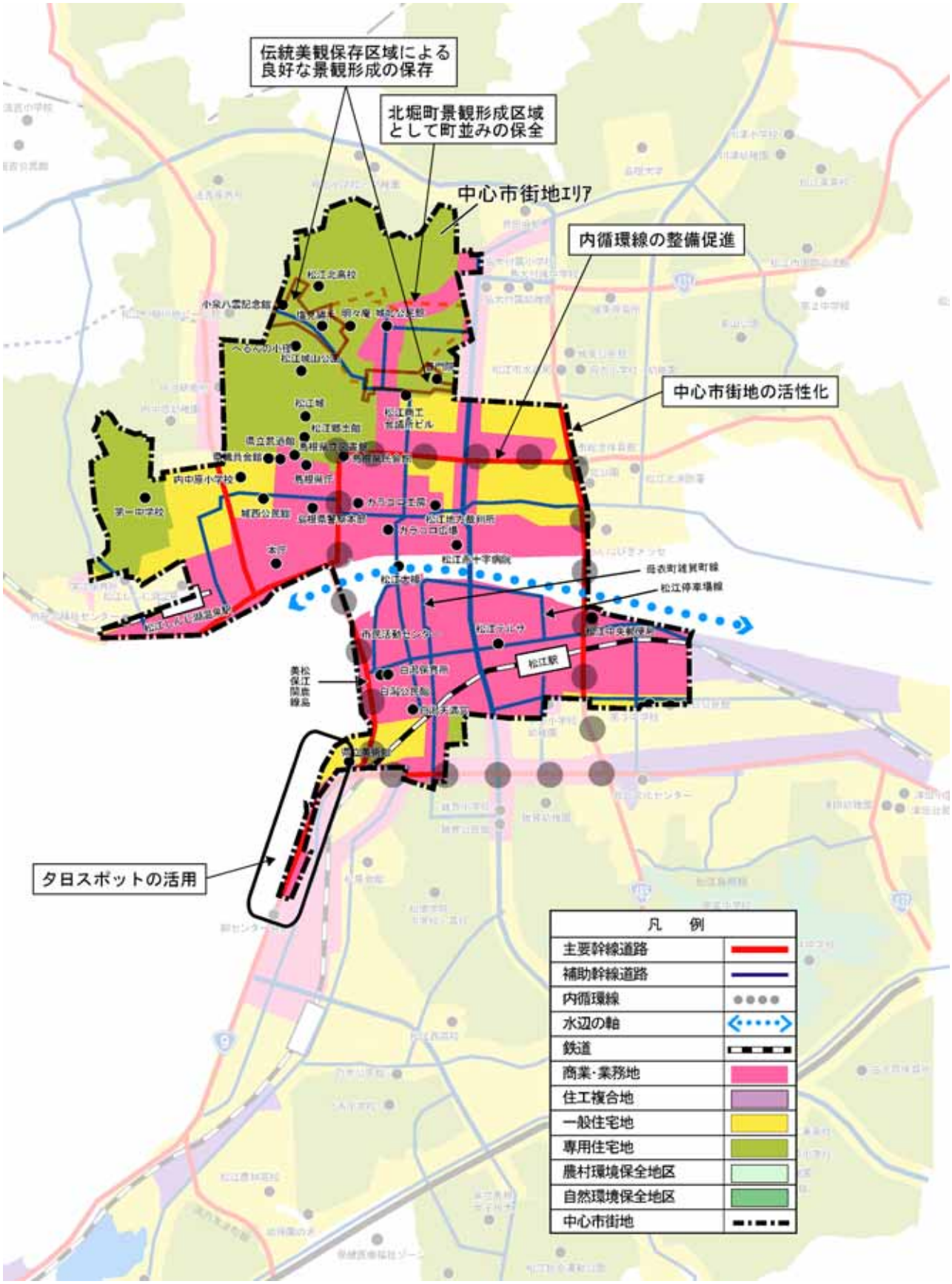
生態環境

・美しい景観や伝統的な歴史・文化を備えた市街地を形成するため、良好な景観保全を図るエリアのさらなる拡大を検討していきます。

中心市街地

■基本的方針	
経済環境	・「まちなか居住」、「近隣集客拠点」、「観光・交流」という３つの視点からまちづくりを推進することで、中心市街地の活性化を図ります。 ・中心市街地の人口減少は、市街地の空洞化や都市活力の低下につながり、都市としての機能や役割を損なうおそれがあります。一方、定住人口が増加することは、街の回遊者、来訪者増加など、活性化に寄与するところが大きいと言えます。歴史・文化に培われた中心市街地においては、その景観を保全し、新たな都心回帰ニーズに対応したまちなか居住の推進策を展開します。 ・ソフトビジネスパークの誘致・育成を図ります。「Ruby City MATSUE Project」による IT 関連事業従業者の増加などを行い職住近接のメリットを訴求することにより、定住人口の増加を図ります。 ・中心市街地の賑わいは、地区内の人々と近隣（地区外）から訪れる人（商業、就業なども含め）による賑わいも重要なことから、都市の既存ストックを活用し、歩きやすい歩行空間や公共交通の充実を図るなど、利便性の向上により、魅力ある中心市街地を形成し、近隣からの集客策を展開します。また、若者の集まる場所を適所に誘導し、新たな賑わいの場を創出していきます。 ・観光客の訪れるエリアのほとんどが、中心市街地内にあり、商業、飲食業、観光業など経済面で貢献していることから、歩行環境を整備し、まち歩きを促進することで、観光客の滞在時間の増大を図るとともに、交流人口の増加と賑わいあふれる地区の活性化を図ります。
	・商店街の空き店舗対策を積極的に行い、地区の活性化や従業員増加による賑わいの向上を図ります。 ・ＪＲ松江駅前の松江オープンソースラボ周辺に、ソフトウェア関連の事業所やＳＯＨＯ事業者等を集積し、クラスター効果を狙った産業振興を行うことにより、地区の賑わいの向上を図ります。 ・集客性のある施設の整備、都市利便施設の整備、回遊性の確保を目的とした動線の整備、賑わい創出関連の整備及びソフト事業などの展開により、まちの回遊性の向上を図ります。 ・松江城周辺に魅力ある施設として、歴史資料館（仮称）などの整備を行い、松江市全域が博物館となる「ぐるっと松江・博物館」構想を進めます。 ・また、鼕行列、ホーランエンヤ、祭り、朝市などの伝承的文化・行事等のより一層の充実に向けて支援します。
生活環境	・内循環線として、都市計画道路城山北公園線、袖師大手前線の整備を推進します。 ・その他の道路においても安全、歩行環境の改善の必要がある路線の整備を図ります。 ・移動しやすく、歩いて暮らせるまちづくりを進めるため、バスや鉄道交通の確保や利用促進を図り、公共交通総合体系を展開します。また、駐車場の整備を図るとともに、車両の乗り入れ等の規制を検討していきます。 ・大橋川の改修事業を推進し、水害に強いまちづくりを推進します。 ・公共交通の補強と地域の新たな魅力を創出するために、宍道湖・中海、河川を利用した水上交通など新交通システムの導入などを研究します。
生態環境	・松江市景観計画に基づき、良好な景観形成を図ります。また、地区住民と合意形成が図られた区域を景観計画重点区域として定め、よりきめ細やかな規制誘導を行います。 ・恵まれた自然空間・生態環境を永続的に維持し、より高めていく取組みを進めるため、堀川より一層の浄化を進めるとともに、宍道湖、大橋川などの水辺の整備や緑化を推進し、松江らしさの演出やその活用を図ります。

中心市街地のまちづくり方針図

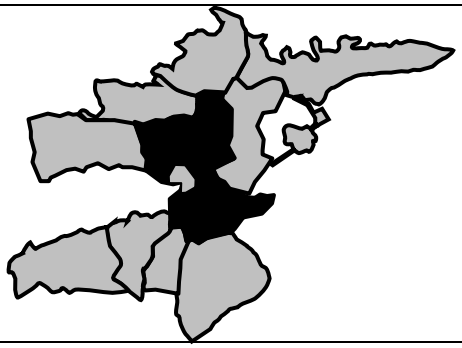


(2)中心市街地周辺地区

■地区の概況

地勢等

中心市街地周辺地区は、松江市の中心部である中心市街地の周辺に位置する地区であり、西は宍道湖に接し、東は中海に接しています。地区の中央を東西に大橋川が流れています。

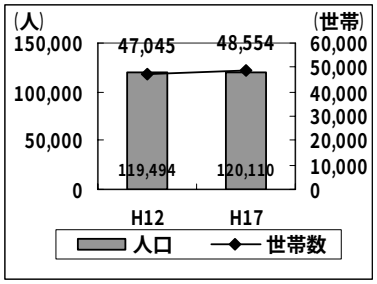


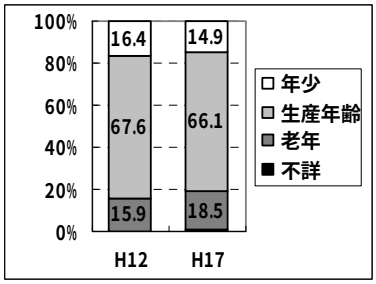
人口・世帯

平成12年～平成17年の人口増加率は、1%、世帯数増加率は、3%となっています。

平成 17 年の年少人口割合は 15%、老年人口割合は 19%となっています。

（資料：国勢調査）





土地利用現況

【土地利用現況】
・国道９号、国道 431 号沿道などは、商業・業務施設、工業系施設、住居などが混在しています。
・市街地の周辺部には、木造住宅が密集している地区があります。

【開発動向】
・平成２年以降、マンション建設が増えています。
・市街化区域周辺の市街化調整区域では、市街化調整区域緩和条例により、多くの開発が行われています。

【法適用動向】
・市街化区域と市街化調整区域（周辺部）に指定されています。
・市街化区域周辺の平地部及び丘陵地に農振農用地区域が指定されています。

施設等

【交通施設】
・山陰道、国道９号、485 号、431 号、432 号、（主）松江鹿島美保関、松江島根線、松江木次線等
・ＪＲ山陰本線、松江港

【公共公益施設】
・橋北地区：楽山公園、北公園、島根大学、松江工業高等専門学校、松江国際交流館、松江海洋センター、松江市水道局、松江北消防署、くにびきメッセ、市総合体育館、北公園運動広場　等
・橋南地区：松江総合運動公園、緑山公園、自然学習の森、島根県立大学短期大学部　等

地区資源等

・出雲国庁跡、八雲立つ風土記の丘、　かんべの里、茶臼山
・大草丘陵古墳群など古代出雲文化の中心地であった頃の資産　　等

■地区の課題

経済環境

・幹線道路沿道においては、景観などに配慮した適正な土地利用の誘導が必要です。
・市内には未分譲の工業団地があることから、企業誘致を積極的に進める必要があります。
・中心市街地に就業する居住者の増加などが見られることから、既存のストックを活用した住環境の整備が必要です。また、就業の場の拡大に向けた産業基盤の整備が必要です。
・市街地周辺部は良好な自然を有しており、ゆとりと潤いのある住環境の改善が必要です。
・市街化区域内に残る農地の活用が重要です。

生活環境

・市内中心部への通過交通の排除などによる交通渋滞等の解消、交通利便性の向上が必要です。
・橋北地区と橋南地区の連携強化が必要です。

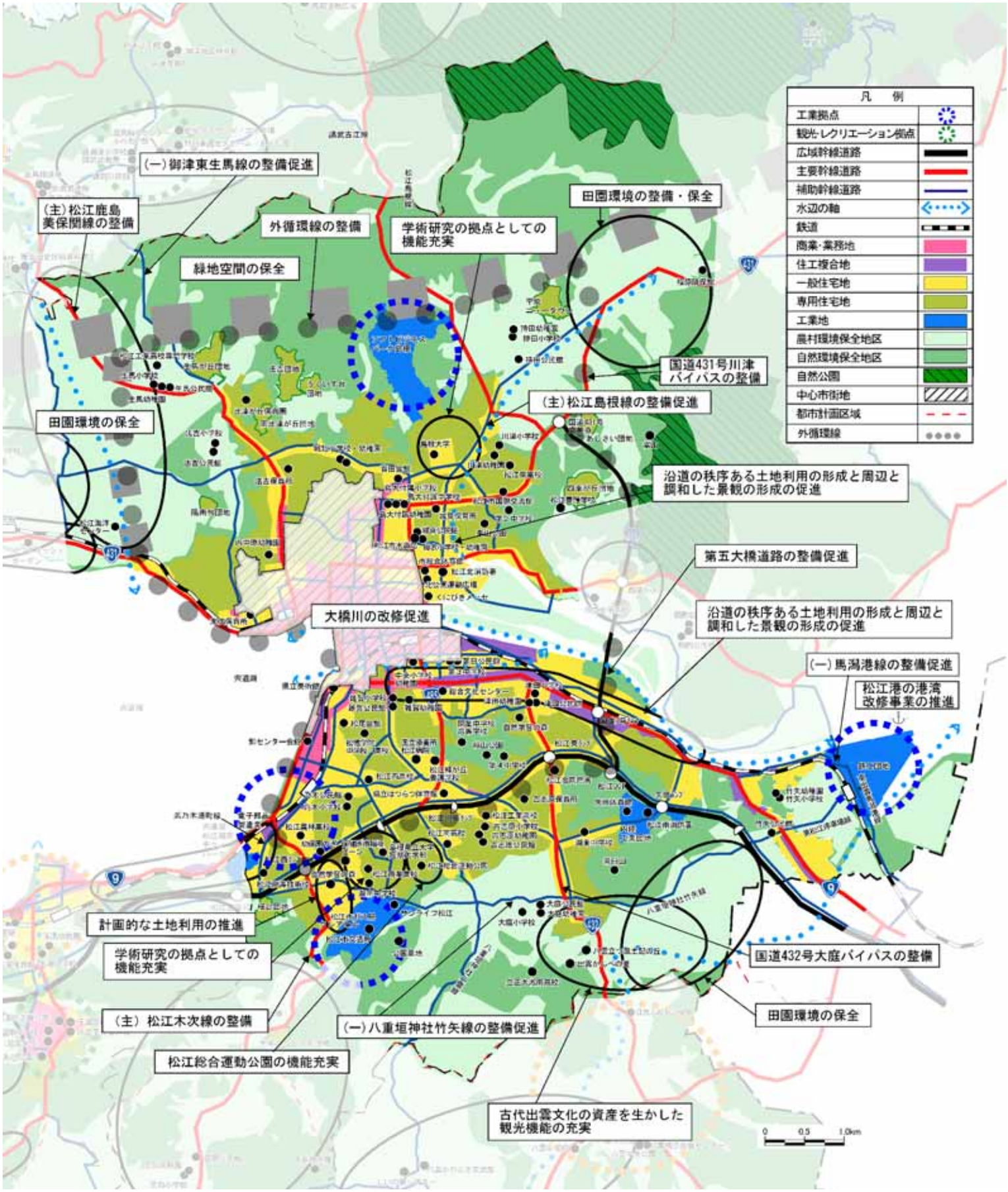
生態環境

・市街化調整区域においては、西部、北部、南部の優良農地の保全が重要です。

中心市街地周辺地区

■基本的方針	
・点在している観光資源の連携を図る事で、市民や来訪者の交流促進を目指します。 ・住環境（住居・道路・公園・施設）の整備を進めます。 ・橋北の島根大学周辺や橋南の島根県立大学短期大学部周辺は学術研究や若者の生活文化の拠点としてのまちづくりを進めます。 ・未分譲地への企業誘致や新たな知的産業の創出などを進めます。	
経済環境	・市街化調整区域における開発については、市街化調整区域の地区計画ガイドラインに沿った土地利用を誘導します。 ・一団の優良農地については、農業振興地域整備計画に基づき適切に維持していきます。 ・楽山公園、松江総合運動公園の整備を推進し、レクリエーション拠点としての機能強化を図ります。 ・市街化区域内の農地については、土地利用の動向を勘案しながら宅地への利用転換を図ります。 ・学園地区や島根県立大学短期大学部周辺では、学術研究や若者の生活文化の拠点に対応したまちづくりを進め、相互の連携強化を図り、学生の意見を取り入れながら、拠点性の向上を図ります。 ・既存の工業団地への企業誘致を図ります。 ・商工業地については、良好な沿道景観への規制誘導を行うとともに、周辺の住環境に配慮した市街地の形成を誘導します。
生活環境	・中心市街地の周辺地区として、ゆとりや潤いのある住環境の整備を図ります。 ・まちづくりと一体となった大橋川の改修を促進し、水害に強いまちづくりを推進します。 ・第五大橋道路の整備により、橋北地区と橋南地区の連携強化を図ります。 ・内・外循環線の整備を促進し、円滑な交通網の形成を図ります。（城山北公園線、境港出雲道路、第五大橋道路等） ・国道 432 号大庭バイパス、国道 431 号川津バイパスの整備を推進します。 ・（主）松江木次線（忌部）、(主)松江鹿島美保関線、（主）松江島根線（西川津地内）、（一）馬潟港線、（一）八重垣神社竹矢線、（一）御津東生馬線、（都）北公園西尾線、（都）東津田中央線、北循環線の整備を促進します。 ・道路整備による交通量の増加に対応するため、良好な田園環境の整備や保全を図ります。
生態環境	・宍道湖、大橋川、朝酌川、佐陀川沿いの自然環境を保全し、潤いある水辺空間づくりを推進します。 ・市街地の背景となっている北部や南部の山並みの保全により良好な自然景観の形成を図ります。

中心市街地周辺地区のまちづくり方針図

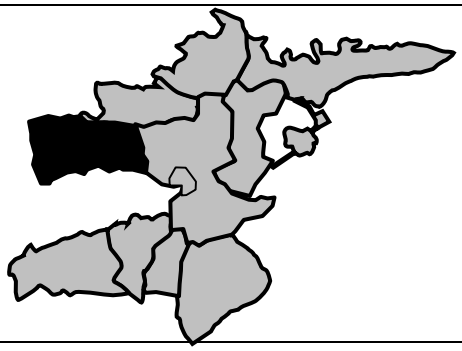


(3)湖北地区

■地区の概況

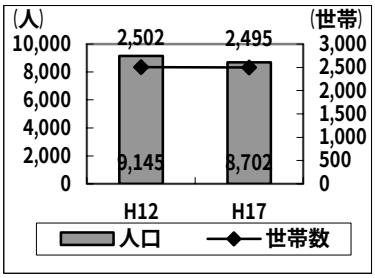
地勢等

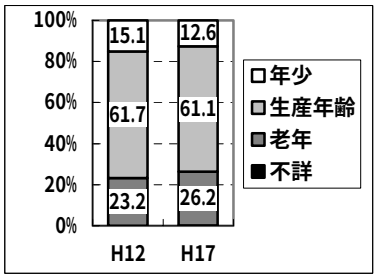
・湖北地区は、市の北西部に位置し、東は中心市街地周辺地区、北は、鹿島地区に接しています。
・地区北部は、朝日山など自然公園をはじめとする山々が連なり、佐陀川以西には平地が広がっています。



人口・世帯

平成12年～平成17年の人口増加率は、－5%、世帯数増加率は、0%となっています。
平成 17 年の年少人口割合は 13%、老年人口割合は 26%となっています。
（資料：国勢調査）





土地利用現況

【土地利用現況】
・地区の大部分は、山林となっています。
・地区の平坦部には、田園地帯が広がっています。
・国道 431 号及び一畑電車の駅周辺は、集落が点在しています。
【開発動向】
・開発は少ない状況です。
【法適用現況】
・地区南部は市街化調整区域に指定されており、地区北部は都市計画区域外となっています。
・朝日山周辺は、宍道湖北山県立自然公園に指定されています。
・佐陀川以西の谷間に農振農用地区域が指定されています。

施設等

【交通施設】
・国道 431 号、（一）大野魚瀬恵曇線、(市)古志大野線
・一畑電車
【公共公益施設等】
・魚瀬世代交流会館、埋蔵文化財調査センター、松江医療福祉専門学校　等

地区資源等

・イングリッシュガーデン、宍道湖北山県立自然公園、道の駅（秋鹿なぎさ公園）、松江フォーゲルパーク、ニュースポーツ公園、松江海洋センター　等

■地区の課題

経済環境

・出雲大社に向けての広域観光ルートである国道 431 号沿いに連なっている多彩な観光資源について、体系立てて地域活力の向上に結びつけていくことが重要な課題です。
・国道 431 号沿道や一畑電車駅周辺の計画的な土地利用を図る必要があります。
・津波･高潮被害、山間部では土砂災害、宍道湖沿岸部では浸水被害などが懸念される集落があります。

生活環境

・東西方向の路線は比較的充実していますが、南北の連携強化が必要です。
・出雲圏域等との交流や中心市街地との連携を強化する幹線道路の整備・拡充が必要です。
・漁村集落では狭隘な土地に家屋が密集しており、防災対策など集落環境の整備が必要です。

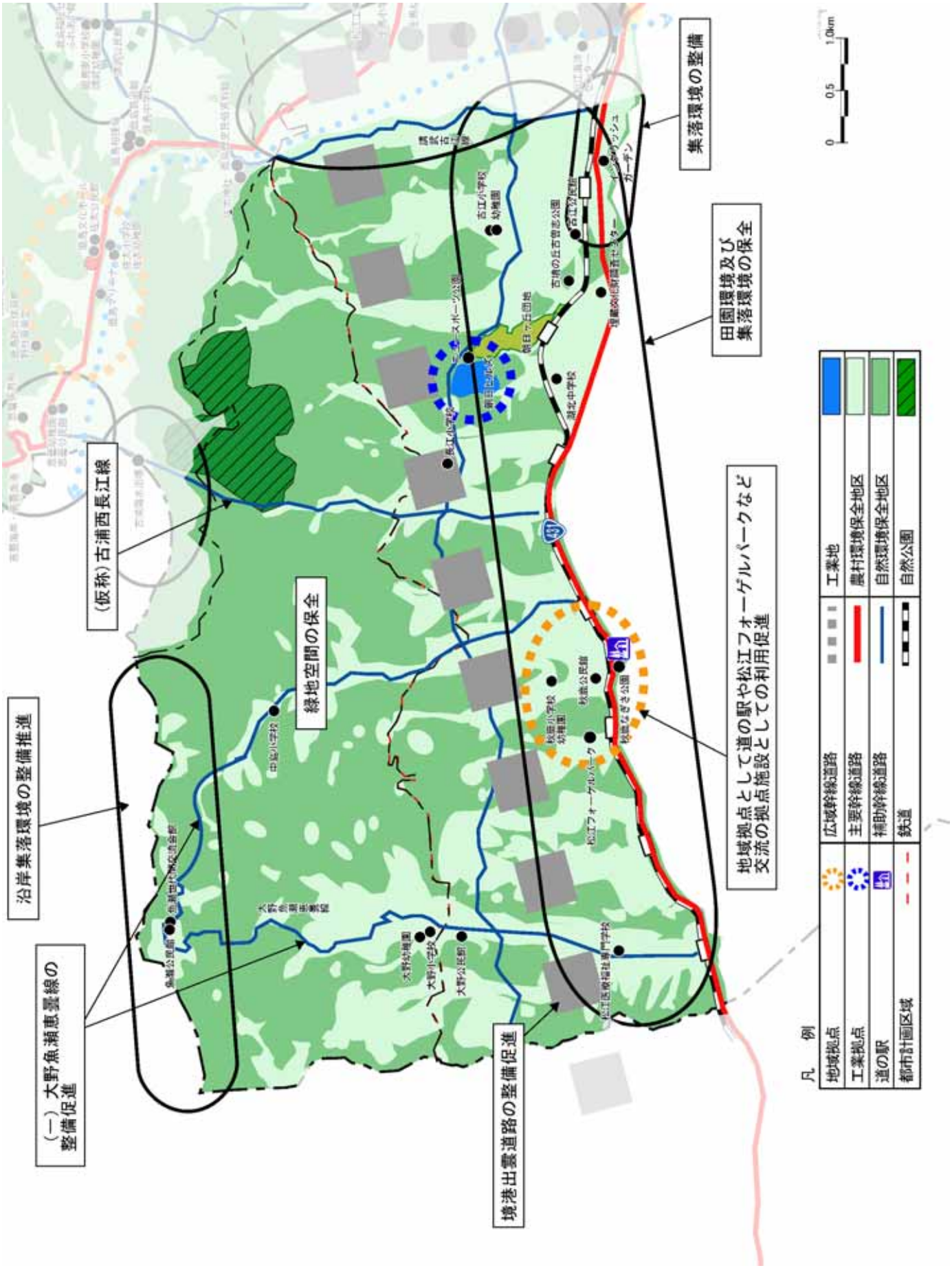
生態環境

・地区北部の山林や沿線に広がる田園風景は多面的機能を維持するため、保全していく必要があります。
・松江を代表する宍道湖の美しい自然景観を有する地域南部は、湖岸部の良好な景観形成を図る必要があります。

湖北地区

■基本的方針	
・山林等の良好な自然環境の保全を図るとともに、一畑電車の駅や、道の駅などの交流拠点施設を生かしたまちづくりを進め、地区の振興及び交流の活性化を図ります。	
経済環境	・国道 431 号沿道や一畑電車の駅周辺においては、良好な景観を生かしたゆとりある住宅地など宅地需要に対応した検討を行います。 ・道の駅「秋鹿なぎさ公園」や松江フォーゲルパーク等が整備されており、出雲大社への広域観光ルートにおける立ち寄り場として、地域特産物の販売等による地域振興施策を検討していきます。
生活環境	・海岸・湖岸域にある集落は、住宅が密集しており、浸水による被害や土砂災害等が懸念されており、災害に強い集落環境整備を進めます。 ・宍道湖・中海圏域の連携を強化する軸として、地域高規格道路 境港出雲道路の整備を国、県へ要請していきます。 ・国道 431 号、（市）古志大野線については、中心市街地との連携強化を図るため、整備・拡充を行います。 ・南北の自動車の交通利便性を高めるため、（一）大野魚瀬恵曇線の整備を促進します。 ・防災避難路として（仮称）古浦西長江線の新規整備を行います。 ・利便性の高い駅周辺においては、良質な宅地を開発する動きが強まっており、市街化調整区域の緩和条例と開発ガイドライン（市街化調整区域の地区計画ガイドライン）に沿った秩序ある開発と土地利用を誘導します。 ・少子高齢化が進み若者の転出、転居によりコミュニティ機能が低下している集落に対しては、非常時の安全確保だけでなく、日常生活の利便性向上に向けて支所や近隣集落との連携が円滑に図れるような支援活動を推進します。
生態環境	・里山や休耕田については、保全・活用を図ります。 ・北部にみられる森林については、保育や治山事業を推進し、豊かな自然を守ります。 ・自然と生態環境を維持・向上させるため、自然環境の保全につながる取組みの推進や地域住民運動の育成を図ります。また、葦の浜や散策道の整備を図ります。 ・宍道湖の美しい自然景観を有する地域南部は、宍道湖景観形成区域の指定基準に基づき、湖岸部の良好な景観形成を図ります。

湖北地区のまちづくり方針図

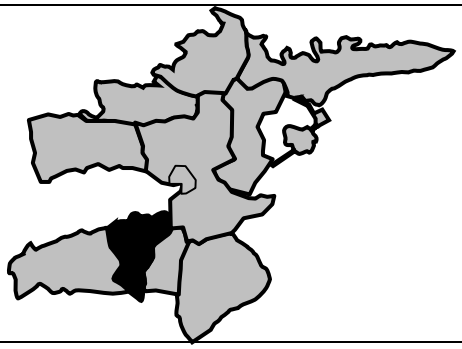


(4)玉湯地区

■地区の概況

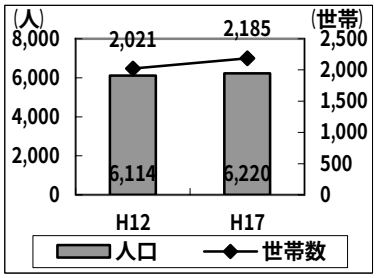
地勢等

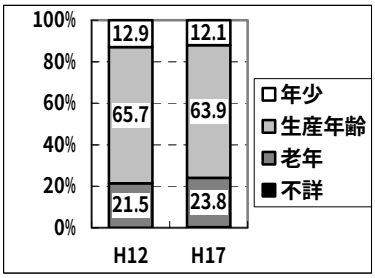
・玉湯地区は、市の南西に位置し、東は忌部地区、西は宍道地区に接しています。
・三方を山に囲まれ、中央を流れる玉湯川は宍道湖に注ぎ、古湯玉造温泉を擁する山陰屈指の温泉観光地です。



人口・世帯

平成12年～平成17年の人口増加率は、2%、世帯数増加率は、8%となっています。
平成 17 年の年少人口割合は 12%、老年人口割合は 24%となっています。
（資料：国勢調査）





土地利用現況

【土地利用現況】
・玉湯川沿いの玉造地区と湯町地区にまとまった住宅地があり、市街化が進んでいます。布志名地区、林地区は良好な田園地帯が広がり、大谷地区は山林に囲まれています。
・玉造地区には山陰屈指の温泉保養地である玉造温泉があり、古くから旅館やホテルが多く立地しています。
・湯町地区及び玉造地区には、道路幅員の狭い地区や木造家屋密集地区があります。
【開発動向】
・開発は少ない状況です。
【法適用現況】
・地区の北部は松江圏都市計画区域に指定され、国道及び南北方向の県道沿いに市街化区域が指定されています。
・谷間には、農振農用地区域が指定されています。

施設等

【交通施設】
・ＪＲ山陰本線、山陰自動車道（松江玉造インターチェンジ）、国道９号、（主）玉湯吾妻山線、（一）浜乃木湯町線、（市）玉湯松江線・玉湯宍道線　等
【公共公益施設等】
・出雲玉作史跡公園、宍道湖ふれあいパーク、城床ふるさと公園、厚生年金病院、玉湯野球場、玉湯体育館、サン・エールたまゆ、玉造空口公園、玉造ふれあい公園　等

地区資源等

・玉造温泉（年間の観光客約 60 万人（宿泊客・来訪者））、出雲玉作資料館、玉造温泉ゆ～ゆ、宍道湖岸では数少ない砂浜、良質の碧玉やめのうの産地、出雲神話や多くの玉作り遺跡・史跡・文化財、布志名焼　等

【伝統・行事】
・七福神まつり、玉造温泉夏まつり、花吹雪温泉まつり　等

■地区の課題

経済環境

・地区の代表的資源である温泉観光の振興を機軸として、商業や農林業の振興が必要です。
・全国有数の温泉地として発展してきており、国道９号松江道路玉湯工区の整備を契機とした新たなまちづくりを進める必要があります。
・国道９号沿いに立地する市街地では、農地などの都市的未利用地が多く、また、道路等の都市基盤施設の整備が遅れていることから、計画的な土地利用を誘導する必要があります。
・布志名地区（市街化調整区域）は、関係法令との調整を図りながら、計画的な宅地開発の誘導を検討します。

生活環境

・国道９号へのアクセスは、鉄道により不便となっていることから、南北方向への連携強化が必要です。また、交通の安全性という観点から高速自動車道の４車線化や国道９号へのアクセス道路の整備が重要な課題となっています。

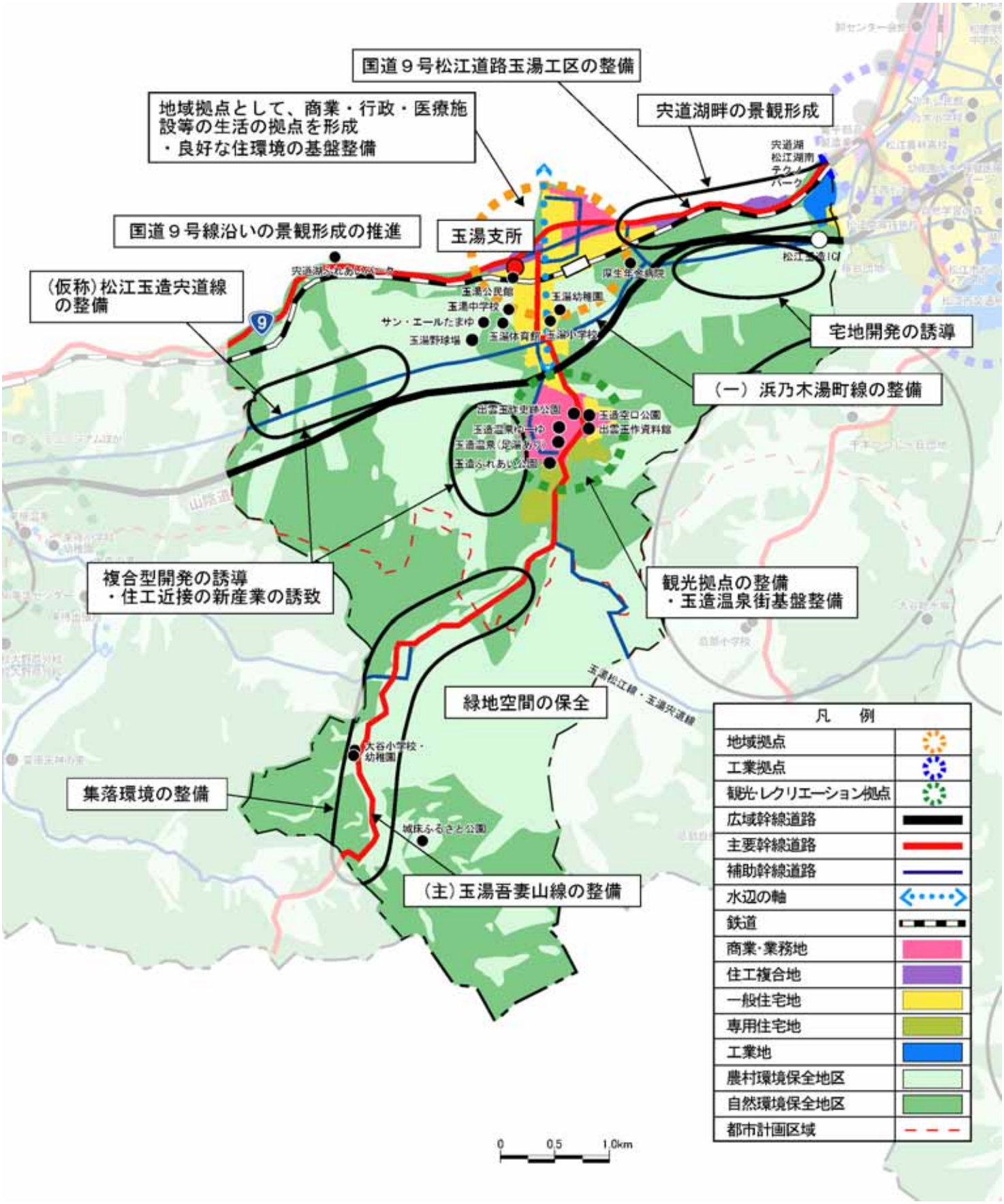
生態環境

・北側に面する宍道湖や中央を流れる玉湯川等、水辺空間や歴史資源をはじめとする地区資源を活用し、魅力あるまちづくりを進める必要があります。

玉湯地区

■基本的方針	
・玉造温泉・めのう・出雲神話の史跡や文化財を生かした観光の振興・観光情報の発信を行い、「神代からのいで湯のまち」温泉保養拠点としての整備を進めます。	
経済環境	・支所周辺を地域拠点と位置づけ、商業施設や医療施設などの生活サービス施設の充実を図ります。 ・若者の定住を促進するため、住宅・産業等の複合的な土地利用の誘導を図ります。 ・（仮称）松江玉造宍道線の整備を促進するとともに、新たな産業拠点の整備を図ります。 ・玉造温泉街基盤整備事業を推進します。 ・地域の観光資源・施設それに地域特産物を結び付けることにより付加価値を高め、滞在型の観光振興を進めます。 ・史跡出雲玉作跡宮の上地区（御茶屋跡）の整備を推進します。 ・豊かな農村景観を形成する農振農用地区域については農地の保全を図ります。 ・湯町まちづくり交付金事業を推進します。 ・地区交流拠点の形成を図ります。 ・農地の荒廃化を防ぎ農業の多面的機能等を維持するため、集落営農の組織化を一層図ります。また、環境に配慮した安心安全な農産物生産を推進します。
生活環境	・市街化調整区域緩和条例により適正な土地利用を図ります。 ・国道９号松江道路玉湯工区は、中心市街地との連携を強化するため引き続き整備を図ります。 ・（主）玉湯吾妻山線、（一）浜乃木湯町線の整備を推進します。 ・高齢化等から地域のコミュニティ機能の低下がみられる集落等に対しては、非常時の安全確保だけでなく、日常生活の利便性向上に向けて支所や近隣集落等との連携が円滑に図れるような支援体制の整備を推進します。
生態環境	・国道９号沿道には、市街地や沿道サービス施設が立地しており、これらの機能を維持するとともに、宍道湖と一体となった景観形成を図ります。 ・湖岸や河川の水辺については、都市に潤いを与える良好な景観に配慮した水辺空間の創出を図ります。 ・自然環境保全地区を設けるとともに、玉湯川の桜並木の維持・保全を図ります。

玉湯地区のまちづくり方針図

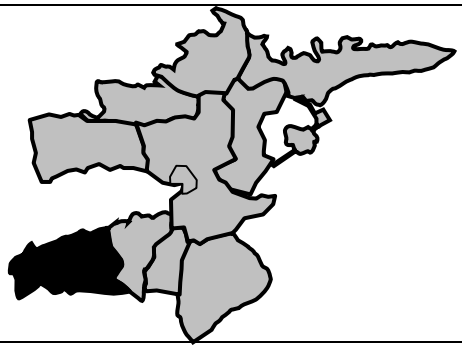


(5)宍道地区

■地区の概況

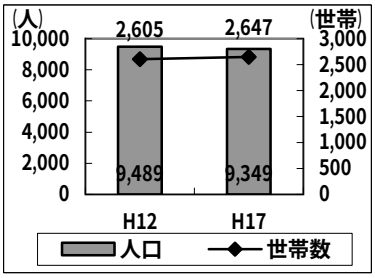
地勢等

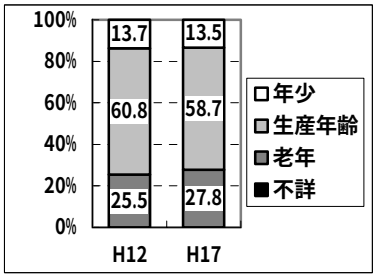
宍道地区は、松江市の西端に位置し、北は宍道湖、東は玉湯地区に接しています。
北部湖岸にかけて比較的なだらかな丘陵部と南部の山地から形成されています。



人口・世帯

平成 12 年～平成 17 年の人口増加率は、－2%、世帯数増加率は、2%となっています。
平成 17 年の年少人口割合は 14%、老年人口割合は 28%となっています。
（資料：国勢調査）





土地利用現況

【土地利用現況】
・ＪＲ宍道駅を核として市街地が形成されており、国道９号及び国道 54 号沿道に商業系や工業系の施設が立地しています。
・宍道湖畔の干拓地である昭和新田には大規模な農地が形成されています。
【開発動向】
・宍道南企業団地、緑ヶ丘団地の開発以降、大規模な開発は行われていません。
【法適用現況】
・地区の北部は宍道都市計画区域に指定され、国道沿いに用途地域が指定されています。
・来待川沿いなどに農振農用地区域が指定されています。

施設等

【交通施設】
・ＪＲ山陰本線、ＪＲ木次線、山陰自動車道（宍道インターチェンジ）、国道９号、国道 54 号、（主）宍道インター線、（主）玉湯吾妻山線、（一）宍道停車場線、（一）海潮宍道線、（市）佐倉・田根線、(市)大森・上来待線　等
【公共公益施設等】
・宍道Ｂ＆Ｇ海洋センター、宍道総合公園、宍道ふれあい交流館、宍道健康センター、宍道体育センター、宍道武道館　等

地区資源等

・伝統的工芸品来待石、しじみなどの宍道湖七珍、来待温泉、石宮神社、ふるさと森林公園、来待ストーン、八雲本陣、蒐古館、木幡山荘、菅原天満宮、大森の湯、いろり茶屋　等

【伝統・行事】
・祇園祭（れんげ祭）、氷川神社秋祭、菅原天満宮例大祭　等

■地区の課題

経済環境

・市街地は、区域内を横断する主要幹線道路である国道９号及び国道 54 号の沿道を中心に形成されています。近年、県東部の発展に寄与する高規格幹線道路である「山陰道」、「松江道」の供用や、国道９号、54 号、主要地方道宍道インター線の整備により、出雲空港とアクセス性が向上するなど、交通の要衝としてその重要性が増してきています。
・このため、交通の要衝としての立地条件を生かしながら、職・住が近接し、豊かな自然に囲まれた快適な生活環境を実現するまちづくりが求められています。

生活環境

・鉄道以南の東西連携の強化が必要です。
・駅南開発に伴うアクセス道路の整備が必要です。

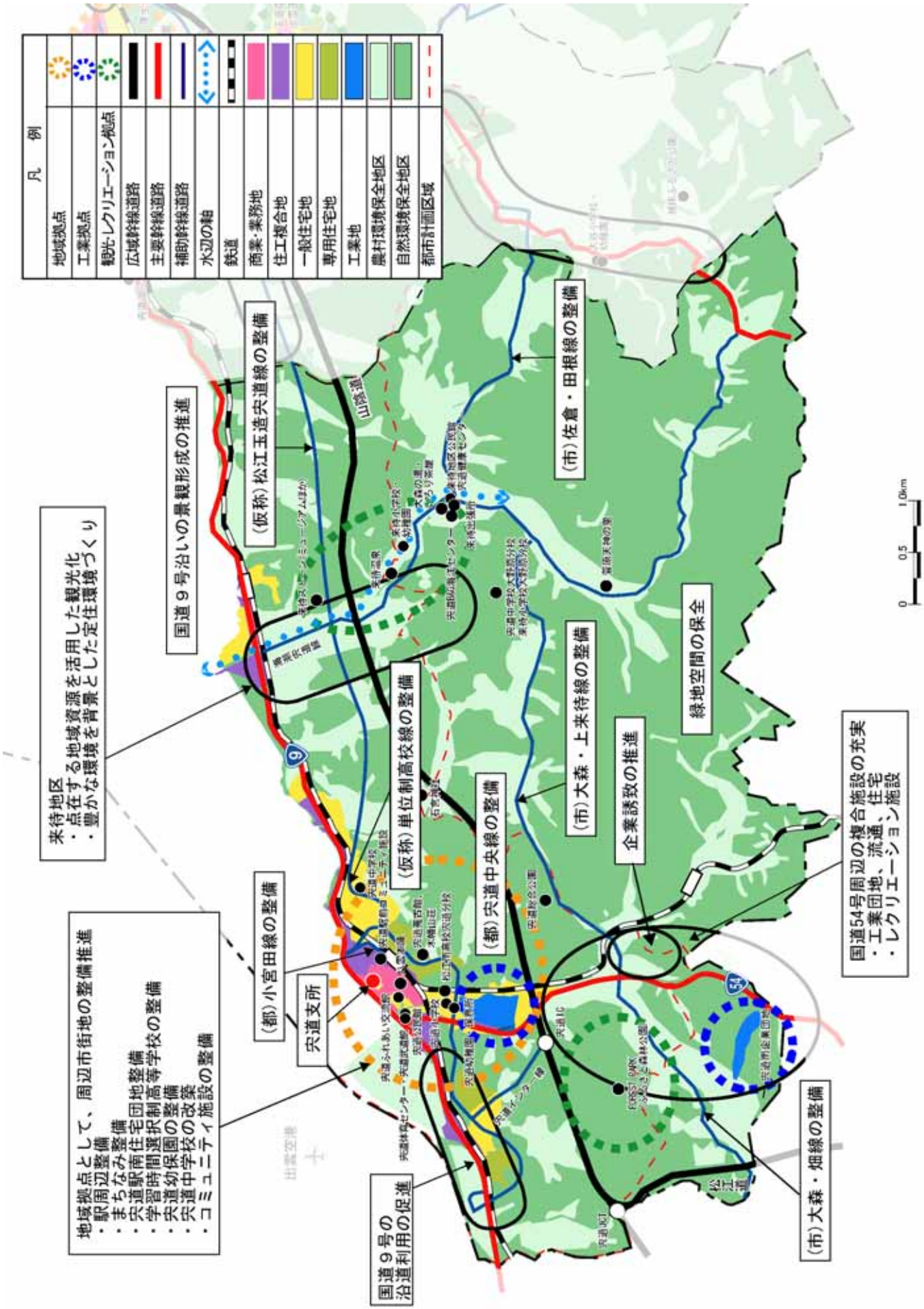
生態環境

・北部に広がる宍道湖や、南部に広がる豊かな自然など優れた自然環境の保全、活用を図る必要があります。

宍道地区

■基本的方針	
・優れた交通結節点を生かした交通・物流基盤の計画的な整備により都市基盤の充実を図り、都市機能の向上及び良好な居住環境の整備を図ります。	
経済環境	・ＪＲ宍道駅周辺市街地を中心として、生活関連施設の店舗や公共公益施設などの集積を図ります。 ・宍道駅南地区の宅地（宍道駅南住宅団地、学習時間選択制高等学校など）の整備を推進します。 ・国道９号の適正な沿道利用を図ります。 ・昭和新田の多目的活用について検討します。 ・宍道インターチェンジ周辺の複合機能の充実を図ります。 ・来待川沿いにある温泉や来待ストーンなどの地区資源を生かした個性的なまちづくりを推進します。 ・来待石加工をはじめとする地場産業の振興、企業誘致や産業基盤の充実を図ります。 ・国道 54 号沿道周辺への企業誘致を進めます。 ・農地の荒廃化を防ぎ農業の多面的機能等を維持するため、集落営農の組織化を一層図ります。また、環境に配慮した安心安全な農産物生産を推進します。
生活環境	・（主）玉湯吾妻山線の整備を促進します。 ・（市）佐倉・田根線、（市）大森・上来待線、（市）大森・畑線の整備を推進します。 ・（都）宍道中央線、（都）小宮田線、（市）（仮称）単位制高校線などの整備を推進します。 ・国道９号のバイパスとして地区を東西に連絡する（仮称）松江玉造宍道線の整備を促進します。 ・農村集落内の狭隘道路の拡幅など生活道路の整備を推進します。 ・近隣公園等の身近な公園を整備し、住民のスポーツ・レクリエーションに供するとともに、災害時の避難場所としての整備を行います。 ・来待川親水プロムナード（散歩道）づくりを推進します。 ・昭和・宍道地区の低地部の浸水対策事業を推進します。 ・高齢化等から地域のコミュニティ機能の低下がみられる集落等に対しては、非常時の安全確保だけでなく、日常生活の利便性向上に向けて支所や近隣集落等との連携が円滑に図れるような支援体制の整備を推進します。
生態環境	・来待川と地区資源を生かした潤いのある環境を形成します。 ・湖岸景観と一体となった美しい景観形成を図ります。 ・豊かな自然・歴史・風景の保全・活用を図るとともに環境共生型のまちづくりを進めます。

宍道地区のまちづくり方針図

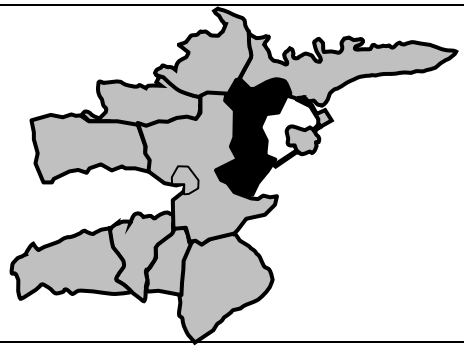


(6)本庄・朝酌地区

■地区の概況

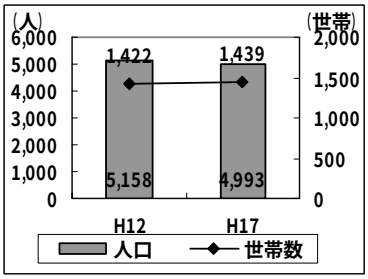
地勢等

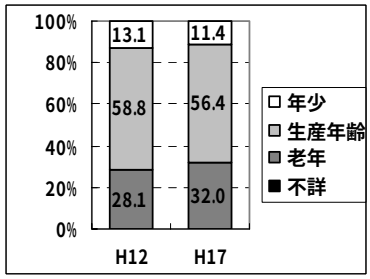
・本庄・朝酌地区は、西は中心市街地周辺地区、東は八束地区に接しています。
・東側は中海に接し、北は枕木山、南は嵩山などの自然公園をはじめとする山々からなり、本庄川沿いに平地が広がっています。



人口・世帯

平成 12 年～平成 17 年の人口増加率は、－3%、世帯数増加率は、1%となっています。
平成 17 年の年少人口割合は 11%、老年人口割合は 32%となっています。
（資料：国勢調査）





土地利用現況

【土地利用現況】
・地区の大部分は山林となっています。
・本庄、朝酌、大井などに、田園地帯が広がっています。
・国道 431 号、（一）本庄福富松江線沿いなどに、集落が点在しています。
【開発動向】
・開発は少ない状況です。
【法適用現況】
・地区全域が市街化調整区域となっています。
・枕木山や嵩山周辺は、宍道湖北山県立自然公園が指定されています。
・本庄、朝酌、大井に農振農用地区域が指定されています。

施設等

【交通施設】
・国道 431 号、（一）枕木山線、（一）本庄福富松江線、（市）八幡西尾線、松江港、（一）八束松江線　等
【公共公益施設等】
・島根大学試験農場、福原隣保館、松江養護学校　等

地区資源等

・華蔵寺、道の駅（本庄）、宍道湖北山県立自然公園、枕木山、西条柿、嵩山　等

■地区の課題

経済環境

・整備予定の第五大橋道路の整備を促進し、中心市街地、米子都市圏、山陽方面などとの連携が深まり、これらのポテンシャルを生かしていくことが必要です。

生活環境

・中海沿いの低地にある住宅地や農地では浸水の危険性が高く、防災対策の充実が求められています。
・米子都市圏等との交流や中心市街地との連携を強化する幹線道路の整備・拡充が必要です。

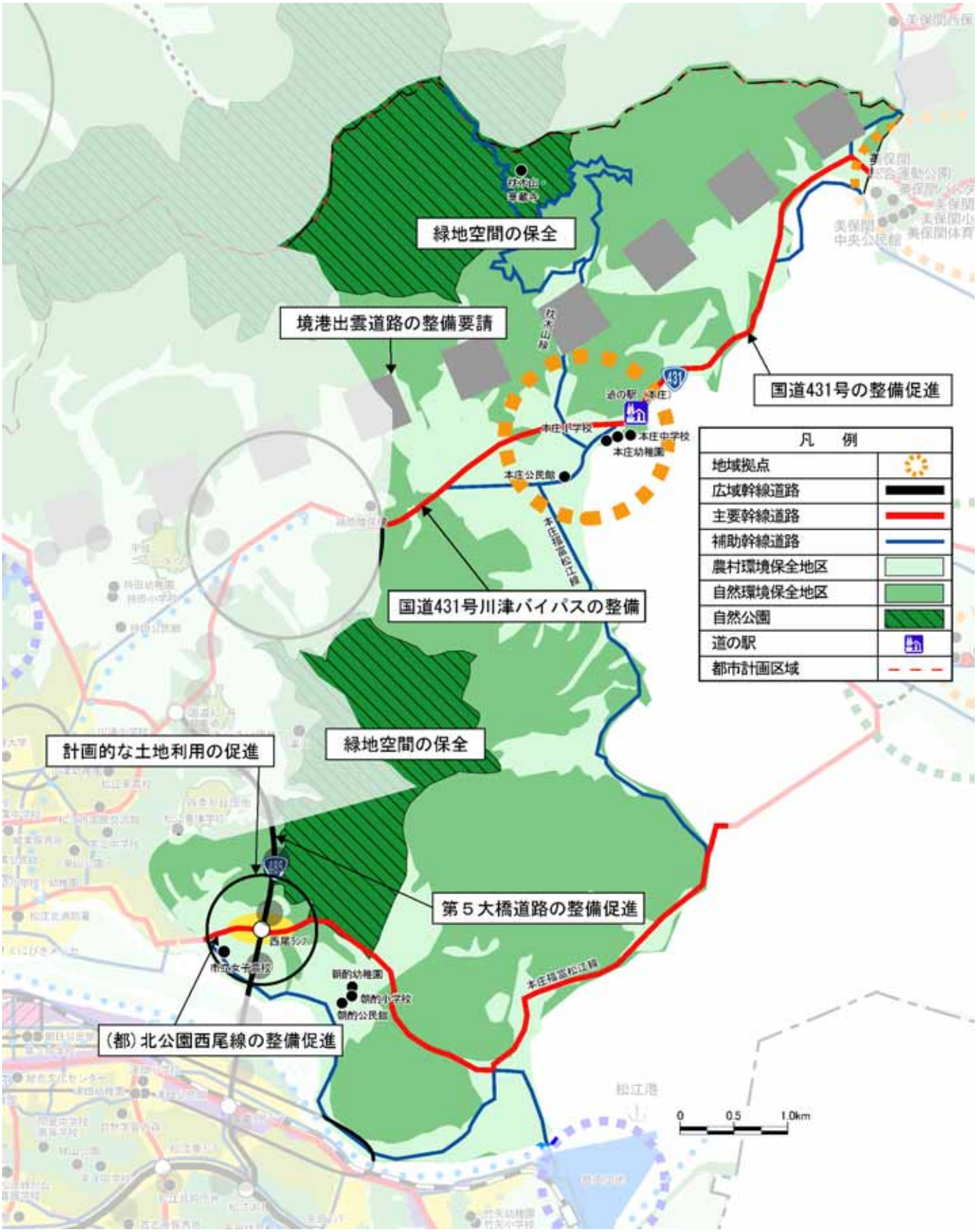
生態環境

・山林等の自然環境の保全と農業等の産業の振興を図るため基盤整備や付加価値化の推進が必要です。
・中海や宍道湖北山県立自然公園、田園集落など豊かな自然環境の保全を図るとともに、自然と共生・共存する地域づくりを進めることが必要です。

本庄・朝酌地区

■基本的方針	
	・市街地の背景となっている山林等の自然環境の保全を図ります。 ・島根大学との連携による新たな特産物の開発で農業の高度化や付加価値化を推進し、道の駅等による特産品の販売を行い、産業の活性化を図ります。
経済環境	・華蔵寺等の観光資源の活用や道の駅での特産品販売などによる交流人口の拡大していきます。 ・特産品等の農産物の生産拡大と、新たな特産品の開発により農業振興を図ります。 ・道路整備による交通量の増加に対応し、自然環境整備や保全を図ります。
生活環境	・海岸域にある集落は住宅が密集しているため、浸水による被害が懸念されており、災害に強い集落環境整備を進めます。 ・境港出雲線の整備を促進します。 ・第五大橋道路、国道 431 号、国道 431 号川津バイパス、（都）北公園西尾線の整備を促進し、中心市街地との連携強化を図ります。 ・交通条件の向上に伴い郊外に良質な宅地を求める動きが強まっており、市街化調整区域の緩和条例と開発ガイドライン（市街化調整区域の地区計画ガイドライン）に沿った秩序ある開発と土地利用を誘導します。 ・都市計画区域外では無秩序な宅地開発等による自然環境の悪化などが懸念されることから、良好な自然環境の保全を図る適正な誘導策の検討を行います。 ・高齢化等から地域のコミュニティ機能の低下がみられる集落等に対しては、非常時等の安全確保だけでなく、日常生活の不便性解消に向けて近隣集落等との連携が円滑に図れるような地域コミュニティの支援体制を整備推進していきます。
生態環境	・眺望がすばらしい嵩山や朝日の美しい中海は、市民に安らぎを与える大切な自然景観として保全を図ります。 ・華蔵寺からの眺望など観光資源としての活用を図ります。

本庄・朝酌地区のまちづくり方針図



都市計画区域外

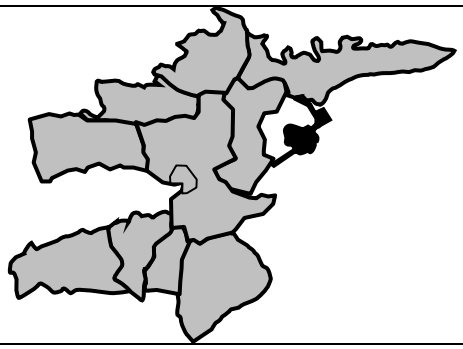
ここからは、都市計画区域外の地区カルテを示します。

(7)八束地区

■地区の概況

地勢等

・八束地区は、市の東に位置し、周囲は中海に囲まれており、地区全体がなだらかな丘陵地となっています。

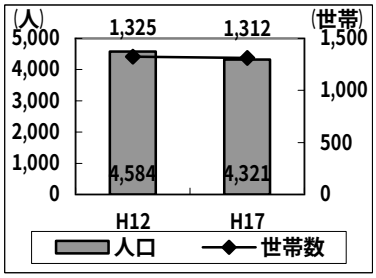


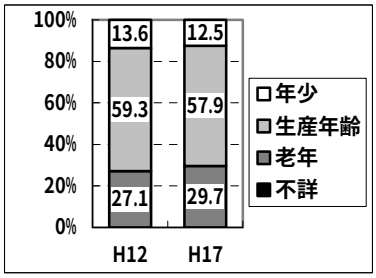
人口・世帯

平成 12 年～平成 17 年の人口増加率は、－6%、世帯数増加率は、－1%となっています。

平成 17 年の年少人口割合は 13%、老年人口割合は 30%となっています。

（資料：国勢調査）





土地利用現況

【土地利用現況】
・地区の大部分は農地が広がっています。
・海岸沿いに集落が点在しています。
【開発動向】
・道路の利便性が高まり、宅地開発が進んでいます。
【法適用現況】
・全域が都市計画区域外であり、集落を除き地区の多くは農振農用地区域に指定されています。
・中海はラムサール条約登録湿地に指定されています。

施設等

【交通施設】
・（一）大根島線、（一）八束松江線、臨港道路（江島大橋）、江島岩壁（ふ頭）　等
【公共公益施設等】
・保健福祉総合センター、八束体育館、八束テニスコート、八束運動場　等

地区資源等

・グリーンステラ、溶岩トンネル、牡丹、雲州人参　等

【伝統・行事】
・弘法大師祭・町内八十八箇所御札回り、松江大根島ぼたん祭　等

■地区の課題

経済環境

・宅地化が進行していることから、計画的な土地利用を行うとともに、農業、観光等の産業振興を図る必要があります。
・農業従事者の高齢化により農地の休耕が増加しており、農地の保全・活用が必要です。

生活環境

・米子都市圏や山陽方面等との交流や中心市街地との連携を強化する幹線道路の整備・拡充が必要です。

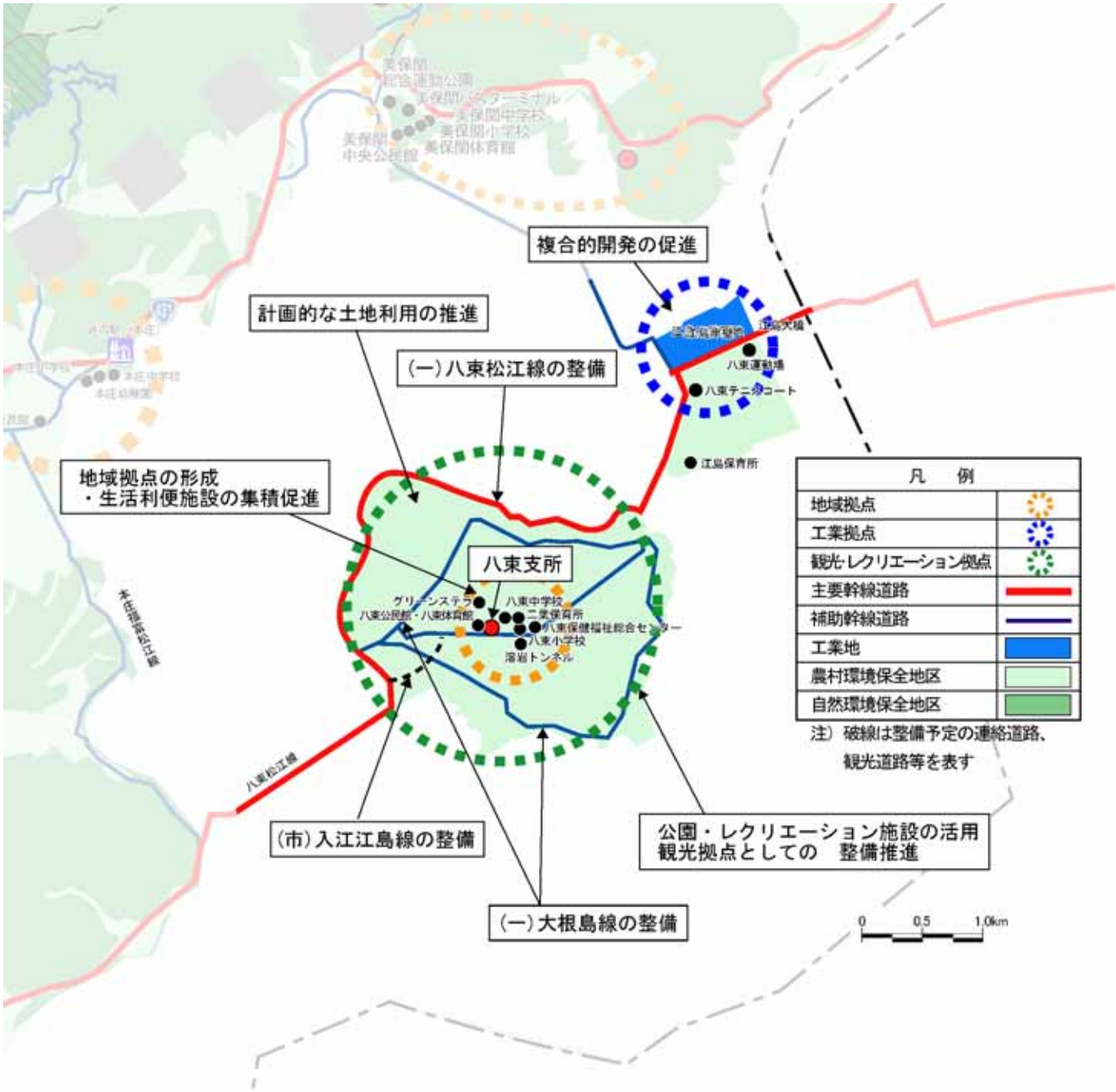
生態環境

・ラムサール条約登録湿地に指定された中海に浮かぶ良好な景観を保全していく必要があります。

八束地区

■基本的方針	
・特産品である牡丹と雲州人参の高付加価値化・販路拡大による農業の振興を図ります。 ・周囲を中海に囲まれた良好な自然景観を保全するとともに、地区の特性を生かした観光産業の強化や土地の有効利用を図ります。	
経済環境	・無秩序な宅地開発等による自然環境の悪化や周辺環境と調和しない建築物の立地などの問題が生じるおそれもあることから、良好な生活環境の保全を図るために適正な誘導策の検討を行います。 ・日本一の生産量を誇る牡丹をはじめとする特産物や自然景観を活かした観光・レクリエーション拠点としての魅力づくりを進め、観光客・利用客のリピーターを確保していきます。 ・牡丹や雲州人参はさらなる海外輸出を図り、生産と販路拡大を進めていきます。 ・米子空港や境港とのアクセス利便性を生かし、江島工業団地の企業誘致を促進し、地域産業の活性化を図ります。
生活環境	・（一）八束松江線、（一）大根島線の整備を促進し、中心市街地との連携強化を図ります。 ・（市）入江江島線の整備を推進します。 ・高齢化等から地域のコミュニティ機能の低下がみられる集落等に対しては、非常時等の安全確保だけでなく、日常生活の不便性解消に向けて支所や近隣集落等との連携が円滑に図れるような地域コミュニティの支援体制を整備推進していきます。
生態環境	・ラムサール条約登録湿地に指定された中海、宍道湖北山自然公園などの豊かな自然環境やのどかな農村風景を有する地区であり、これらの地区資源の保全を図ります。 ・幹線道路沿いの花による景観形成を進め、「花の島」のイメージづくりを図ります。

八東地区のまちづくり方針図

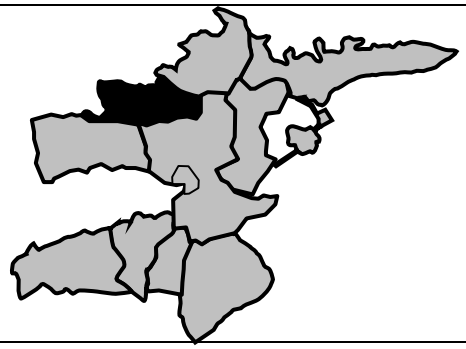


(8)鹿島地区

■地区の概況

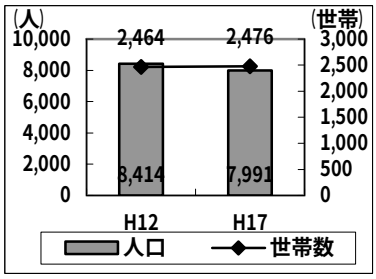
地勢等

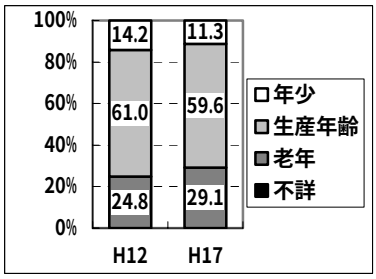
・鹿島地区は、市の北西に位置し、南は湖北地区、東は島根地区に接しています。
・北は日本海に面し、三方を山に囲まれた盆地形状をなし、特に日本海側の入り組んだ入り江、断崖の景観は傑出しています。



人口・世帯

平成 12 年～平成 17 年の人口増加率は、－5%、世帯数増加率は、1%となっています。
平成 17 年の年少人口割合は 11%、老年人口割合は 29%となっています。
（資料：国勢調査）





土地利用現況

【土地利用現況】
・佐陀川、講武川沿いに良好な田園地帯が広がり、その周辺部には丘陵地や山林が広がっています。
・日本海に面した漁村集落では、狭隘な土地に家屋が密集しています。
・農家と非農家が共同し、農地や地域の環境を守る活動にまとまって取り組まれています。
【開発動向】
・住宅団地は昭和 60 年頃から建設されてきました。
【法適用現況】
・全域が都市計画区域外であり、日本海側の一部は大山隠岐国立公園に、また、朝日山周辺は県立自然公園に指定されています。
・講武川沿いなどに農振農用地区域が指定されています。

施設等

【交通施設】
・（主）松江鹿島美保関線、（一）御津東生馬線、（一）講武古江線　等
【公共公益施設等】
・県水産試験場、鹿島･島根栽培漁業振興センター（アワビ種苗生産施設、産地冷蔵庫所有）、ふれあい館、鹿島文化ホール、特別養護老人ホーム（あとむ苑）、島根原子力発電所、御津地区体育館、鹿島武道館、鹿島歴史民俗資料館、鹿島グラウンド・ゴルフ場、鹿島総合体育館、野外音楽堂、深田運動公園　等

地区資源等

・佐太神社、佐太講武貝塚、島根原子力館、恵曇海岸、古浦海水浴場、鹿島多久の湯、鹿島マリーナ、リアス式海岸、釣り場　等

【伝統・行事】
・御座替祭り、お忌祭り、神等去出神事、左義長神事、港まつり　等

■地区の課題

経済環境

・豊富な漁業資源を生かした水産業の振興を図るため付加価値化の推進が必要です。
・高齢者人口は、増加傾向にあり高齢者人口の割合は、29%（H17 国勢調査）と高いことから、高齢者に配慮した住みやすい環境づくりが必要です。
・人口は減少傾向にあり、特に年少人口の割合が 11%（H17 国勢調査）まで下がっていることなどから定住対策が必要です。

生活環境

・中心市街地との連携を強化する幹線道路の整備・拡充が必要です。
・漁村集落では狭隘な土地に家屋が密集しており、防災対策など集落環境の整備が必要です。

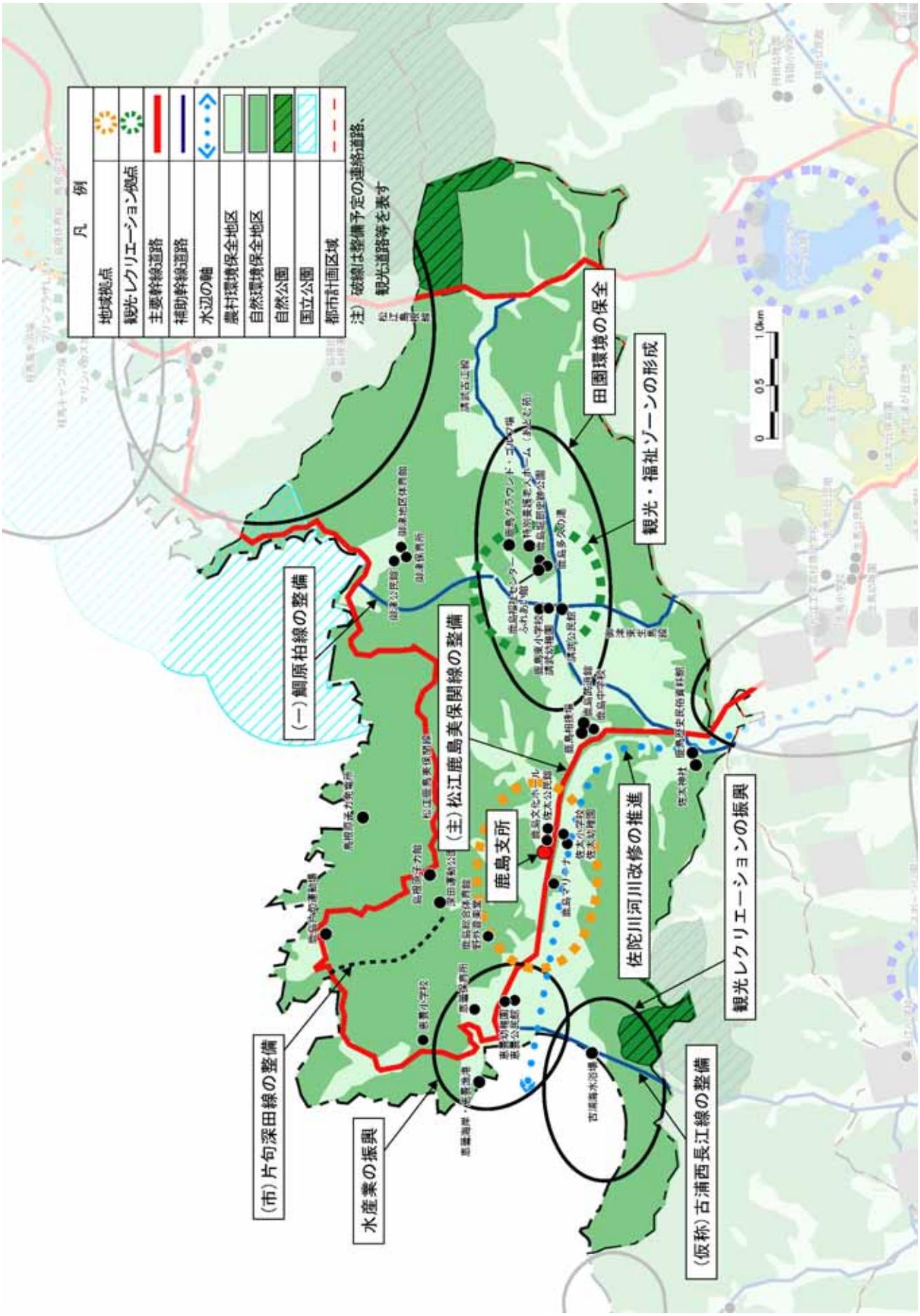
生態環境

・美しい海岸景観を保全するとともに、豊かな自然や観光資源を活用した地区の振興を図る必要があります。

鹿島地区

■基本的方針	
・豊かな漁業資源を生かした水産業の高度化と付加価値化を高め、水産振興を図っていきます。また、中国地方唯一の原子力発電立地によるエネルギー供給拠点としての地区の振興整備を進めます。	
経済環境	・支所周辺を地域拠点として位置づけ、主要地方道松江鹿島美保関線の整備に合わせ、土地利用の適正な誘導を図ります。 ・水産業の振興に図るとともに、海水浴をはじめとする様々なマリンスポーツを体験できる交流ゾーンの形成を推進します。 ・鹿島・島根栽培漁業振興施設を核とした海の駅（仮称）を整備し、つくり育てる漁業、水産加工品開発等による産業の活性化を図ります。 ・地域のコミュニティ機能の低下がみられる集落等に対しては、非常時の安全確保だけでなく、日常生活の利便性向上に向けて支所や近隣集落等との連携が円滑に図れるような地域コミュニティの支援体制を整備推進します。
生活環境	・海岸域に立地する集落は、狭隘な土地に住宅が密集していることから、土砂災害や風水害などの自然災害に強い集落環境の整備を進めます。 ・（主）松江鹿島美保関線の整備を推進し、中心市街地との連携強化を図ります。 ・（一）鯛原柏線、（市）片句深田線の整備を推進するとともに（仮称）古浦西長江線の新規整備を図ります。
生態環境	・佐陀川改修にあわせ堤防部をサイクリング・ウォーキングコースとして整備を行い、佐太神社を中心に、佐太神社・恵曇港・日本海を結ぶ観光レクリエーションの振興を進めます。 ・地区中央の平野部に広がる農地では、土地利用型の農業や特産品開発、水田放牧等による農業振興を図ります。 ・釣場や海水浴場等の持続的な利用のため、利用客に対するマナーの徹底などの広報的な取り組みも推進していきます。

鹿島地区のまちづくり方針図

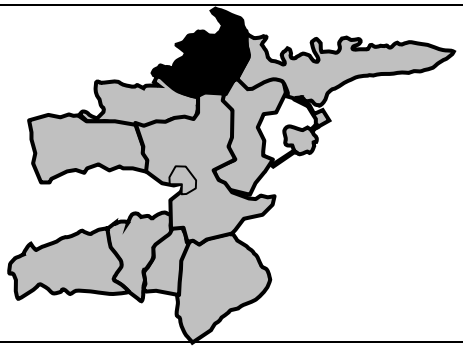


(9)島根地区

■地区の概況

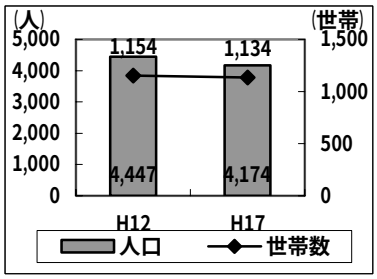
地勢等

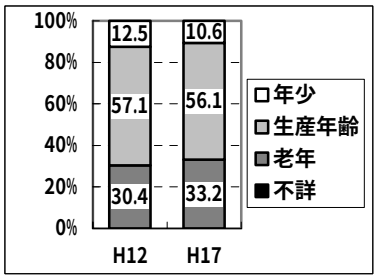
・島根地区は、市の北部に位置し、西は鹿島地区、東は美保関地区に接しています。
・北は日本海に面し、三方を山に囲まれており、特に日本海側の入り組んだ入り江、断崖の景観は傑出し、海岸線は大山隠岐国立公園に指定されています。



人口・世帯

平成 12 年～平成 17 年の人口増加率は、－6%、世帯数増加率は、－2%となっています。
平成 17 年の年少人口割合は 11%、老年人口割合は 33%となっています。
（資料：国勢調査）





土地利用現況

【土地利用現況】
・大部分が山林となっています。
・日本海に面した漁村集落では、狭隘な土地に家屋が密集しています。
・農家の高齢化等により、農地の休耕や里山・山林の荒廃が進みつつあります。
【開発動向】
・農地転用や新築動向は比較的少ない地区です。
【法適用現況】
・全域が都市計画区域外であり、日本海側は大山隠岐国立公園、枕木山周辺は宍道湖北山県立自然公園に指定されています。
・森田川沿いなどに農振農用地区域が指定されています。

施設等

【交通施設】
・（主）松江鹿島美保関線、（主）松江島根線、（一）多胡鼻線　等
【公共公益施設等】
・高齢者交流館、島根体育館、島根史民俗資料館　等

地区資源等

・加賀の潜戸、チェリーロード、小波・桂島などの海水浴場、小波・桂島キャンプ場、マリンハウス加賀、マリンプラザしまね、ダイビングセンター・フレンズしまね、マリンパーク多古鼻、多古の七つ穴、リアス式海岸、釣り場（島根町全域）　等
【伝統・行事】
・ガッチ祭、ヨメノエの祭り、大蛇様祭り、竜神祭、お伊勢さんの祈り日　等

■地区の課題

経済環境

・マリンリゾートの振興や豊富な漁業資源を生かした水産業の振興を図るため高度化や付加価値化の推進が必要です。
・人口は減少傾向にあり、特に年少人口の割合が 11%（H17 国勢調査）まで下がっていることなどから定住対策が必要です。
・高齢者人口は、増加傾向にあり高齢者人口の割合は、33%（H17 国勢調査）と高いことから、高齢者に配慮した住みやすい環境づくりが必要です。

生活環境

・他地区との交流や中心市街地との連携を強化する幹線道路の整備・拡充が必要です。
・漁村集落では狭隘な土地に家屋が密集しており、防災対策など集落環境の整備が必要です。
・集落周辺部の里山は、竹林が拡大し宅地等への浸食が進んでおり、里山保全対策も必要です。

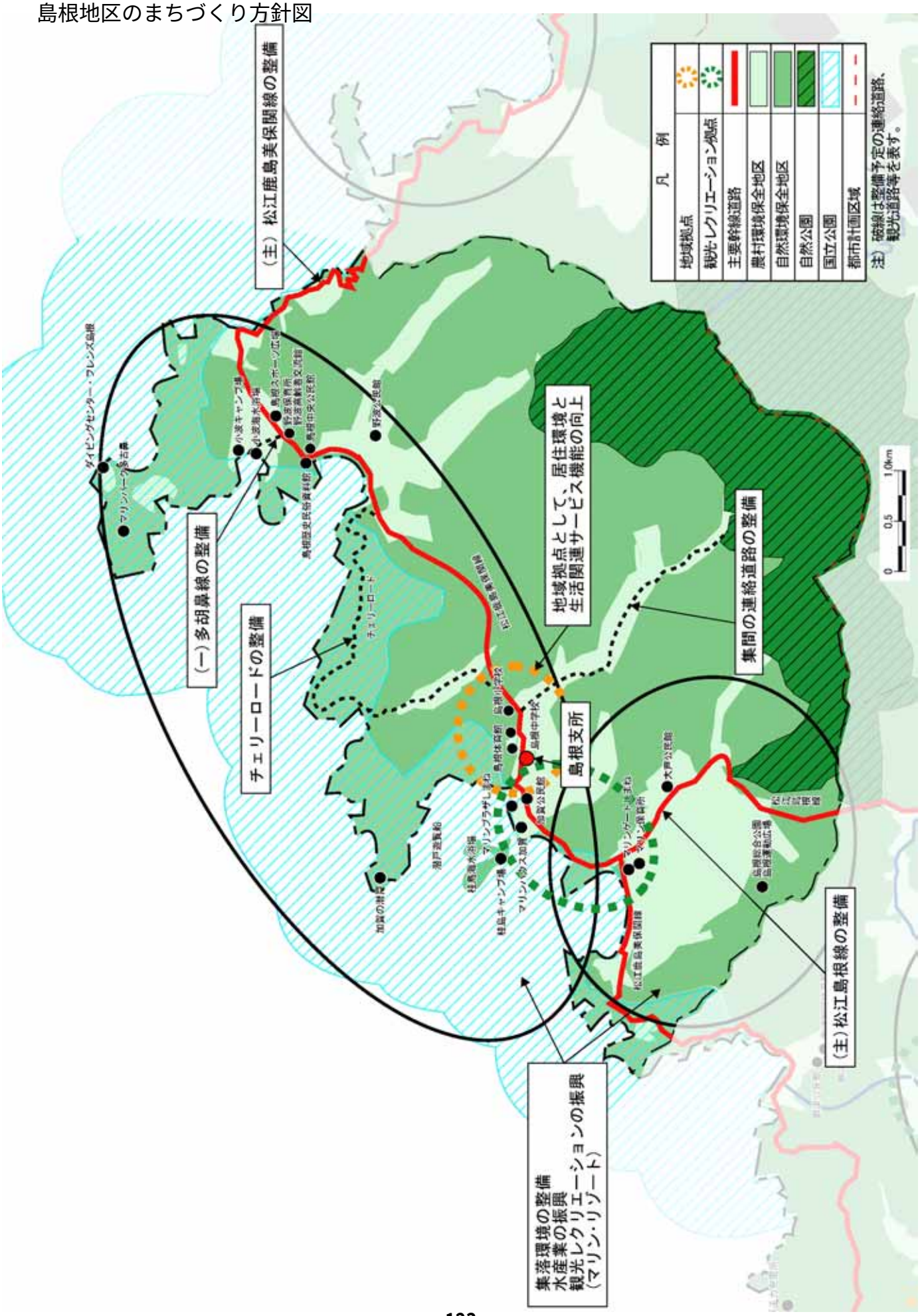
生態環境

・美しい海岸景観を保全するとともに、豊かな自然や観光資源を活用した振興を図る必要があります。

島根地区

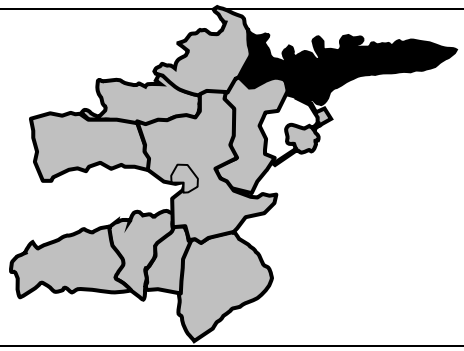
■基本的方針	
・島根半島の変化に富んだ風光明媚な海岸線と景勝地を生かし、マリンリゾート地として、海洋レジャーと水産観光業の振興を図ります。	
経済環境	・地区資源として優れた自然環境を保全するとともに、体験宿泊型の交流・観光・レクリエーションゾーンとして活用するための環境整備を推進します。 ・中山間地域等直接支払制度等の取組みを拡大し、農地の保全確保していきます。 ・沿岸漁業の経営支援や後継者育成対策等を行います。 ・鹿島・島根栽培漁業振興施設の活用により、栽培漁業の振興を図ります。 ・マリンプラザを中核施設として、マリンスポーツを含む観光レクリエーション拠点と位置付け振興を図ります。 ・チェリーロード周辺の整備を推進します。 ・海水浴場の桂島園地及び小波海水浴場の再整備を図ります。 ・地域のコミュニティ機能の低下がみられる集落等に対しては、非常時の安全確保だけでなく、日常生活の利便性向上に向けて支所や近隣集落等との連携が円滑に図れるような地域コミュニティの支援体制を整備推進します。
生活環境	・（主）松江島根線の整備を推進し、中心市街地との連携強化を図ります。 ・（主）松江鹿島美保関線、（一）多胡鼻線など、道路の拡充整備を図ります。 ・密集集落地内の狭隘道路の整備、歩道の整備を推進します。 ・上水道の安定供給を行うための施策を推進します。 ・支所周辺を地域拠点として位置づけ、高齢者が住みやすい居住環境と生活関連サービス機能の向上を図ります。 ・海岸域に立地する集落は、狭隘な土地に住宅が密集していることから、土砂災害や風水害などの自然災害に強い集落環境の整備を進めます。
生態環境	・地区資源として優れた自然環境を保全します。 ・釣り場や海水浴場等の持続的な利用のため、利用客に対するマナーの徹底などの広報的な取り組みも推進していきます。 ・黒松や桜など植生を維持していきます。 ・河川の環境保全を図り、ヤマメ、蛍等の生態系の維持を図ります。

島根地区のまちづくり方針図



(10)美保関地区

■地区の概況

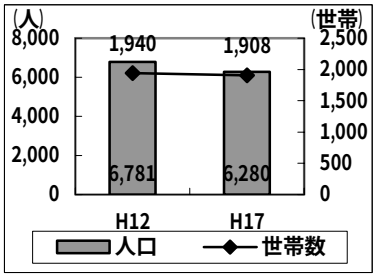


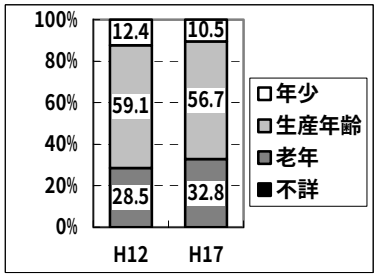
地勢等

・美保関地区は、島根県の最東部、市の北東に位置し、西は島根地区に接しています。
・三方を海に囲まれ、東西に走る分水嶺を骨格とした山地の多い地区です。
・海岸線は大山隠岐国立公園に指定されています。

人口・世帯

平成 12 年～平成 17 年の人口増加率は、－7%、世帯数増加率は、－2%となっています。
平成 17 年の年少人口割合は 11%、老年人口割合は 33%となっています。
（資料：国勢調査）





土地利用現況

【土地利用現況】
・リアス式海岸沿いに漁村集落が点在しています。
・大部分が山地であり、急峻な山地を背にした狭隘な土地に家屋が密集しています。
・農家の高齢化等により、農地の休耕や里山・山林の荒廃が進みつつあります。
【開発動向】
・農地転用や新築動向は少ない地区です。
【法適用現況】
・全域が都市計画区域外であり、日本海側は大山隠岐国立公園、枕木山周辺は県立自然公園に指定されています。
・千酌川沿いなどに農振農用地区域が指定されています。

施設等

【交通施設】
・国道 431 号、国道 485 号、（主）松江鹿島美保関線、（主）境美保関線、（一）七類雲津長浜線、七類港　等
【公共公益施設等】
・美保関ふれあいプラザ、美保関中央公民館、美保関体育館、美保関総合運動公園、美保関バスターミナル、メテオプラザ、美保関歴史・生活体験資料館、美保関障害者地域交流ｾﾝﾀｰ等

地区資源等

美保神社、美保関灯台・地蔵崎、北浦海水浴場、遊漁船
大山隠岐国立公園、リアス式海岸、青石畳通り、歴史財産百選の漁村、釣り場　等

【伝統・行事】
・諸手船神事、青柴垣神事、千酌やぶさめ神事、竜神祭、墨付トンド、ひざ餅神事　等

■地区の課題

経済環境

・良好な景観を保全するとともに、豊かな自然や美保神社などの貴重な歴史・文化資源を活用した観光と水産業を主体とした産業振興を図る必要があります。
・美しい海岸景観を保全するとともに、豊かな自然や観光資源を活用した地区振興を図る必要があります。
・人口は減少傾向にあり、特に年少人口の割合が 11%（H17 国勢調査）まで下がっていることなどから定住対策が必要です。
・高齢者人口の割合が 33%（H17 国勢調査）と高いことから、高齢者に配慮した住みやすい環境づくりが必要です。

生活環境

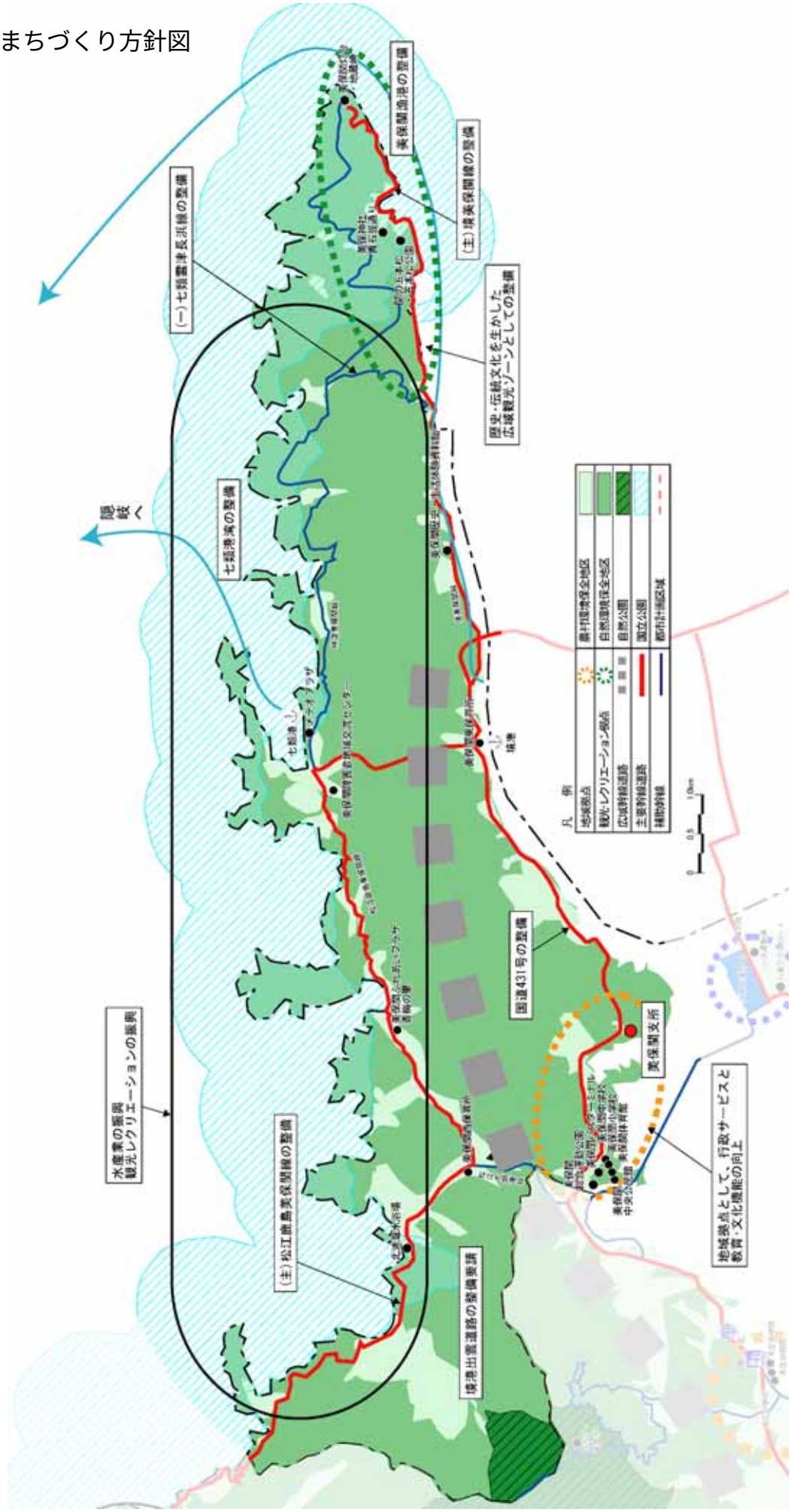
・米子都市圏や他地区との交流や中心市街地との連携を強化する幹線道路の整備・拡充が必要です。
・海岸部の東西方向及び南北方向の路線が少ないため、海岸部へのアクセス道路の強化が必要です。
・漁村集落では狭隘な土地に家屋が密集しており、防災対策など集落環境の整備が必要です。

生態環境

・観光客が多く訪れ、ゴミなどが散乱する場合が多いことから、美しい海岸景観などの豊かな自然を保全する必要があります。

■基本的方針	
・美しく恵みの多い海に三方を囲まれた豊かな自然や美保神社、青石畳通りなど歴史・文化の地区資源を生かした水産・観光業の活性化を図り、交流の拡大を促進します。	
経済環境	・良好な自然環境の保全や美保神社、青石畳通りなどの歴史・文化資源の保全・活用による海・歴史・文化・交流ゾーンを形成していきます。 ・支所周辺を地域拠点と位置づけ、高齢者が住みやすい居住環境と生活関連サービス機能の向上を図ります。 ・北部海岸域は、水産業の振興を図るとともに、観光レクリエーションとしての利用を図ります。 ・美保関漁港周辺を観光拠点と位置づけ、歴史・文化を生かした美保関周辺の観光基盤を強化します。 ・地域コミュニティの機能の低下がみられる集落等に対しては、非常時の安全確保だけでなく日常生活の利便性向上に向けて支所や近隣集落等との連携が円滑に図れるような地域コミュニティの支援体制を整備推進します。
生活環境	・国道 431 号の整備を促進し、中心市街地との連携強化を図ります。 ・（主）境美保関線、（主）松江鹿島美保関線、（一）七類雲津長浜線の整備を図ります。 ・密集集落内の狭隘道路の整備、歩道の整備を推進します。 ・七類港や美保関漁港の整備を推進します。また、隠岐諸島と松江市を結ぶ航路を確保します。 ・住環境を改善するため、下水道の整備を推進します。 ・海岸域に立地する集落は、狭隘な土地に住宅が密集していることから、土砂災害や風水害などの自然災害に強い集落環境の整備を進めます。
生態環境	・良好な自然環境の保全や美保神社、青石畳通りなどの歴史・文化資源を保全・活用します。 ・釣場や海水浴場等の持続的な利用のため、利用客に対するマナーの徹底などの広報的な取り組みも推進していきます。

美保関地区のまちづくり方針図

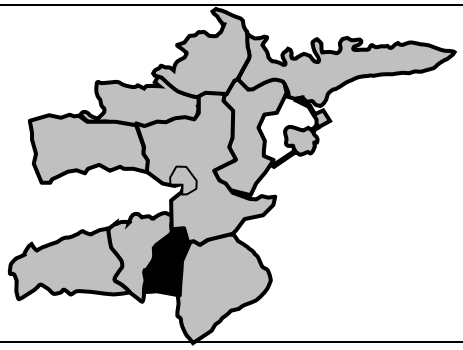


(11)忌部地区

■地区の概況

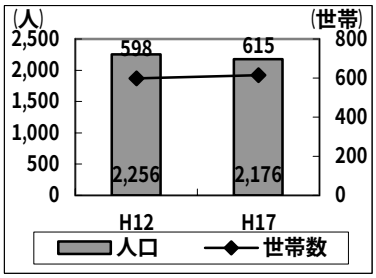
地勢等

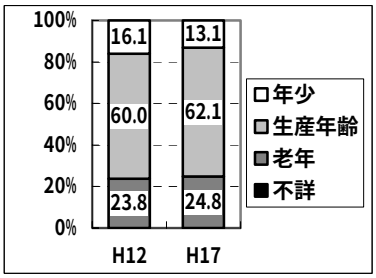
・忌部地区は、市の南に位置し、北は中心市街地周辺地区、東は八雲地区、西は玉湯地区に接しています。
・市民の水がめを有しており、中国山地に連なる山々に囲まれています。



人口・世帯

平成 12 年～平成 17 年の人口増加率は、－4%、世帯数増加率は､3%となっています。
平成 17 年の年少人口割合は 13%、老年人口割合は 25%となっています。
（資料：国勢調査）





土地利用現況

【土地利用現況】
・地区中央部を南北に走る（主）松江木次線の沿道および西忌部川沿いの平坦地に農地と集落が広がっています。
・地区北部は、住宅団地が点在しています。
・地区南部は大部分が山林となっています。
・水がめとなっている大谷貯水場・千本貯水場を有しています。
【開発動向】
・昭和 50 年代から幹線道路沿いに戸建住宅を中心とした宅地造成が行われています。
・山間部に採土場が点在しており、土取りが行われています。
【法適用現況】
・下流域の一部は市街化調整区域であり、千本貯水場上流域は都市計画区域外です。
・農地の大部分は農振農用地区域で、特に南部での農業基盤整備は進んでいます。

施設等

【交通施設】
・（主）松江木次線、(市)大谷柳原線
【公共公益施設等】
・大谷貯水場、千本貯水場

地区資源等

・忌部自然休養村

■地区の課題

経済環境

・土採り場の跡地利用の促進が必要です。
・南部丘陵地をはじめ優れた自然環境を守る必要があります。

生活環境

・玉湯地区、八雲地区との交流や中心市街地との連携を強化する幹線道路の整備・拡充が必要です。

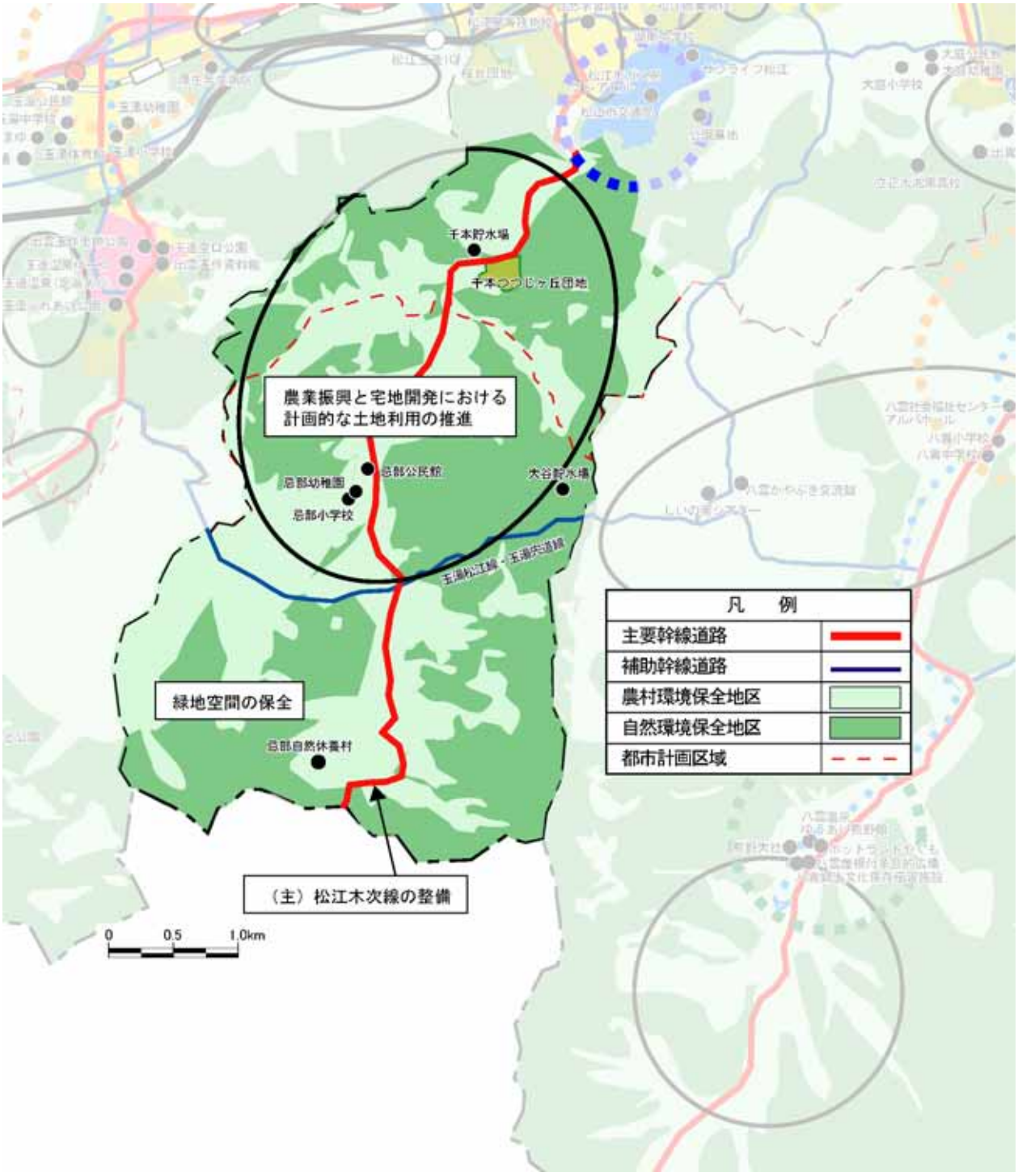
生態環境

・採土場や宅地開発等による水質悪化を防ぐ必要があります。

忌部地区

■基本的方針	
・自然環境や水質の保全を図るとともに、農業体験などの都市部との交流の場の創出を図ります。	
経済環境	・市民の水がめの水源涵養機能を確保するため、山林の保全していきます。 ・農振農用地区域については、優れた地区の環境および景観を守るため、中山間地域等直接支払制度等の取組みを拡大し、農地を保全確保していきます。 ・忌部自然休養村を中心とした観光、交流人口の増加に向けた展開を進めます。 ・土砂災害や風水害などの自然災害に強い居住環境の整備を進めます。
生活環境	・（主）松江木次線の拡充整備を促進し、中心市街地との連携強化を図ります。 ・集落内の生活道路の改善を促進します。
生態環境	・採土場が周辺環境に与える影響を最小限にするため、緑化など自然回復整備を誘導します。

忌部地区のまちづくり方針図

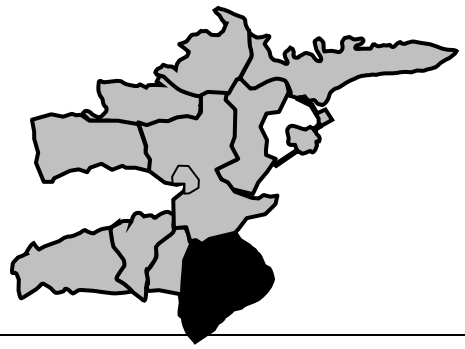


(12)八雲地区

■地区の概況

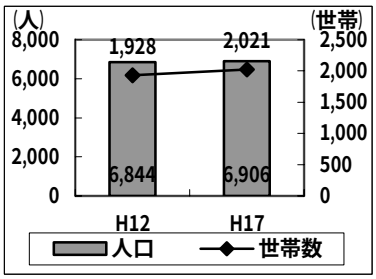
地勢等

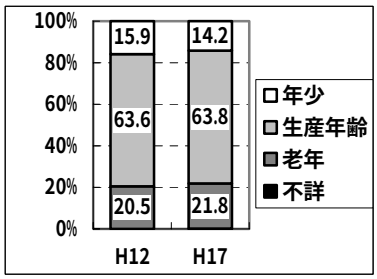
・八雲地区は、市の南部に位置し、北は中心市街地周辺地区、西は忌部地区に接しています。
・地区の北部は、南北を流れる意宇川とその支川周辺に平地が広がり、地区南部は中国山地に連なる山々に囲まれています。



人口・世帯

平成 12 年～平成 17 年の人口増加率は、1%、世帯数増加率は、5%となっています。
平成17年の年少人口割合は14%、老年人口割合は 22%となっています。
（資料：国勢調査）





土地利用現況

【土地利用現況】
・意宇川沿いに広がる平坦地に農地が広がっています。
・地区北部は、住宅団地が多く点在しています。
・地区南部は大部分が山林となっています。
【開発動向】
・北部の丘陵地は、住宅地としての開発が進んでいます。
【法適用現況】
・全域が都市計画区域外であり、地区の南部は国有林となっています。北部の低地から丘陵地にかけて、また、意宇川沿いなどに農振農用地区域が指定されています。

施設等

【交通施設】
・国道 432 号線、（主）大東東出雲線、（一）八重垣神社八雲線
【公共公益施設等】
・しいの実シアター、かやぶき交流館、八雲中央公園、・滞在型体験農業交流施設（松江やくもアグリパーク）、八雲社会福祉センター、八雲構造改善センター、八雲郷土文化保存伝習施設　等

地区資源等

・熊野大社、安部栄四郎記念館、星上山スターパーク、八雲温泉・ゆうあい熊野館、ホットランドやくも、八雲山村広場
・古代出雲政治文化発祥の地　　等

【伝統・行事など】
・鑽火祭、御櫛祭、夏越祭、庭火祭、おいでな祭、節分祭、星上寺大餅神事　等

■地区の課題

経済環境

・熊野大社などの貴重な歴史・文化資源の活用や、しいの実シアターを活用した国際交流などによる地区振興を図る必要があります。
・農業は、有害鳥獣による被害の拡大防止を図る必要があります。
・地区北部は、市街地に近く、ベッドタウンとして宅地開発が行われており、計画的な土地利用の誘導が必要です。

生活環境

・忌部地区との交流や中心市街地との連携を強化する幹線道路の整備・拡充が必要です。

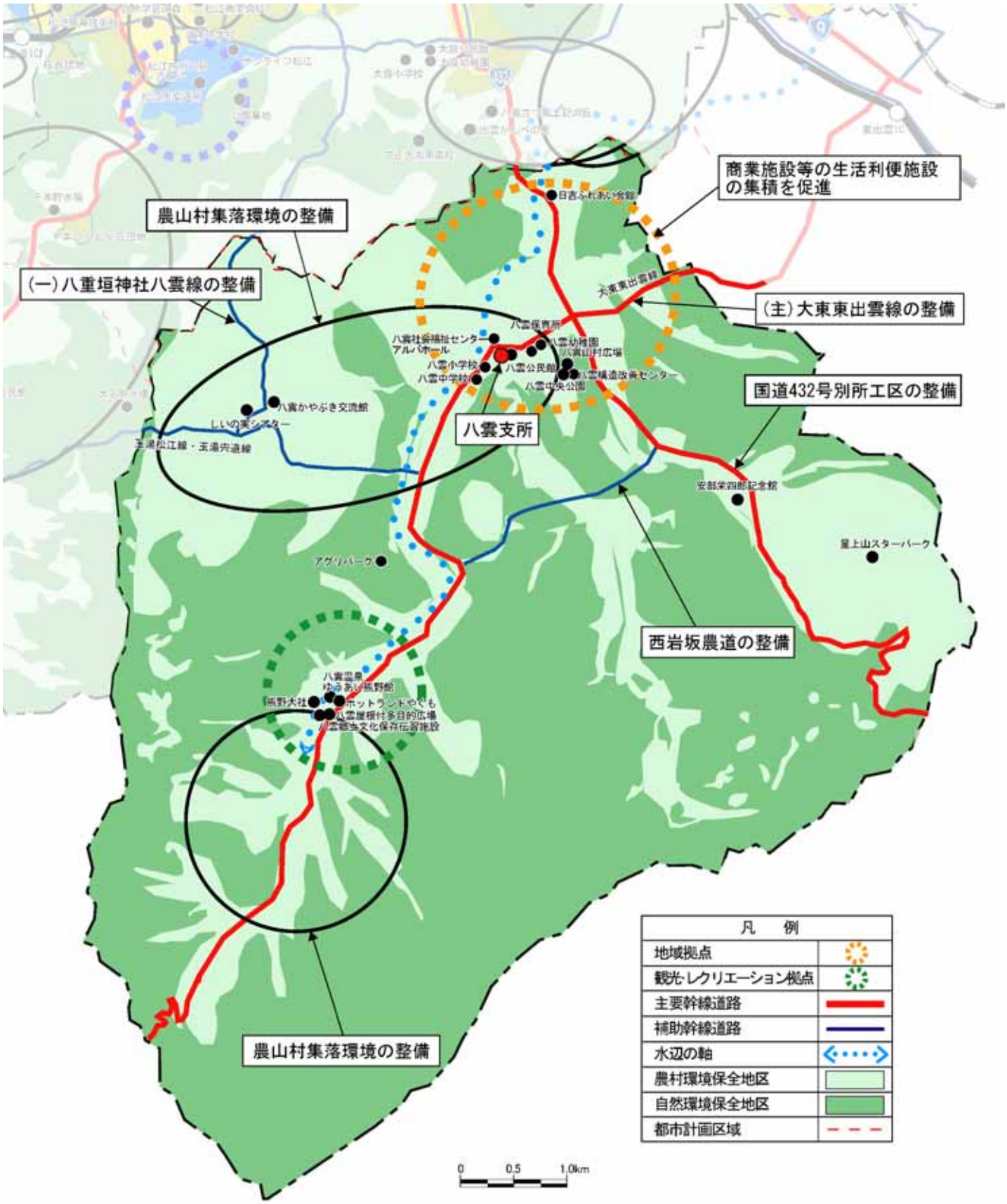
生態環境

・南部丘陵地と中国山地の豊かな自然と、それらに育まれてきた暮らしや文化、熊野大社などの貴重な歴史・文化資源など個性的で魅力のある地区資源の活用を図る必要があります。

八雲地区

■基本的方針	
・市街地近郊に拡がる恵まれた田園環境の特性を生かし、都市と農村が交流する新しい時代の農村振興を図るとともに、手作りで進めている国際交流・文化交流の拠点としての整備を図ります。	
経済環境	・体験型の都市交流やグリーンツーリズム、さらには朝市などを積極的に推進し、付加価値を高めるとともに農村活力の向上を図っていきます。 ・北部では、国道 432 号の整備に合わせた商業集積整備など沿道型の土地利用を促進します。 ・無秩序な宅地開発等による自然環境の悪化や周辺環境と調和しない建築物の立地などの問題が生じるおそれもあることから、良好な生活環境の保全を図るために適正な誘導策の検討を行います。 ・歴史的文化資源などの地域資源を有機的に結び、観光レクリエーション拠点としての魅力の向上を図ります。 ・手作りで進めている演劇（八雲国際演劇祭）については、他都市との国際・文化交流を行います。
生活環境	・自然環境の保全を考慮し、防災体制や交通安全対策を推進し、快適な生活環境の充実を図り、住宅地の開発など住環境の整備を計画的に進め、若者層の定住化を図ります。 ・国道 432 号別所工区の整備を促進し、中心市街地との連携強化を図ります。 ・（主）大東東出雲線の整備を促進します。 ・（一）八重垣神社八雲線の整備を促進します。 ・西岩坂農道の整備を促進します。
生態環境	・里山や遊休農地の保全・活用を図ります。 ・南部にみられる森林については、山林の育成により豊かな自然を守ります。

八雲地区のまちづくり方針図



付属資料

1．都市計画マスタープラン策定経過

○策定経過（1／2）

年月日		会議名等	内容
平成18年度	10月17日	第1回都市ビジョン検討幹事会	・策定の背景と目的 ・進め方について ・松江市の現状と課題
	10月27日	第1回都市ビジョン検討委員会	
	11月 7日	**第1回都市ビジョン懇談会**	**・策定の背景と目的 ・進め方について ・松江市の現状と課題**
	11月26日	第1回まちづくりワークショップ	・マスタープランとは ・松江市について理解を深めよう ・住みたい松江・住み続けたい松江について考えよう
	11月28日	第2回都市ビジョン検討幹事会	・まちづくりの基本理念とテーマ ・将来都市構造の検討
	12月4日	第2回都市ビジョン検討委員会	
	12月下旬～1月下旬	まちづくりアンケート調査	・回収数1,112通／配布数3,340通
	1月11日	第3回都市ビジョン検討幹事会	・都市構造及び土地利用の検討（線引きに関する経緯、効果等）
	1月12日	第3回都市ビジョン検討委員会	
	1月22日	第4回都市ビジョン検討幹事会	・都市構造及び土地利用の検討（市街化調整区域の土地利用について）
	1月26日	第4回都市ビジョン検討委員会	
	2月 8日	**第2回都市ビジョン懇談会**	**・まちづくりの基本理念とテーマ ・将来都市構造**
	2月18日	第2回まちづくりワークショップ	・第1回ワークショップのおさらい ・松江市の将来像を考えよう ・将来像実現のために、私達にできること、できないことを考えよう
	2月23日	第5回都市ビジョン検討幹事会	・都市構造及び土地利用の検討（線引きに関する経緯、効果等）（市街化調整区域の土地利用について）
	2月28日	第5回都市ビジョン検討委員会	
	3月13日	**第3回都市ビジョン懇談会**	**・まちづくりの基本理念とテーマ ・将来都市構造**
	3月27日	第6回都市ビジョン検討幹事会	・都市構造及び土地利用の検討（市街化調整区域の土地利用について）
	3月29日	第6回都市ビジョン検討委員会	

○策定経過（２／２）

年	月 日	会 議 名 等	内 容
平成19年度	4月24日	第７回都市ビジョン検討幹事会	・昨年度までの経緯報告 ・都市構造及び土地利用の検討 （都市計画区域の再編について）
	4月26日	第７回都市ビジョン検討委員会	
	5月21日	第８回都市ビジョン検討幹事会	・松江市の現状と課題（概要） ・都市ビジョン、将来都市構造（概要）
	5月28日	第８回都市ビジョン検討委員会	
	6月14日	第９回都市ビジョン検討委員会	
	7月 4日	**第４回都市ビジョン懇談会**	**・松江市の現状と課題（概要） ・都市ビジョン、将来都市構造（概要）**
	7月13日	第９回都市ビジョン検討幹事会	・将来都市構造の検討 ・都市構造及び土地利用の検討 （市街化調整区域の土地利用について－地区計画ガイドライン）
	7月17日	第10回都市ビジョン検討委員会	
	10月16日	第10回都市ビジョン検討幹事会	・松江市の現状と課題 ・都市ビジョン、将来都市構造 ・全体構想（概要）
	10月23日	第11回都市ビジョン検討委員会	
	11月 8日	**第５回都市ビジョン懇談会**	**・松江市の現状と課題 ・都市ビジョン、将来都市構造 ・全体構想（概要）**
	11月14日	第11回都市ビジョン検討幹事会	・全体構想 ・地域別構想（概要） ・まちづくりの実現に向けて（概要）
	11月22日	第12回都市ビジョン検討委員会	
	11月28日	第13回都市ビジョン検討委員会	・都市計画マスタープラン案
	12月 4日	**第６回都市ビジョン懇談会**	**・都市計画マスタープラン案**
	12月26日	第14回都市ビジョン検討委員会	・都市計画マスタープラン案 （内容の修正・検討）
	1月7日 ～2月7日	**パブリックコメント**	**・都市計画マスタープラン案**
	2月26日	**都市計画審議会**	**・都市計画マスタープラン案**

2．都市計画マスタープラン策定体制

○都市ビジョン懇談会委員

（平成 19 年 12 月現在）

区 分	氏名（敬称略）	所 属・役 職 等
会 長	濱 田 年 騏	学識経験者（島根大学名誉教授）
委 員	安 藤 隼 人	県建築士会会長
	飯 野 公 央	学識経験者（島根大学准教授）
	池 淵 功 二	松江商工会議所副会頭
	泉 彬	商店会会長
	井ノ上 知 子	ＮＰＯ法人代表
	井 上 穣	松江市町内会自治会連合会（鹿島自治連合会長）
	宇 野 和 男	松江市都市計画審議会会長（松江工業高等専門学校教授）
	小 田 光 則 （中ノ森 寿 昭）	山陰合同銀行地域振興部長
	片 寄 洋 子	松江市景観審議会委員
	門 脇 光 男	松江市町内会自治会連合会会長
	金 築 秀 和	一般公募
	岸 康 博 （浅 野 正 教）	県住宅供給公社常務理事
	齋 藤 悦 子	一般公募
	（佐久間 治）	学識経験者（島根女子短大准教授）
	多々納 道 子	学識経験者（島根大学教授）
	中 林 秀 行	一畑電気鉄道（株）専務
	中 庸 子	松江商工会議所青年部
	鍋 木 圭 史	一般公募
	本 間 恵美子	風土記の丘資料館所長
	牧 野 浩 之 （鈴 木 真 人）	日本政策投資銀行松江事務所長
	正 岡 さ ち	学識経験者（島根大学助教授）
	村 上 正 人	連合島根（松江地域協議会）副議長
	山 根 常 正	山陰中央新報社長
	矢 野 朗 （山 形 良 樹）	ＮＨＫ松江放送局長
	山 本 隆 志	島根県物産協会
	横 田 綏 子	学識経験者（島根大学教授）

注１）氏名欄の（　　）は前任者。注２）委員名簿は氏名の五十音順

○都市ビジョン検討委員会委員

（平成 19 年 12 月現在）

区　分	職　　名	氏　　名
委員長	助　　役	片山　重政
副委員長	都市計画部長	安井　春海
	建設部長	原　憲二
委　員	市長室長	清水　伸夫
	総務部長	川原　良一
	財政部長	原　厚
	産業経済部長	能海　広明
	観光振興部長	森　秀雄
	市民部長	田中　寛美
	健康福祉部長	松本　修司
	環境保全部長	宅和　勝美
	教育委員会理事	友森　勉
	鹿島支所長	桑谷　充男
	島根支所長	内田　敏夫
	美保関支所長	原　美江
	八雲支所長	福島　信夫
	玉湯支所長	大島　祥男
	宍道支所長	高木　照雄
	八束支所長	門脇　正明

○都市ビジョン検討幹事会幹事

（平成 19 年 12 月現在）

区　分	職　　名	氏　　名
幹事長	都市計画部次長	内田　貞文
副幹事長	建築課長	名古田幸男
幹　事	政策企画課長	藤原　亮彦
	定住地域振興課長	矢野　正紀
	大橋川治水事業推進課長	松本　純一
	防災安全課長	林　繁幸
	財政課長	星野　芳伸
	商工課長	児玉　渉治
	農業企画課	今岡　幸男
	農林課長	森井　聡
	観光企画課長	小山　厚
	保健福祉課長	井田　克己
	環境保全課長	永島　裕治
	都市景観課長	石倉　正明
	建築指導課長	小松　義昌
	公園緑地課長	越野　伸夫
	市街地整備課長	松本　実
	住宅政策課	湯町　信夫
	管理課長	荒川　具典
	土木課長	中島　広
	下水道工務課長	渡部　修
	教育総務課長	意東　茂喜
	鹿島支所地域振興課長	古瀬　篤
	島根支所地域振興課長	小谷富實雄
	美保関支所地域振興課長	宮本　俊一
	八雲支所地域振興課長	長島　幸夫
	玉湯支所地域振興課長	山本　祥宏
	宍道支所地域振興課長	五百川秀男
	八束支所地域振興課長	豊島　耕

※事務局（都市計画課）

松江市都市計画マスタープラン・資料編

平成 20 年（2008 年）3 月

発　行／松江市（都市計画課）
〒690-8540
島根県松江市末次町 86
電話：0852-55-5373
FAX　：0852-55-5552